

九州経済国際化データ 2018

(貿易編)

Kyushu economic internationalization data



2018年8月

経済産業省

九州経済産業局

第1章 九州と世界の貿易	-----	1
1. 九州と世界の貿易動向	-----	1
2. 九州から世界への輸出動向	-----	7
3. 九州の世界からの輸入動向	-----	10
第2章 九州と各国・地域の貿易	-----	13
1. 九州と韓国の貿易	-----	13
2. 九州と中国の貿易	-----	18
3. 九州と台湾の貿易	-----	23
4. 九州と香港の貿易	-----	28
5. 九州とASEANの貿易	-----	33
6. 九州とベトナムの貿易	-----	42
7. 九州とタイの貿易	-----	47
8. 九州とシンガポールの貿易	-----	52
9. 九州とマレーシアの貿易	-----	57
10. 九州とフィリピンの貿易	-----	62
11. 九州とインドネシアの貿易	-----	67
12. 九州とミャンマーの貿易	-----	72
13. 九州とインドの貿易	-----	77
14. 九州とEUの貿易	-----	82
(九州と英国の貿易)	-----	89
15. 九州とロシアの貿易	-----	92
16. 九州と米国の貿易	-----	97
17. 九州とオーストラリアの貿易	-----	102
第3章 九州の産業別貿易動向	-----	107
1. 自動車・自動車の部分品	-----	107
2. 半導体等電子部品	-----	111
3. 鉄鋼	-----	113
4. 船舶類	-----	115
5. 食料品	-----	116
6. 農林水産物及び加工品	-----	119
7. 鉱物性燃料	-----	132

卷末資料

1. 九州及び日本の貿易の変遷
2. 地理圏・経済圏の分類表
3. 品目分類表

注 意 点

- (1) 年次は特記しない限り、暦年(1月～12月)を示す。
- (2) 貿易の図表は特記しない限り、輸出入額に関しては財務省「貿易統計」(輸出はFOB、輸入はCIF)及び門司税関提供による統計資料、その他に関しては経済産業省資料に基づき九州経済産業局にて作成したもの。
- (3) 品目分類は財務省貿易統計の概況品コード(財務省貿易統計ホームページに掲載されている)に準拠する。詳細は巻末資料3の「品目分類表」を参照。
- (4) 統計数値は原則として四捨五入のため、合計と若干の差異が生じる場合がある。
- (5) 金額単位のドルは特記しない限り、USドル(米ドル)を示す。

用 語 の 解 説

- (1) 「国」は、地域を含む場合がある。
- (2) 「全国」は、「九州」の数値を含んでいる。
- (3) 貿易統計での「九州」とは、特記しない限り九州7県の各港(港湾及び空港)を合算したものを示す。
- (4) 「アジア」や「ASEAN」等の地理圏・経済圏は、巻末資料2の「地理圏・経済圏の分類表」を参照。
- (5) 「全国比」とは、日本全国の数値に占める九州の割合を示しており、単位は%。
- (6) 「寄与度」とは、貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。単位は%。

産業別分類（概況品コード）の考え方について

自動車：

輸出コード 70503

輸入コード 70501

自動車の部分品：

輸出コード 70505

輸入コード 70503

半導体等電子部品：

輸出コード 70323

輸入コード 70311

鉄鋼：

輸出コード 611

輸入コード 613

船舶類：

輸出コード 70513

食料品：

輸出・入共通 0、1、4

※ただし、生きた動物 001、飼料 017、加工油脂（ろう）405、
たばこ 103 を除く。

鉱物性燃料：

輸入コード 3

第1章 九州と世界の貿易

1. 九州と世界の貿易動向

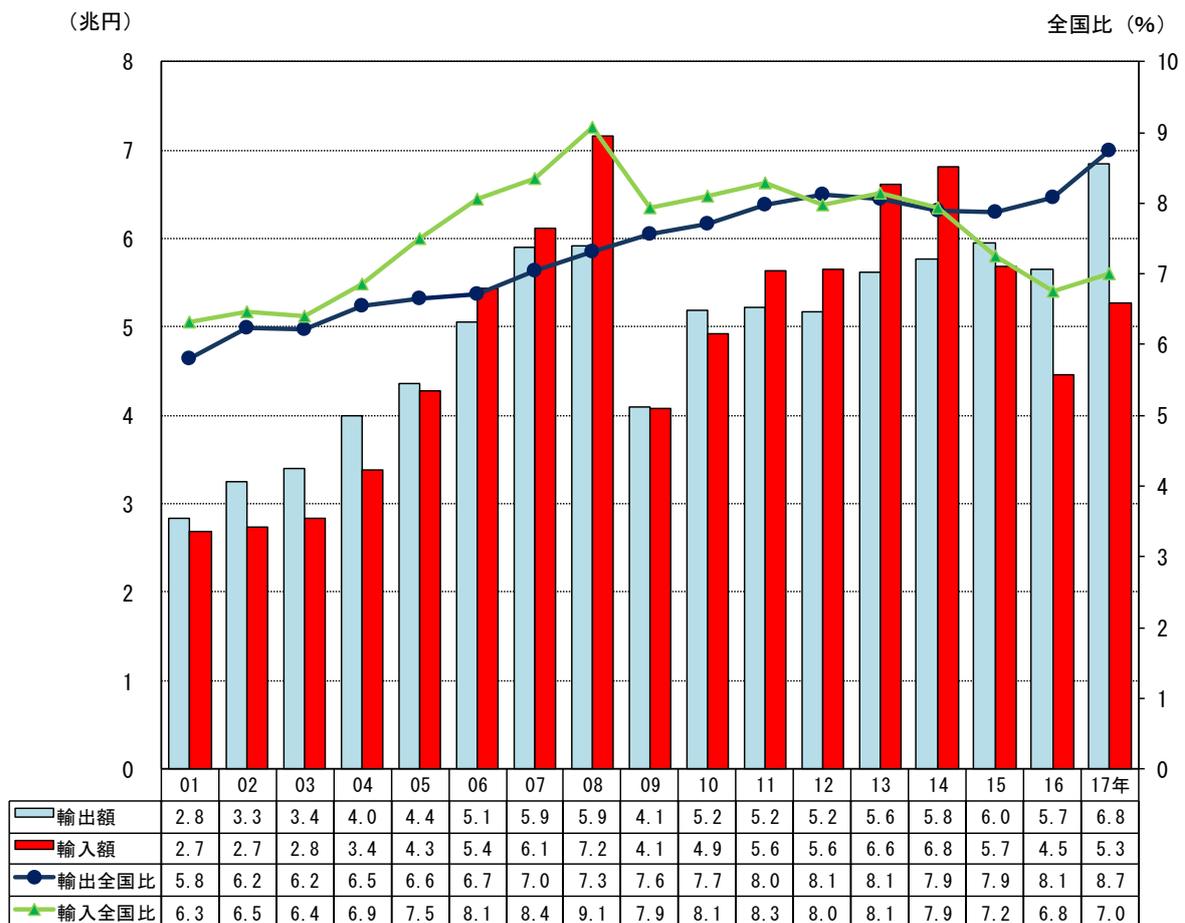
- 2017年の九州の貿易額は、輸出が6兆8,410億円（前年比21.0%増）で、輸入は5兆2,788億円（前年比18.2%増）で、ともに前年より増加した。
- 輸出では、米国向け（寄与度：+6.2%）、韓国向け（同+4.9%）、中国向け（同+3.6%）、香港向け（同+1.7%）などの輸出額が増加した。一方、サウジアラビア向け（同▲0.7%）、スペイン向け（同▲0.1%）などの輸出額は減少した。
- 輸入では、オーストラリア（同+3.0%）、米国（同+2.0%）、アラブ首長国連邦（同+1.5%）、台湾（同+1.5%）などの輸入額が増加した。一方、メキシコ（同▲0.4%）、ブラジル（同▲0.2%）などの輸入額は減少した。
- 九州の貿易額が全国に占める割合は、輸出が8.7%で、輸入は7.0%で、ともに前年より増加した。

★2017年の九州の輸出額及び貿易収支は過去最高(※)★

2017年の九州の輸出額及び輸出額の全国に占める割合（全国比）ともに過去最高となった。また、輸出額から輸入額を引いた貿易収支も過去最高となった。

※1979年以降、以下同じ。

図表 1-1-1 九州の対世界貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-1-2 九州の国・地域別輸出入動向（2017年）

（単位：億円、％）

国・地域	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
韓国	10,206	14.9%	37.0%	4.9%	17.1%	2,814	5.3%	7.2%	0.4%	8.9%
中国	12,941	18.9%	18.9%	3.6%	8.7%	9,689	18.4%	6.5%	1.3%	5.2%
台湾	3,759	5.5%	11.4%	0.7%	8.2%	3,106	5.9%	28.1%	1.5%	10.9%
香港	3,749	5.5%	35.3%	1.7%	9.4%	59	0.1%	-53.8%	-0.2%	2.9%
ベトナム	1,714	2.5%	36.7%	0.8%	10.2%	1,269	2.4%	15.3%	0.4%	6.1%
タイ	2,077	3.0%	26.8%	0.8%	6.3%	1,692	3.2%	11.2%	0.4%	6.6%
シンガポール	2,123	3.1%	17.9%	0.6%	8.4%	179	0.3%	-6.5%	0.0%	1.9%
マレーシア	1,338	2.0%	15.8%	0.3%	9.4%	929	1.8%	18.7%	0.3%	4.3%
ブルネイ	8	0.0%	-14.3%	0.0%	8.8%	25.3	0.0%	18078.0%	0.1%	1.3%
フィリピン	741	1.1%	9.3%	0.1%	5.9%	1,175	2.2%	-3.5%	-0.1%	10.7%
インドネシア	867	1.3%	16.3%	0.2%	5.8%	2,543	4.8%	-1.7%	-0.1%	11.4%
カンボジア	27	0.0%	3.3%	0.0%	6.8%	34	0.1%	19.2%	0.0%	2.4%
ラオス	2	0.0%	1.8%	0.0%	1.6%	5	0.0%	42.5%	0.0%	2.9%
ミャンマー	49	0.1%	-28.1%	0.0%	5.0%	33	0.1%	23.4%	0.0%	2.8%
インド	751	1.1%	29.5%	0.3%	7.6%	477	0.9%	29.9%	0.2%	8.0%
オーストラリア	999	1.5%	23.9%	0.3%	5.6%	5,855	11.1%	29.7%	3.0%	13.4%
ニュージーランド	109	0.2%	10.3%	0.0%	3.9%	100	0.2%	16.1%	0.0%	3.6%
米国	11,157	16.3%	45.4%	6.2%	7.4%	3,327	6.3%	35.6%	2.0%	4.1%
カナダ	703	1.0%	92.7%	0.6%	6.5%	1,229	2.3%	50.1%	0.9%	10.0%
パナマ	1,665	2.4%	13.2%	0.3%	27.1%	301	0.6%	224.4%	0.5%	32.6%
メキシコ	1,174	1.7%	2.1%	0.0%	9.3%	795	1.5%	-17.4%	-0.4%	12.2%
ブラジル	206	0.3%	6.2%	0.0%	5.4%	1,183	2.2%	-7.1%	-0.2%	14.7%
チリ	303	0.4%	16.8%	0.1%	15.4%	776	1.5%	-4.2%	-0.1%	10.6%
コロンビア	166	0.2%	19.8%	0.0%	14.8%	58	0.1%	-45.5%	-0.1%	5.9%
ドイツ	902	1.3%	19.2%	0.3%	4.2%	355	0.7%	-3.8%	0.0%	1.4%
英国	887	1.3%	20.8%	0.3%	5.8%	137	0.3%	-8.4%	0.0%	1.7%
オランダ	1,359	2.0%	5.8%	0.1%	9.7%	70	0.1%	-16.7%	0.0%	2.6%
イタリア	903	1.3%	3.1%	0.0%	16.5%	93	0.2%	1.4%	0.0%	0.8%
フランス	346	0.5%	-3.2%	0.0%	4.9%	395	0.7%	9.5%	0.1%	3.4%
スウェーデン	112	0.2%	23.9%	0.0%	7.3%	49	0.1%	3.3%	0.0%	1.8%
スペイン	422	0.6%	-15.7%	-0.1%	12.8%	198	0.4%	23.3%	0.1%	5.3%
ノルウェー	12	0.0%	29.6%	0.0%	1.1%	173	0.3%	-28.7%	-0.2%	8.6%
ベルギー	415	0.6%	-2.5%	0.0%	6.3%	42	0.1%	52.9%	0.0%	1.4%
ロシア	387	0.6%	27.7%	0.1%	5.7%	1,690	3.2%	56.5%	1.4%	10.9%
サウジアラビア	259	0.4%	-62.1%	-0.7%	6.2%	3,512	6.7%	16.2%	1.1%	11.3%
アラブ首長国連邦	1,637	2.4%	21.9%	0.5%	20.2%	2,764	5.2%	33.3%	1.5%	11.9%
クウェート	112	0.2%	-7.6%	0.0%	7.0%	1,163	2.2%	84.6%	1.2%	17.5%
イラン	51	0.1%	105.7%	0.0%	5.2%	133	0.3%	210.8%	0.2%	3.3%
オマーン	50	0.1%	-55.7%	-0.1%	1.9%	296	0.6%	8.5%	0.1%	14.0%
カタール	145	0.2%	-23.2%	-0.1%	10.8%	782	1.5%	102.8%	0.9%	6.3%
南アフリカ共和国	207	0.3%	17.2%	0.1%	7.3%	419	0.8%	77.9%	0.4%	7.8%
その他	3,369	4.9%	-14.9%	-1.0%	7.0%	2,863	5.4%	33.5%	1.6%	5.7%
総額	68,410	100.0%	21.0%	21.0%	8.7%	52,788	100.0%	18.2%	18.2%	7.0%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-3 10年前と比較した全国・九州の輸出相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2007年			2017年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	168,962	20.1%	米国	151,135	19.3%
中国	128,390	15.3%	中国	148,897	19.0%
韓国	63,840	7.6%	韓国	59,752	7.6%
台湾	52,743	6.3%	台湾	45,578	5.8%
香港	45,717	5.4%	香港	39,741	5.1%
その他	379,661	45.2%	その他	337,762	43.1%
総計	839,314	100.0%	統計	782,865	100.0%
九州			九州		
中国	12,291	20.8%	中国	12,941	18.9%
米国	8,712	14.7%	米国	11,157	16.3%
韓国	7,056	11.9%	韓国	10,206	14.9%
台湾	3,995	6.8%	台湾	3,759	5.5%
香港	2,488	4.2%	香港	3,749	5.5%
その他	24,552	41.5%	その他	26,597	38.9%
総計	59,095	100.0%	総計	68,410	100.0%

図表 1-1-4 10年前と比較した全国・九州の輸入相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2007年			2017年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	150,355	20.6%	中国	184,593	24.5%
米国	83,487	11.4%	米国	80,903	10.7%
サウジアラビア	41,475	5.7%	オーストラリア	43,650	5.8%
アラブ首長国連邦	38,037	5.2%	韓国	31,527	4.2%
オーストラリア	36,732	5.0%	サウジアラビア	31,150	4.1%
その他	381,274	52.1%	その他	381,971	50.7%
総計	731,359	100.0%	総計	753,792	100.0%
九州			九州		
中国	8,511	13.9%	中国	9,689	18.4%
アラブ首長国連邦	5,136	8.4%	オーストラリア	5,855	11.1%
サウジアラビア	5,069	8.3%	サウジアラビア	3,512	6.7%
オーストラリア	4,804	7.9%	米国	3,327	6.3%
韓国	4,126	6.8%	台湾	3,106	5.9%
その他	33,443	54.7%	その他	27,298	51.7%
総計	61,089	100.0%	総計	52,788	100.0%

図表 1-1-3～4 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-5 10年前と比較した全国・九州の輸出品目（上位5品目）

（単位：億円、％）

2007年			2017年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
自動車	143,170	17.1%	自動車	118,254	15.1%
半導体等電子部品	52,426	6.2%	半導体等電子部品	40,225	5.1%
自動車の部分品	33,555	4.0%	自動車の部分品	38,966	5.0%
事務用機器	29,116	3.5%	原動機	27,454	3.5%
原動機	25,930	3.1%	半導体等製造装置	25,502	3.3%
その他	555,118	66.1%	その他	532,464	68.0%
総計	839,314	100.0%	総計	782,865	100.0%
九州			九州		
自動車	7,942	13.4%	自動車	17,006	24.9%
半導体等電子部品	6,999	11.8%	半導体等電子部品	8,360	12.2%
映像機器	4,857	8.2%	船舶類	4,771	7.0%
船舶類	4,682	7.9%	半導体等製造装置	4,611	6.7%
鉄鋼のフラットロール製品	4,083	6.9%	鉄鋼のフラットロール製品	4,157	6.1%
その他	30,530	51.7%	その他	29,504	43.1%
総計	59,095	100.0%	総計	68,410	100.0%

図表 1-1-6 10年前と比較した全国・九州の輸入品目（上位5品目）

（単位：億円、％）

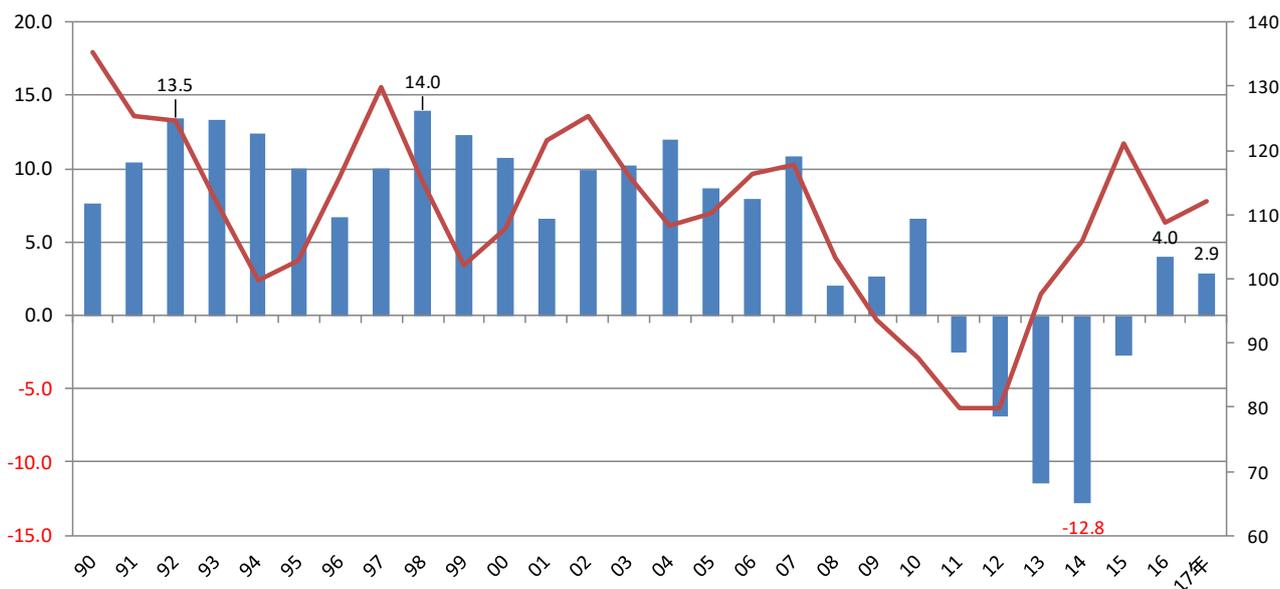
2007年			2017年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
原油及び粗油	122,788	16.8%	原油及び粗油	71,549	9.5%
石油ガス類	41,321	5.6%	石油ガス類	45,222	6.0%
半導体等電子部品	28,521	3.9%	通信機	31,091	4.1%
事務用機器	27,784	3.8%	半導体等電子部品	27,966	3.7%
非鉄金属鉱	21,363	2.9%	石炭	25,703	3.4%
その他	489,582	66.9%	その他	552,261	73.3%
総計	731,359	100.0%	総計	753,792	100.0%
九州			九州		
原油及び粗油	19,958	32.7%	原油及び粗油	9,921	18.8%
非鉄金属鉱	3,868	6.3%	石炭	4,300	8.1%
半導体等電子部品	3,413	5.6%	石油ガス類	3,192	6.0%
石油ガス類	3,257	5.3%	半導体等電子部品	2,855	5.4%
石炭	3,202	5.2%	非鉄金属鉱	2,333	4.4%
その他	27,391	44.8%	その他	30,186	57.2%
総計	61,089	100.0%	総計	52,788	100.0%

図表 1-1-5～6 備考：輸出入品目は小分類ベース。

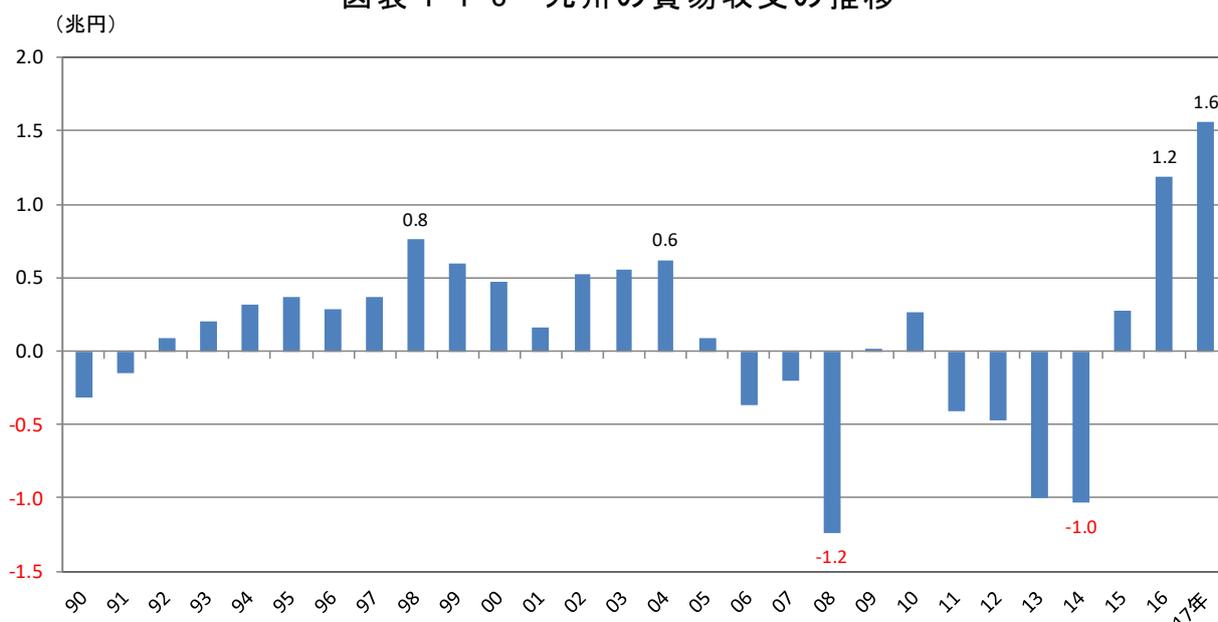
図表 1-1-5～6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

- 2017年の九州の貿易収支は+1兆5,622億円と過去最高で3年連続の貿易黒字となった。(全国は2年連続の貿易黒字。)
- 品目別では、前年に比べて鉱物性燃料の輸入超過額が増加したものの、輸送用機器や一般機械、電気機器等の輸出超過額が大きかったため、九州の貿易収支は貿易黒字となった。
- 国別の輸出超過額では、米国が7,830億円で最も多く、次が韓国の7,393億円、香港の3,690億円等であった。一方、輸入超過額では、オーストラリアが4,856億円で最も多く、次がサウジアラビアの3,253億円、インドネシアの1,676億円等であった。

図表 1-1-7 全国の貿易収支と為替相場（円・米ドル）の推移

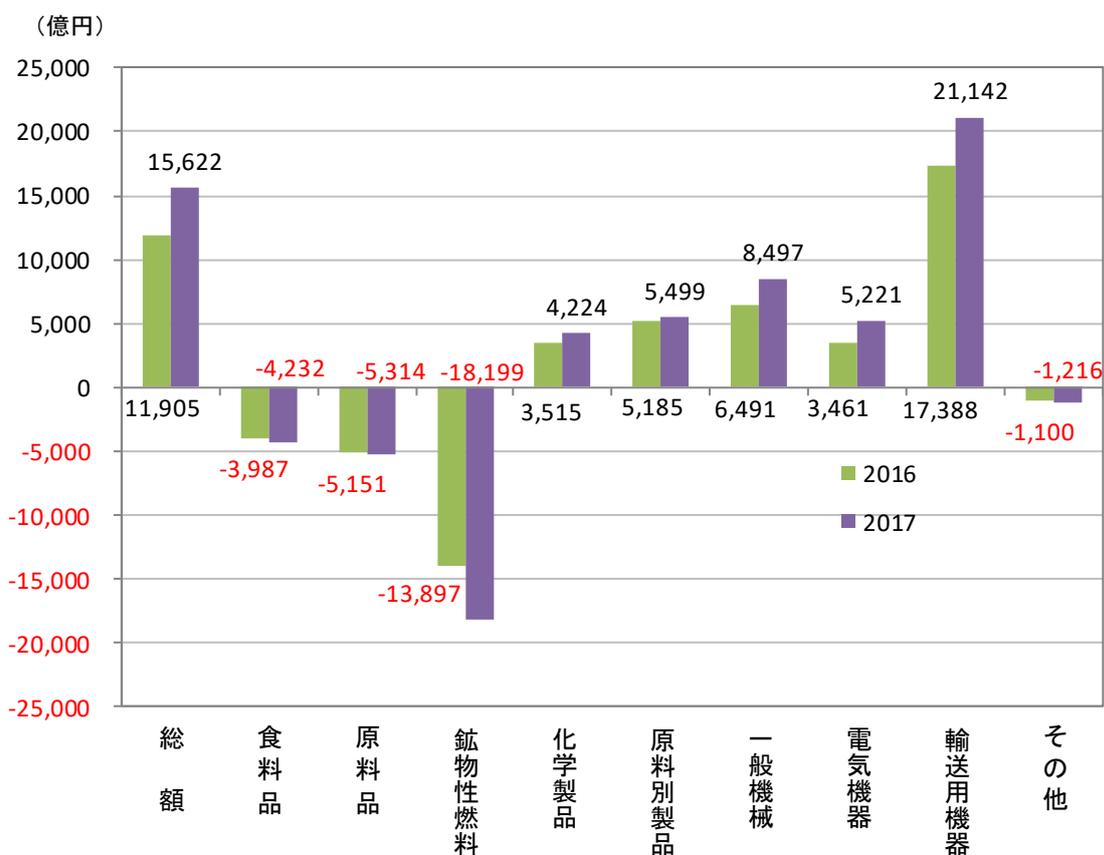


図表 1-1-8 九州の貿易収支の推移



図表 1-1-7～8 出所：財務省「貿易統計」、総務省統計局資料、内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-9 九州の品目別貿易収支額（2016-2017年）



図表 1-1-10 九州の主な相手国・地域別貿易収支額（2017年）

(単位：億円)

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	7,830	オーストラリア	▲ 4,856
韓国	7,393	サウジアラビア	▲ 3,253
香港	3,690	インドネシア	▲ 1,676
中国	3,253	ロシア	▲ 1,304
シンガポール	1,943	アラブ首長国連邦	▲ 1,127
九州の貿易収支額(2017年) 1兆5,622億円			

図表 1-1-10 備考：九州の貿易収支額上位 5ヶ国と下位 5ヶ国を記載。

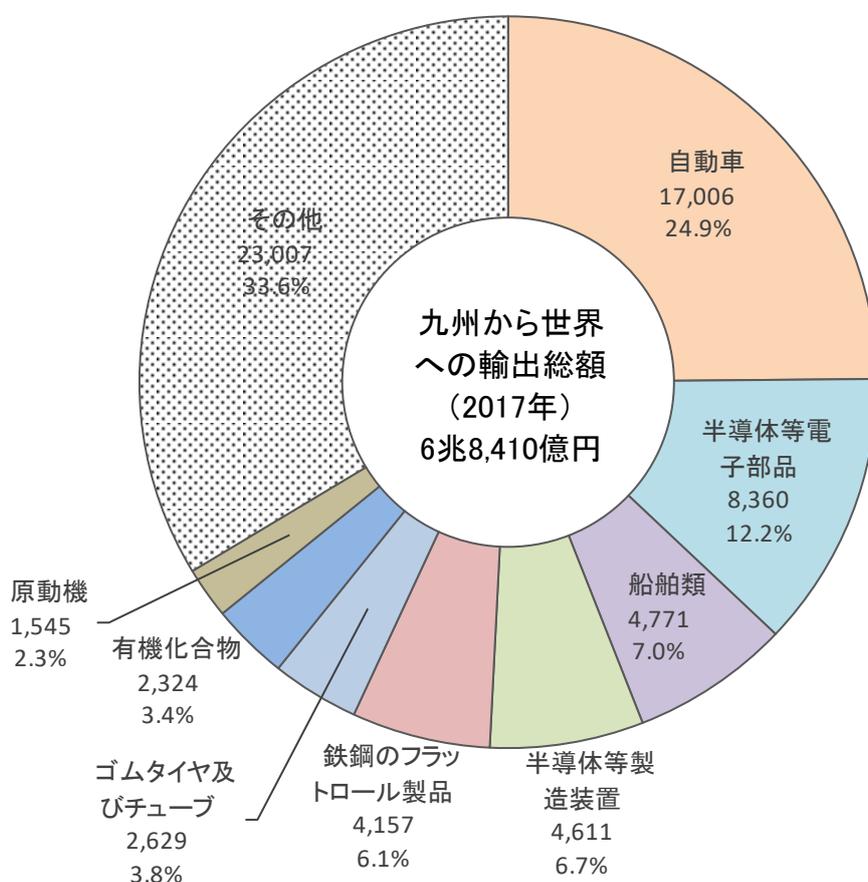
図表 1-1-9～10 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 九州から世界への輸出動向

- 2017年の九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、半導体等製造装置、鉄鋼のフラットロール製品となっており、この上位5品目で輸出額全体の5割を超えた。
- 輸出額は、自動車（寄与度：+6.5%）、半導体等電子部品（同+3.1%）等が増加し、軌条及びその他の鉄道線路建設材（同▲0.1%）、船舶類（同▲0.04%）等が減少し、その結果、前年より増加した。
- 九州の最大の輸出相手国は中国、次が米国、韓国、台湾、香港となっており、アジアの国・地域が全体の6割弱であった。また、2000年と比べると中国を始めとするアジアの割合が増加し、北米の割合が減少した。

図表 1-2-1 九州から世界への輸出品目

（単位：億円、%）



寄与度（増加分）：自動車（+6.5%）、半導体等電子部品（+3.1%）等

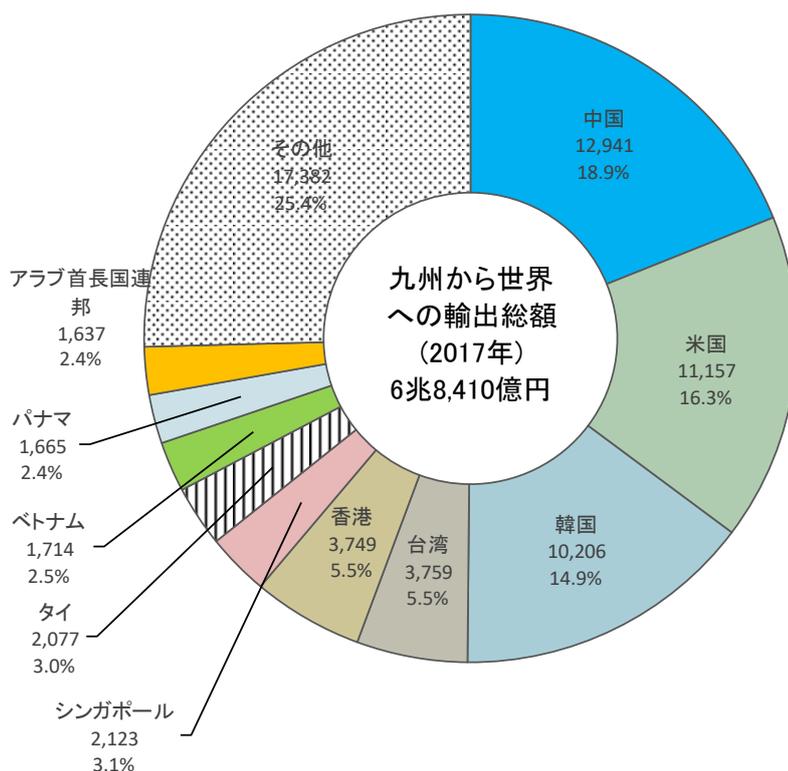
寄与度（減少分）：軌条及びその他の鉄道線路建設材（▲0.1%）、船舶類（▲0.04%）等

（注）寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。（以下同じ）

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-2-2 九州の輸出相手国・地域（2017年）

（単位：億円、％）

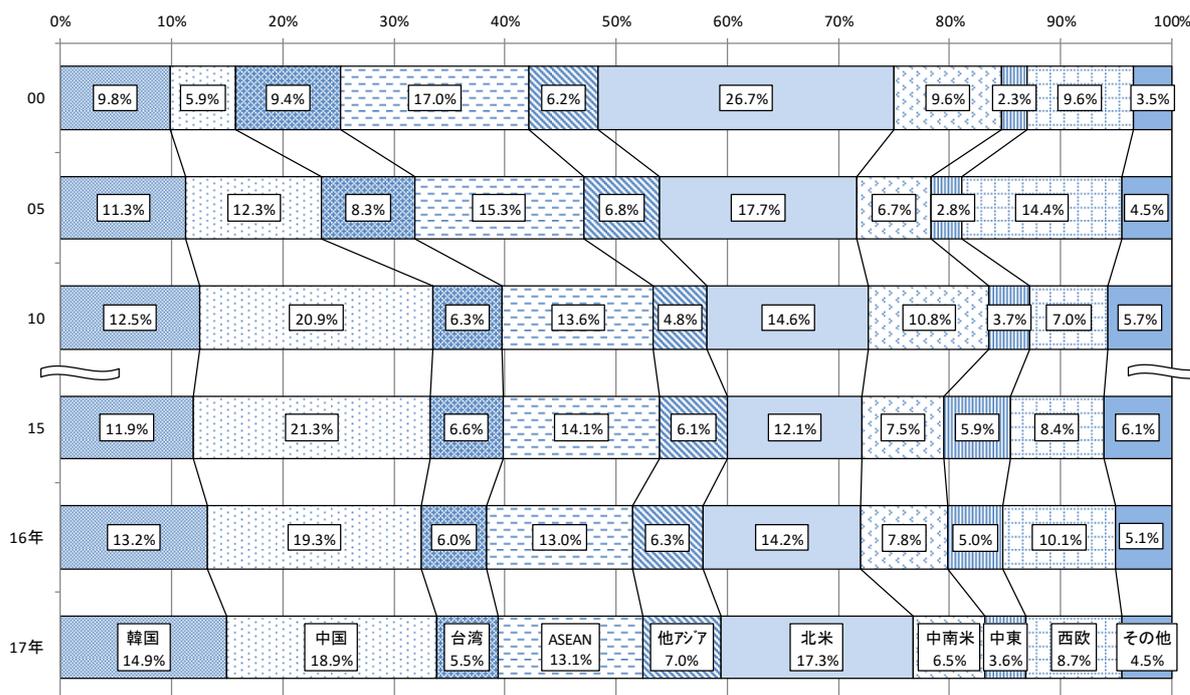


寄与度（増加分）：米国（+6.2%）、韓国（+4.9%）、中国（+3.6%）、香港（+1.7%）等

寄与度（減少分）：サウジアラビア（▲0.7%）、スペイン（▲0.1%）等

図表 1-2-3 九州の輸出相手国・地域の推移

（単位：％）



図表 1-2-2～3 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-2-4 九州の全国比が高い輸出品目（2017年）

（単位：億円、％）

順位	輸出品目（小分類）	輸出額 （九州）	輸出額 （全国）	全国比
1	軌条及びその他の鉄道線路建設材	322	381	84.6%
2	木材	116	199	58.1%
3	ゴムタイヤ及びチューブ	2,629	5,541	47.4%
4	セメント	178	402	44.2%
5	抗生物質製剤	106	267	39.5%
6	（コークス）	143	385	37.3%
7	船舶類	4,771	13,768	34.6%
8	メラミン樹脂	10	35	27.3%
9	二輪自動車類	870	3,872	22.5%
10	半導体等電子部品	8,360	40,225	20.8%
11	鉄鋼のフラットロール製品	4,157	20,481	20.3%
12	より線・綱及び網類	59	297	20.0%
13	織物用糸	240	1,232	19.5%
14	映像機器	944	4,871	19.4%
15	半導体等製造装置	4,611	25,502	18.1%
16	魚介類	287	1,596	18.0%
17	貯蔵用及び輸送用の金属製容器	20	139	14.7%
18	自動車	17,006	118,254	14.4%
19	チタン及び同合金	84	592	14.2%
20	銅及び同合金	982	7,098	13.8%
21	有機化合物	2,324	19,566	11.9%
22	（鉄鋼くず）	385	3,308	11.6%
23	有機合成染料及びレーキ顔料	58	527	10.9%
24	構造物及び同建設材	31	293	10.7%
25	ポリエチレン	103	998	10.3%
26	野菜	14	138	10.2%

備考：品目は2017年の九州の輸出額が10億円以上で、全国比が10.0%以上のものを掲載。

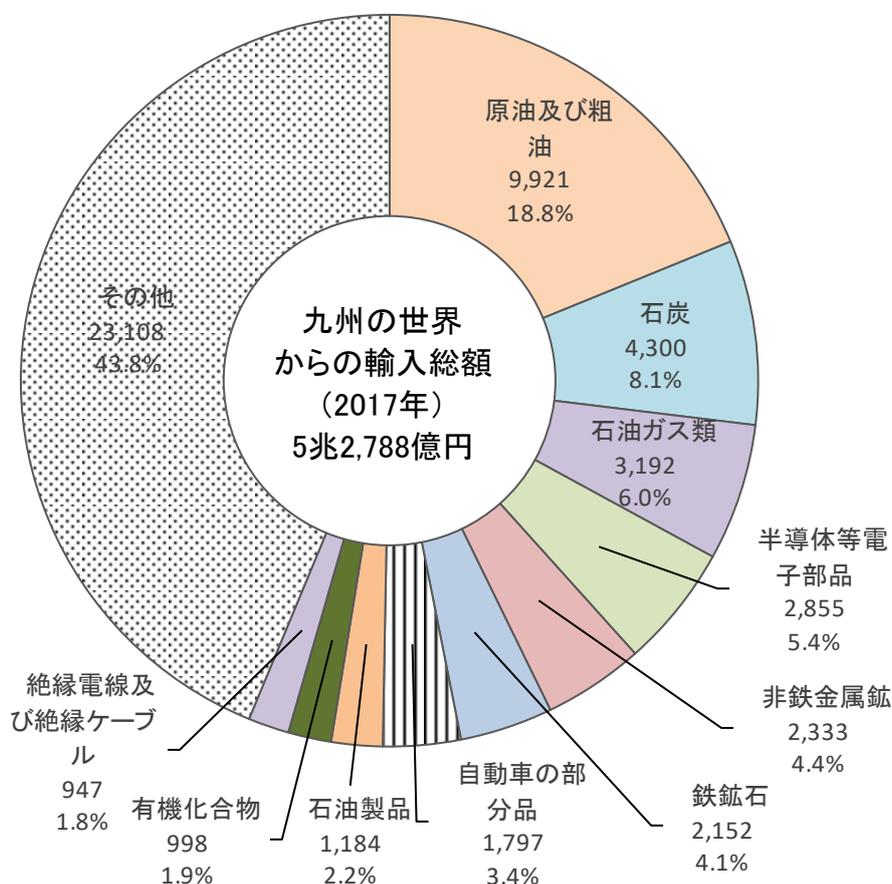
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

3. 九州の世界からの輸入動向

- 2017年の九州の世界からの輸入品目は、輸入額が多い順に、原油及び粗油、石炭、石油ガス類、半導体等電子部品、非鉄金属鉱となっており、鉱物性燃料と原材料が上位を占め、全体の4割を超えた。
- 輸入額は、原油及び粗油（寄与度：+5.7%）、石炭（同+2.9%）等が増加し、非鉄金属鉱（寄与度：▲1.1%）、ガラス及び同製品（同▲0.1%）等が減少し、その結果、前年より増加した。
- 2017年の九州の最大の輸入相手国は中国、次がオーストラリア、サウジアラビア、米国、台湾、韓国であった。2000年と比べると、中国や台湾の割合が増加した一方、中東の割合が減少した。

図表 1-3-1 九州の世界からの輸入品目

（単位：億円、%）

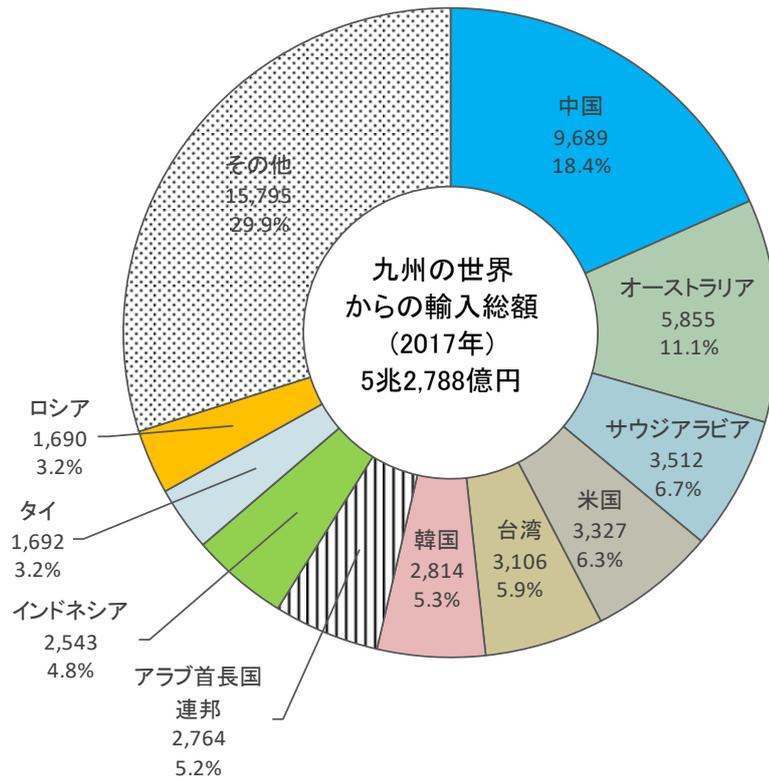


寄与度（増加分）：原油及び粗油（+5.7%）、石炭（+2.9%）等
 寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（▲1.1%）、ガラス及び同製品（▲0.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-3-2 九州の輸入相手国・地域（2017年）

（単位：億円、％）

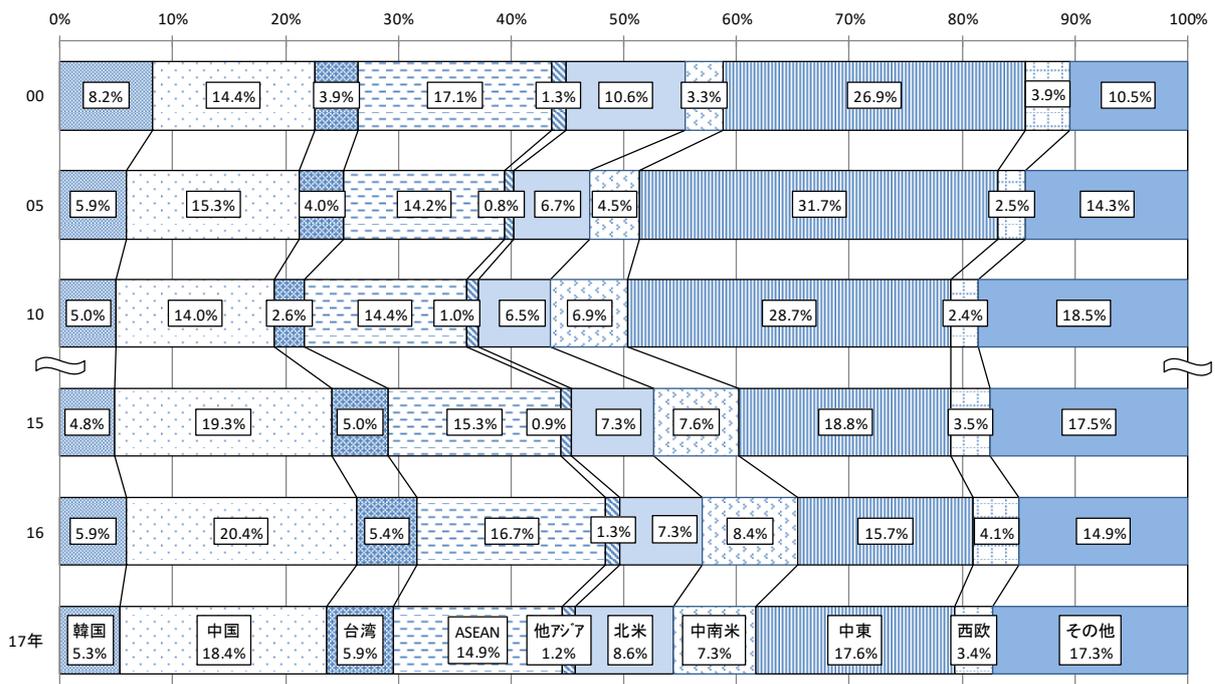


寄与度（増加分）：オーストラリア（+3.0%）、米国（+2.0%）、アラブ首長国連邦（+1.5%）、台湾（+1.5%）等

寄与度（減少分）：メキシコ（▲0.4%）、ブラジル（▲0.2%）等

図表 1-3-3 九州の輸入相手国・地域の推移

（単位：％）



図表 1-3-2～3 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-3-4 九州の全国比が高い輸入品目（2017年）

（単位：億円、％）

順位	輸入品目(小分類)	輸入額 (九州)	輸入額 (全国)	全国比
1	魚介類の粉、ミール及びペレット	168	279	60.4%
2	こうりゃん(飼料用)	45	82	54.2%
3	天然ゴム	618	1,485	41.6%
4	大麦及びはだか麦	117	304	38.4%
5	植物性油かす	338	892	37.9%
6	米	109	403	27.0%
7	とうもろこし	815	3,458	23.6%
8	綿花	41	182	22.8%
9	鉄鉱石	2,152	10,820	19.9%
10	自動車の部分品	1,797	9,328	19.3%
11	非鉄卑金属くず	317	1,722	18.4%
12	合成ゴム	81	460	17.7%
13	亜鉛及び同合金	20	115	17.5%
14	非鉄金属鉱	2,333	13,804	16.9%
15	石炭	4,300	25,703	16.7%
16	合金鉄	483	3,005	16.1%
17	馬	24	155	15.7%
18	鉄鋼製構造物及び同建設材	304	1,960	15.5%
19	すず及び同合金	99	658	15.1%
20	原油及び粗油	9,921	71,549	13.9%
21	絶縁電線及び絶縁ケーブル	947	7,472	12.7%
22	鉄鋼のフラットロール製品	431	3,561	12.1%
23	電気溶接器	30	250	11.9%
24	銅及び同合金	178	1,525	11.7%
25	小麦及びメスリン	189	1,715	11.0%
26	麦芽	34	308	11.0%
27	ゴム加工材料	38	352	10.9%
28	半導体等電子部品	2,855	27,966	10.2%
29	船舶類	86	847	10.1%

備考：品目は2017年の九州の輸入額が10億円以上で、全国比が10.0%以上のものを掲載。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第2章 九州と各国・地域の貿易

1. 九州と韓国の貿易

1-1. 韓国の経済概況

国名	大韓民国
面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

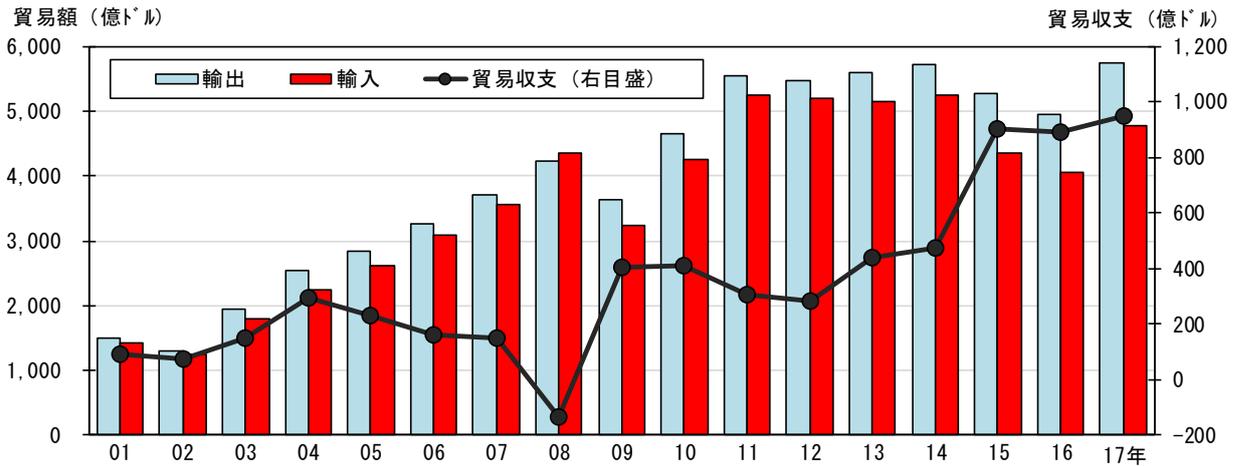
出所：外務省HP「国・地域」（基礎データ“一般事情”）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-1 韓国のマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.9	3.3	2.8	2.8	3.1
名目GDP総額	十億ドル	1,306	1,411	1,383	1,411	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	25,890	27,811	27,105	27,535	-
輸出額	億ドル	5,596	5,727	5,268	4,954	5,737
	前年比(%)	2.1	2.3	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8
輸入額	億ドル	5,156	5,255	4,365	4,062	4,785
	前年比(%)	▲ 0.8	1.9	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8
貿易収支	億ドル	440	472	903	892	952
対日貿易収支	億ドル	▲ 254	▲ 216	▲ 203	▲ 231	▲ 283
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.7	0.2	▲ 0.3	2.3	1.8
失業率	(%)	3.1	3.5	3.6	3.7	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	1.3	1.3	0.7	1.0	1.9
直接投資受入額	億ドル	145	190	209	213	229*
為替レート(1ドル)	ウォン	1,094.85	1,052.96	1,131.16	1,160.43	1,130.43
為替レート(1ウォン)	円	0.09	0.10	0.10	0.09	0.10

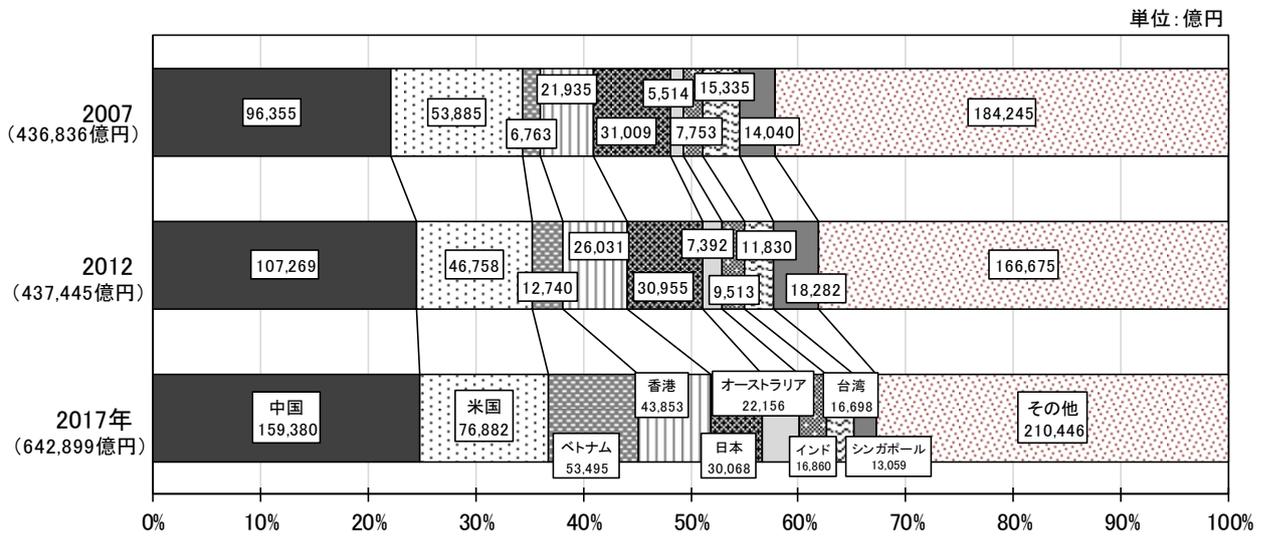
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成30年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-2 韓国の対外貿易額の推移

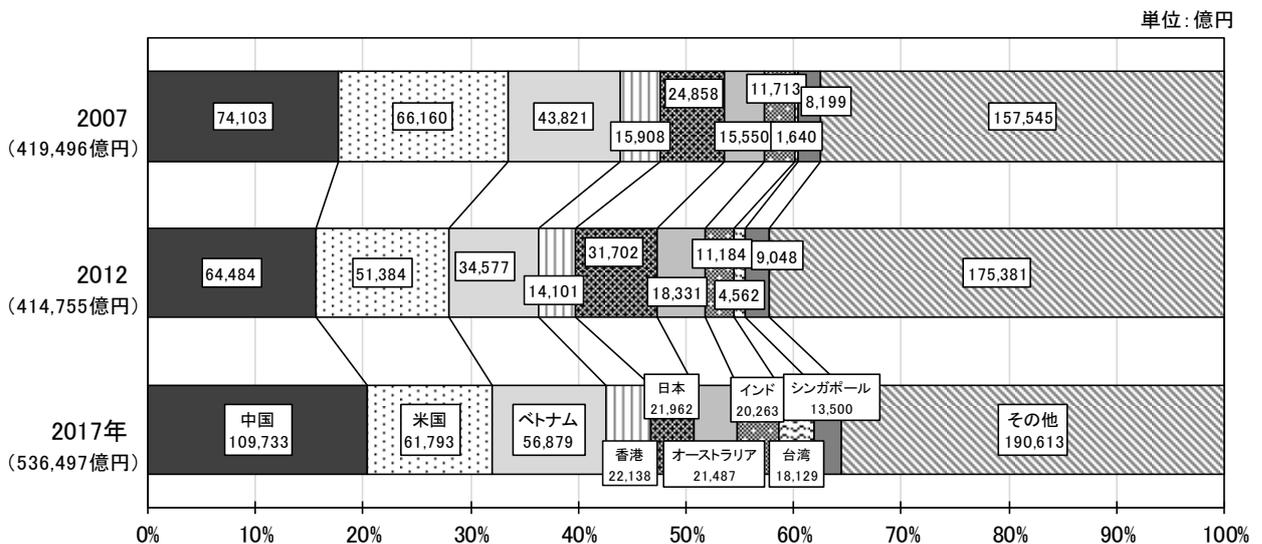


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-3 韓国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-1-4 韓国の輸入相手国・地域の推移

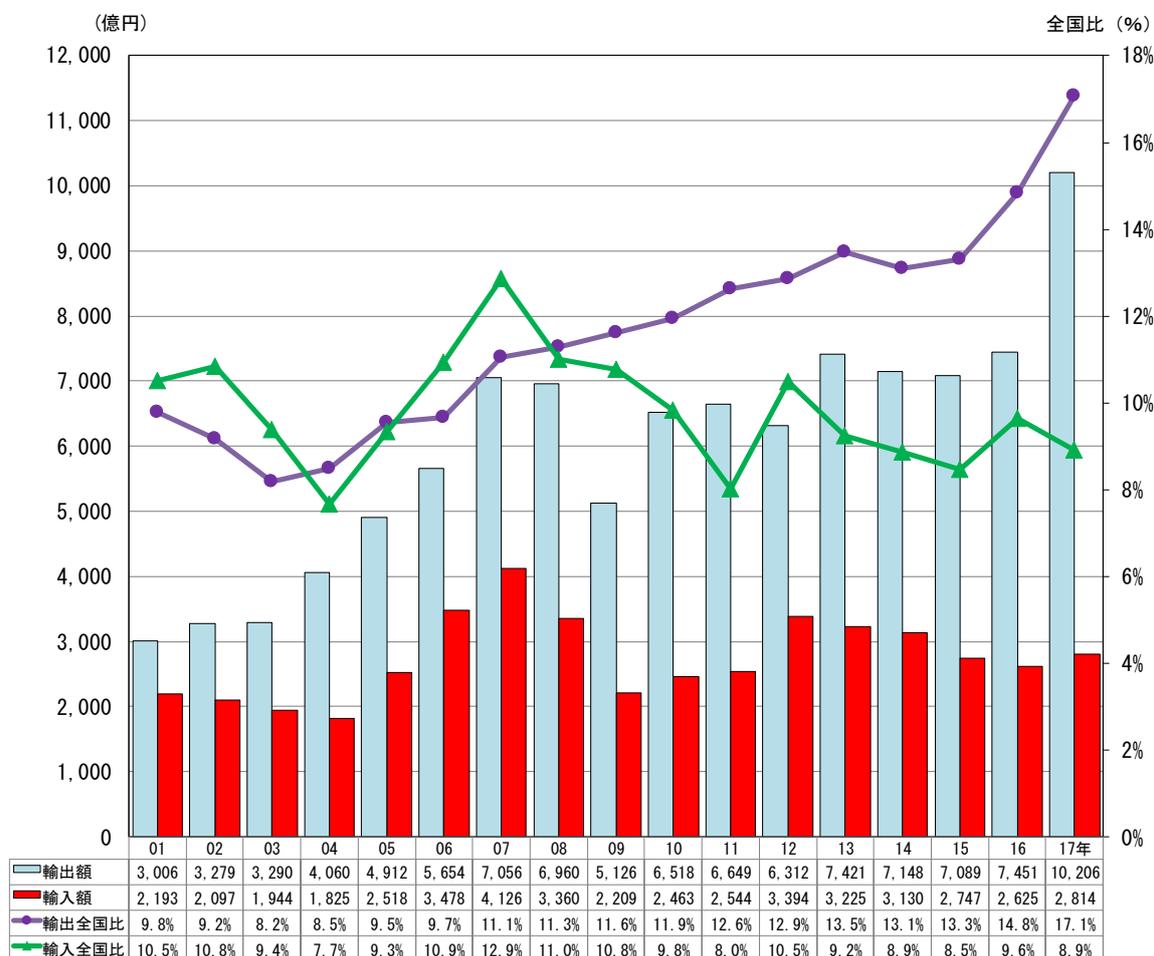


図表 2-1-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

1-2. 九州と韓国の貿易動向

- 2017年の九州の対韓国貿易額は、輸出が1兆206億円（前年比37.0%増）で前年より増加し、2年連続の増加となった。一方、輸入も2,814億円（前年比7.2%増）で前年より増加し、5年ぶりに増加へ転じた。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等製造装置、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等製造装置（寄与度：+15.6%）、半導体等電子部品（同+9.8%）等であった。一方、減少では、原動機（同▲0.9%）、銅及び同合金（同▲0.5%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、自動車の部分品、石油製品であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼のフラットロール製品（寄与度：+4.8%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（同+2.6%）等であった。一方、減少では、石油製品（同▲3.1%）、半導体等電子部品（同▲1.1%）等であった。

図表 2-1-5 九州の対韓国貿易額の推移

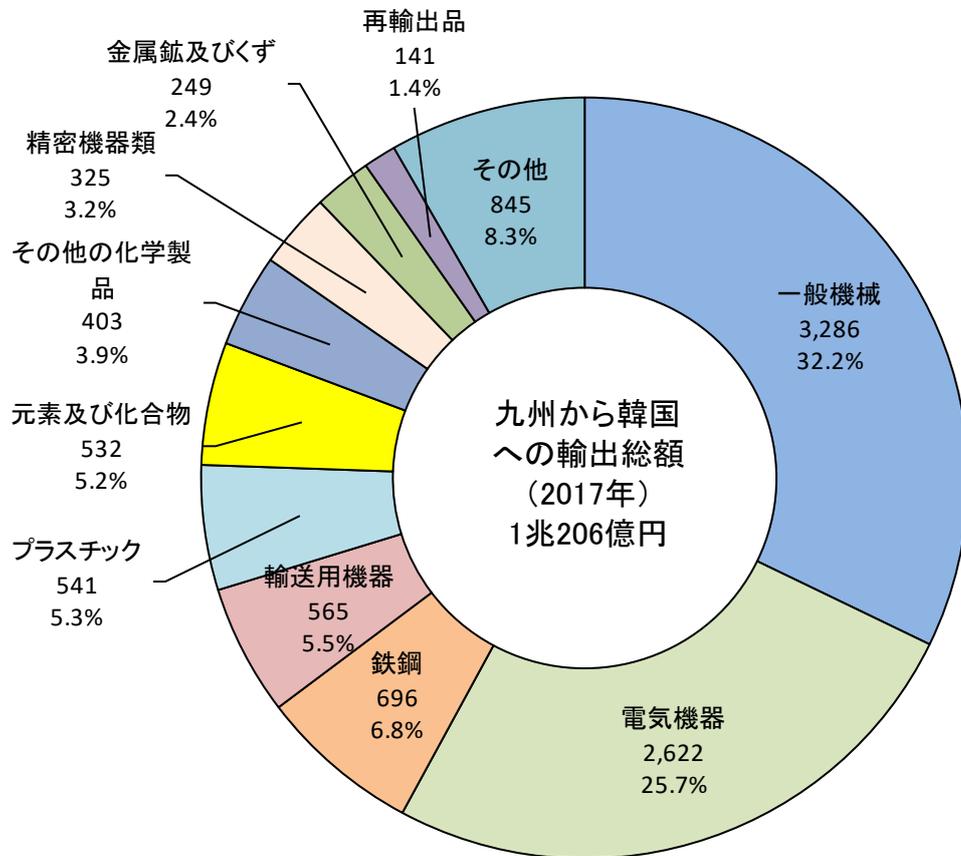


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-1-6 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等製造装置	一般機械	2,868	28.1%
半導体等電子部品	電気機器	2,191	21.5%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	635	6.2%
自動車	輸送用機器	506	5.0%
有機化合物	元素及び化合物	467	4.6%
科学光学機器	精密機器類	325	3.2%
鉄鋼くず	金属鋳及びびくず	216	2.1%
電気回路等の機器	電気機器	92	0.9%
映像機器	電気機器	81	0.8%
電気計測機器	電気機器	81	0.8%
その他		2,745	26.9%
総 額		10,206	100%

寄与度 (増加分) : 半導体等製造装置 (+15.6%)、半導体等電子部品 (+9.8%) 等

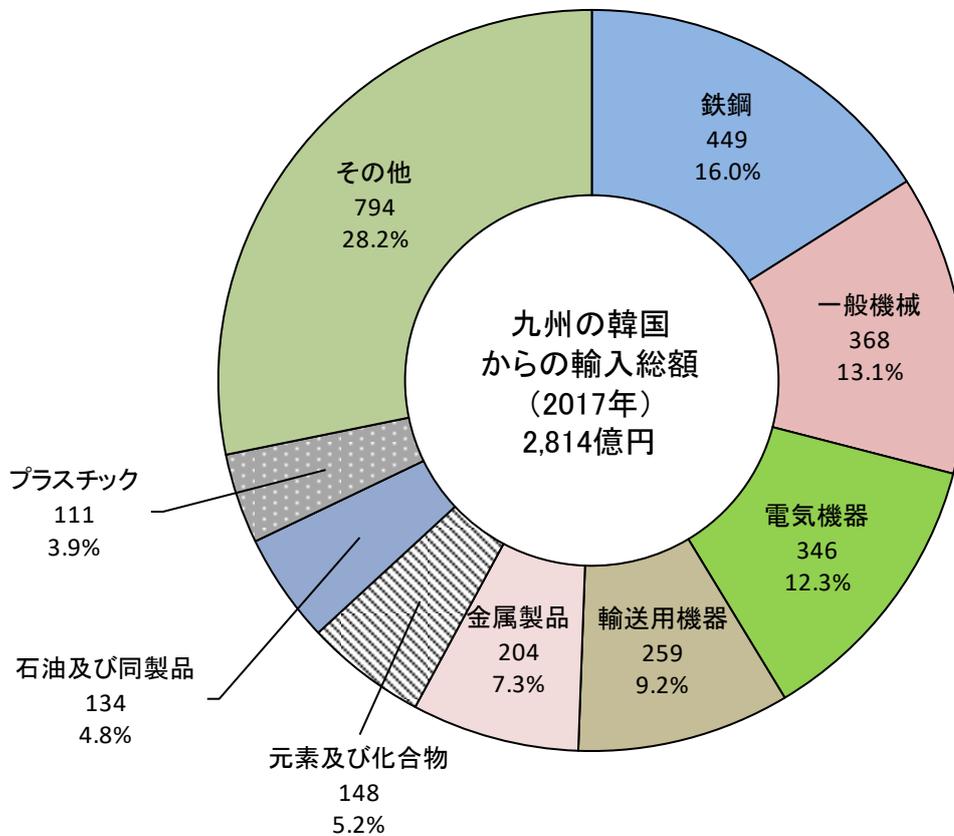
寄与度 (減少分) : 原動機 (▲0.9%)、銅及び同合金 (▲0.5%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-7 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	393	14.0%
自動車の部分品	輸送用機器	254	9.0%
石油製品	石油及び同製品	134	4.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	金属製品	128	4.5%
半導体等電子部品	電気機器	121	4.3%
有機化合物	元素及び化合物	118	4.2%
半導体等製造装置	一般機械	86	3.1%
原動機	一般機械	77	2.7%
野菜	果実及び野菜	64	2.3%
抗生物質製剤	医薬品	54	1.9%
その他		1,384	49.2%
総 額		2,814	100%

寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+4.8%)、鉄鋼製構造物及び同建設材 (+2.6%) 等

寄与度 (減少分)：石油製品 (▲3.1%)、半導体等電子部品 (▲1.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 九州と中国の貿易

2-1. 中国の経済概況

国名	中華人民共和国
面積	約960万km ² (日本の約26倍)
人口	約13.76億人
首都	北京
人種	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言語	漢語(中国語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの8.6%)、第二次産業(同39.8%)、第三次産業(同51.6%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。

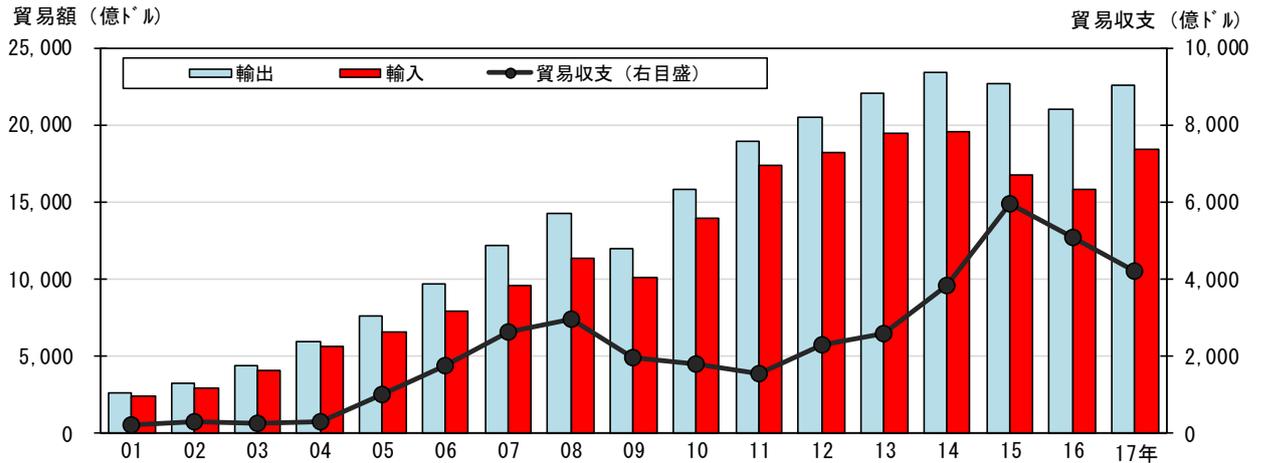
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.8	7.3	6.9	6.7	6.9
名目GDP総額	十億ドル	9,635	10,535	11,226	11,232	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	7,081	7,702	8,167	8,123	—
輸出額	億ドル	22,090	23,423	22,735	20,976	22,633
	前年比(%)	7.8	6.0	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9
輸入額	億ドル	19,500	19,592	16,796	15,879	18,419
	前年比(%)	7.2	0.5	▲ 14.3	▲ 5.5	16.0
貿易収支	億ドル	2,590	3,831	5,939	5,097	4,214
対日貿易収支	億ドル	▲ 120	▲ 135	▲ 72	▲ 159	▲ 283
鉱工業生産指数	前年比(%)	9.7	8.3	6.1	6.0	6.6
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9
消費者物価指数	前年比(%)	2.6	2.0	1.4	2.0	1.6
直接投資受入額	億ドル	2,909	2,681	2,425	1,706	—*
為替レート(1ドル)	人民元	6.20	6.14	6.23	6.65	6.76
為替レート(1人民元)	円	15.75	17.25	19.44	16.37	16.60

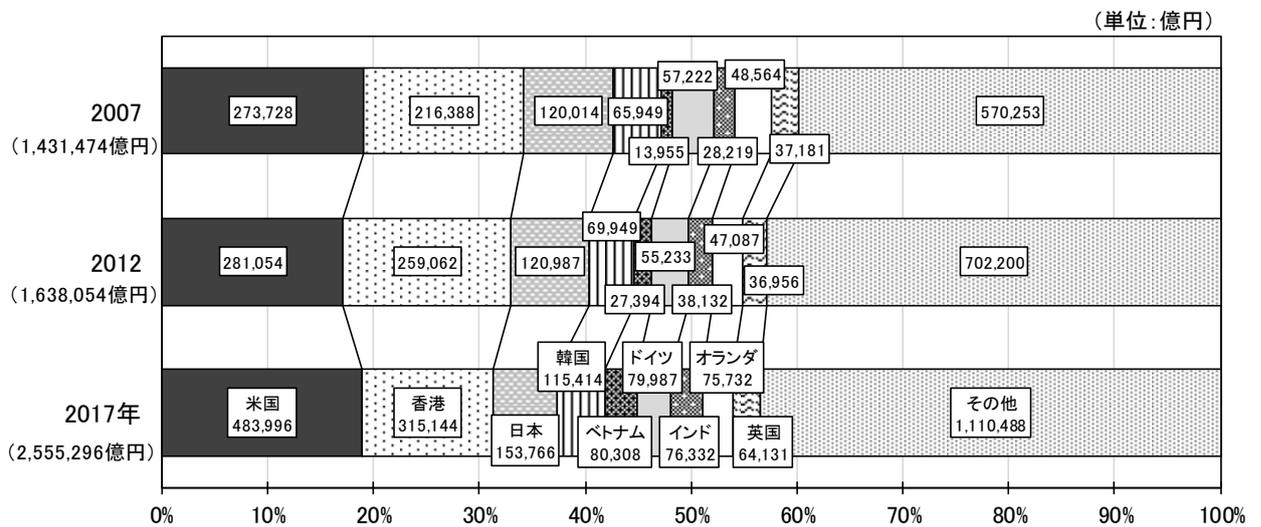
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-2-2 中国の対外貿易額の推移

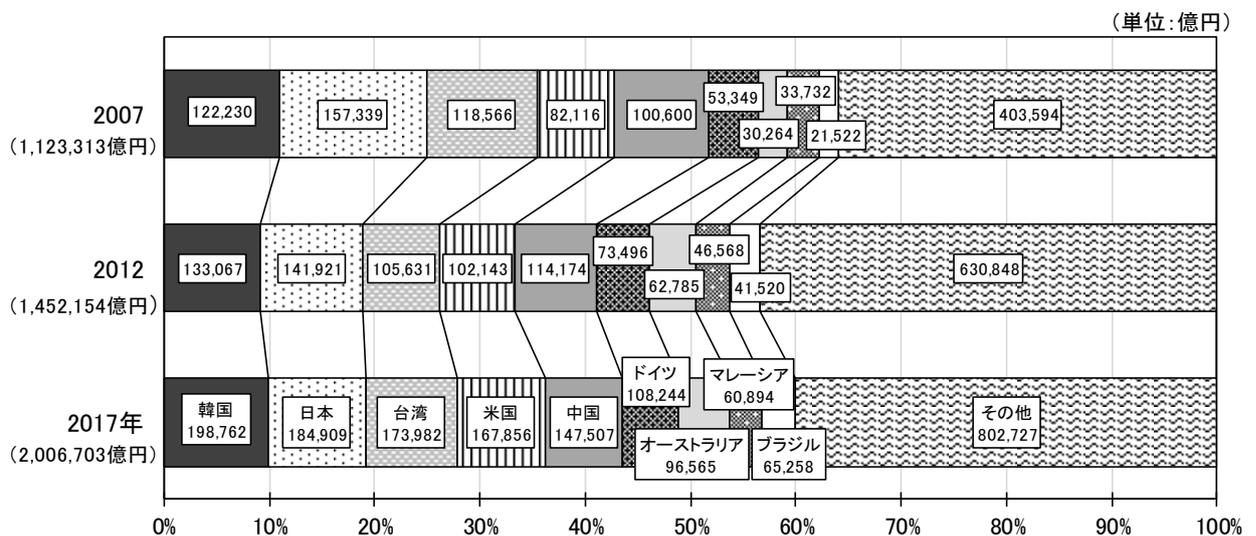


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-2-3 中国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-2-4 中国の輸入相手国・地域の推移

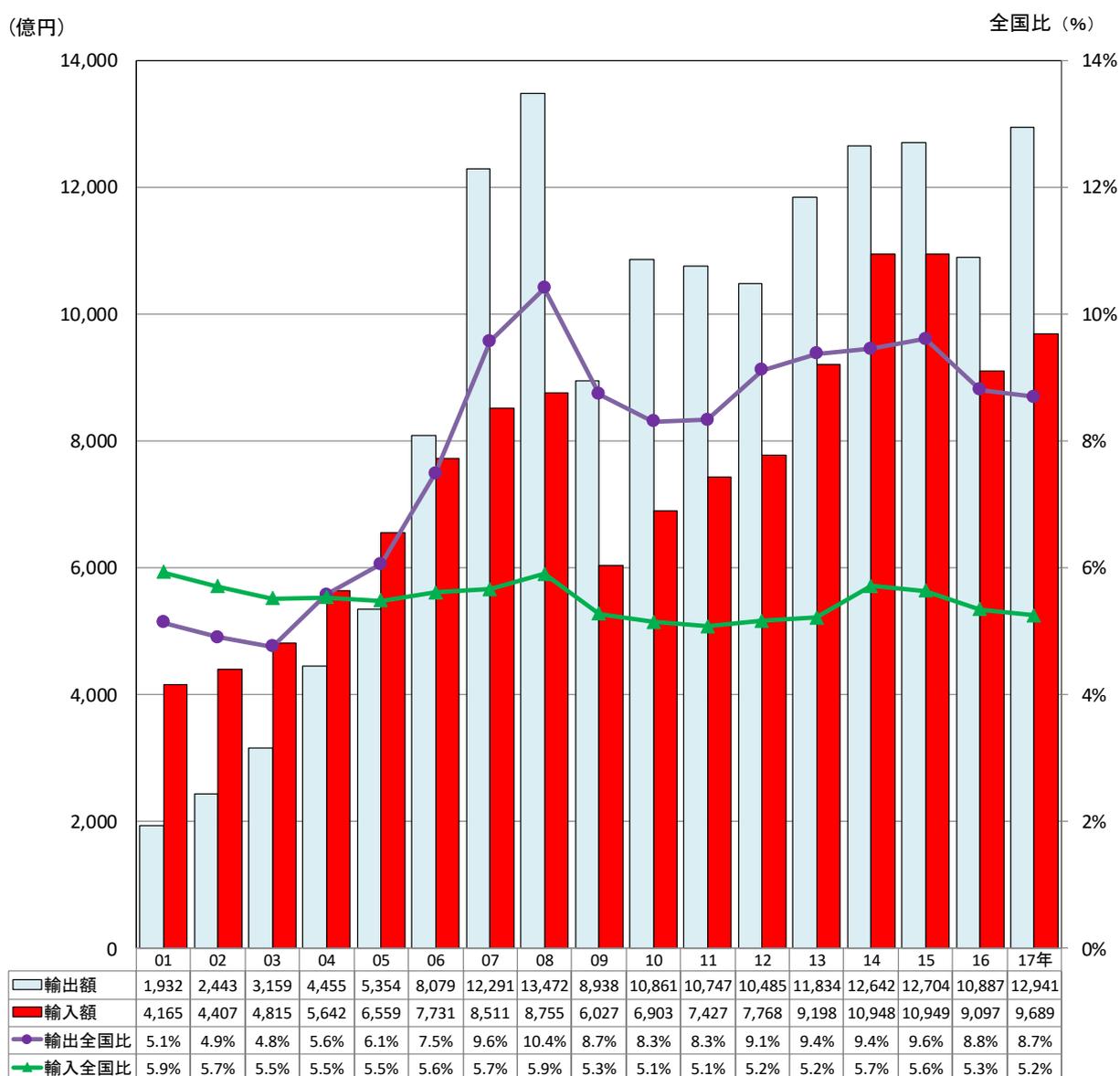


図表 2-2-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2-2. 九州と中国の貿易動向

- 2017年の九州の対中国貿易額は、輸出が1兆2,941億円（前年比18.9%増）で前年より増加した。一方、輸入も9,689億円（前年比6.5%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等製造装置、有機化合物であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+5.3%）、半導体等製造装置（同+4.8%）等であった。一方、減少では、銅及び同合金（同▲1.1%）、半導体等電子部品（同▲0.5%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、電気回路等の機器（寄与度：+1.5%）、無機化合物（同+1.2%）等であった。一方、減少では、半導体等電子部品（寄与度：▲1.4%）、植物性油かす（同▲1.0%）等であった。

図表 2-2-5 九州の対中国貿易額の推移

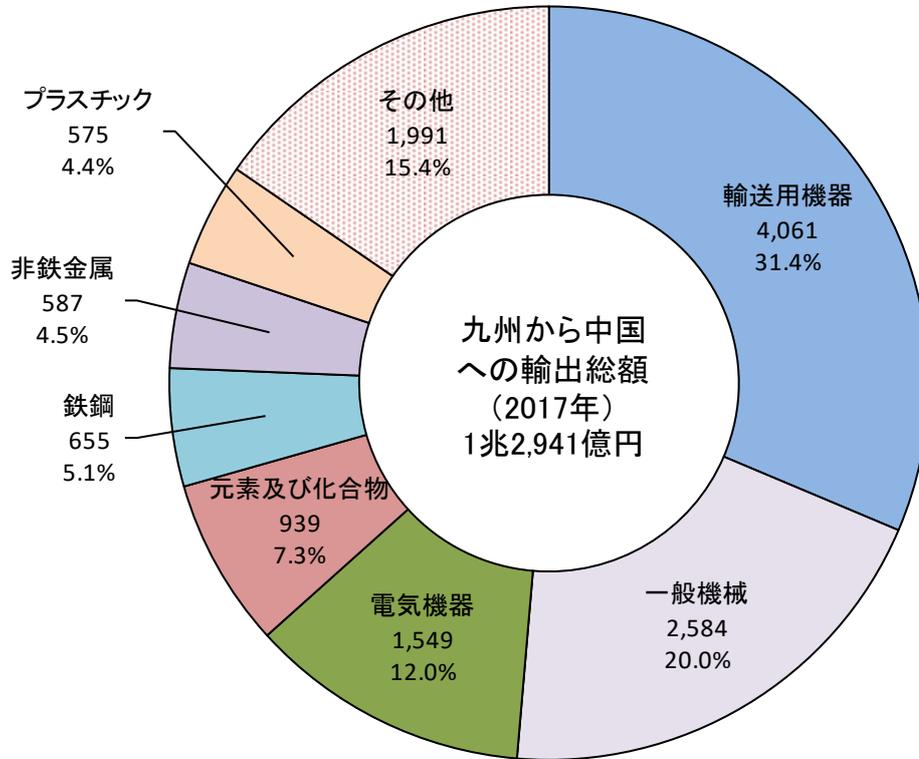


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-2-6 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	4,009	31.0%
半導体等製造装置	一般機械	1,422	11.0%
有機化合物	元素及び化合物	880	6.8%
半導体等電子部品	電気機器	865	6.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	592	4.6%
銅及び同合金	非鉄金属	545	4.2%
原動機	一般機械	482	3.7%
電気回路等の機器	電気機器	229	1.8%
科学光学機器	精密機器類	182	1.4%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	124	1.0%
その他		3,610	27.9%
総 額		12,941	100%

寄与度(増加分)：自動車 (+5.3%)、半導体等製造装置 (+4.8%) 等

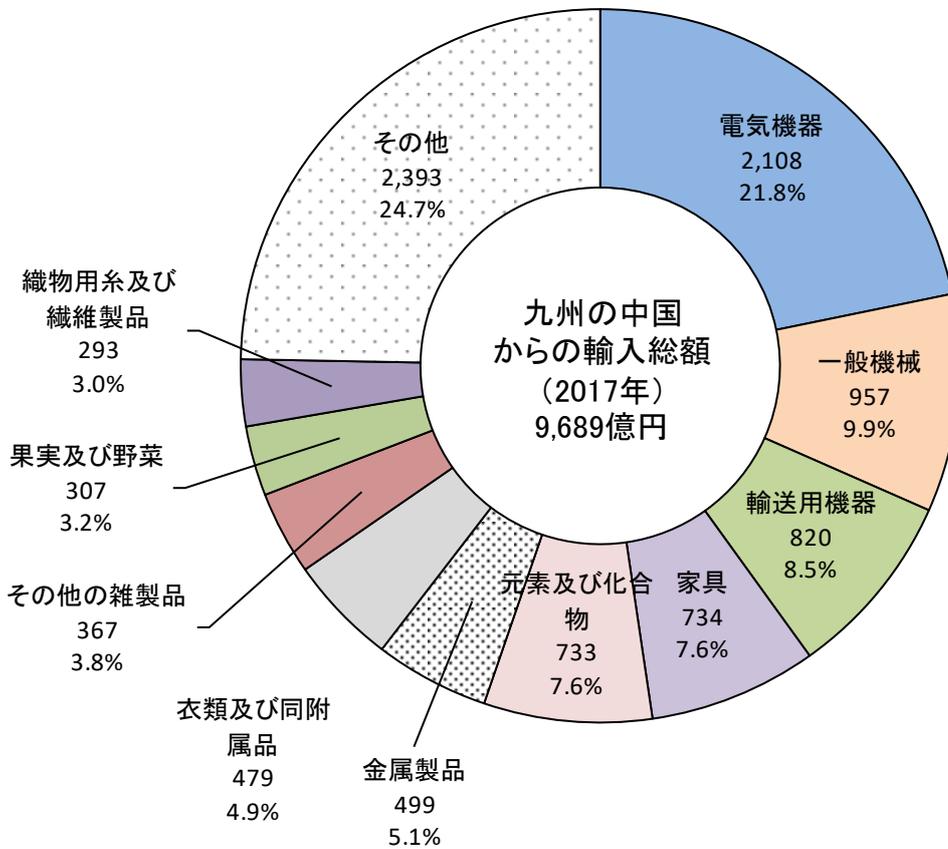
寄与度(減少分)：銅及同合金 (▲1.1%)、半導体等電子部品 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-7 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
自動車の部分品	輸送用機器	684	7.1%
半導体等電子部品	電気機器	546	5.6%
有機化合物	元素及び化合物	462	4.8%
電気回路等の機器	電気機器	371	3.8%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	261	2.7%
無機化合物	元素及び化合物	254	2.6%
野菜	果実及び野菜	241	2.5%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	222	2.3%
家庭用電気機器	電気機器	210	2.2%
プラスチック製品	その他の雑製品	201	2.1%
その他		6,237	64.4%
総 額		9,097	100%

寄与度(増加分)：電気回路等の機器 (+1.5%)、無機化合物 (+1.2%) 等

寄与度(減少分)：半導体等電子部品 (▲1.4%)、植物性油かす (▲1.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

3. 九州と台湾の貿易

3-1. 台湾の経済概況

国・地域名	台湾
面積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人口	約2,357万人(2018年3月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

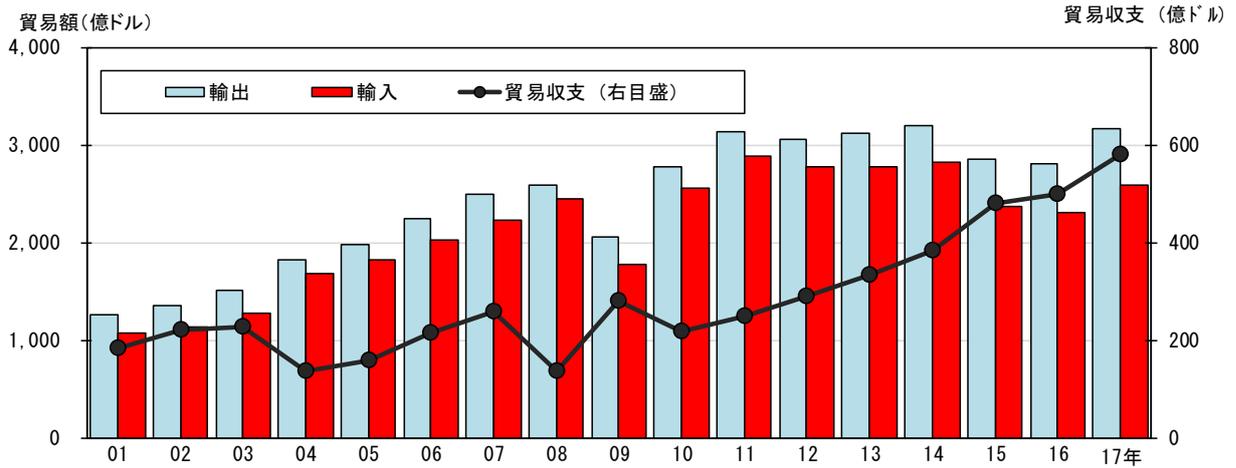
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-3-1 台湾のマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.2	4.0	0.8	1.4	2.9
名目GDP総額	十億ドル	512	531	525	530	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	21,888	22,639	22,358	22,497	-
輸出額	億ドル	3,114	3,201	2,853	2,803	3,172
	前年比(%)	1.6	2.8	▲ 10.9	▲ 1.8	13.2
輸入額	億ドル	2,780	2,819	2,372	2,306	2,593
	前年比(%)	0.2	1.4	▲ 15.8	▲ 2.8	12.4
貿易収支	億ドル	334	382	481	498	580
対日貿易収支	億ドル	▲ 243	▲ 218	▲ 193	▲ 211	▲ 212
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.7	6.4	▲ 1.7	1.5	2.9
失業率	(%)	4.2	4.0	3.8	3.9	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	0.8	1.2	▲ 0.3	1.4	0.6
直接投資受入額	億ドル	36	28	24	83	-*
為替レート(1ドル)	台湾元	29.77	30.37	31.91	32.33	30.44
為替レート(1台湾元)	円	3.28	3.49	3.79	3.37	3.68

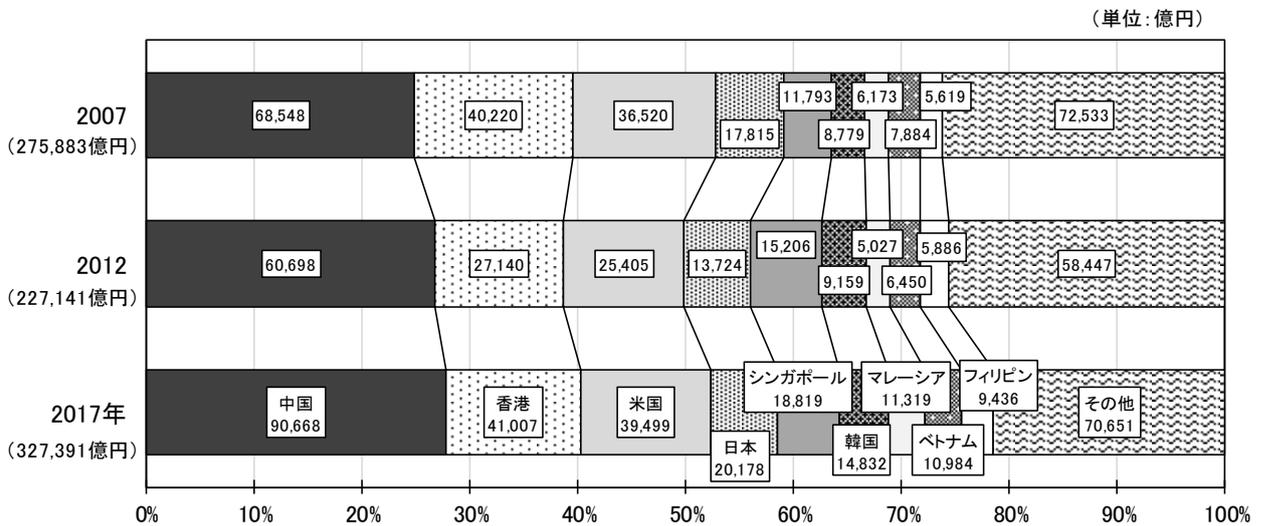
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-3-2 台湾の対外貿易額の推移

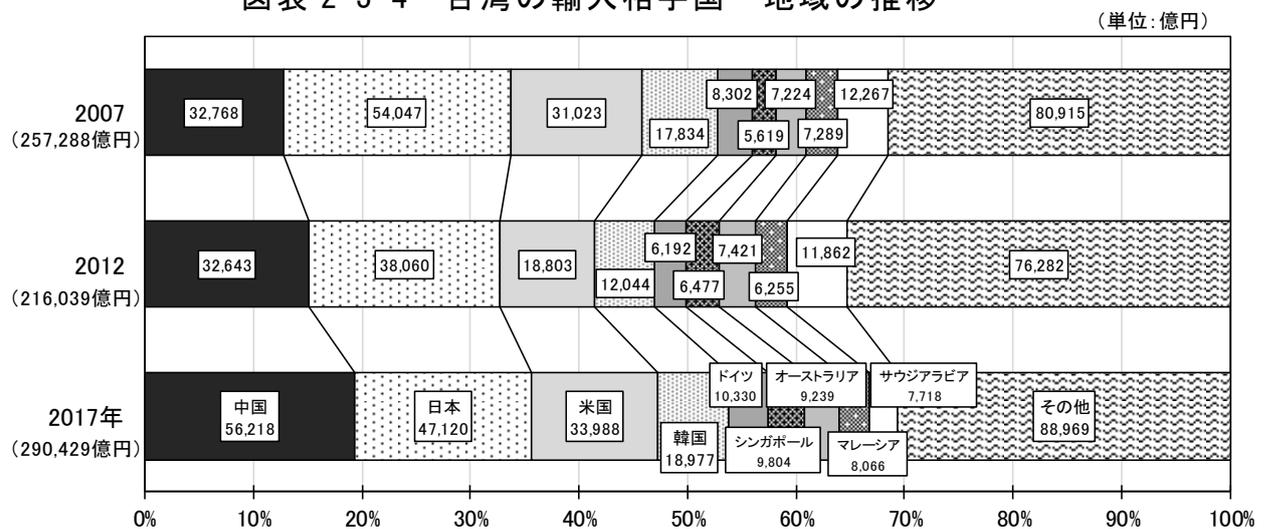


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-3-3 台湾の輸出相手国・地域の推移



図表 2-3-4 台湾の輸入相手国・地域の推移

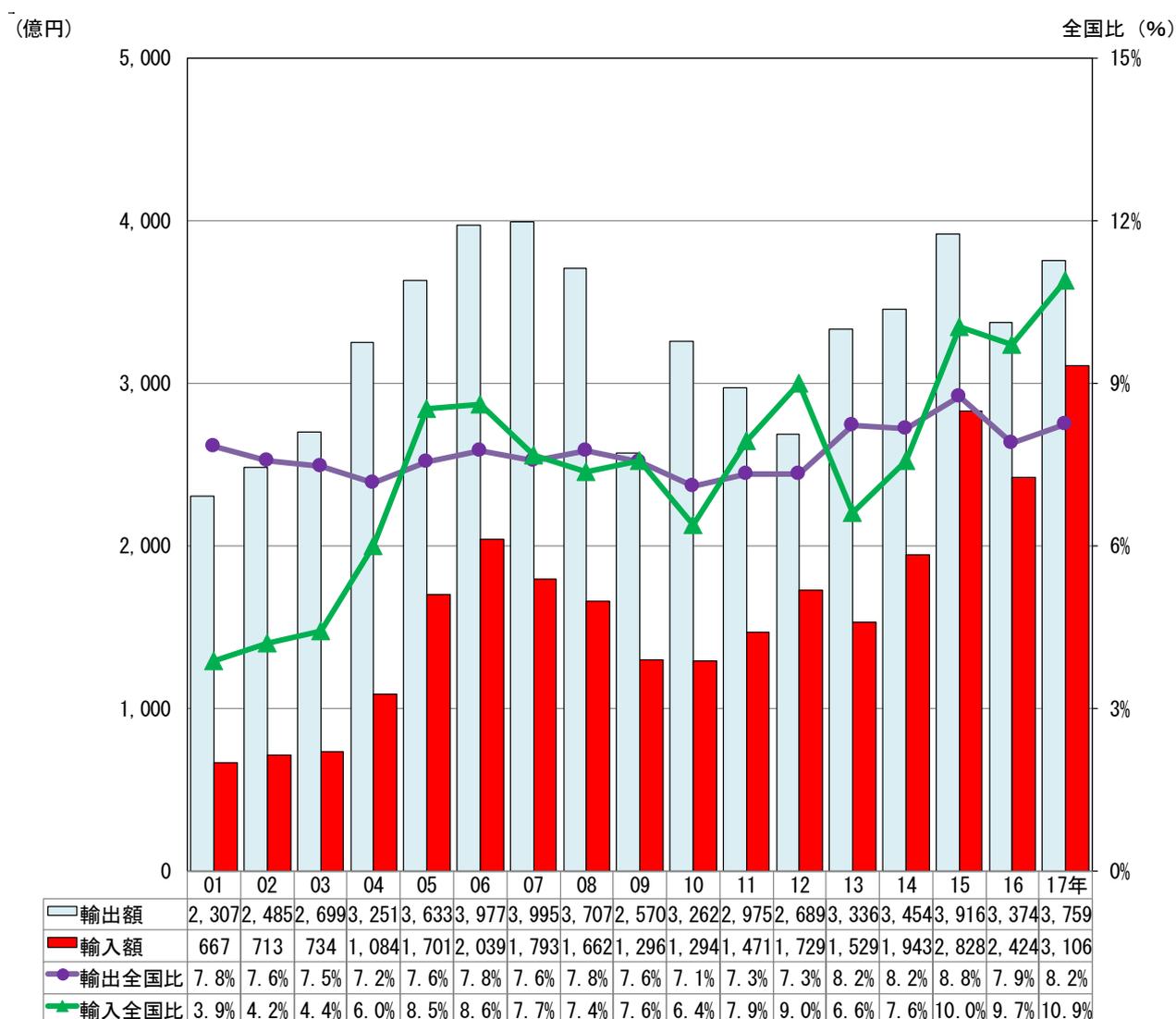


図表 2-3-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

3-2. 九州と台湾の貿易動向

- 2017年の九州の対台湾貿易額は、輸出が3,759億円（前年比11.4%増）で前年より増加した。一方、輸入も3,106億円（前年比28.1%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、有機化合物であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、原動機（寄与度：+4.8%）、銅及び同合金（同+2.1%）等であった。一方、減少では、半導体等製造装置（同▲3.2%）、有機化合物（同▲0.9%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、科学光学機器、非鉄卑金属くずであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+21.7%）、科学光学機器（同+0.9%）等であった。一方、減少では、有機化合物（同▲0.3%）、通信機（同▲0.2%）等であった。

図表 2-3-5 九州の対台湾貿易額の推移

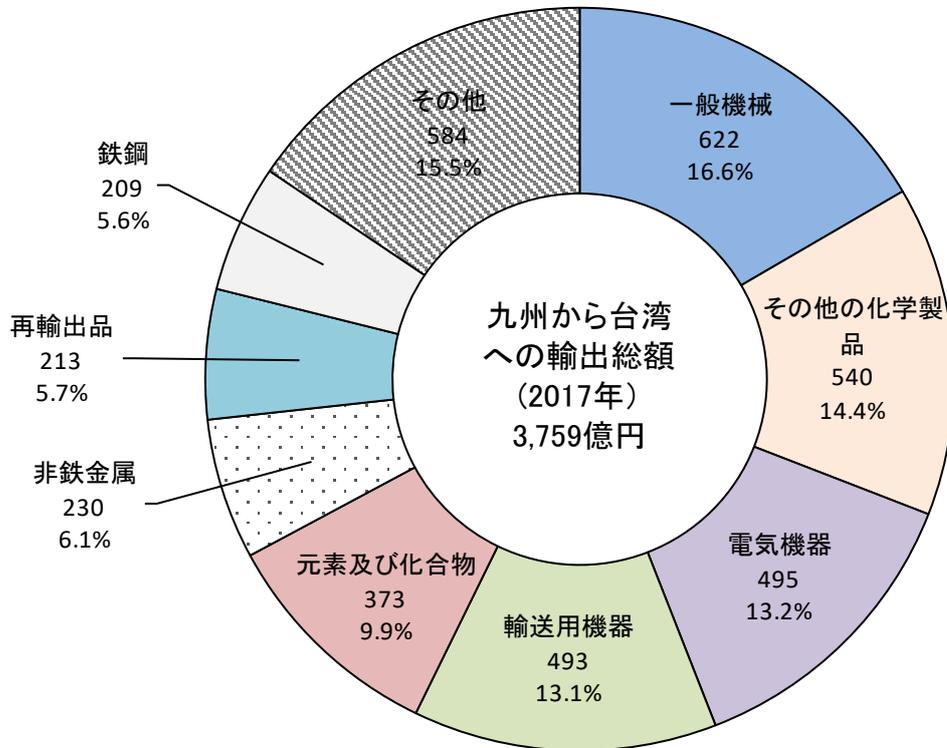


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-3-6 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	470	12.5%
半導体等電子部品	電気機器	388	10.3%
有機化合物	元素及び化合物	263	7.0%
半導体等製造装置	一般機械	220	5.9%
銅及び同合金	非鉄金属	190	5.1%
原動機	一般機械	160	4.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	138	3.7%
科学光学機器	精密機器類	109	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	97	2.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	83	2.2%
その他		1,639	43.6%
総 額		3,759	100.0%

寄与度 (増加分)：原動機 (+4.8%)、銅及び同合金 (+2.1%) 等

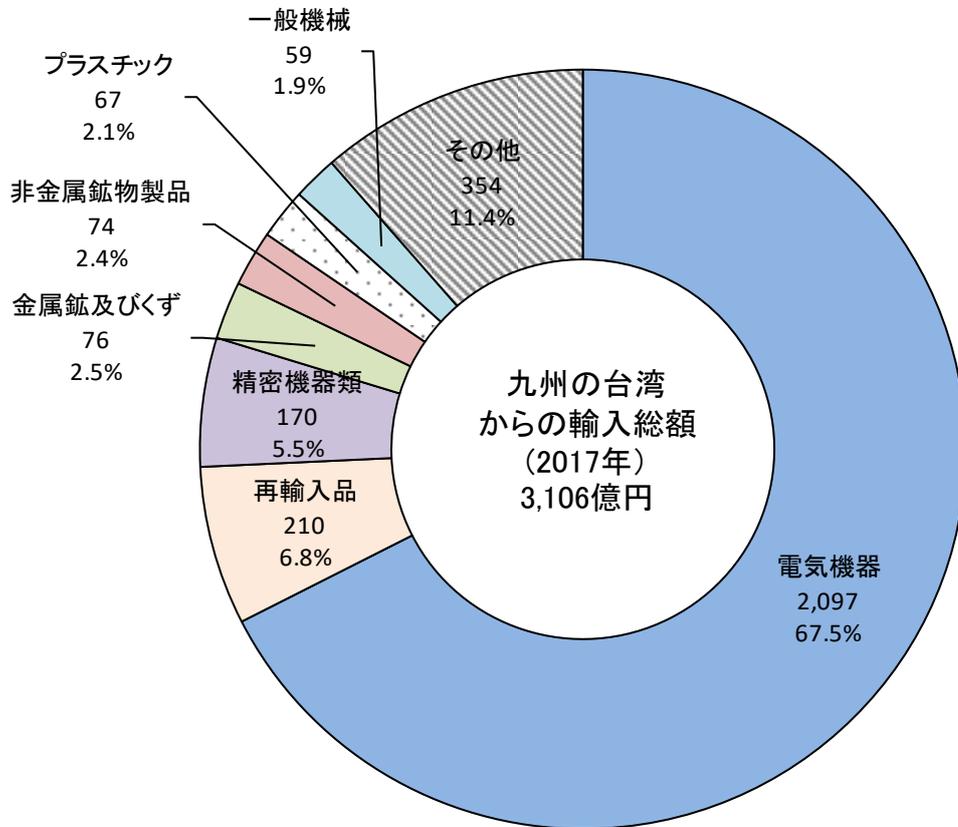
寄与度 (減少分)：半導体等製造装置 (▲3.2%)、有機化合物 (▲0.9%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-3-7 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	2,025	65.2%
科学光学機器	精密機器類	170	5.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	60	1.9%
有機化合物	元素及び化合物	41	1.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	25	0.8%
プラスチック製品	その他の雑製品	21	0.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	20	0.7%
重電機器	電気機器	18	0.6%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	17	0.5%
合成ゴム	生ゴム	13	0.4%
その他		696	22.4%
総 額		3,106	100%

寄与度 (増加分)：半導体等電子部品 (+21.7%)、科学光学機器 (+0.9%) 等

寄与度 (減少分)：有機化合物 (▲0.3%)、通信機 (▲0.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

4. 九州と香港の貿易

4-1. 香港の経済概況

国・地域名	香港
面積	1,106km ² (東京都の約半分)
人口	約734万人(2016年)
人種	中国系(約91%)
言語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region: SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

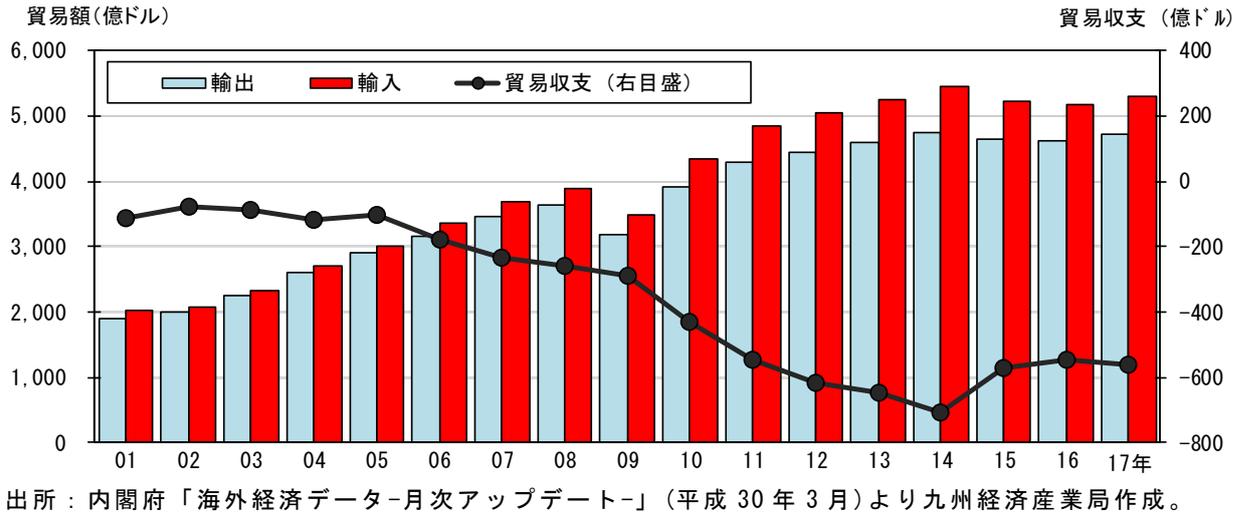
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-4-1 香港のマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.1	2.8	2.4	2.1	3.8
名目GDP総額	十億ドル	276	291	309	321	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	38,233	40,186	42,328	43,561	—
輸出額	億ドル	4,593	4,740	4,655	4,626	4,730
	前年比(%)	2.7	3.2	▲ 1.8	▲ 0.6	2.3
輸入額	億ドル	5,241	5,449	5,226	5,170	5,292
	前年比(%)	2.7	4.0	▲ 4.1	▲ 1.1	2.4
貿易収支	億ドル	▲ 648	▲ 709	▲ 571	▲ 544	▲ 561
対日貿易収支	億ドル	▲ 195	▲ 203	▲ 202	▲ 185	— *
製造業生産指数	前年比(%)	0.8	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 0.4	0.4
失業率	(%)	3.4	3.3	3.3	3.4	3.1
消費者物価指数	前年比(%)	3.4	4.4	3.0	2.4	1.5
直接投資受入額	億ドル	14,634	16,394	17,673	17,855	— *
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.76	7.75	7.75	7.76	7.79
為替レート(1香港ドル)	円	12.58	13.66	15.62	14.02	14.39

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*1はジェットロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-4-2 香港の対外貿易額の推移



図表 2-4-3 香港の輸出相手国・地域の推移

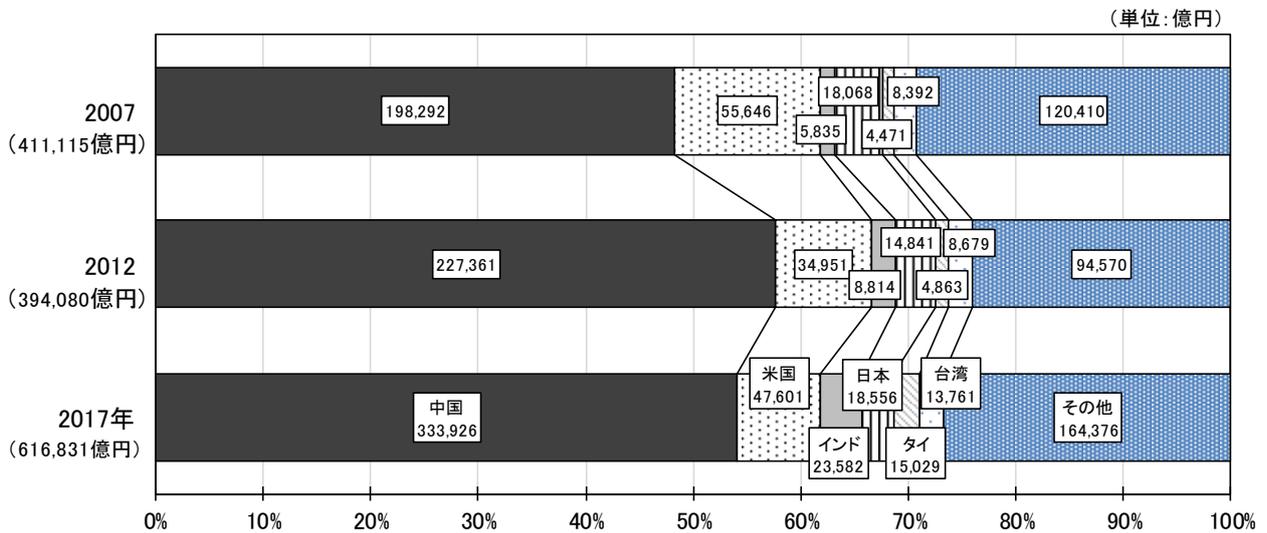
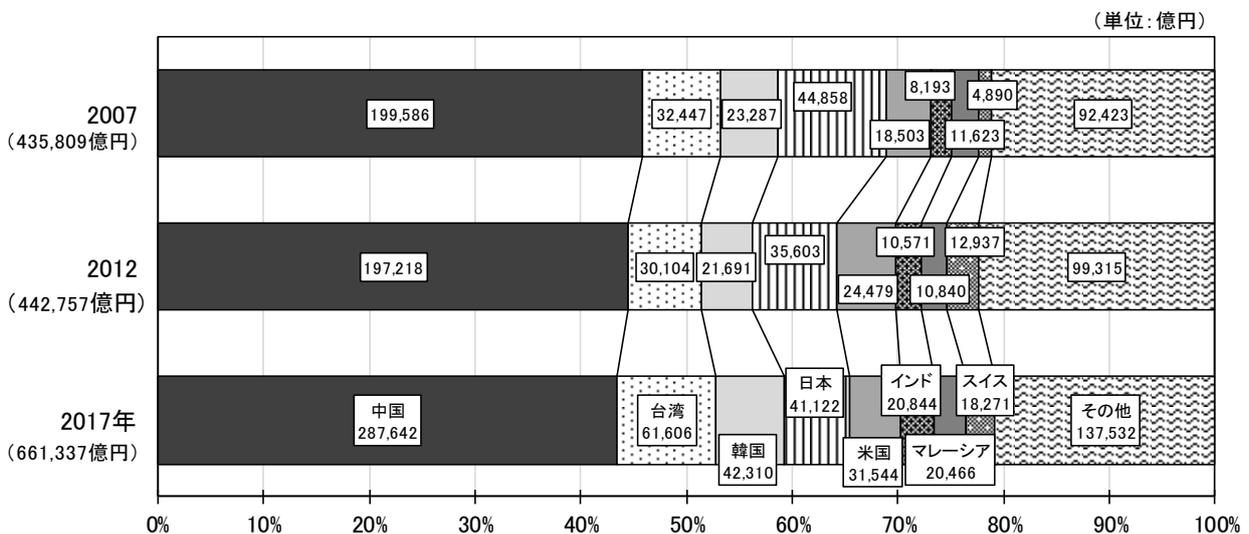


表 2-4-4 香港の輸入相手国・地域の推移

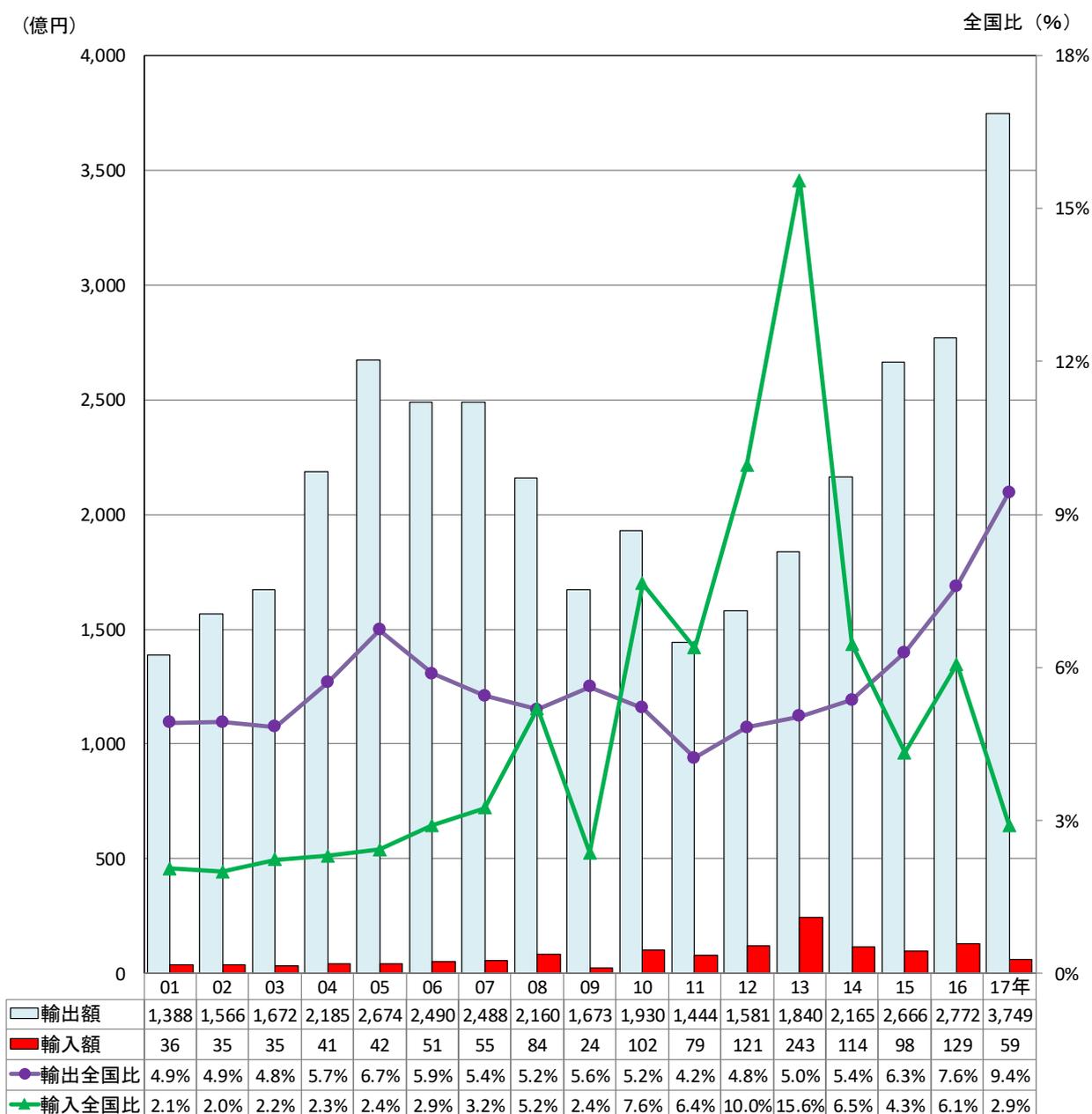


図表 2-4-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

4-2. 九州と香港の貿易動向

- 2017年の九州の対香港貿易額は、輸出が3,749億円（前年比35.3%増）で前年より増加し、6年連続の増加となった。一方、輸入は59億円（前年比53.8%減）で前年の半分以下に大きく減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、船舶類、電気回路等の機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+29.1%）、船舶類（同+5.1%）等であった。一方、減少では、映像機器（同▲1.6%）、半導体等製造装置（同▲0.6%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、魚介類、鉄鋼くず、非鉄卑金属くずであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼くず（寄与度：+6.7%）、半導体等電子部品（同+0.8%）等であった。一方、減少では、魚介類（同▲62.8%）、非鉄卑金属くず（同▲1.7%）等であった。

図表 2-4-5 九州の対香港貿易額の推移

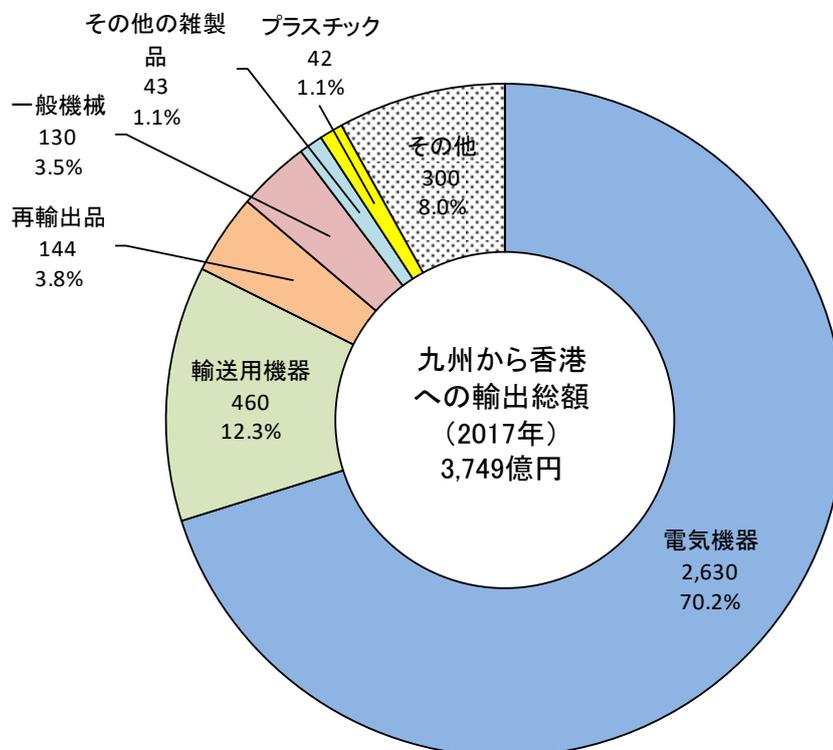


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-4-6 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	2,435	64.9%
船舶類	輸送用機器	423	11.3%
電気回路等の機器	電気機器	131	3.5%
建設用・鉱山用機械	一般機械	67	1.8%
自動車	輸送用機器	35	0.9%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	27	0.7%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	25	0.7%
貴石等の製品類	その他の雑製品	23	0.6%
映像機器	電気機器	22	0.6%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	22	0.6%
その他		539	14.4%
総額		3,749	100.0%

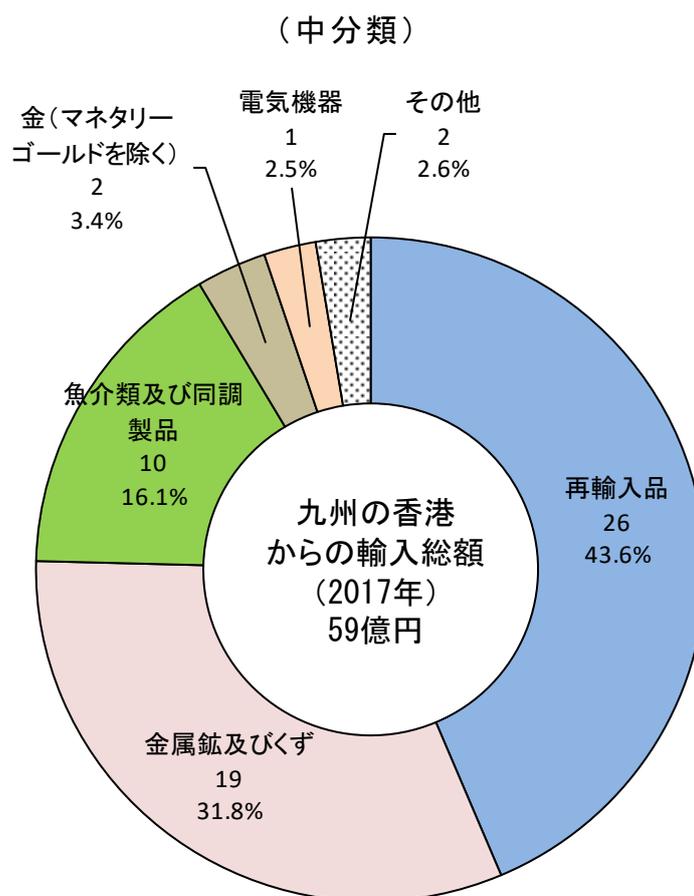
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+29.1%）、船舶類（+5.1%）等

寄与度（減少分）：映像機器（▲1.6%）、半導体等製造装置（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-7 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	10	16.1%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	9	14.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	5	8.8%
半導体等電子部品	電気機器	1.0	1.7%
半導体等製造装置	一般機械	0.4	0.7%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	0.3	0.5%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	0.2	0.3%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.1	0.2%
通信機	電気機器	0.1	0.2%
貴石及び半貴石	非金属鉱物製品	0.1	0.1%
その他		33.9	57.0%
総 額		59	100.0%

寄与度 (増加分)：鉄鋼くず (+6.7%)、半導体等電子部品 (+0.8) 等

寄与度 (減少分)：魚介類 (▲62.8%)、非鉄卑金属くず (▲1.7%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

5. 九州とASEANの貿易

5-1. ASEANの経済概況

名 称	東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations)
設 立	1967年8月8日(於:バンコク)
事 務 局	ジャカルタ 事務総長:リム・ジョクホイ(2018年~)
加 盟 国	10ヶ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)

出所: 日本 ASEAN センター「ASEAN 情報マップ」

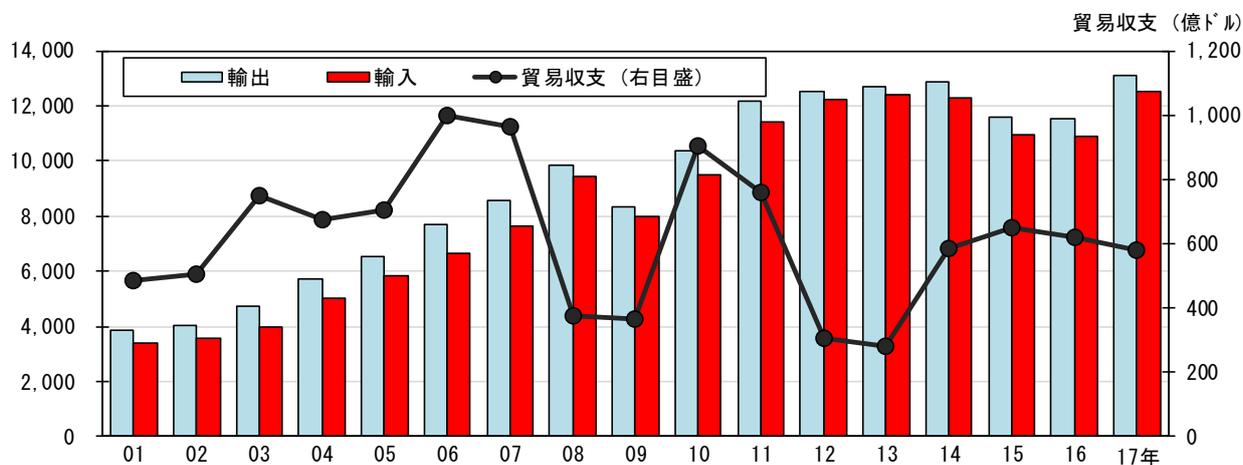
図表 2-5-1 世界の地域経済圏との比較 (2016年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	64,051	25,559	3,990	22,425
欧州連合 (EU)	28か国	51,039	164,935	32,316	106,409
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	48,978	213,362	43,563	52,759
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,324	27,128	9,251	5,182

出所: UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考: NAFTA 加盟国 (アメリカ、カナダ、メキシコ)、MERCOSUR 加盟国 (アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)

図表 2-5-2 ASEANの対外貿易額の推移

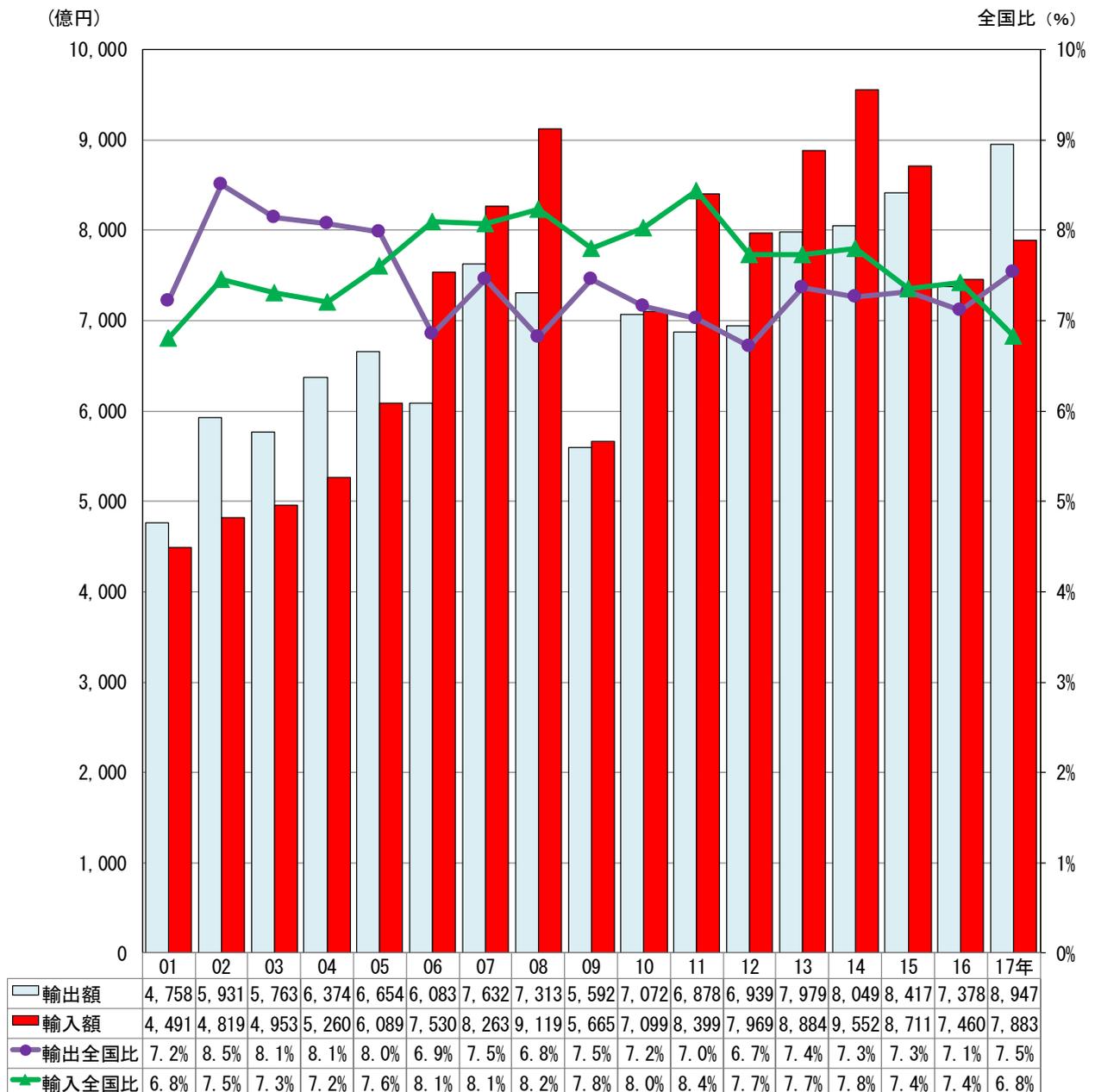


出所: ジェトロ「ASEAN10ヶ国貿易統計」、UNCTADstat より九州経済産業局作成。

5-2. 九州とASEANの貿易動向

- 2017年の九州の対ASEAN貿易額は、輸出が8,947億円（前年比21.3%増）で前年より増加した。一方、輸入も7,883億円（前年比5.7%増）で前年より増加し、3年ぶりに増加へ転じた。
- 輸出は、シンガポール向け2,123億円（前年比17.9%増）、タイ向け2,077億円（同26.8%増）等で増加し、2ヶ国（ミャンマー、ブルネイ）向けは減少した。一方、輸入は、インドネシアから2,543億円（同1.7%減）、タイから1,692億円（同11.2%増）等で増加し、3ヶ国（シンガポール、フィリピン、インドネシア）からは減少した。
- 輸出品目は、輸出額が大きい順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類であった。一方、輸入品目は、輸入額が大きい順に、石油ガス類、絶縁電線及び絶縁ケーブル、天然ゴムであった。

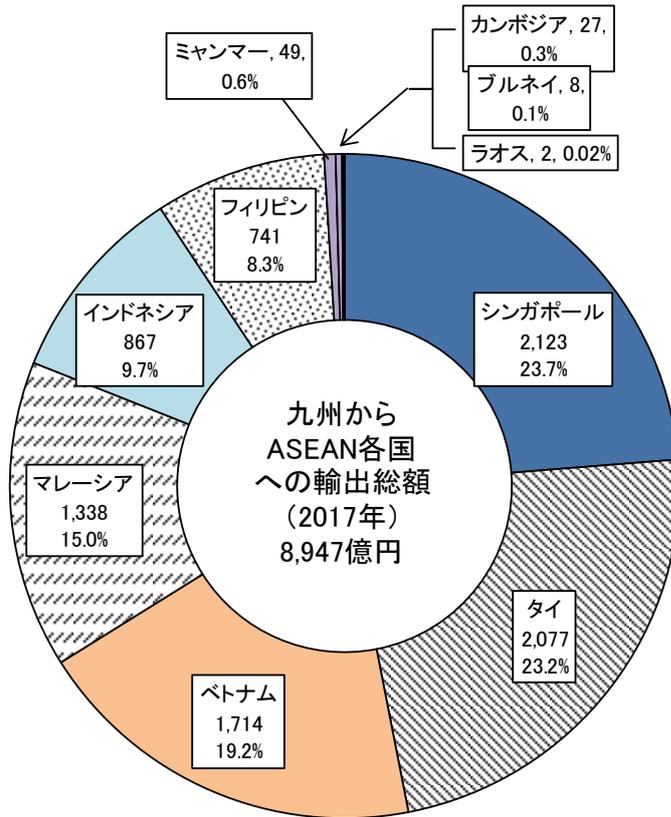
図表 2-5-3 九州の対ASEAN貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成。

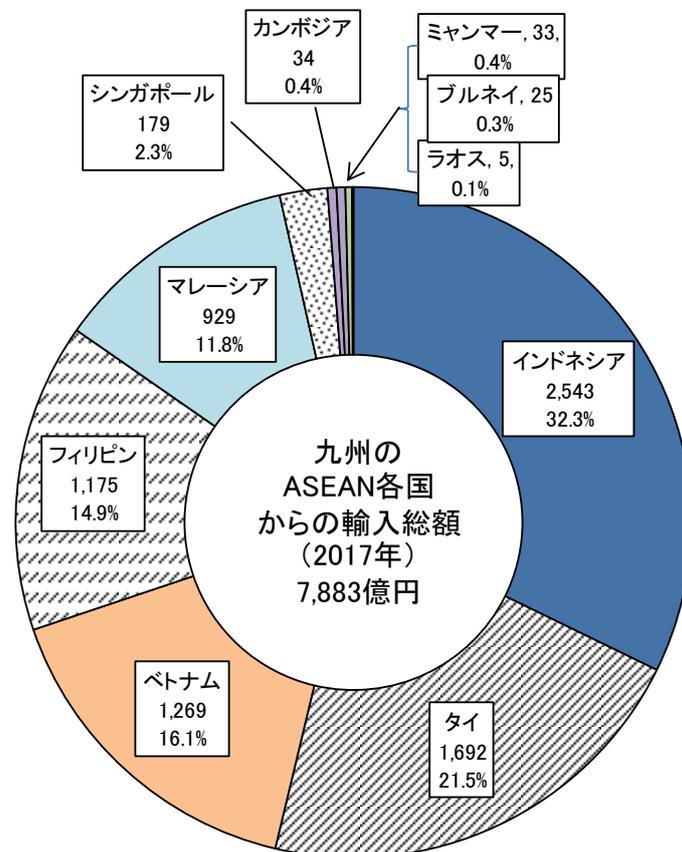
図表 2-5-4 九州から ASEAN への国別輸出額

(単位：億円、%)



図表 2-5-5 九州の ASEAN からの国別輸入額

(単位：億円、%)



図表 2-5-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-6 全国の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2017 年）

（単位：億円、％）

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	16,881	14.2%	19.7%	2.7%	20,791	18.0%	17.7%	3.1%
タイ	33,004	27.8%	11.0%	3.1%	25,502	22.1%	16.5%	3.6%
シンガポール	25,406	21.4%	17.9%	3.7%	9,565	8.3%	17.9%	1.4%
マレーシア	14,313	12.1%	8.6%	1.1%	21,619	18.7%	15.1%	2.8%
ブルネイ	95	0.1%	5.0%	0.00%	1,927	1.7%	4.2%	0.1%
フィリピン	12,480	10.5%	11.1%	1.2%	10,961	9.5%	11.5%	1.1%
インドネシア	15,022	12.7%	22.1%	2.6%	22,307	19.3%	12.2%	2.4%
カンボジア	402	0.3%	20.6%	0.07%	1,416	1.2%	8.1%	0.1%
ラオス	130	0.1%	3.3%	0.004%	168	0.1%	33.6%	0.04%
ミャンマー	988	0.8%	-12.2%	-0.1%	1,196	1.0%	17.5%	0.18%
ASEAN 計	118,720	100.0%	14.4%	14.4%	115,452	100.0%	14.9%	14.9%

図表 2-5-7 九州の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2017 年）

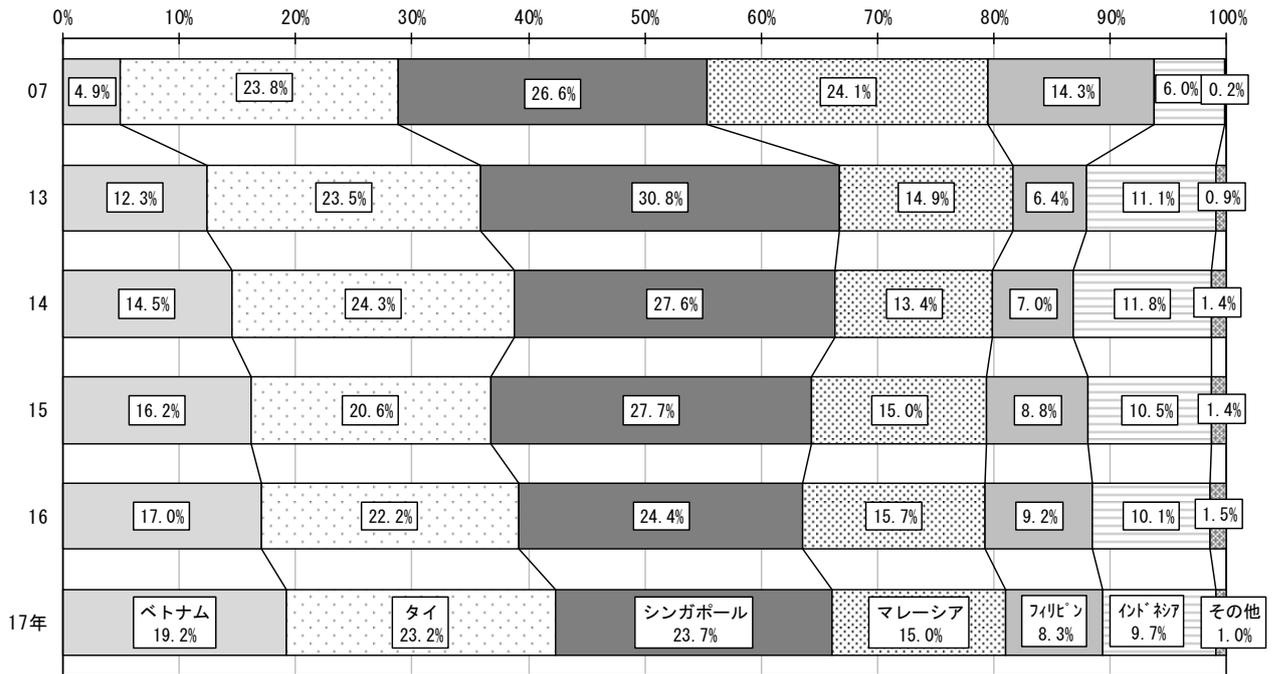
（単位：億円、％）

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	1,714	19.2%	36.7%	6.2%	10.2%	1,269	16.1%	15.3%	2.3%	6.1%
タイ	2,077	23.2%	26.8%	5.96%	6.3%	1,692	21.5%	11.2%	2.3%	6.6%
シンガポール	2,123	23.7%	17.9%	4.4%	8.4%	179	2.3%	-6.5%	-0.2%	1.9%
マレーシア	1,338	15.0%	15.8%	2.48%	9.4%	929	11.8%	18.7%	2.0%	4.3%
ブルネイ	8	0.1%	-14.3%	-0.02%	8.8%	25.3	0.321%	18078.0%	0.3%	1.31%
フィリピン	741	8.3%	9.3%	0.85%	5.9%	1,175	14.9%	-3.5%	-0.6%	10.7%
インドネシア	867	9.7%	16.3%	1.6%	5.8%	2,543	32.3%	-1.7%	-0.6%	11.4%
カンボジア	27	0.3%	3.3%	0.01%	6.8%	34	0.4%	19.2%	0.07%	2.4%
ラオス	2	0.02%	1.8%	0.00%	1.6%	5	0.06%	42.5%	0.020%	2.9%
ミャンマー	49	0.6%	-28.1%	-0.26%	5.0%	33	0.4%	23.4%	0.08%	2.8%
ASEAN 計	8,947	100.0%	21.3%	21.3%	7.5%	7,883	100.0%	5.7%	5.7%	6.8%

図表 2-5-6～7 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

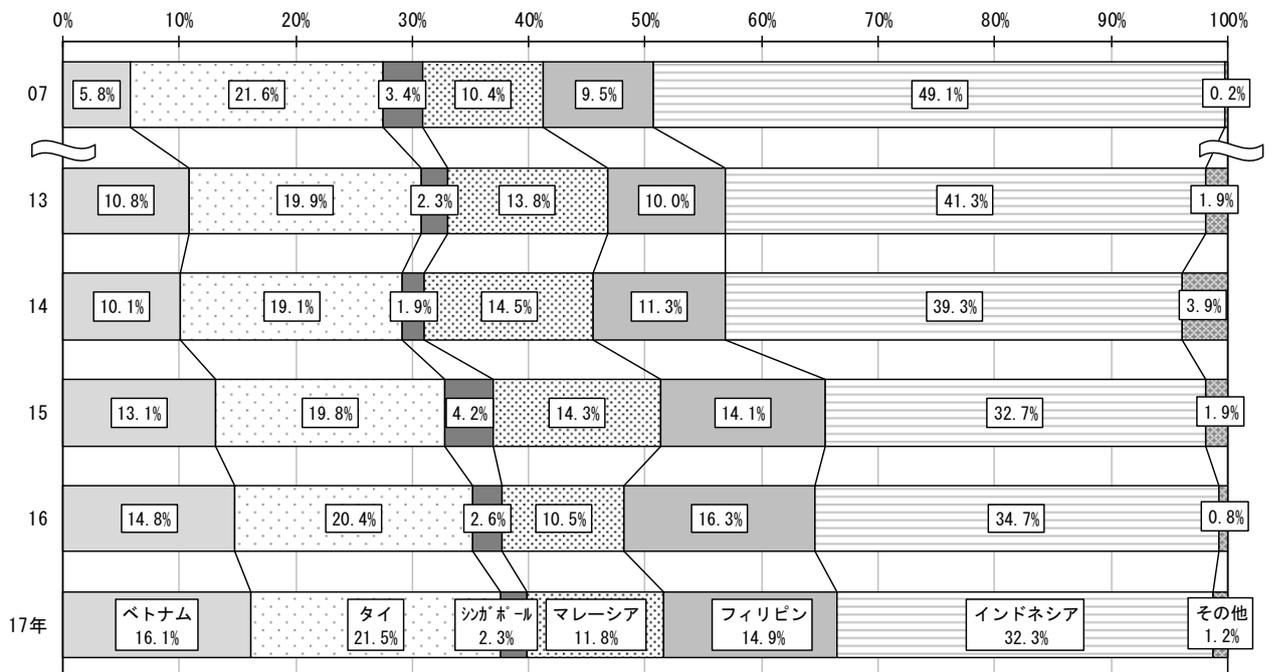
図表 2-5-8 ASEAN 域内における九州の輸出相手国の推移

(単位：%)



図表 2-5-9 ASEAN 域内における九州の輸入相手国の推移

(単位：%)

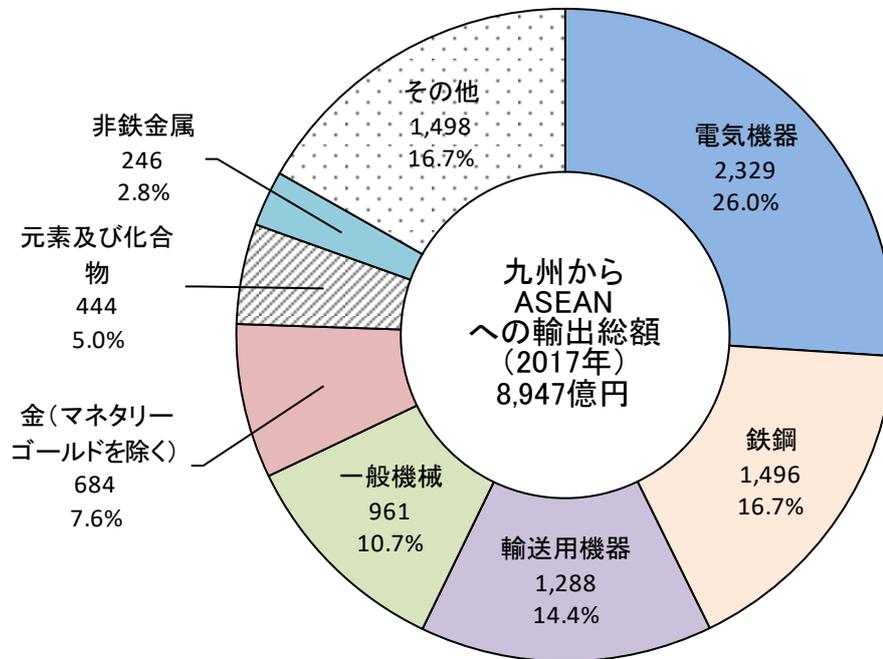


図表 2-5-8～9 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-10 九州から ASEAN への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,751	19.6%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,212	13.5%
船舶類	輸送用機器	687	7.7%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	684	7.6%
自動車	輸送用機器	466	5.2%
有機化合物	元素及び化合物	356	4.0%
事務用機器	一般機械	268	3.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	254	2.8%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	189	2.1%
映像機器	電気機器	175	2.0%
その他		2,903	32.4%
総 額		8,947	100.0%

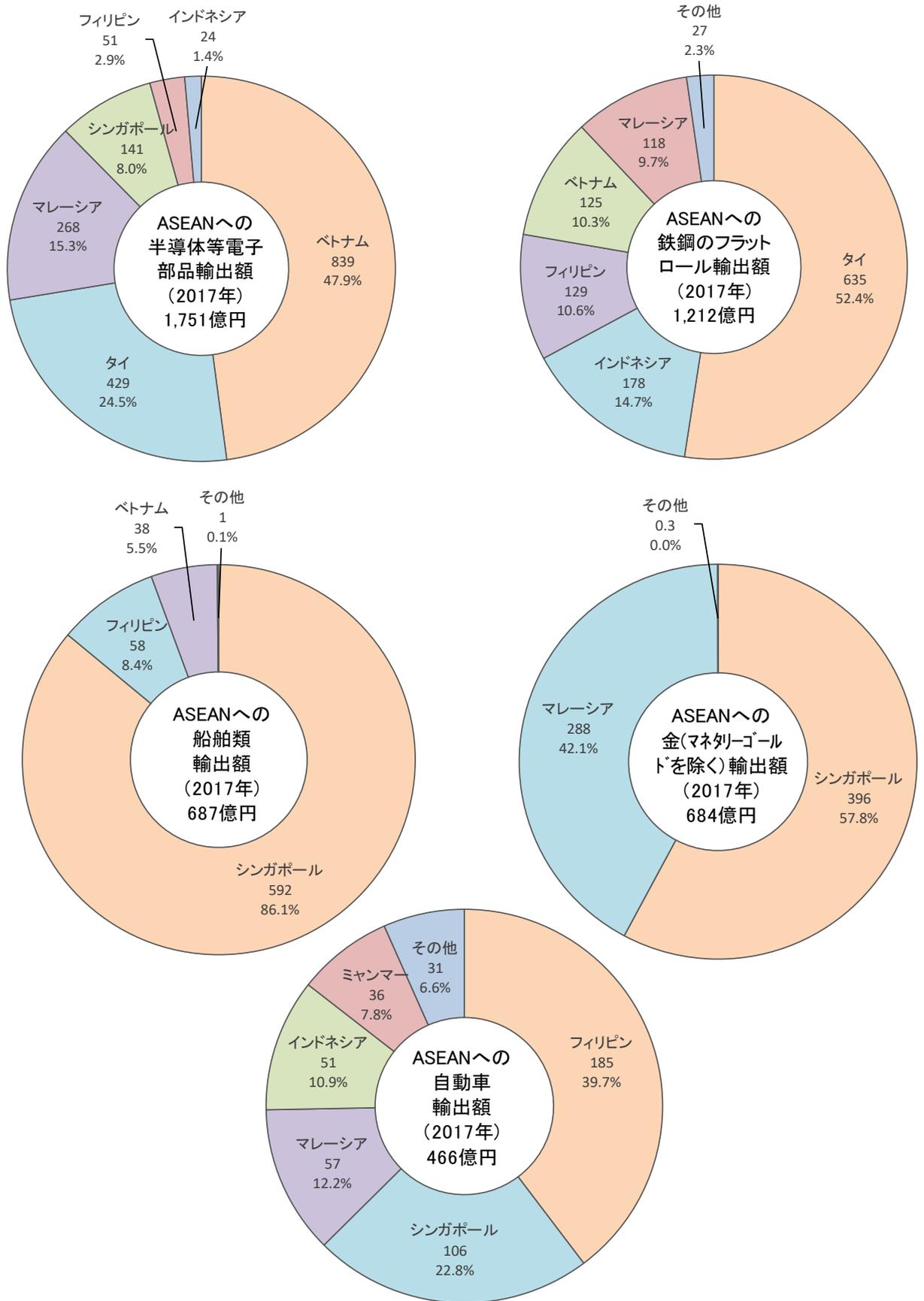
寄与度(増加分)：半導体等電子部品(+5.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+3.8%)等

寄与度(減少分)：自動車の部分品(▲0.6%)、加熱用・冷却用機器(▲0.3%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-11 九州から ASEAN への主要輸出品目に係る輸出相手国

(単位：億円、%)

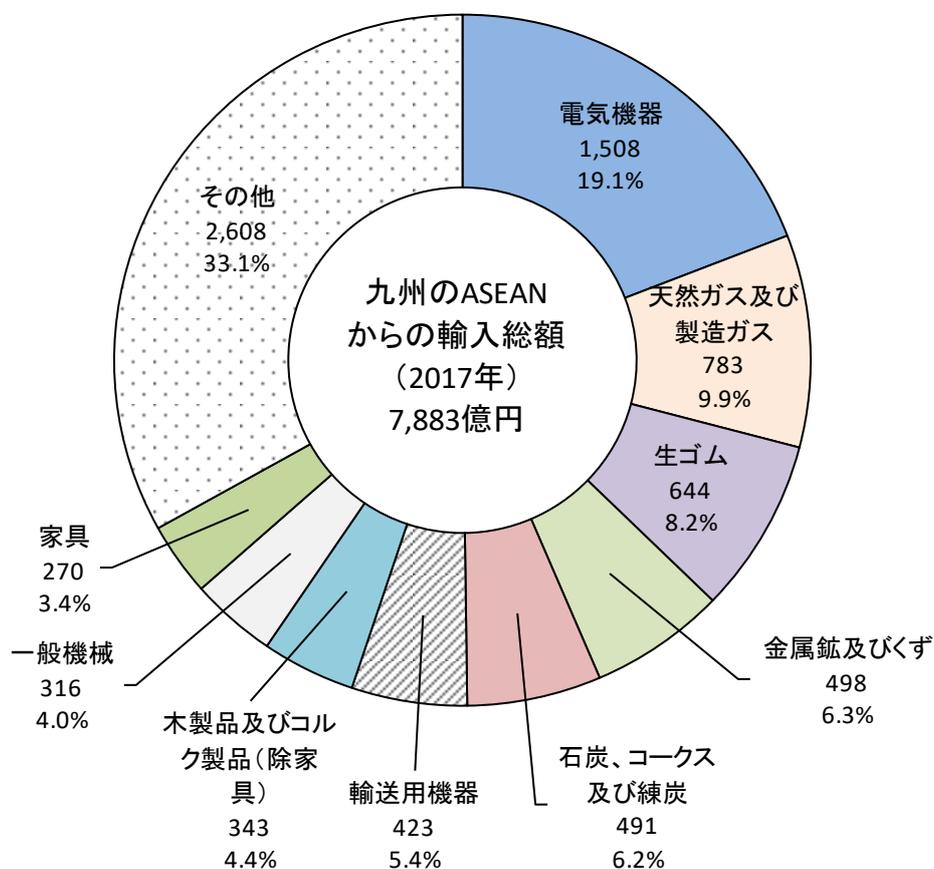


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

表 2-5-12 九州のASEANからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	783	9.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	779	9.9%
天然ゴム	生ゴム	618	7.8%
石炭	石炭、コークス及び練炭	491	6.2%
自動車の部分品	輸送用機器	381	4.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	370	4.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	210	2.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	163	2.1%
魚介類	魚介類及び同調製品	149	1.9%
半導体等電子部品	電気機器	139	1.8%
その他		3,800	48.2%
総額		7,883	100%

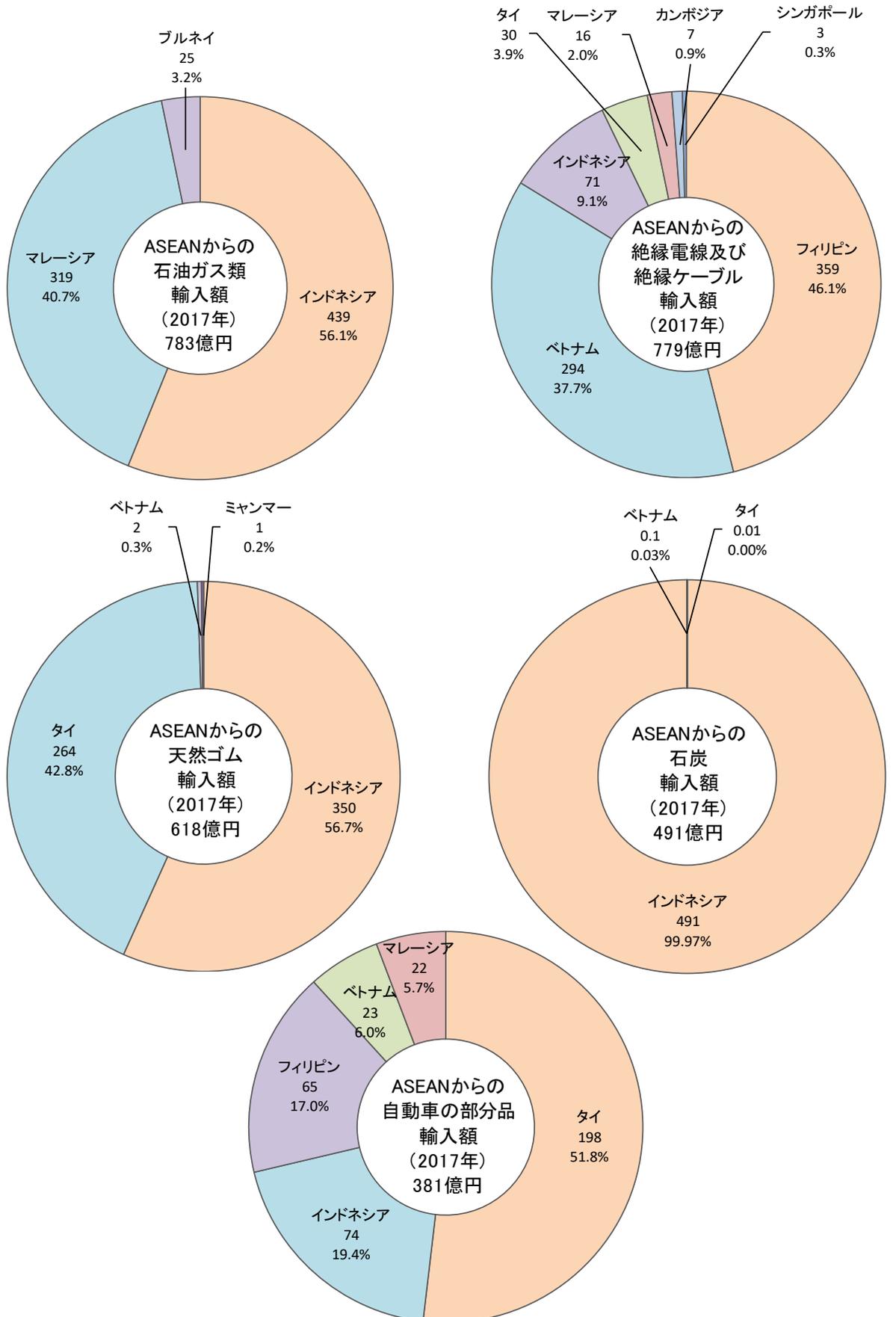
寄与度 (増加分) : 天然ゴム (+2.8%)、絶縁電線及び絶縁ケーブル (+1.2%) 等

寄与度 (減少分) : 非鉄金属鉱(銅鉱等) (▲3.9%)、石油ガス類 (▲2.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-13 九州の ASEAN からの主要輸入品目に係る輸入相手国

(単位：億円、%)



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

6. 九州とベトナムの貿易

6-1. ベトナムの経済概況

国名	ベトナム社会主義共和国
面積	32万9,241km ²
人口	約9,370万人(2017年、越統計総局)
首都	ハノイ
人種	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業、鉱業、工業

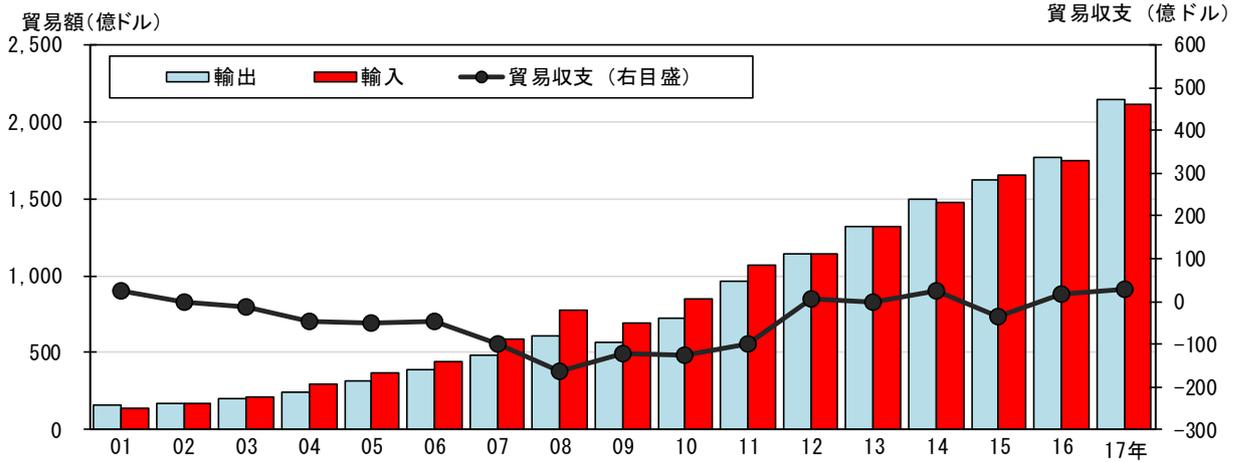
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-6-1 ベトナムのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.4	6.0	6.7	6.2	6.8
名目GDP総額	億ドル	1,712	1,862	1,932	2,053	— *
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,907	2,052	2,109	2,215	— *
輸出額	億ドル	1,320	1,502	1,620	1,766	2,143
	前年比(%)	15.3	13.8	7.9	9.0	21.4
輸入額	億ドル	1,320	1,478	1,656	1,748	2,115
	前年比(%)	16.0	12.0	12.0	5.6	21.0
貿易収支	億ドル	0	24	▲ 36	18	28
対日貿易収支	億ドル	20	18	▲ 1	▲ 4	▲ 5 *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	5.6	5.8	10.1	7.2	9.5
失業率	(%)	3.6	3.4	3.4	3.2	—
消費者物価上昇率	(%)	6.6	4.1	0.6	2.7	3.5
直接投資受入額	億ドル	224	219	241	269	— *
為替レート(1ドル)	ドン	20,933	21,148	21,677	21,932	22,370 *

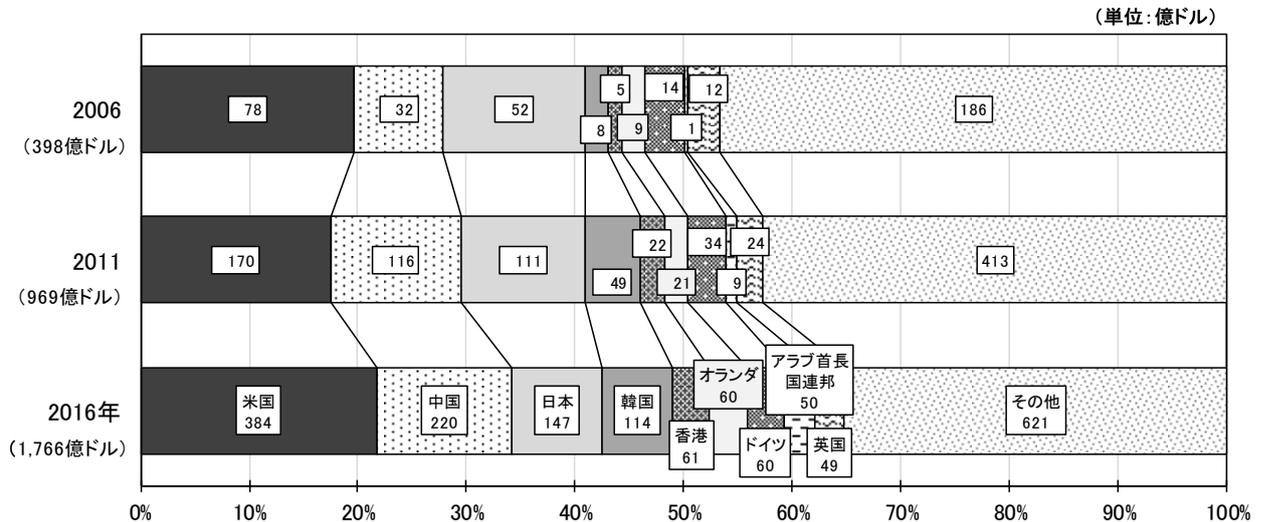
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-2 ベトナムの対外貿易額の推移

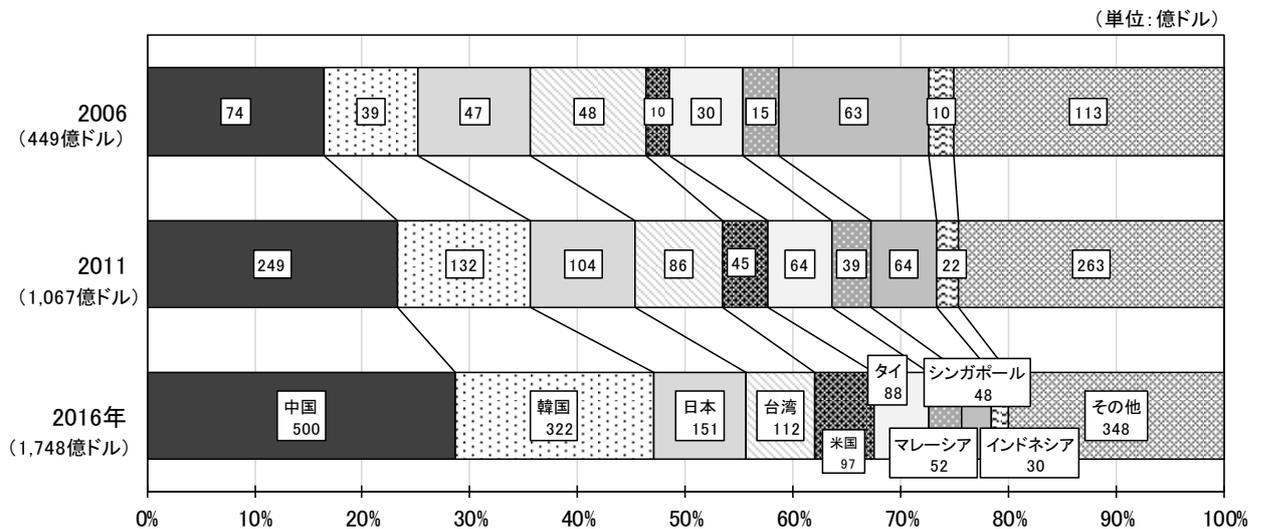


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-6-3 ベトナムの輸出相手国・地域の推移（～2016 年）



図表 2-6-4 ベトナムの輸入相手国・地域の推移（～2016 年）

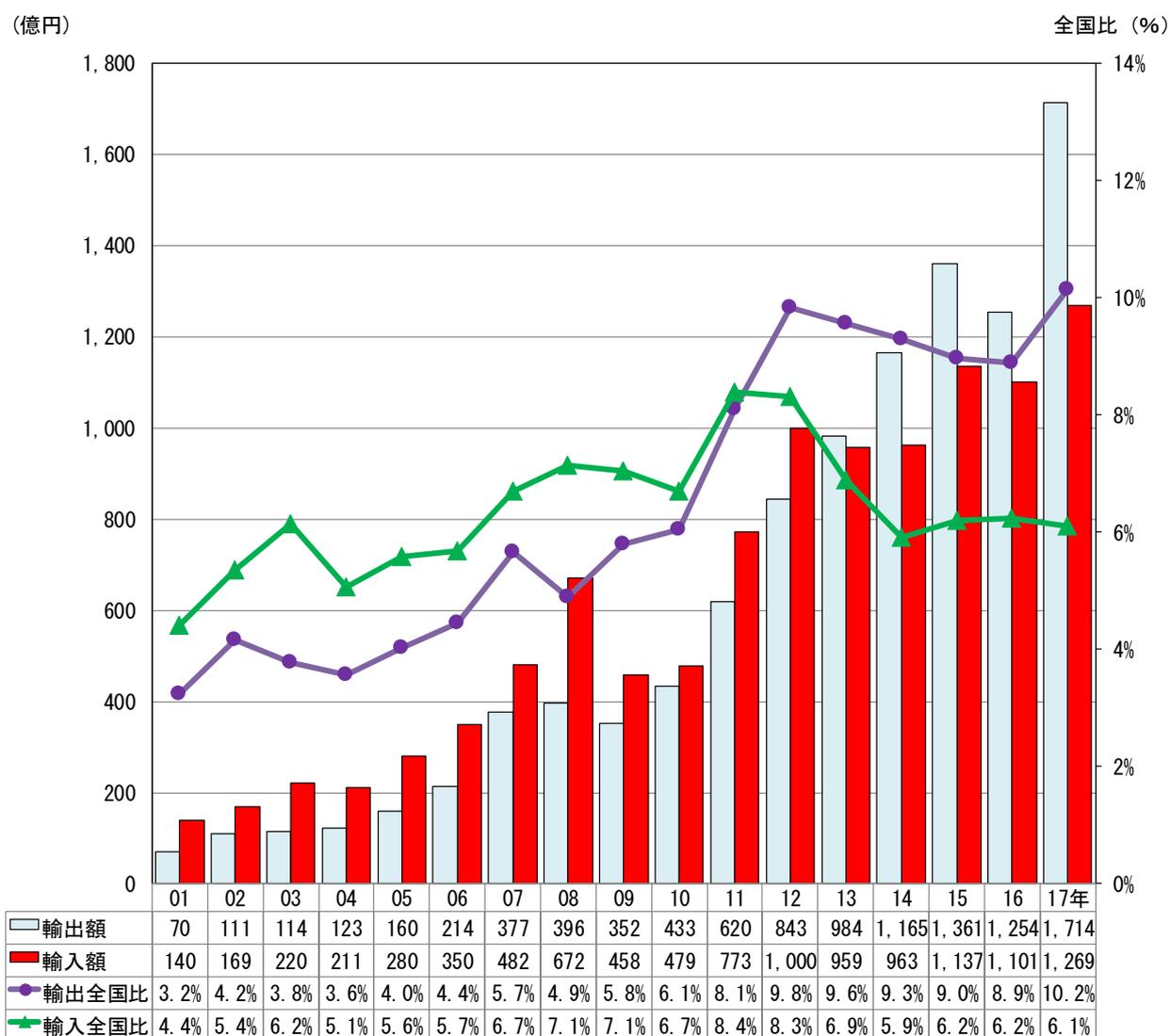


図表 2-6-3～4 出所：ベトナム統計局（GSO）データより九州経済産業局作成。

6-2. 九州とベトナムの貿易動向

- 2017年の九州の対ベトナム貿易額は、輸出が1,714億円（前年比36.7%増）で前年より増加した。一方、輸入も1,269億円（前年比15.3%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、事務用機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+17.7%）、電気回路等の機器（同+3.5%）等であった。一方、減少では、鉄鋼くず（同▲1.1%）、原動機（同▲1.0%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、メリヤス編み及びビクロセ編み衣類、パルプウッドであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、絶縁電線及び絶縁ケーブル（寄与度：+3.8%）、メリヤス編み及びビクロセ編み衣類（同+2.4%）等であった。一方、減少では、パルプウッド等（同▲0.5%）、二輪自動車類（同▲0.5%）であった。

図表 2-6-5 九州の対ベトナム貿易額の推移

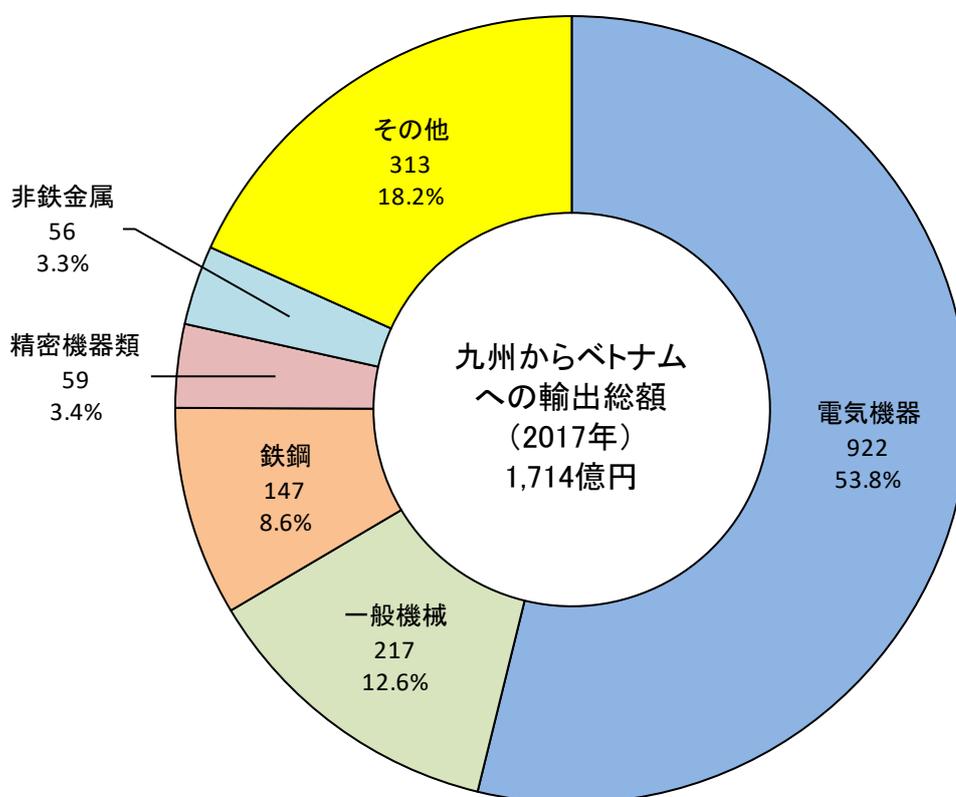


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-6-6 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	839	49.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	125	7.3%
事務用機器	一般機械	72	4.2%
科学光学機器	精密機器類	59	3.4%
銅及び同合金	非鉄金属	56	3.2%
電気回路等の機器	電気機器	54	3.1%
荷役機械	一般機械	50	2.9%
有機化合物	元素及び化合物	48	2.8%
魚介類	魚介類及び同調製品	44	2.6%
船舶類	輸送用機器	38	2.2%
その他		330	19.3%
総額		1,714	100%

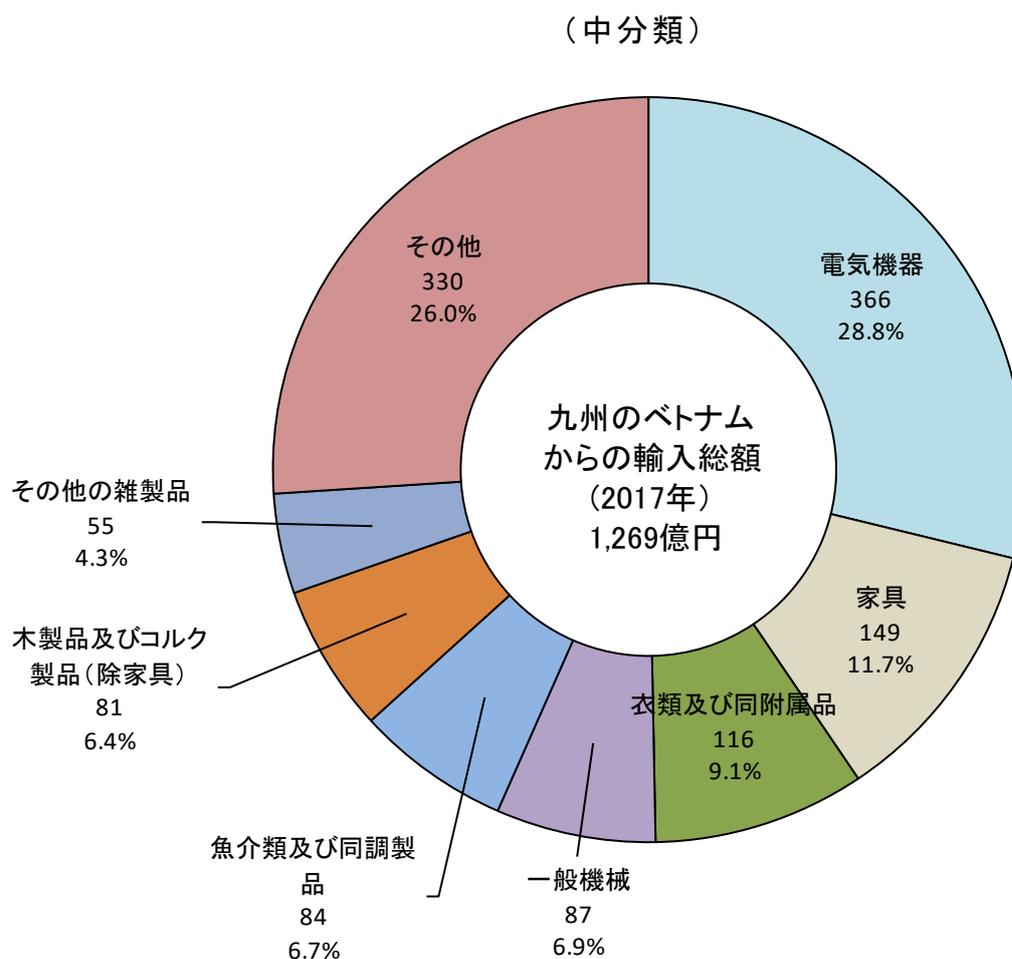
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+17.7%）、電気回路等の機器（+3.5%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲1.1%）、原動機（▲1.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-7 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	294	23.1%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	81	6.3%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	71	5.6%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	46	3.6%
プラスチック製品	その他の雑製品	43	3.4%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	3.0%
衣類	衣類及び同附属品	30	2.3%
合金鉄	鉄鋼	26	2.1%
原動機	一般機械	24	1.9%
コック・弁類	一般機械	24	1.9%
その他		593	46.7%
総 額		1,269	100.0%

寄与度 (増加分) : 絶縁電線及び絶縁ケーブル (+3.8%)、メリヤス編み及びクロセ編み衣類 (+2.4%) 等

寄与度 (減少分) : パルプウッド等 (▲0.5%)、二輪自動車類 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

7. 九州とタイの貿易

7-1. タイの経済概況

国名	タイ王国
面積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,572万人(2015年)(タイ国勢調査)
首都	バンコク
人種	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%
政体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

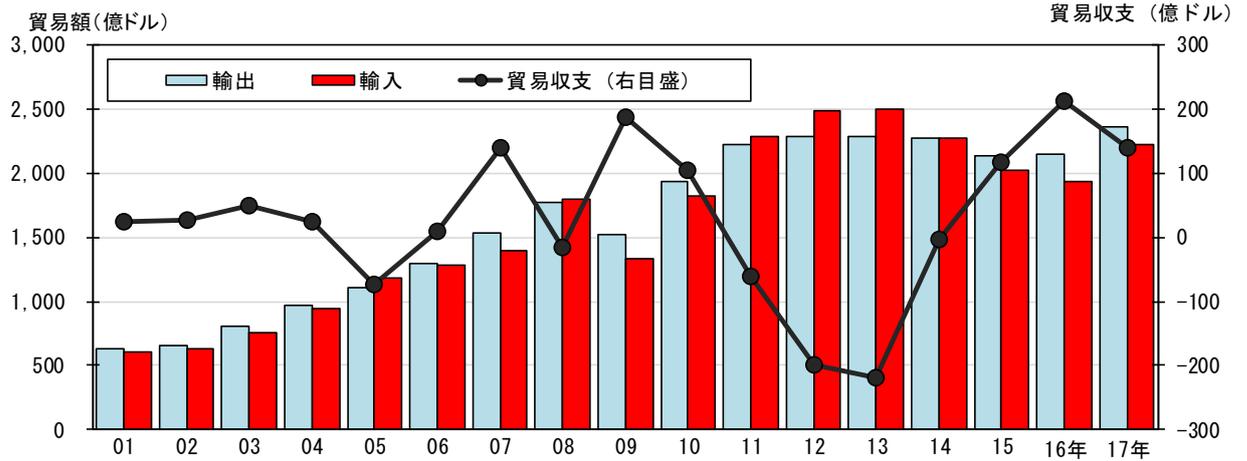
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-7-1 タイのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.7	1.0	3.0	3.3	3.9
名目GDP総額	十億ドル	421	407	399	407	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	6,157	5,921	5,799	5,902	—
輸出額	億ドル	2,285	2,275	2,143	2,154	2,367
	前年比(%)	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 5.8	0.5	9.9
輸入額	億ドル	2,504	2,277	2,027	1,942	2,228
	前年比(%)	0.5	▲ 9.1	▲ 11.0	▲ 4.2	14.7
貿易収支	億ドル	▲ 219	▲ 3	117	212	139
対日貿易収支	億ドル	▲ 189	▲ 138	▲ 112	▲ 102	▲ 97*
製造業生産指数	前年比(%)	1.9	▲ 4.0	0.0	1.4	2.1
失業率	(%)	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	2.2	1.9	▲ 0.9	0.2	0.7
直接投資受入額	億ドル	159	37	86	16	—*
為替レート(1ドル)	バーツ	30.73	32.48	34.25	35.30	33.94
為替レート(1バーツ)	円	3.18	3.26	3.53	3.08	3.31

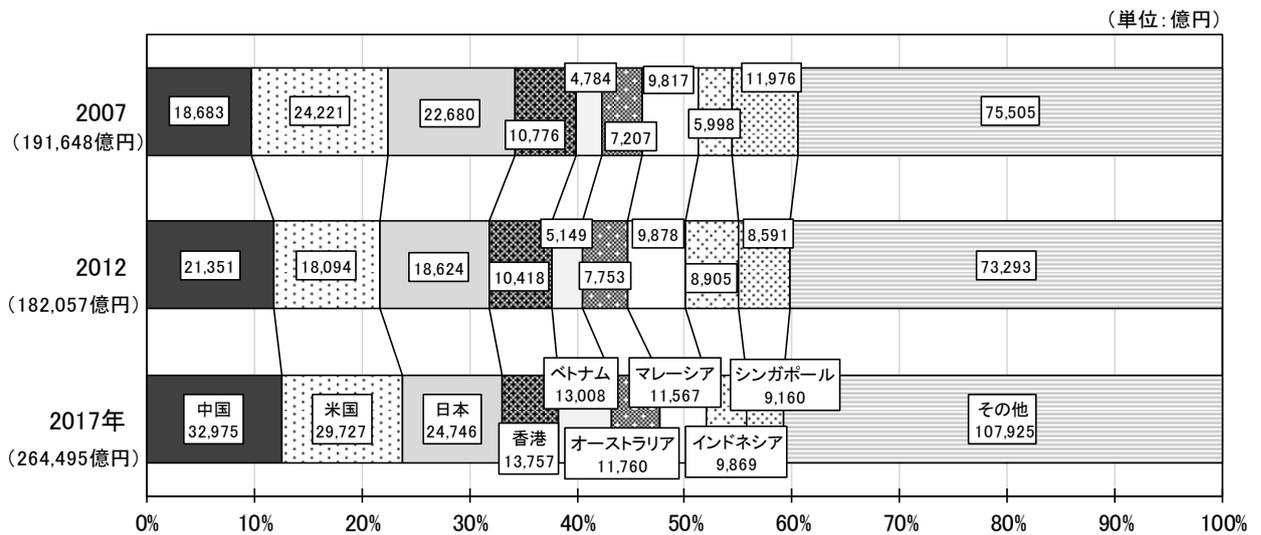
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より九州経済産業局作成。

図表 2-7-2 タイの対外貿易額の推移

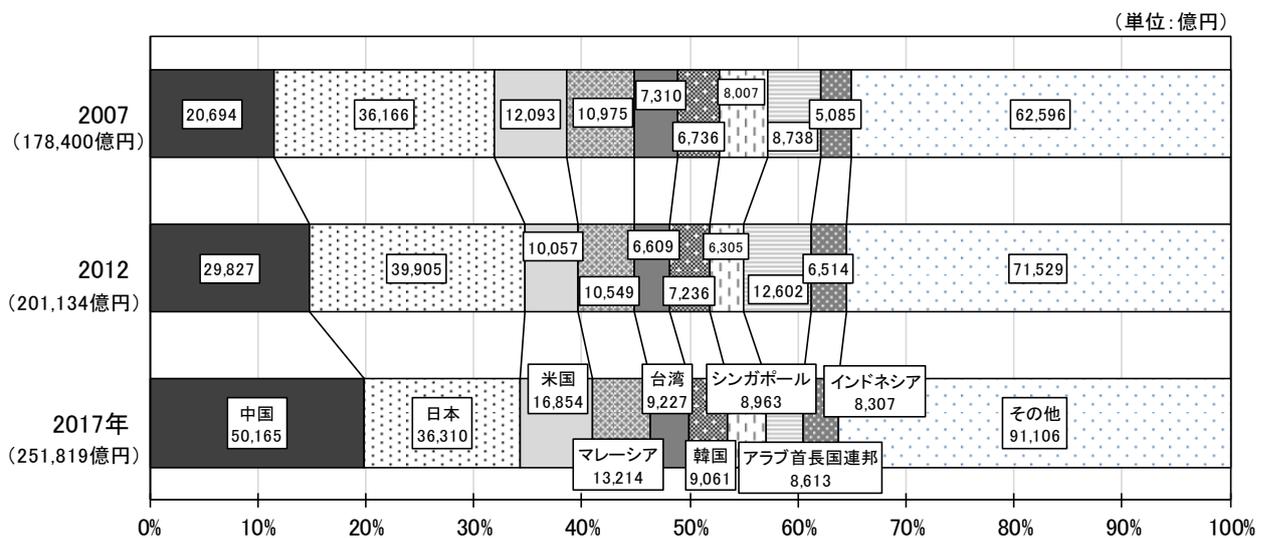


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-7-3 タイの輸出相手国・地域の推移



図表 2-7-4 タイの輸入相手国・地域の推移

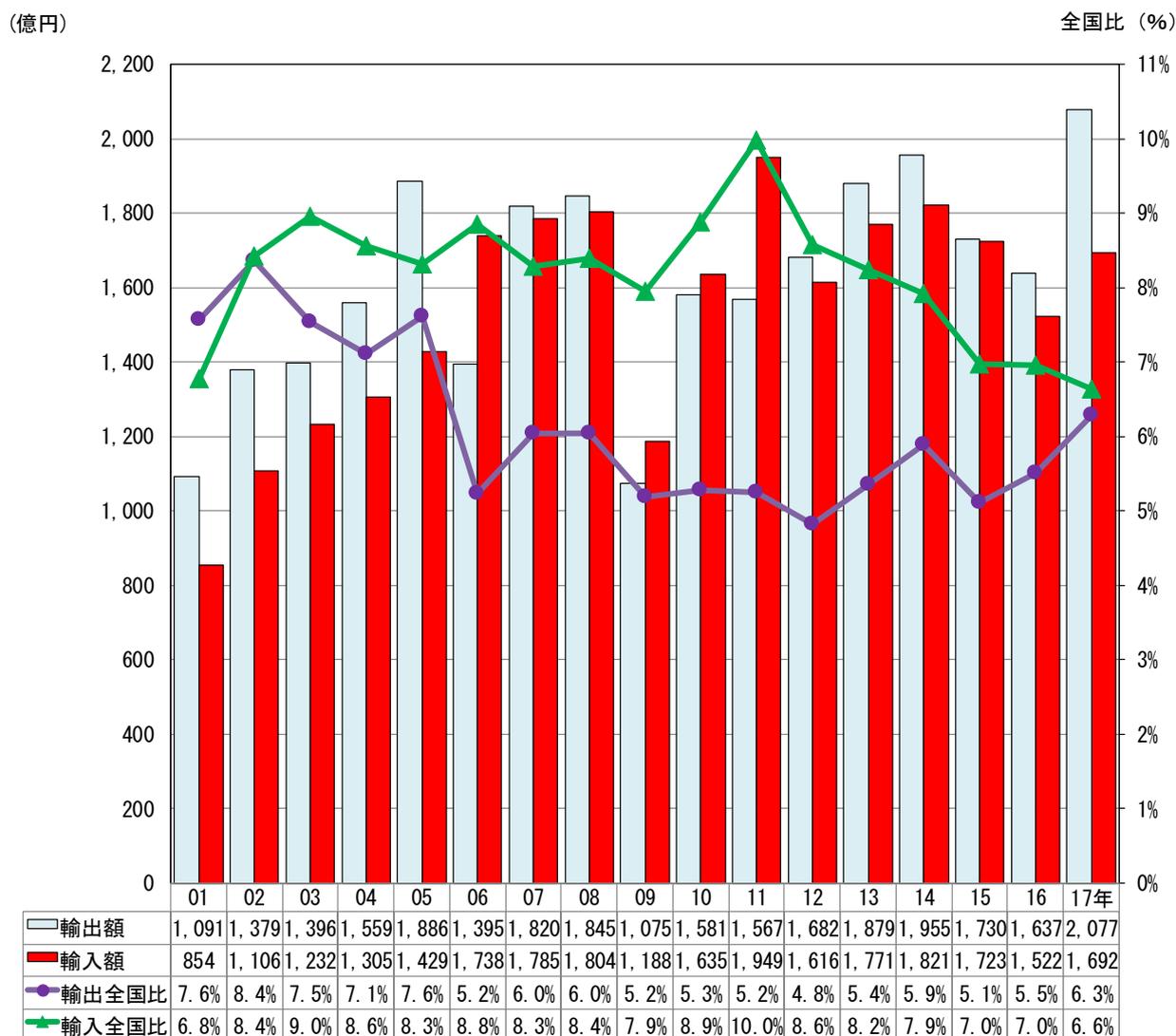


図表 2-7-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

7-2. 九州とタイの貿易動向

- 2017年の九州の対タイ貿易額は、輸出が2,077億円（前年比26.8%増）で前年より増加し、3年ぶりに増加に転じた。一方、輸入も1,692億円（前年比11.2%増）と前年より増加し、3年ぶりに増加に転じた。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼のフラットロール製品（寄与度：+10.4%）、半導体等電子部品（同+7.7%）等であった。一方、減少では、石油製品（同▲1.1%）、自動車の部分品（同▲0.5%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、天然ゴム、自動車の部分品、音響・映像機器（含部品）であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、天然ゴム（寄与度：+5.4%）、魚介類の調整品（同+1.3%）等であった。一方、減少では、砂糖（同▲1.4%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（同▲0.6%）等であった。

図表 2-7-5 九州の対タイ貿易額の推移

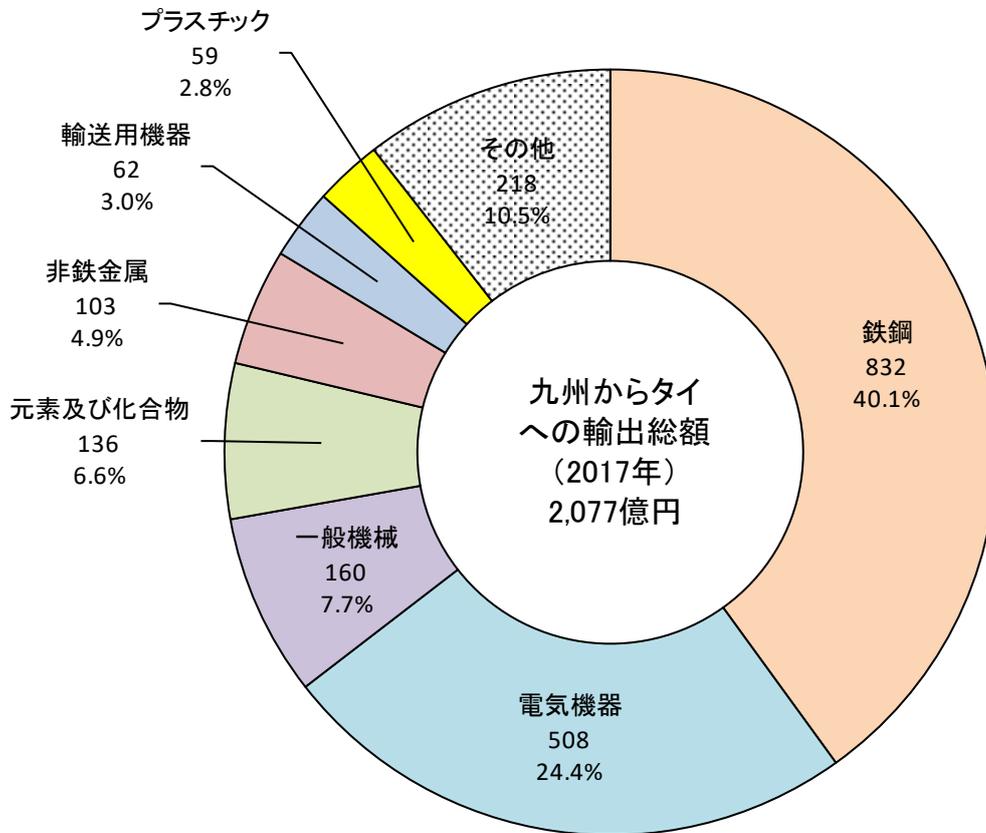


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-7-6 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	635	30.6%
半導体等電子部品	電気機器	429	20.7%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	174	8.4%
有機化合物	元素及び化合物	123	5.9%
銅及び同合金	非鉄金属	86	4.2%
科学光学機器	精密機器類	59	2.8%
自動車	輸送用機器	26	1.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	22	1.1%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	22	1.0%
半導体等製造装置	一般機械	19	0.9%
その他		481	23.2%
総 額		2,077	100.0%

寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+10.4%)、半導体等電子部品 (+7.7%) 等

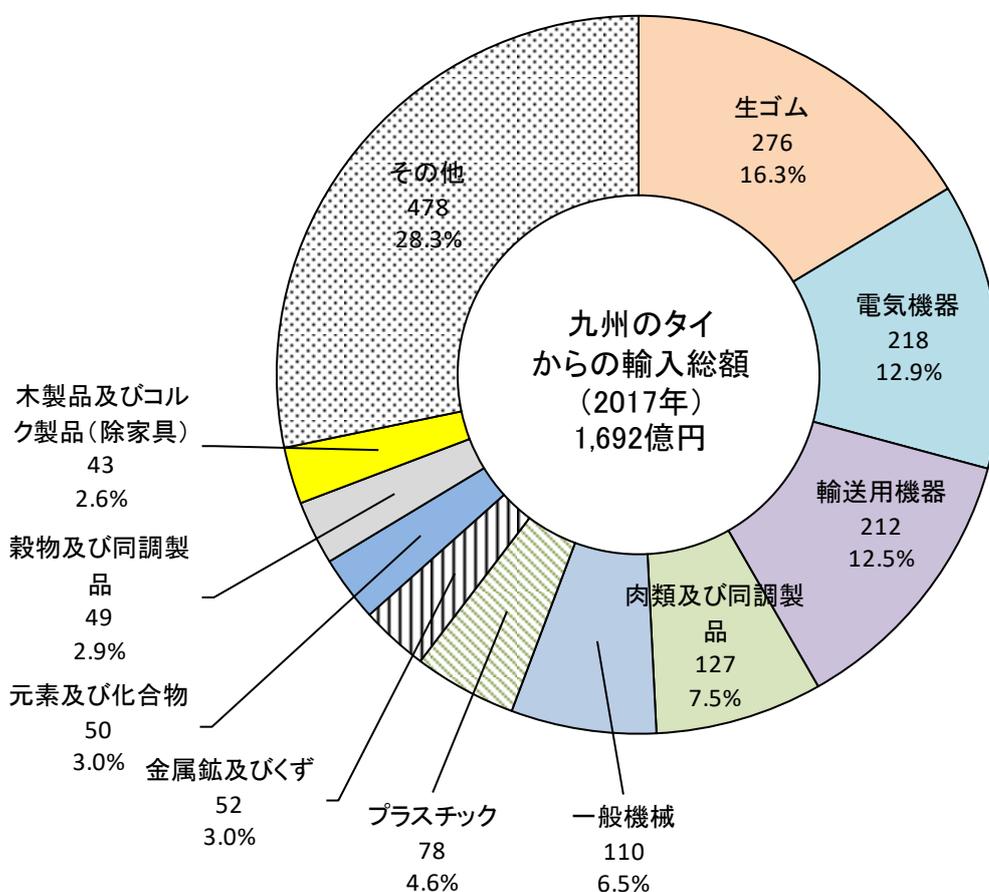
寄与度 (減少分)：石油製品 (▲1.1%)、自動車の部分品 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-7 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
天然ゴム	生ゴム	264	15.6%
自動車の部分品	輸送用機器	198	11.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	73	4.3%
米	穀物及び同調製品	45	2.7%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	42	2.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	37	2.2%
電気計測機器	電気機器	34	2.0%
電気回路等の機器	電気機器	34	2.0%
科学光学機器	精密機器類	33	1.9%
ポリエチレン	プラスチック	33	1.9%
その他		899	53.2%
	総額	1,692	100.0%

寄与度(増加分)：天然ゴム(+5.4%)、魚介類の調整品(+1.3%)等

寄与度(減少分)：砂糖(▲1.4%)、魚介類の粉、ミール及びペレット(▲0.6%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

8. 九州とシンガポールの貿易

8-1. シンガポールの経済概況

国名	シンガポール共和国
面積	約720km ² (東京23区と同程度)
人口	約561万人(うちシンガポール人・永住者は397万人)(2017年6月)
人種	中華系74%、マレー系13%、インド系9%、(2017年6月)
言語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

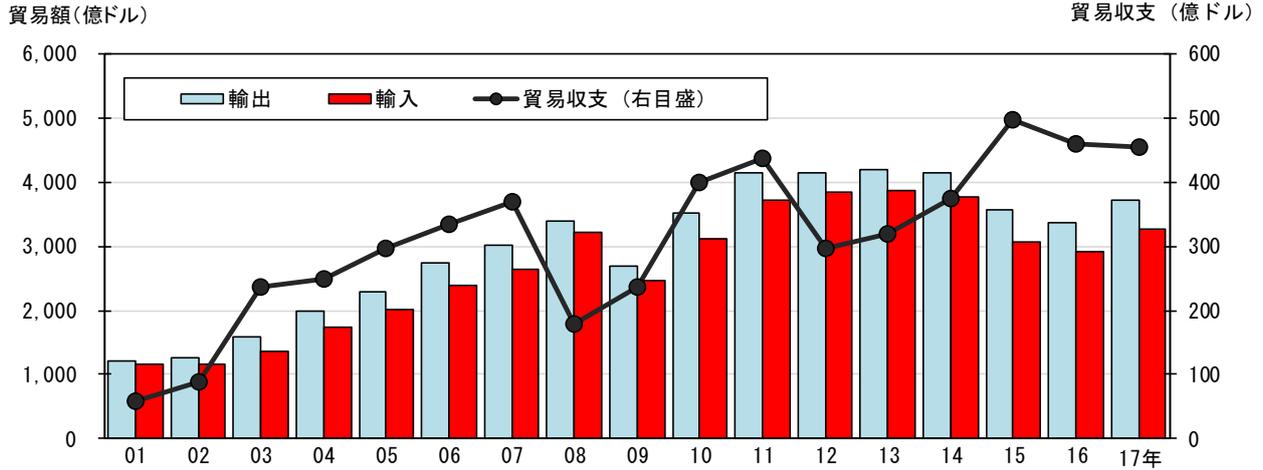
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-8-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.1	3.9	2.2	2.4	3.6
名目GDP総額	十億ドル	303	308	297	297	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,029	56,338	53,629	52,961	—
輸出額	億ドル	4,200	4,152	3,577	3,380	3,729
	前年比(%)	1.1	▲ 1.1	▲ 13.8	-5.5	10.3
輸入額	億ドル	3,881	3,777	3,080	2,919	3,274
	前年比(%)	0.6	▲ 2.7	▲ 18.5	▲ 5.2	12.1
貿易収支	億ドル	319	375	498	460	455
対日貿易収支	億ドル	▲ 27	▲ 34	▲ 33	▲ 47	— *
製造業生産指数	前年比(%)	1.7	2.7	▲ 5.1	3.6	—
失業率	(%)	1.9	2.0	1.9	2.1	2.2
消費者物価指数	前年比(%)	2.4	1.0	▲ 0.5	▲ 0.5	0.6
直接投資受入額	億ドル	8,969	10,195	10,820	10,963	— *
為替レート(1ドル)	Sドル	1.25	1.27	1.38	1.38	1.38
為替レート(1Sドル)	円	78.00	83.62	88.04	78.75	81.22

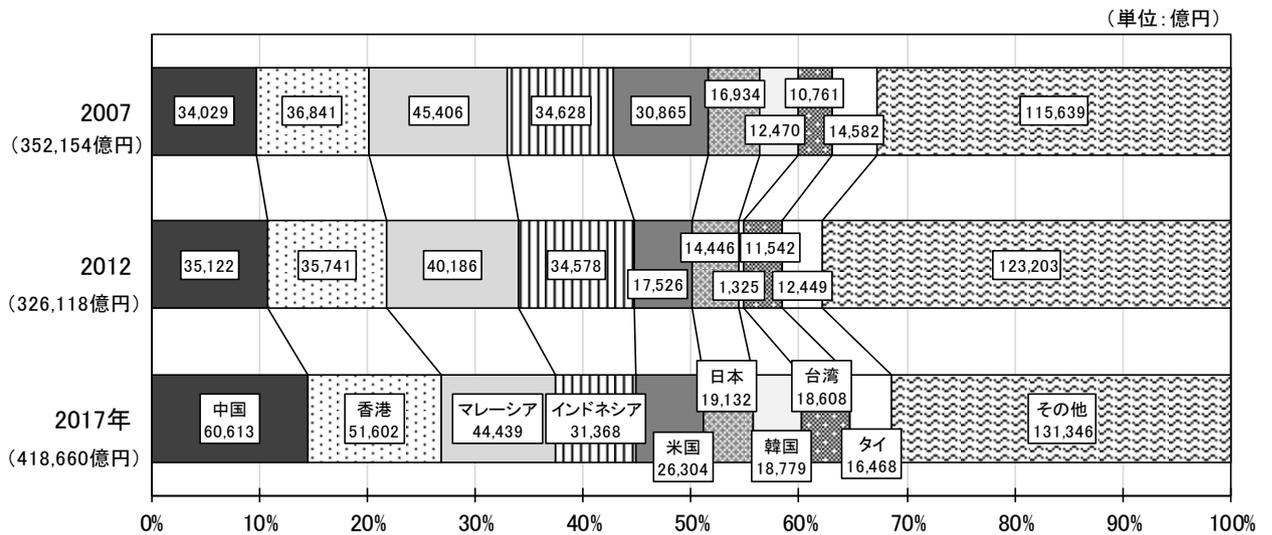
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-8-2 シンガポールの対外貿易額の推移

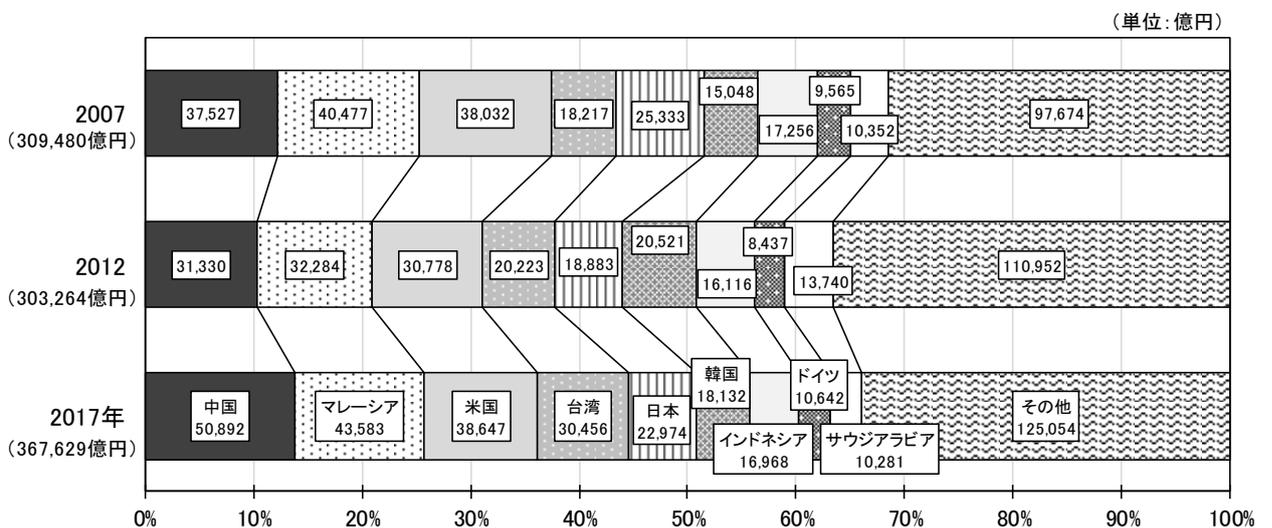


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成30年3月）より九州経済産業局作成。

図表 2-8-3 シンガポールの輸出相手国・地域の推移



図表 2-8-4 シンガポールの輸入相手国・地域の推移

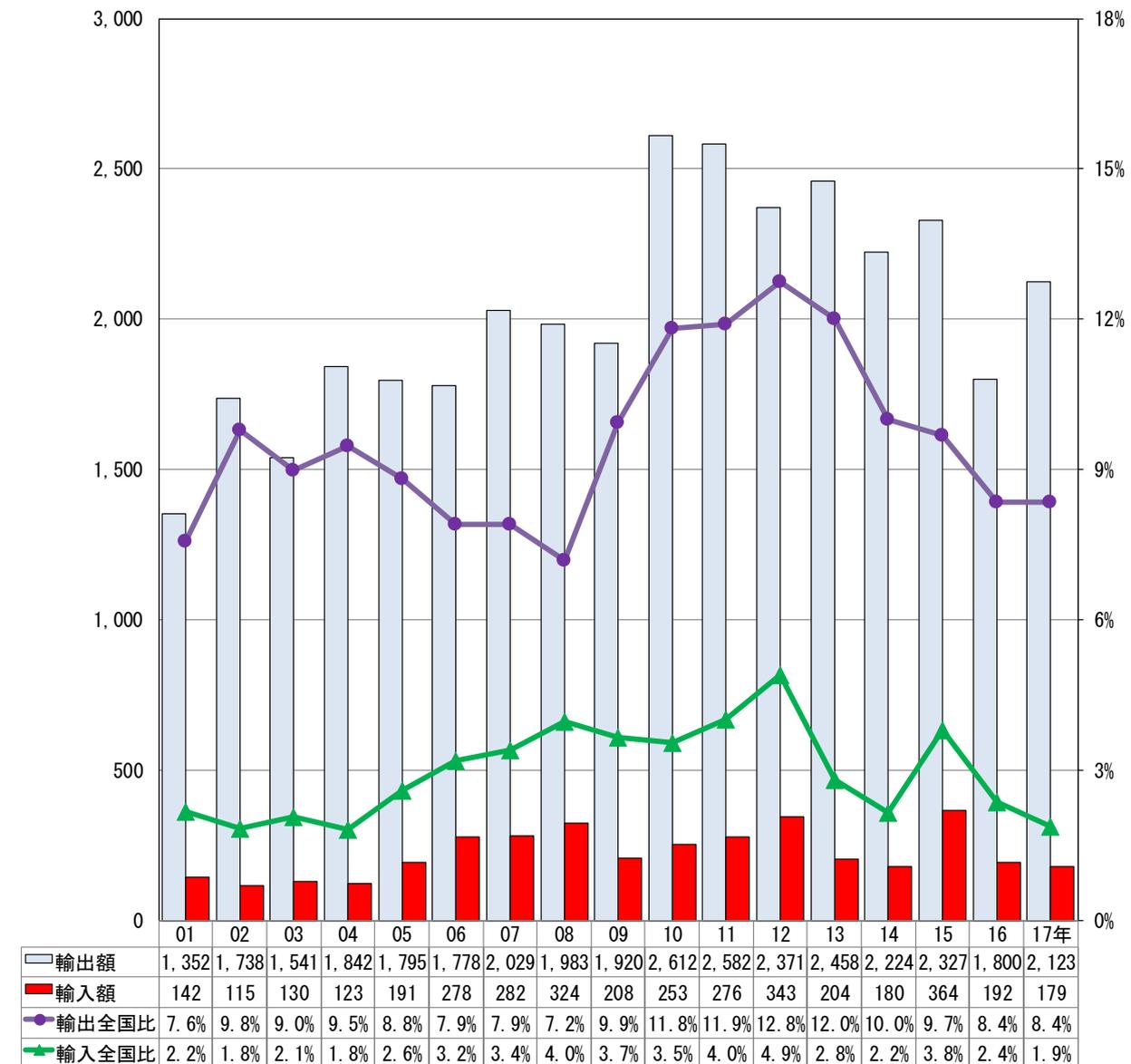


図表 2-8-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

8-2. 九州とシンガポールの貿易動向

- 2017年の九州の対シンガポール貿易額は、輸出が2,123億円（前年比17.9%増）で前年より増加した。一方、輸入は179億円（前年比6.5%減）で前年より減少し、2年連続の減少となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、船舶類、金（マテリアル・ゴールドを除く）、映像機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、船舶類（寄与度：+10.6%）、映像機器（同+4.2%）等であった。一方、減少では、自動車（同▲4.1%）、有機化合物（同▲0.7%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品（重油等）、科学光学機器、非鉄卑金属くずであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、合成ゴム（寄与度：+2.5%）、石油製品（重油等）（同+2.0%）等であった。一方、減少では、石油ガス類（液化天然ガス）（同▲10.6%）、科学光学機器（同▲1.2%）等であった。

図表 2-8-5 九州の対シンガポール貿易額の推移 全国比 (%)

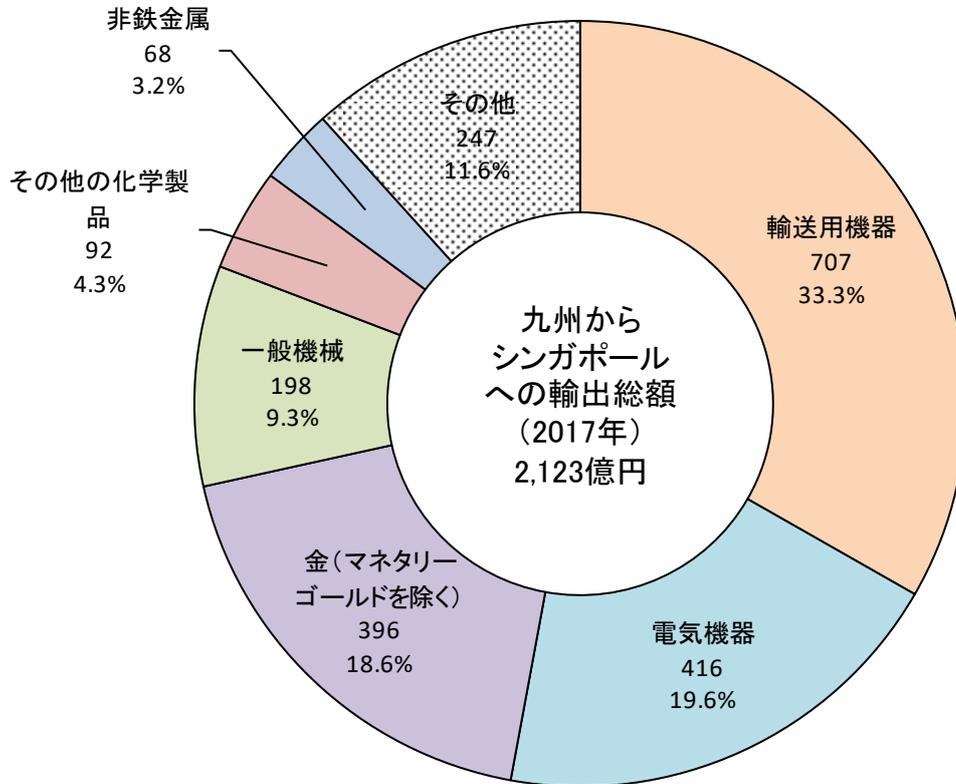


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-8-6 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
船舶類	輸送用機器	592	27.9%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	370	20.6%
映像機器	電気機器	169	8.0%
事務用機器	一般機械	155	7.3%
半導体等電子部品	電気機器	141	6.6%
自動車	輸送用機器	106	5.0%
音響・映像機器の部分品	電気機器	69	3.2%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	63	3.0%
石油製品	石油及び同製品	48	2.3%
有機化合物	元素及び化合物	31	1.5%
その他		354	16.7%
総 額		2,123	100%

寄与度 (増加分)：船舶類 (+10.6%)、映像機器 (+4.2%) 等

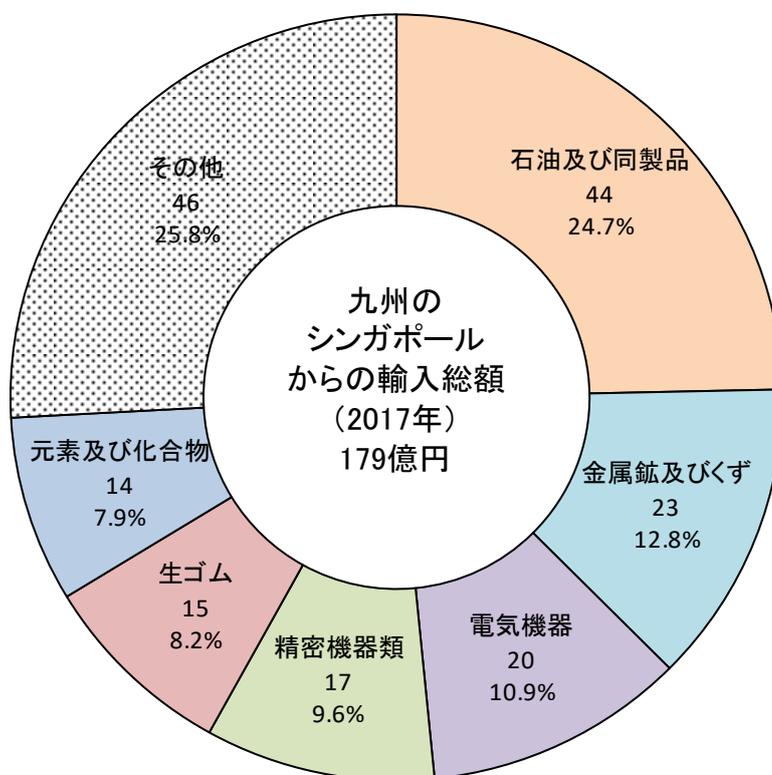
寄与度 (減少分)：自動車 (▲4.1%)、有機化合物 (▲0.7%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-7 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油製品	石油及び同製品	44	24.7%
科学光学機器	精密機器類	17	9.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	17	9.3%
半導体等電子部品	電気機器	15	8.4%
合成ゴム	生ゴム	15	8.2%
有機化合物	元素及び化合物	14	7.7%
合成樹脂	プラスチック	6	3.4%
半導体等製造装置	一般機械	4	2.4%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	3	1.4%
ポリエチレン	プラスチック	2	1.2%
その他		42	23.7%
総 額		192	100%

寄与度 (増加分) : 合成ゴム (+2.5%)、石油製品 (+2.0%) 等

寄与度 (減少分) : 石油ガス類 (▲10.6%)、科学光学機器 (▲1.2%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

9. 九州とマレーシアの貿易

9-1. マレーシアの経済概況

国名	マレーシア
面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	約3,200万人(2016年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
人種	マレー系(約67%)、中国系(約25%)、インド系(約7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

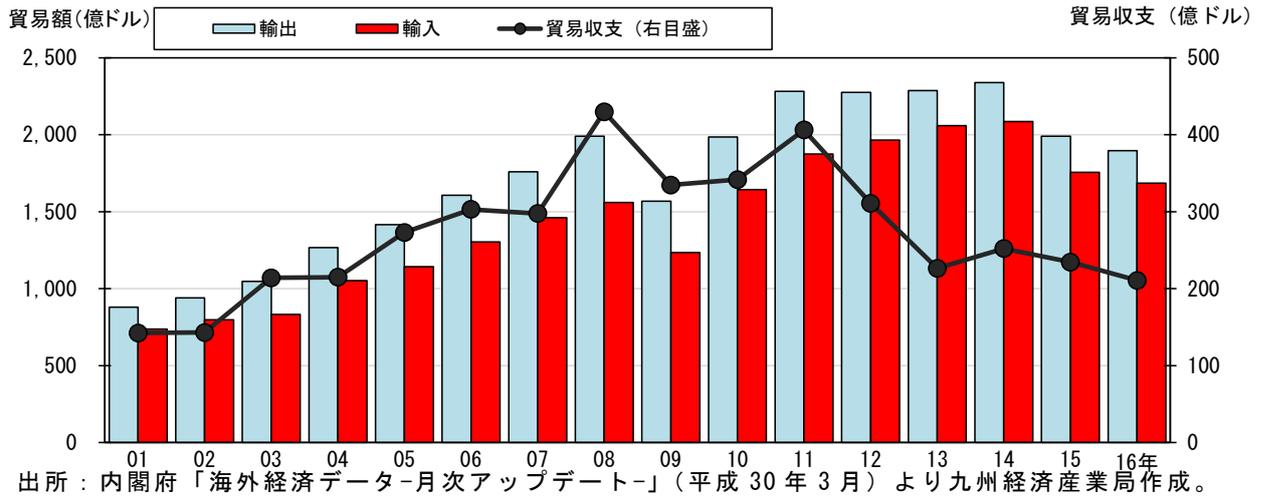
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-9-1 マレーシアのマクロ経済

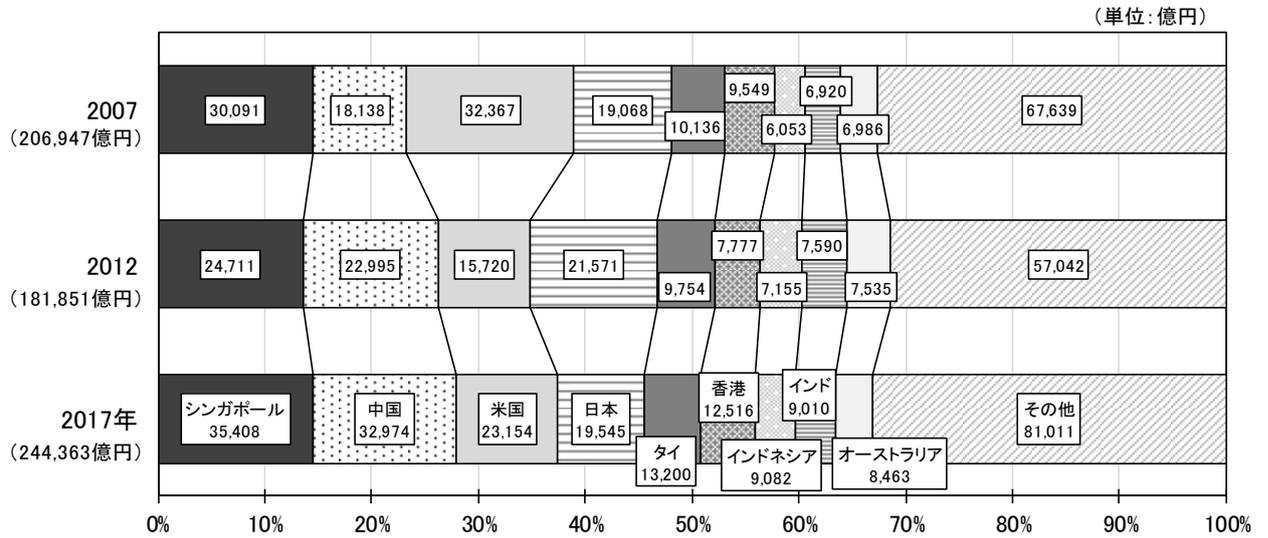
	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.7	6.0	5.0	4.2	5.9
名目GDP総額	十億ドル	323	338	296	297	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	10,700	11,009	9,505	9,374	—
輸出額	億ドル	2,286	2,338	1,990	1,899	2,176
	前年比(%)	0.5	2.3	▲ 14.9	▲ 4.6	14.6
輸入額	億ドル	2,059	2,086	1,755	1,686	1,949
	前年比(%)	4.8	1.3	▲ 15.9	▲ 3.9	15.6
貿易収支	億ドル	226	252	234	213	226
対日貿易収支	億ドル	73	85	49	15	26 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.4	5.2	4.7	4.0	4.4
失業率	(%)	3.3	2.9	3.2	3.5	3.4
消費者物価上昇率	前年比(%)	2.1	3.1	2.1	2.1	3.8
直接投資受入額	億ドル	1,210	1,167	1,686	2,118	1,591 *
為替レート(1ドル)	リング	3.15	3.27	3.91	4.15	4.30
為替レート(1リング)	円	30.97	32.37	30.99	26.23	26.08

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

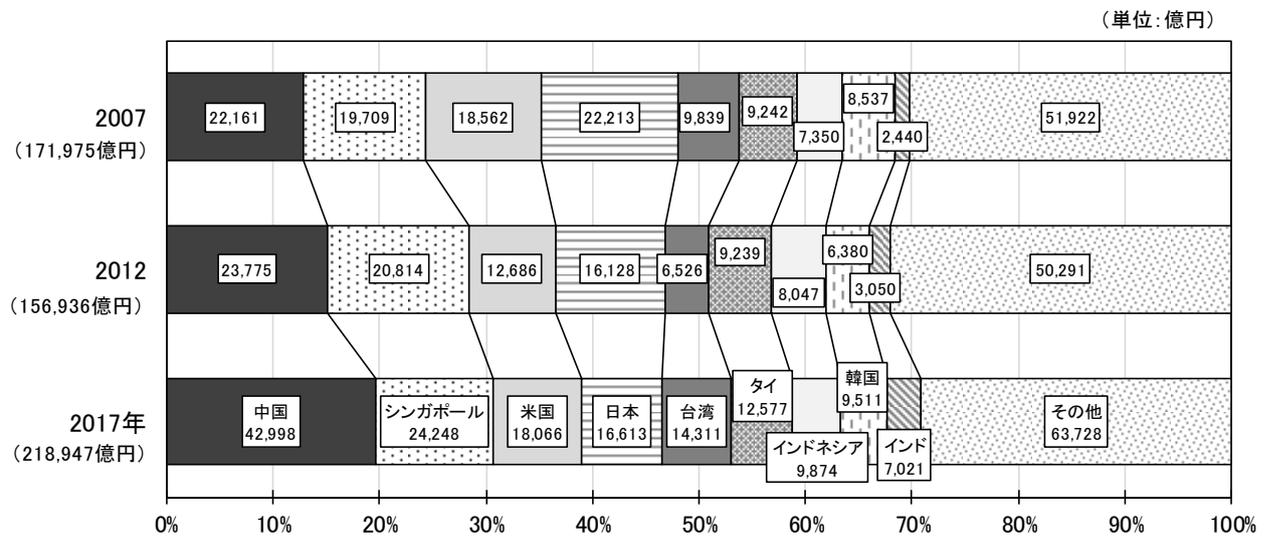
図表 2-9-2 マレーシアの対外貿易額の推移



図表 2-9-3 マレーシアの輸出相手国・地域の推移



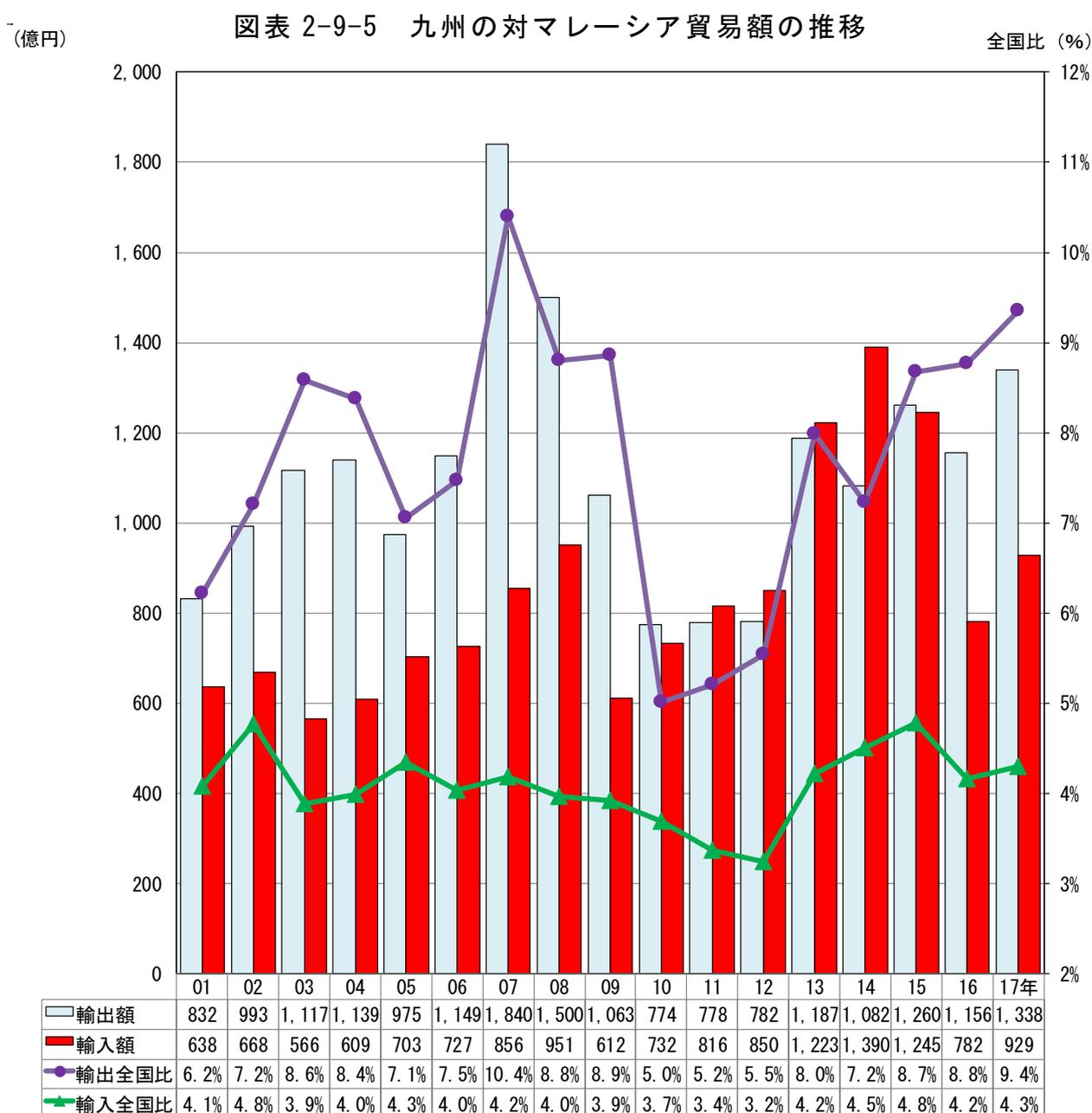
図表 2-9-4 マレーシアの輸入相手国・地域の推移



図表 2-9-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

9-2. 九州とマレーシアの貿易動向

- 2017年の九州の対マレーシア貿易額は、輸出が1,338億円（前年比15.8%増）で前年より増加した。一方、輸入も929億円（前年比18.7%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、金（マテリアールを除く）、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+7.2%）、荷役機械（同+4.5%）等であった。一方、減少では、自動車の部分品（同▲2.7%）、ガラス及び同製品（同▲0.9%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類、合板・ウッドパネル、音響・映像機器（含部品）であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油ガス類（液化天然ガス）（寄与度：+6.4%）、通信機（同+3.4%）等であった。一方、減少では、魚介類の粉、ミール及びペレット（同▲0.9%）、半導体等製造装置（同▲0.4%）等であった。

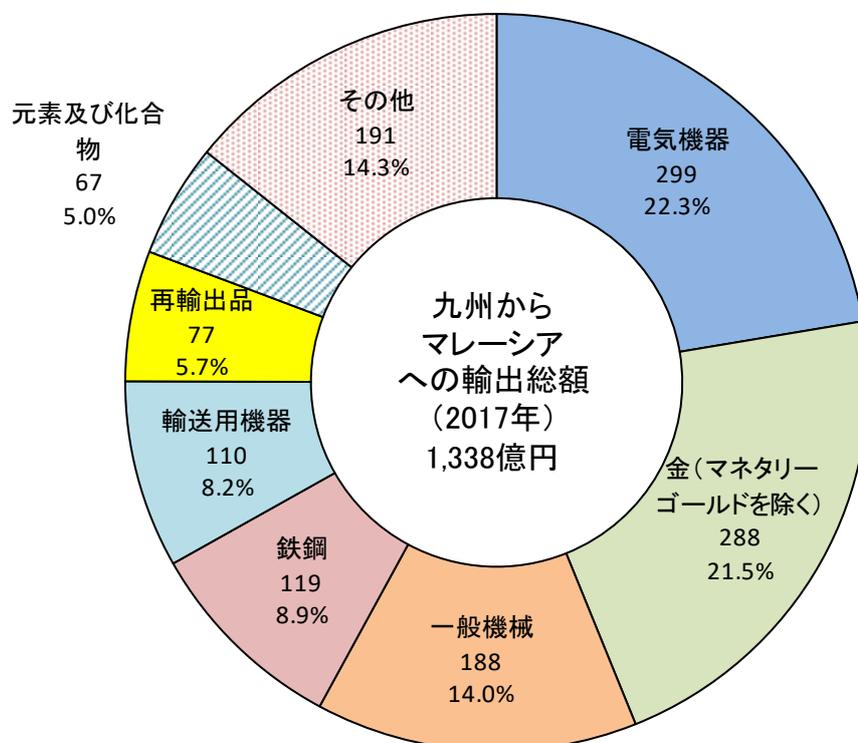


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-9-6 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	288	21.5%
半導体等電子部品	電気機器	268	20.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	118	8.8%
荷役機械	一般機械	98	7.4%
自動車	輸送用機器	57	4.2%
自動車の部分品	輸送用機器	53	4.0%
無機化合物	元素及び化合物	34	2.6%
有機化合物	元素及び化合物	32	2.4%
半導体等製造装置	一般機械	31	2.3%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	30	2.2%
その他		329	24.6%
総 額		1,338	100.0%

寄与度 (増加分)：半導体等電子部品 (+7.2%)、荷役機械 (+4.5%) 等

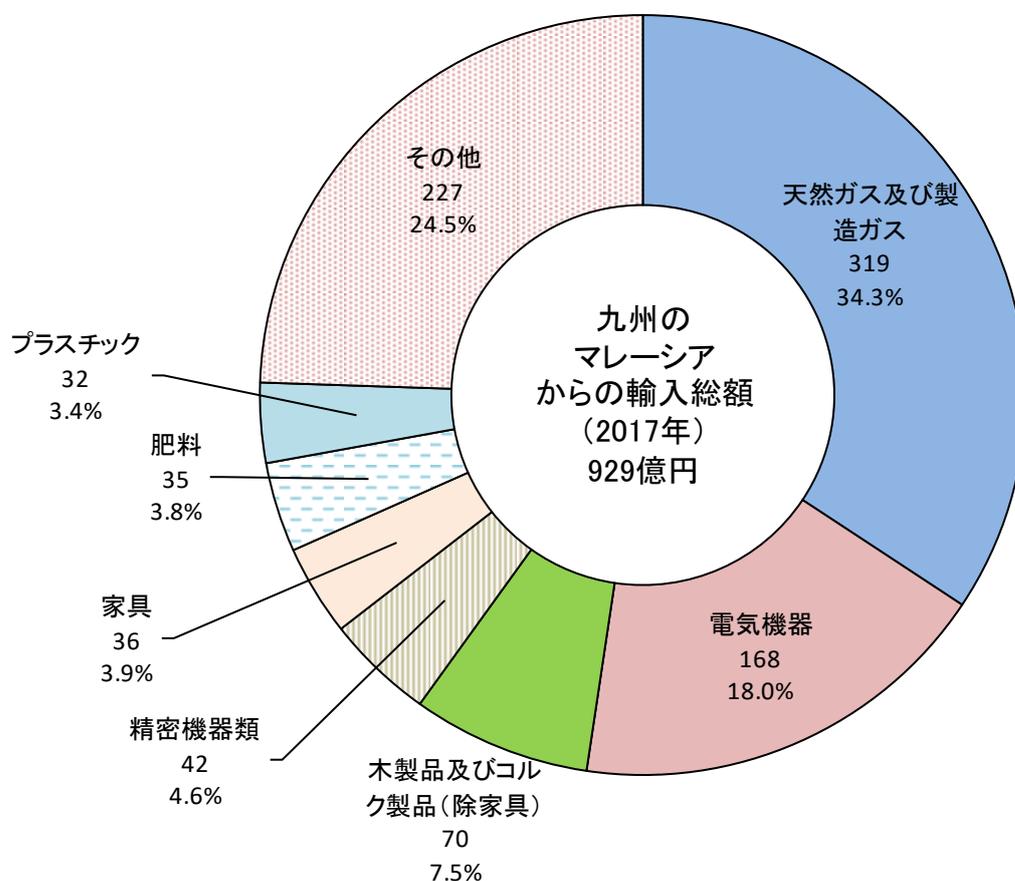
寄与度 (減少分)：自動車の部分品 (▲2.7%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-7 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	319	34.3%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	59	6.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	45	4.9%
通信機	電気機器	43	4.6%
科学光学機器	精密機器類	42	4.6%
半導体等電子部品	電気機器	38	4.1%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	24	2.6%
自動車の部分品	輸送用機器	22	2.4%
ポリエチレン	プラスチック	16	1.7%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	16	1.7%
その他		305	32.9%
総 額		929	100.0%

寄与度(増加分)：石油ガス類(+6.4%)、通信機(+3.4%)等

寄与度(減少分)：魚介類の粉、ミール及びペレット(▲0.9%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

10. 九州とフィリピンの貿易

10-1. フィリピンの経済概況

国名	フィリピン共和国
面積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
人種	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政体	立憲共和制
主要産業	農林水産業(全就業人口の約27%が従事)(2016年1月) 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含めたサービス業が大きく成長(全就業人口の約56%が従事)(2016年1月)

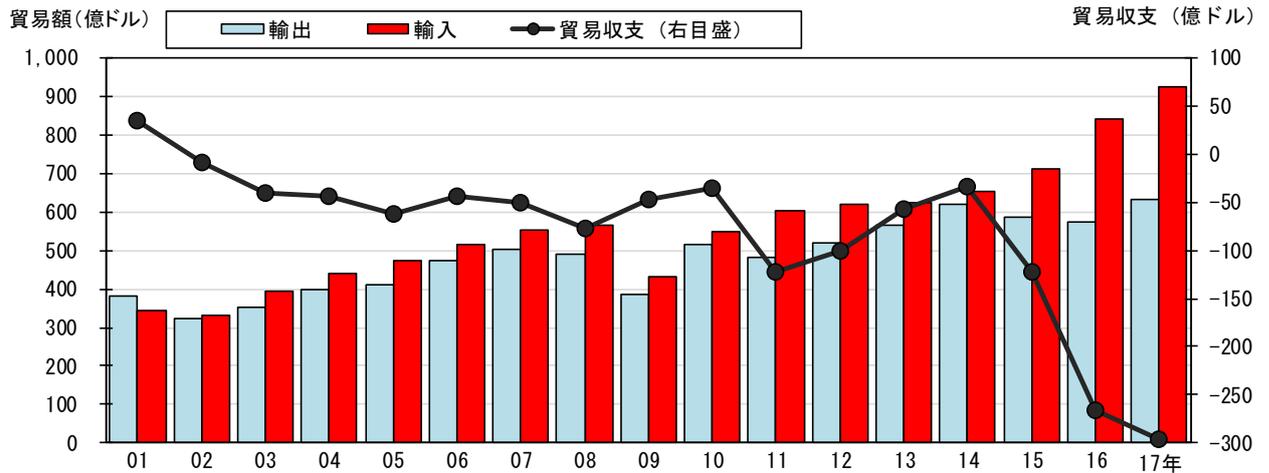
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-10-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.1	6.1	6.1	6.9	6.7
名目GDP総額	十億ドル	272	285	293	305	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,769	2,842	2,866	2,927	—
輸出額	億ドル	567	621	588	574	632
	前年比(%)	8.8	9.5	▲ 5.3	▲ 2.4	10.2
輸入額	億ドル	624	654	711	841	928
	前年比(%)	0.5	4.8	8.7	18.3	10.4
貿易収支	億ドル	▲ 57	▲ 33	▲ 122	▲ 267	▲ 296
対日貿易収支	億ドル	68	86	53	21	▲ 3 *
製造業生産指数	前年比(%)	5.4	6.2	▲ 4.4	6.6	▲ 1.5
失業率	(%)	7.0	7.2	6.6	6.1	5.7
消費者物価指数	前年比(%)	2.9	4.2	1.4	1.8	3.2
直接投資受入額	億ドル	65	42	54	46	21 *
為替レート(1ドル)	ペソ	42.45	44.40	45.50	47.49	50.40
為替レート(1ペソ)	円	2.30	2.39	2.66	2.29	2.23

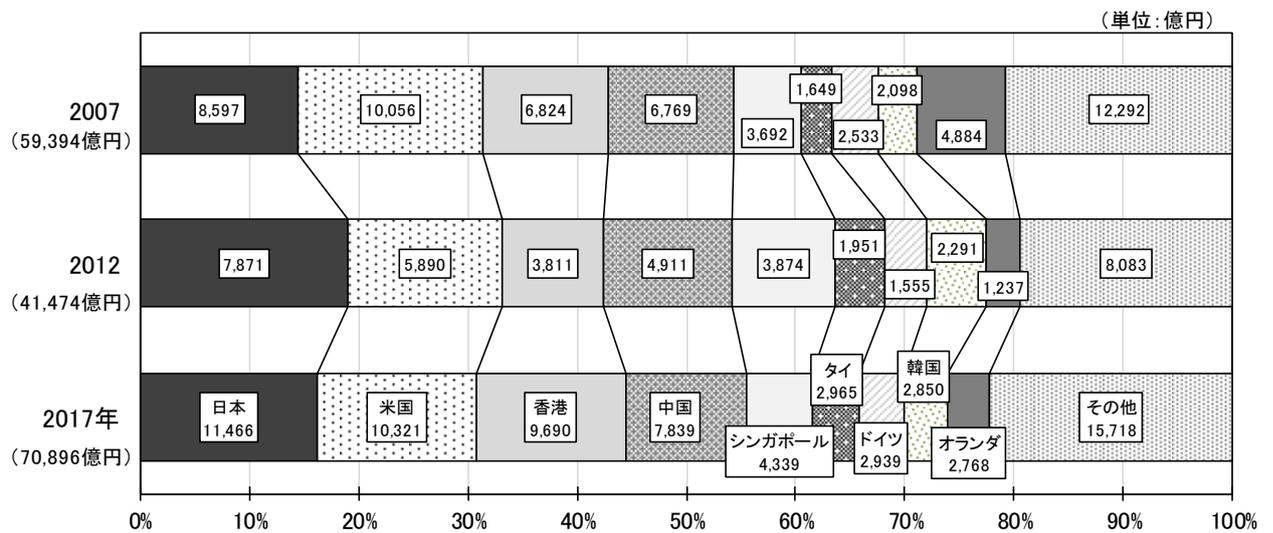
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-10-2 フィリピンの対外貿易額の推移

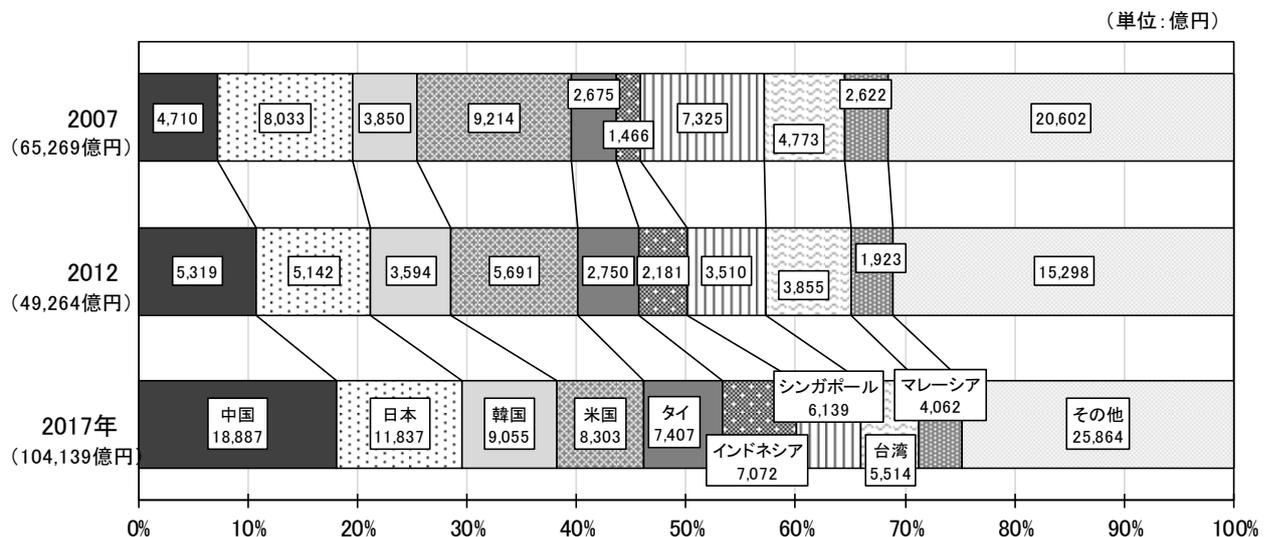


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-10-3 フィリピンの輸出相手国・地域の推移



図表 2-10-4 フィリピンの輸入相手国・地域の推移

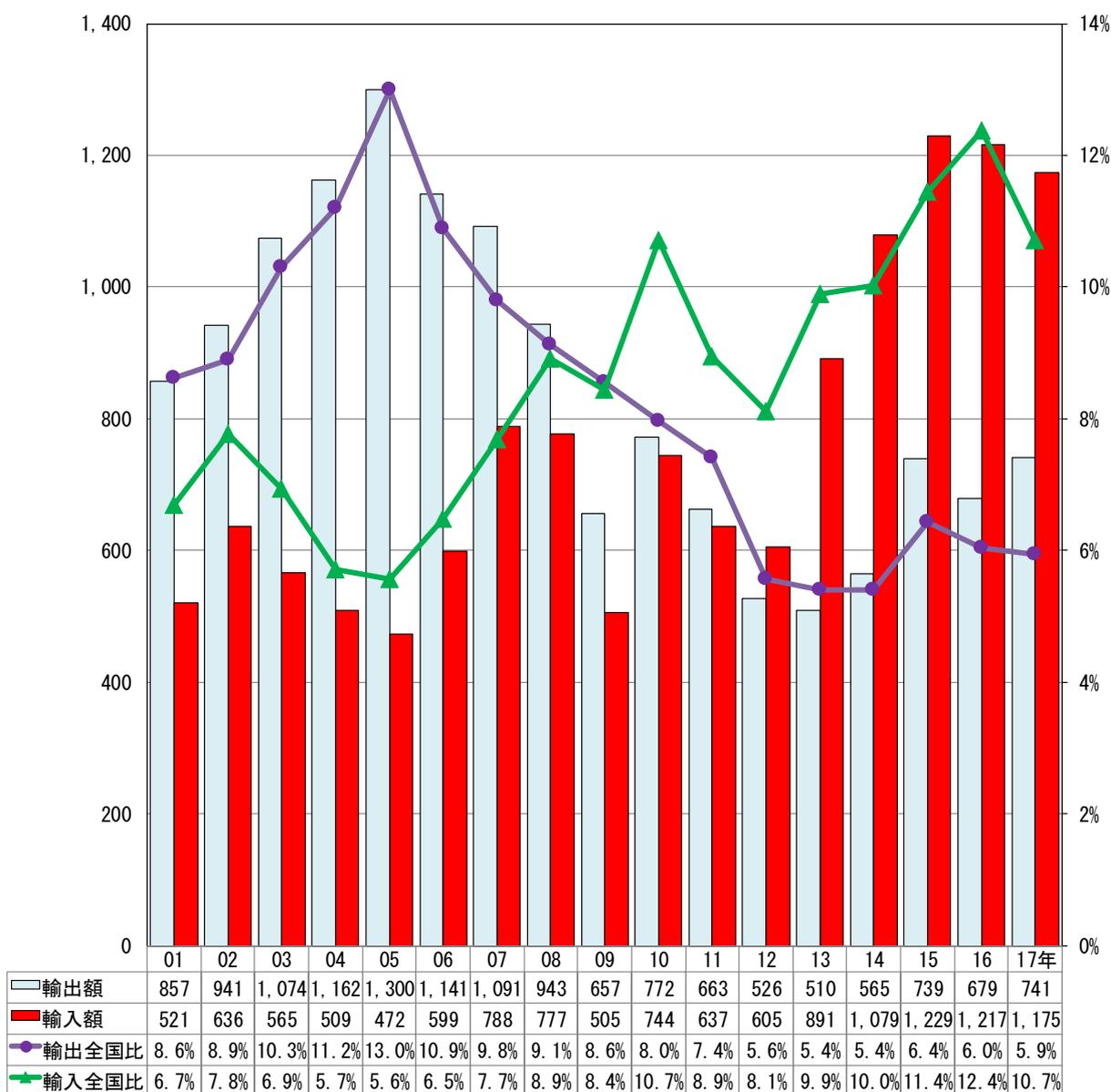


図表 2-10-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

10-2. 九州とフィリピンの貿易動向

- 2017年の九州の対フィリピン貿易額は、輸出が741億円（前年比9.3%増）で前年より増加した。一方、輸入は1,175億円（前年比3.5%減）で前年より減少し、2年連続の減少となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+6.4%）、鉄鋼のフラットロール製品（同+1.5%）等であった。一方、減少では、原動機（同▲2.4%）、石油製品（同▲0.9%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、果実、非鉄金属鉱であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、絶縁電線及び絶縁ケーブル（寄与度：+4.0%）、音響・映像機器（含部品）（同+1.6%）等であった。一方、減少では、非鉄金属鉱（銅鉱）（同▲7.8%）、半導体等電子部品（同▲1.1%）等であった。

図表 2-10-5 九州の対フィリピン貿易額の推移 全国比 (%)

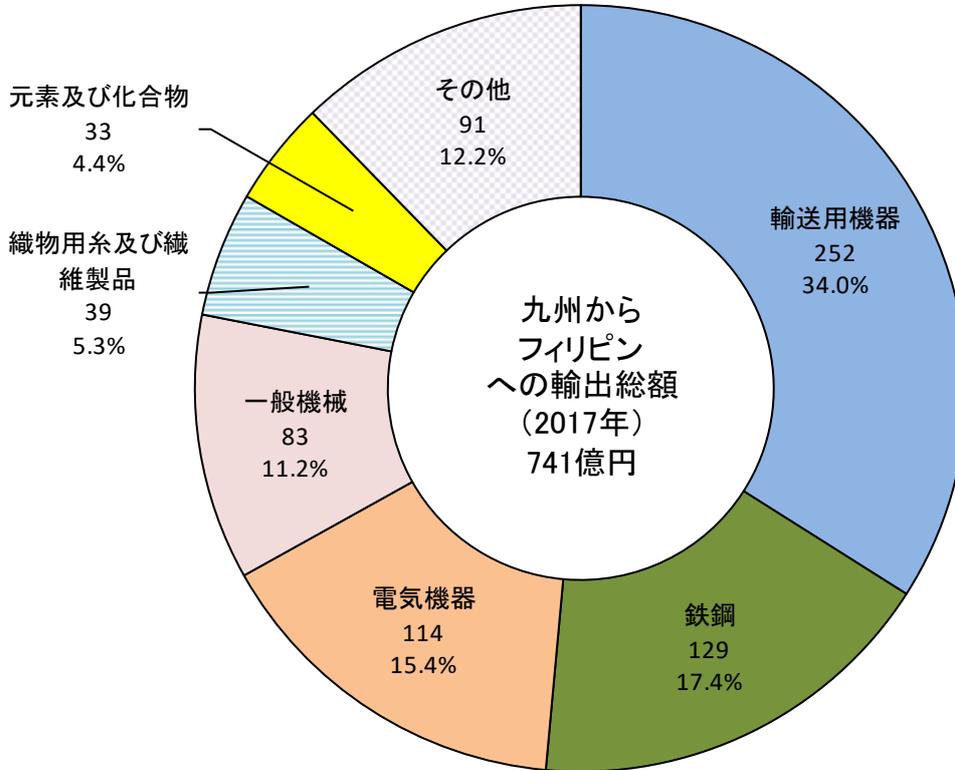


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-10-6 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	185	25.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	129	17.3%
船舶類	輸送用機器	58	7.8%
半導体等電子部品	電気機器	51	6.9%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	33	4.4%
有機化合物	元素及び化合物	30	4.1%
事務用機器	一般機械	29	3.9%
セメント	非金属鉱物製品	26	3.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	14	1.9%
原動機	一般機械	14	1.9%
その他		174	23.4%
総 額		741	100.0%

寄与度 (増加分)：自動車 (+6.4%)、鉄鋼のフラットロール製品 (+1.5%) 等

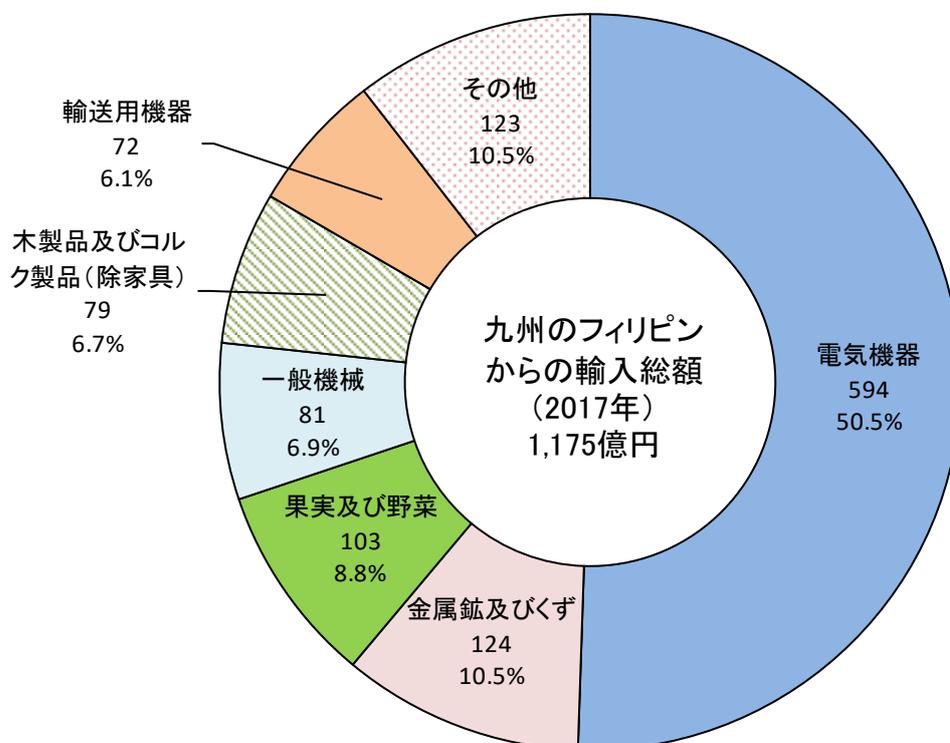
寄与度 (減少分)：原動機 (▲2.4%)、石油製品 (▲0.9%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-7 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	359	30.6%
果実	果実及び野菜	103	8.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	90	7.7%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品(除家具)	76	6.4%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	75	6.4%
自動車の部分品	輸送用機器	65	5.5%
重電機器	電気機器	54	4.6%
半導体等電子部品	電気機器	46	3.9%
事務用機器	一般機械	39	3.3%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	31	2.7%
その他		236	20.1%
総 額		1,175	100.0%

寄与度 (増加分)：絶縁電線及び絶縁ケーブル (+4.0%)、音響・映像機器 (含部品) (+1.6%) 等

寄与度 (減少分)：非鉄金属鉱 (▲7.8%)、半導体等電子部品 (▲1.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

11. 九州とインドネシアの貿易

11-1. インドネシアの経済概況

国名	インドネシア共和国
面積	約189万km ² (日本の約5倍)
人口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,017人:2015年、インドネシア政府統計)
人種	大半がマレー系(ジャワ、スダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2013年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(20.2%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(13.1%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(13.0%) 鉱業(7.6%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.4%)、運輸・通信(9.2%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2017年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

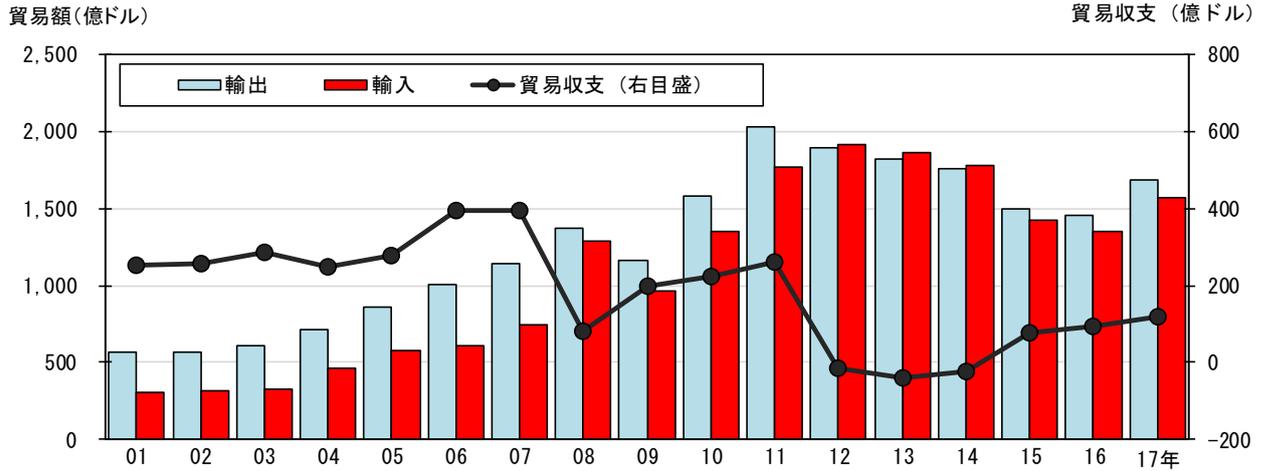
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-11-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.6	5.0	4.9	5.0	5.1
名目GDP総額	十億ドル	917	891	861	932	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,684	3,534	3,371	3,604	—
輸出額	億ドル	1,826	1,760	1,504	1,452	1,688
	前年比(%)	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3
輸入額	億ドル	1,866	1,782	1,427	1,357	1,569
	前年比(%)	▲ 2.6	▲ 4.5	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7
貿易収支	億ドル	▲ 41	▲ 22	77	95	119
対日貿易収支	億ドル	78	61	48	31	—
製造業生産指数	前年比(%)	6.6	4.8	4.8	4.0	—
失業率	(%)	6.3	5.9	6.2	5.6	5.5
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	6.4	6.4	3.5	3.8
直接投資受入額	億ドル	286	285	293	290	322
為替レート(1ドル)	ルピア	10,461.24	11,865.21	13,389.41	13,308.33	13,380.87
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェットロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

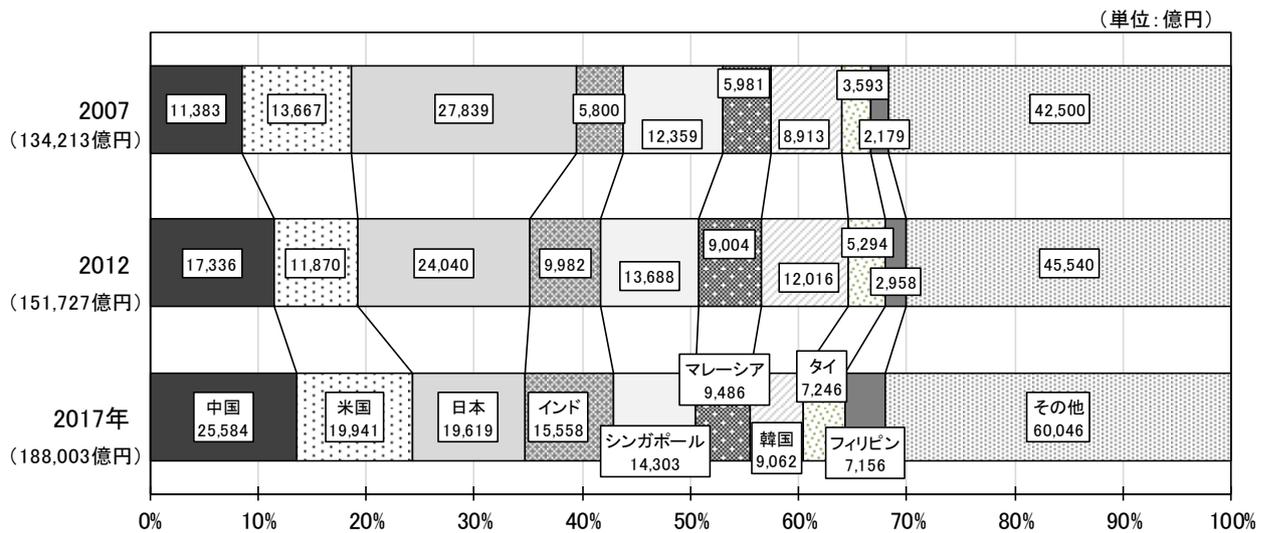
図表 2-11-2 インドネシアの対外貿易額の推移



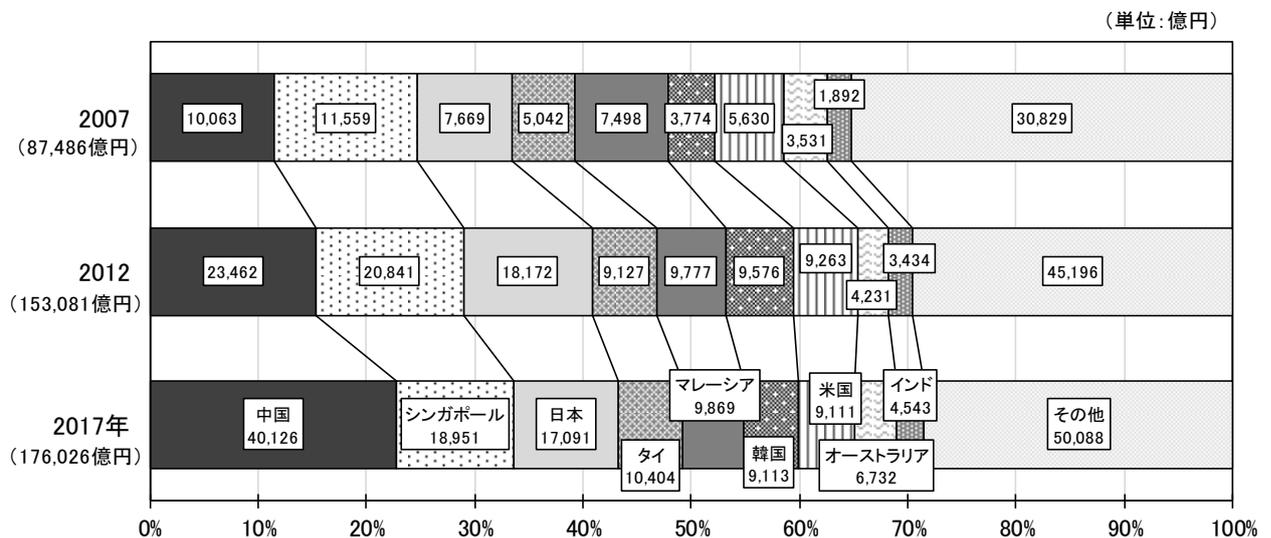
備考：一部推計値を含む。

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-11-3 インドネシアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-11-4 インドネシアの輸入相手国・地域の推移

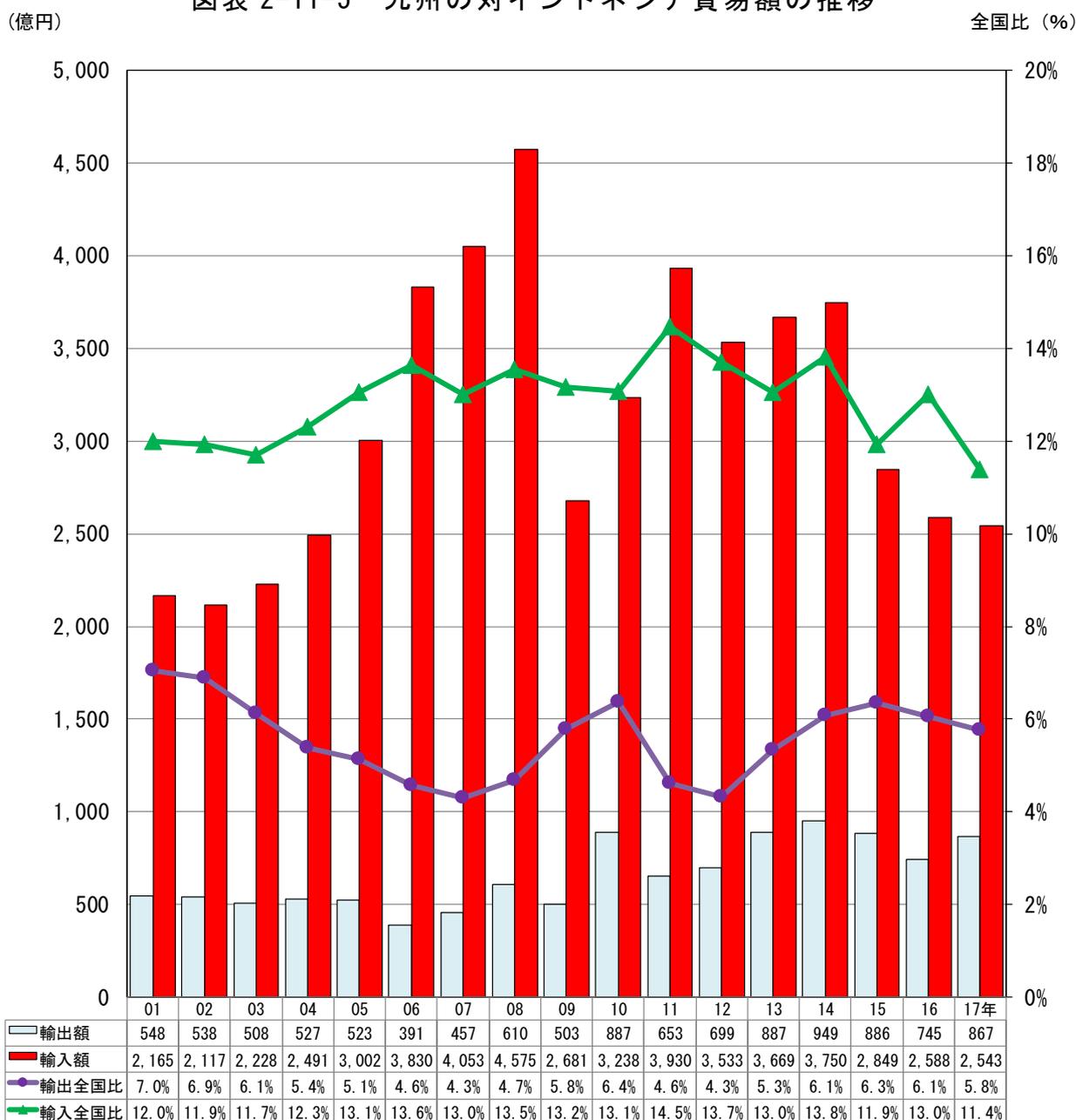


図表 2-11-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

11-2. 九州とインドネシアの貿易動向

- 2017年の九州の対インドネシア貿易額は、輸出が867億円（前年比16.3%増）で前年より増加した。一方、輸入は2,543億円（前年比1.7%減）で前年より減少し、3年連続の減少となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、有機化合物であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼のフラットロール製品（寄与度：+7.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同+6.6%）等であった。一方、減少では、荷役機械（同▲7.5%）、船舶類（同▲3.6%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石炭、石油ガス類、天然ゴムであった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、天然ゴム（寄与度：+4.9%）、石炭（同+3.4%）等であった。一方、減少では、石油ガス類（同▲8.5%）、非鉄金属鉱（同▲7.5%）等であった。

図表 2-11-5 九州の対インドネシア貿易額の推移

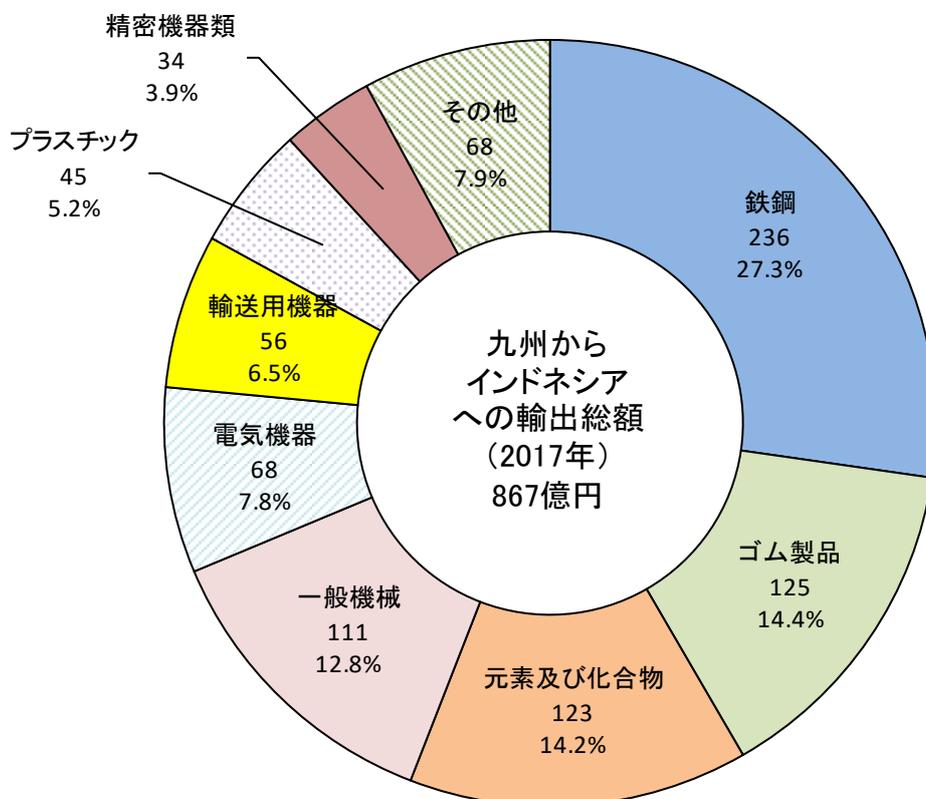


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-11-6 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	178	20.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	122	14.1%
有機化合物	元素及び化合物	90	10.4%
原動機	一般機械	61	7.0%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	56	6.4%
自動車	輸送用機器	51	5.9%
科学光学機器	精密機器類	34	3.9%
無機化合物	元素及び化合物	33	3.9%
半導体等電子部品	電気機器	24	2.8%
通信機	電気機器	21	2.4%
その他		198	22.8%
総 額		867	100.0%

寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール（+7.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（+6.6%）等

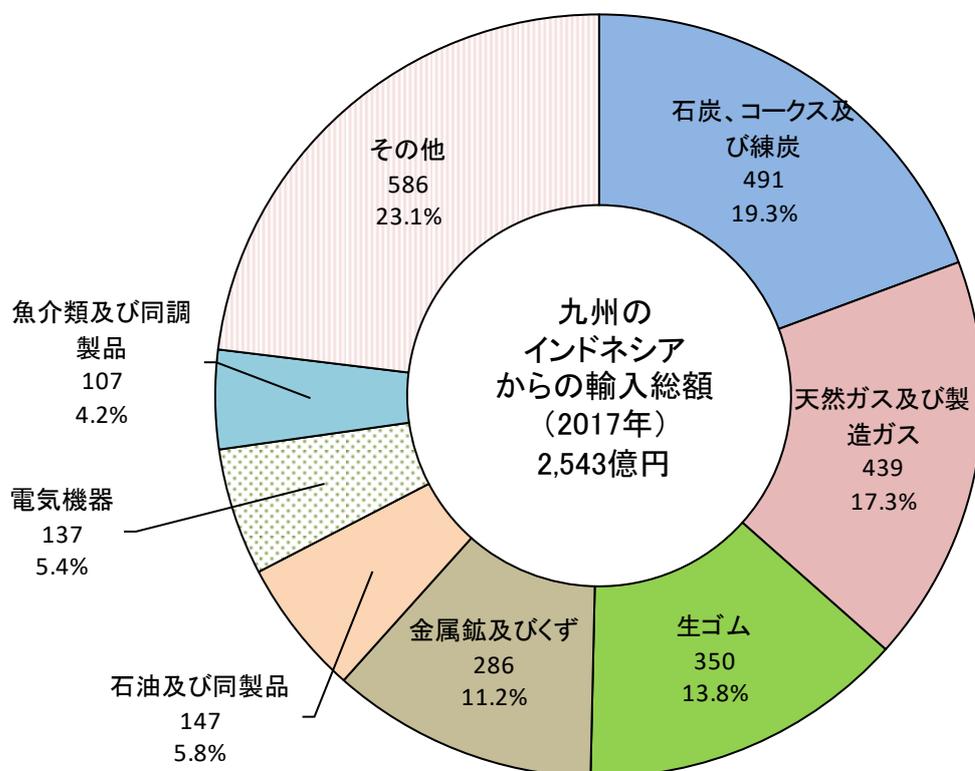
寄与度（減少分）：荷役機械（▲7.5%）、船舶類（▲3.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-7 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	491	19.3%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	439	17.3%
天然ゴム	生ゴム	350	13.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	277	10.9%
原油及び粗油	石油及び同製品	147	5.8%
魚介類	魚介類及び同調製品	82	3.2%
自動車の部分品	輸送用機器	74	2.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	71	2.8%
すず及び同合金	非鉄金属	63	2.5%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	51	2.0%
その他		497	19.5%
総 額		2,543	100.0%

寄与度(増加分)：天然ゴム(+4.9%)、石炭(+3.4%)等

寄与度(減少分)：石油ガス類(▲8.5%)、非鉄金属鉱(▲7.5%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

12. 九州とミャンマーの貿易

12-1. ミャンマーの経済概況

国名	ミャンマー連邦共和国
面積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
人種	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業

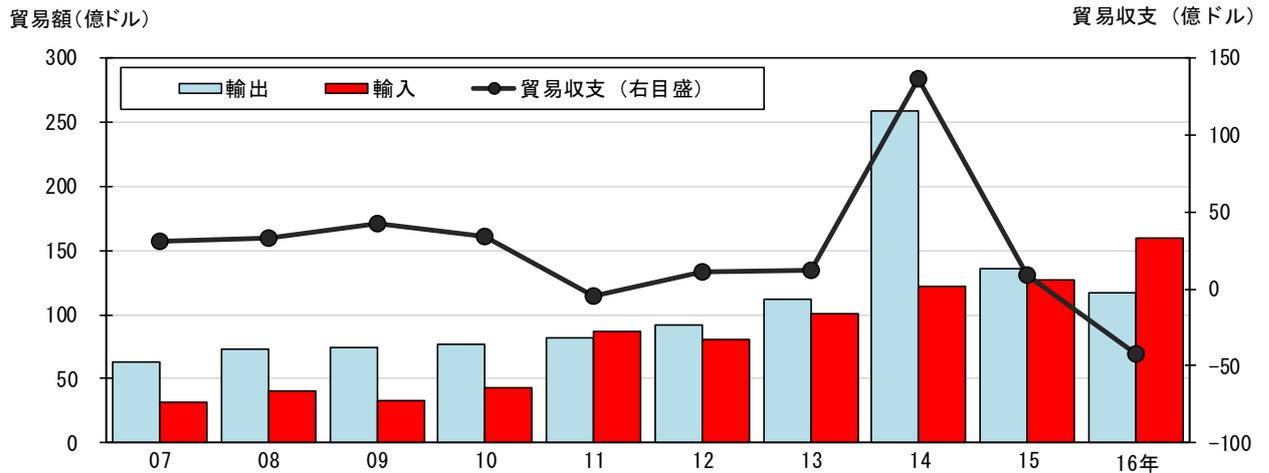
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-12-1 ミャンマー経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.3	8.4	8.0	7.3	6.3
名目GDP総額	10億ドル	59.7	60.1	65.6	59.5	66.3
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,182	1,180	1,275	1,148	1,269
輸出額	億ドル	91.6	112.2	259.0	136.3	117.3
	前年比(%)	11.6	22.5	130.8	▲ 47.4	▲ 13.9
輸入額	億ドル	80.0	100.4	122.3	127.1	159.2
	前年比(%)	▲ 8.1	25.4	21.8	4.0	25.2
貿易収支	億ドル	11.6	11.8	136.7	9.1	▲ 41.9
対日貿易収支	億ドル	▲ 5.1	▲ 2.1	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 5.9
消費者物価上昇率	(%)	1.5	5.5	5.5	9.5	7.0
直接投資受入額	億ドル	11.28	31.67	43.42	77.76	111.18
為替レート(1ドル)	チャット	640.65	933.57	984.35	1162.62	1234.87

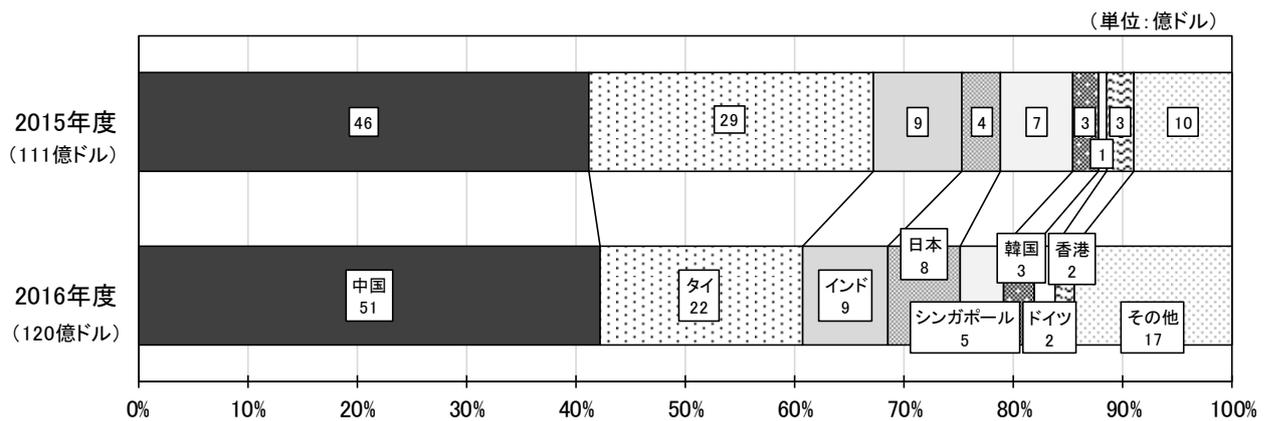
出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-12-2 ミャンマーの対外貿易額の推移

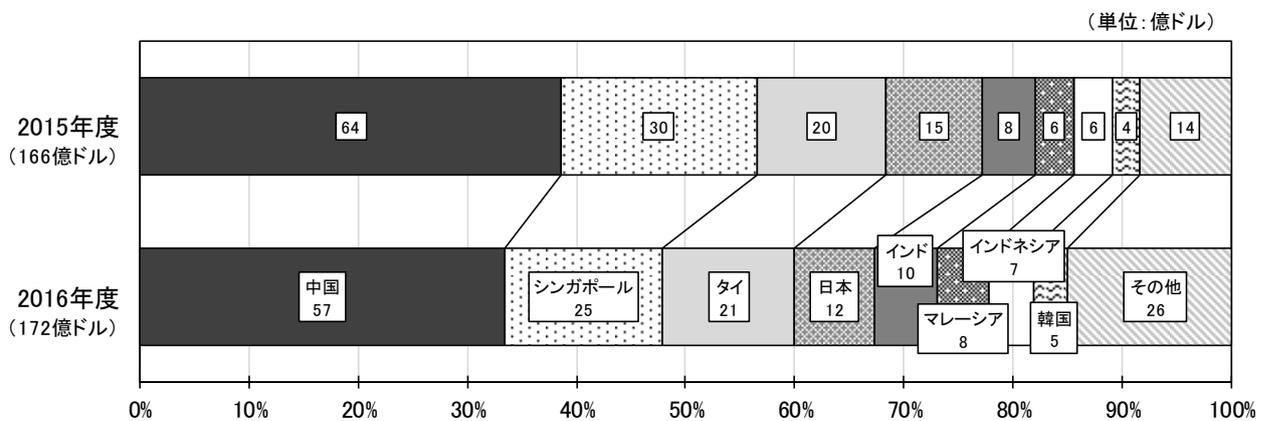


出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

図表 2-12-3 ミャンマーの輸出相手国・地域の推移



図表 2-12-4 ミャンマーの輸入相手国・地域の推移

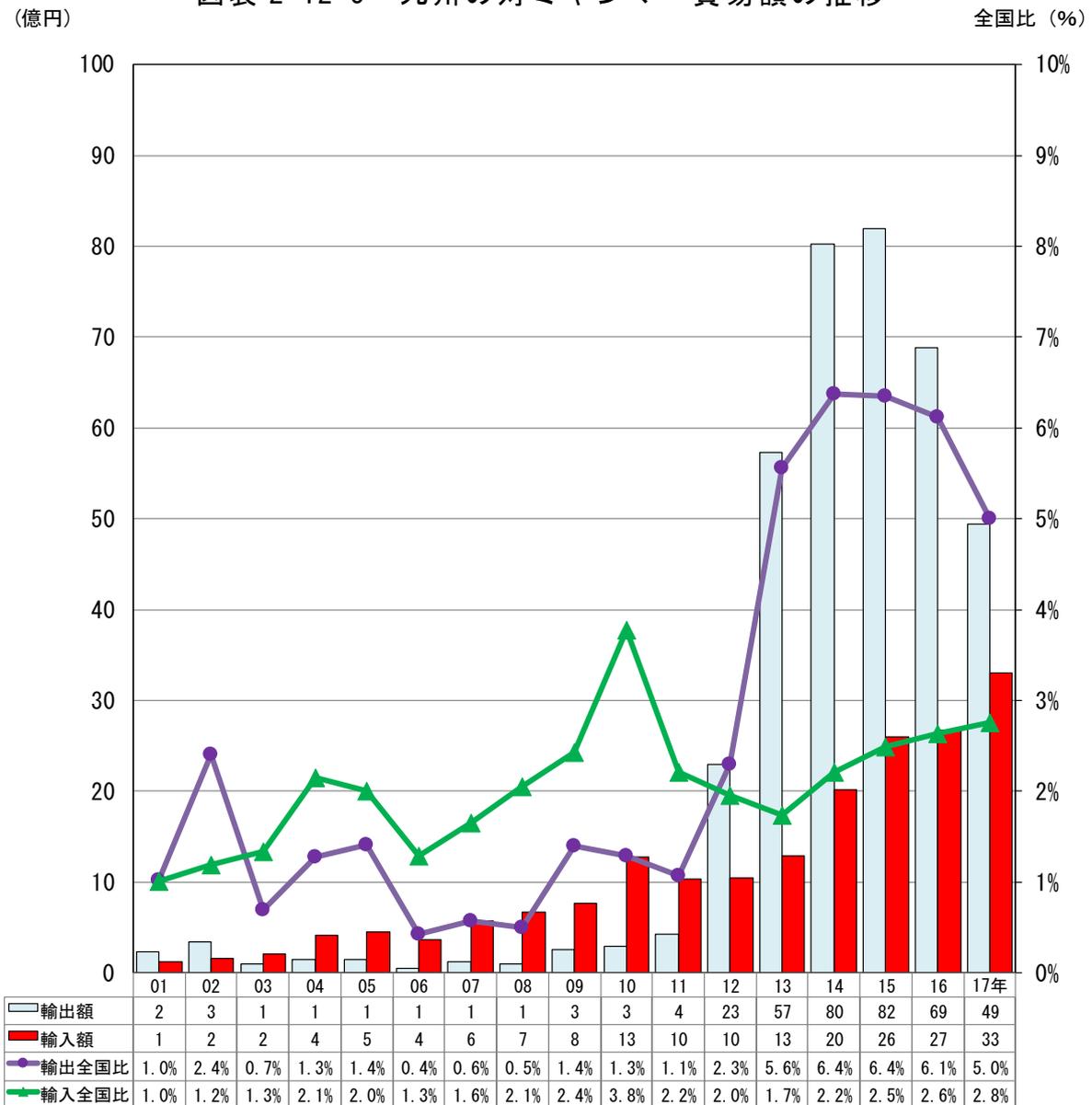


図表 2-12-3~4 出所：Central Statistical Organization Ministry of Planning and Finance より九州経済産業局作成。

12-2. 九州とミャンマーの貿易動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2017年の九州の対ミャンマー貿易額は、輸出が49億円（前年比28.1%減）で前年より減少し、2年連続の減少となった。一方、輸入は33億円（前年比23.4%増）で前年より増加し、2012年以降5年連続の増加となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、鉄鋼のフラットロール製品であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、有機化合物（寄与度：+1.3%）、鉄鋼のフラットロール製品（同+1.1%）等であった。一方、減少では、自動車（同▲27.2%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（同▲1.6%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、衣類（寄与度：+11.5%）、メリヤス編み及びクロセ編み衣類（同+5.4%）等であった。一方、減少では、野菜（同▲3.1%）であった。

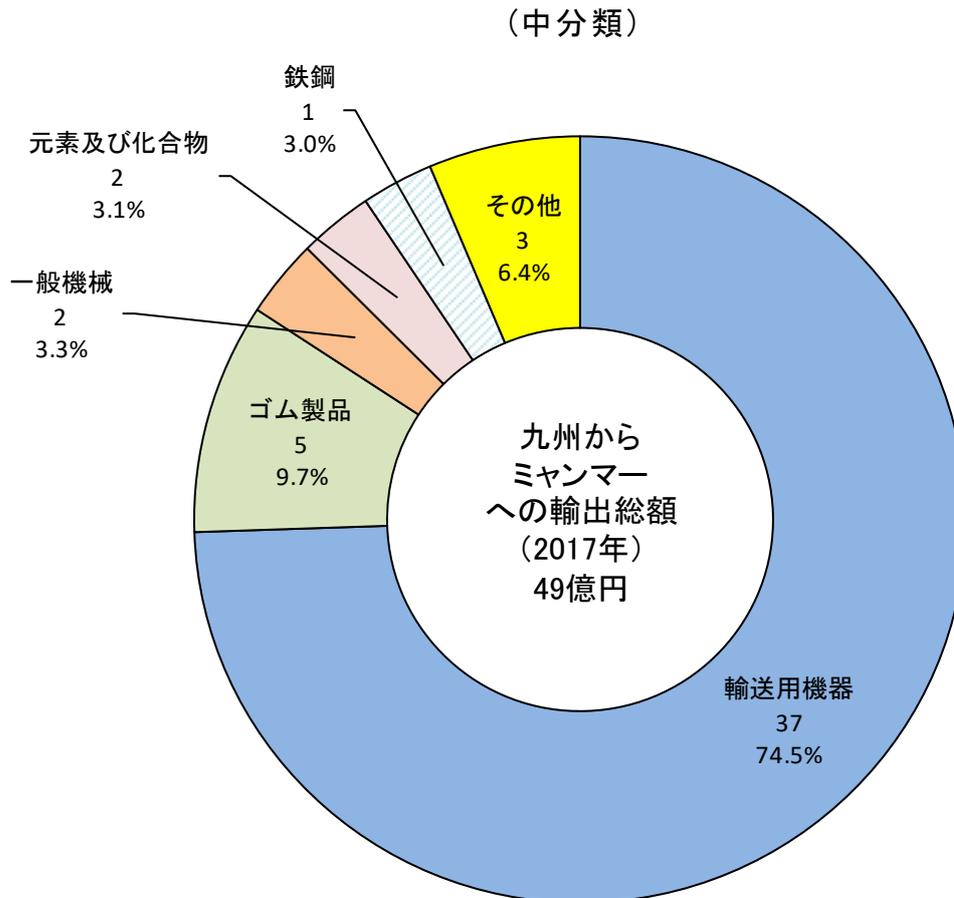
図表 2-12-5 九州の対ミャンマー貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-12-6 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	36	73.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	5	9.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1	3.0%
有機化合物	元素及び化合物	1.4	2.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	0.5	1.0%
二輪自動車類	輸送用機器	0.4	0.8%
紙及び板紙	紙類及び同製品	0.4	0.7%
構造物及び同建設材	金属製品	0.3	0.7%
映像機器	電気機器	0.3	0.6%
パルプ製造・製紙及び紙加工機械	一般機械	0.3	0.6%
その他		3	6.4%
総 額		49	100.0%

寄与度（増加分）：有機化合物（+1.3%）、鉄鋼のフラットロール製品（+1.1%）等

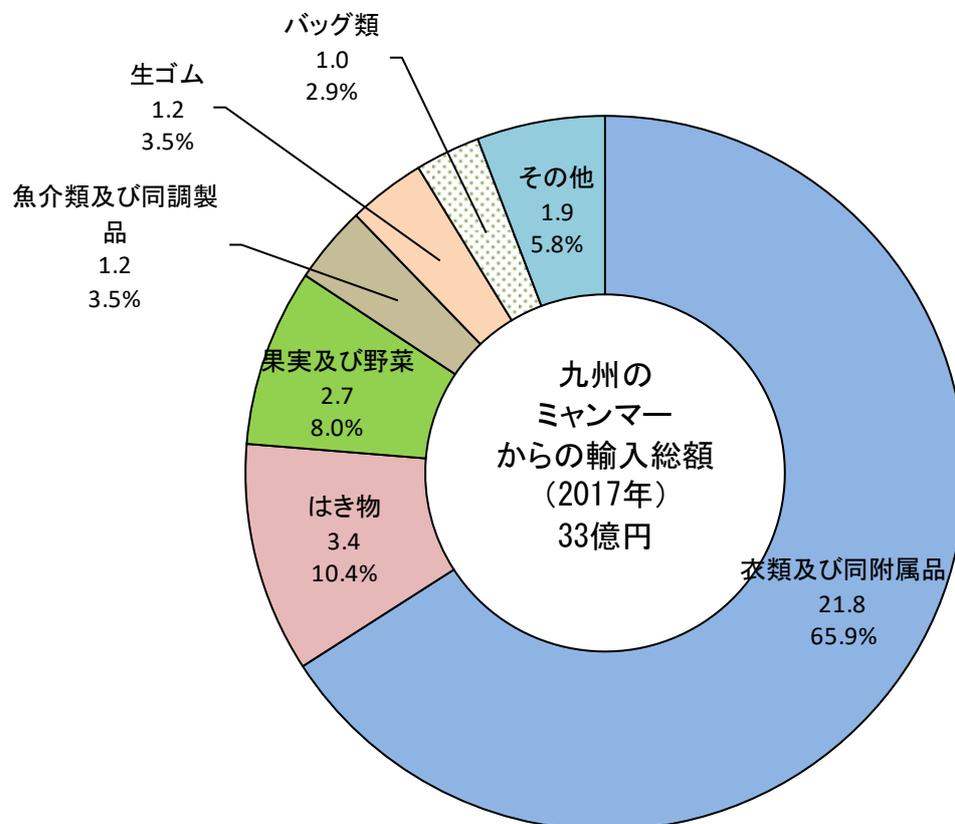
寄与度（減少分）：自動車（▲27.2%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-7 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
衣類	衣類及び同附属品	18.1	54.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	3.6	11.0%
野菜	果実及び野菜	2.6	7.8%
天然ゴム	生ゴム	1.2	3.5%
魚介類	魚介類及び同調製品	0.9	2.7%
その他		6.7	20.2%
総 額		33	100%

寄与度 (増加分)：衣類 (+11.5%)、メリヤス編み及びクロセ編み衣類 (+5.4%) 等

寄与度 (減少分)：野菜 (▲3.1%)

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

13. 九州とインドの貿易

13-1. インドの経済概況

国名	インド
面積	328万7,469km ² (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
人種	インド・アリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

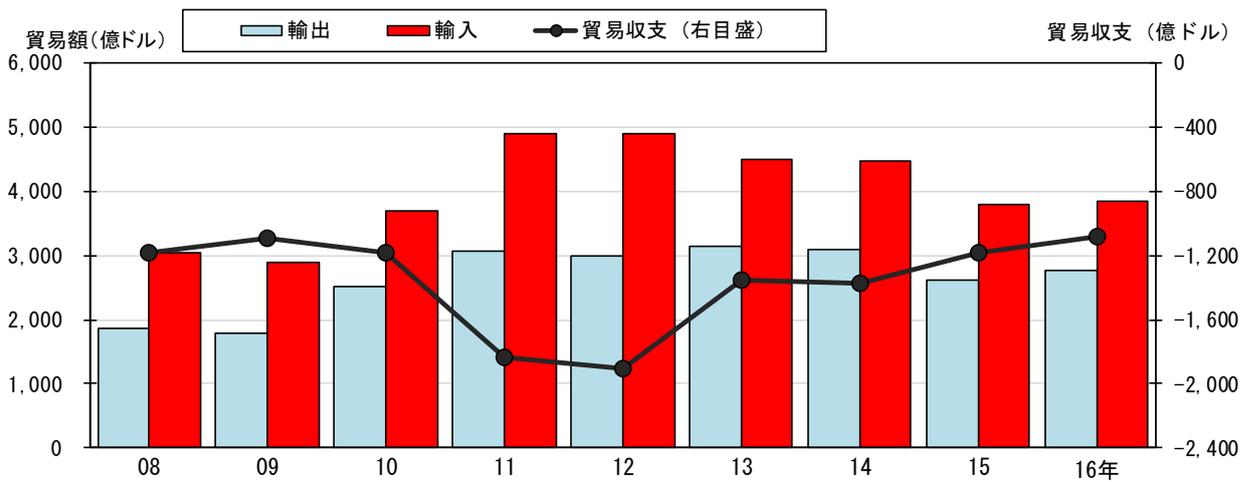
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-13-1 インドのマクロ経済

	単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実質GDP成長率	前年比(%)	5.5	6.4	7.4	8.2	7.1
名目GDP総額	十億ドル	1,828	1,857	2,035	2,090	2,264
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,482	1,486	1,607	1,629	1,742
輸出額	億ドル	3,004	3,144	3,104	2,623	2,757
	前年比(%)	▲ 1.8	4.7	▲ 1.3	▲ 15.5	5.1
輸入額	億ドル	4,907	4,502	4,480	3,810	3,841
	前年比(%)	0.3	▲ 8.3	▲ 0.5	▲ 15.0	0.8
貿易収支	億ドル	▲ 1,903	▲ 1,358	▲ 1,377	▲ 1,187	▲ 1,084
対日貿易収支	億ドル	▲ 63	▲ 27	▲ 47	▲ 52	▲ 59 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	1.1	3.3	4.0	3.3	4.6
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	9.9	9.4	5.9	4.9	4.5
直接投資受入額	億ドル	270	308	353	449	422 *
為替レート(1ドル)	ルピー	53.44	58.60	61.03	64.15	67.20
為替レート(1ルピー)	円	1.49	1.67	1.74	1.89	1.62

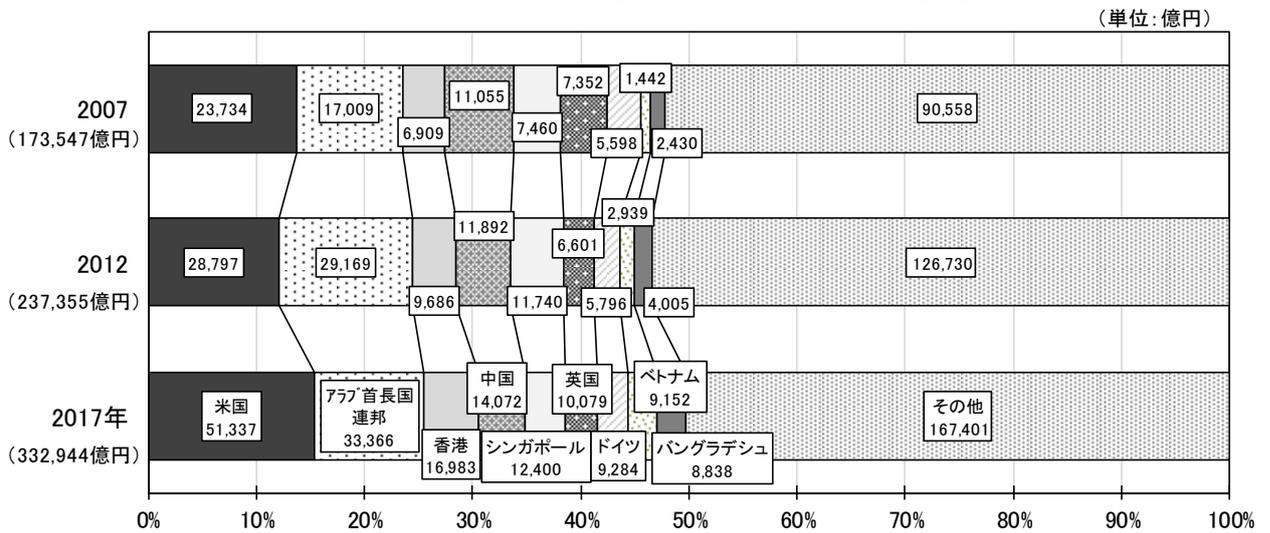
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-13-2 インドの対外貿易額の推移

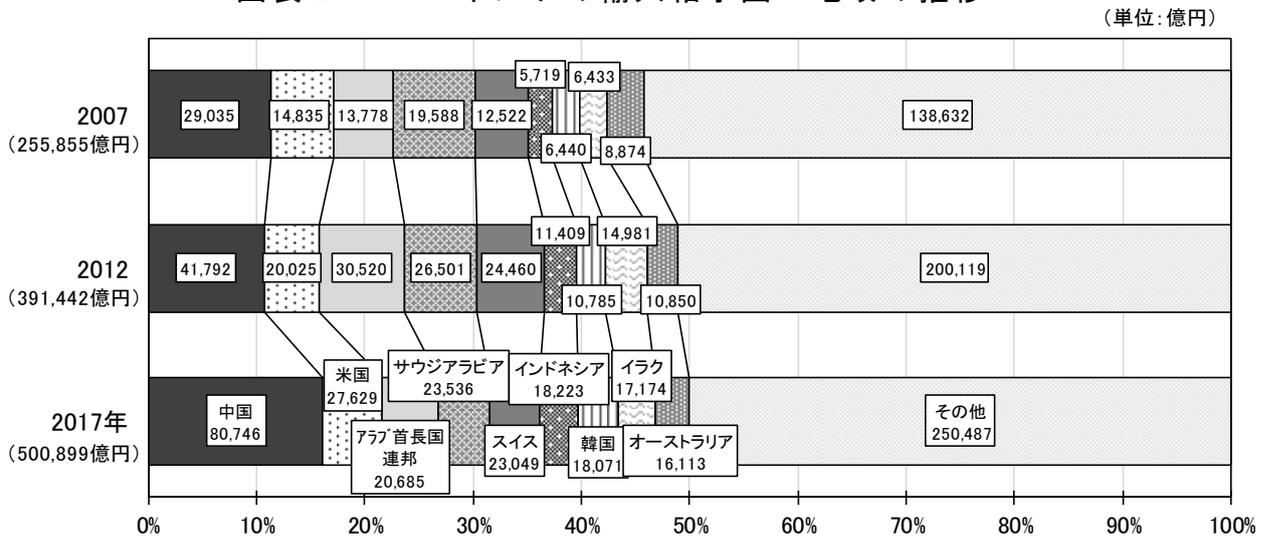


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-13-3 インドの輸出相手国・地域の推移



図表 2-13-4 インドの輸入相手国・地域の推移

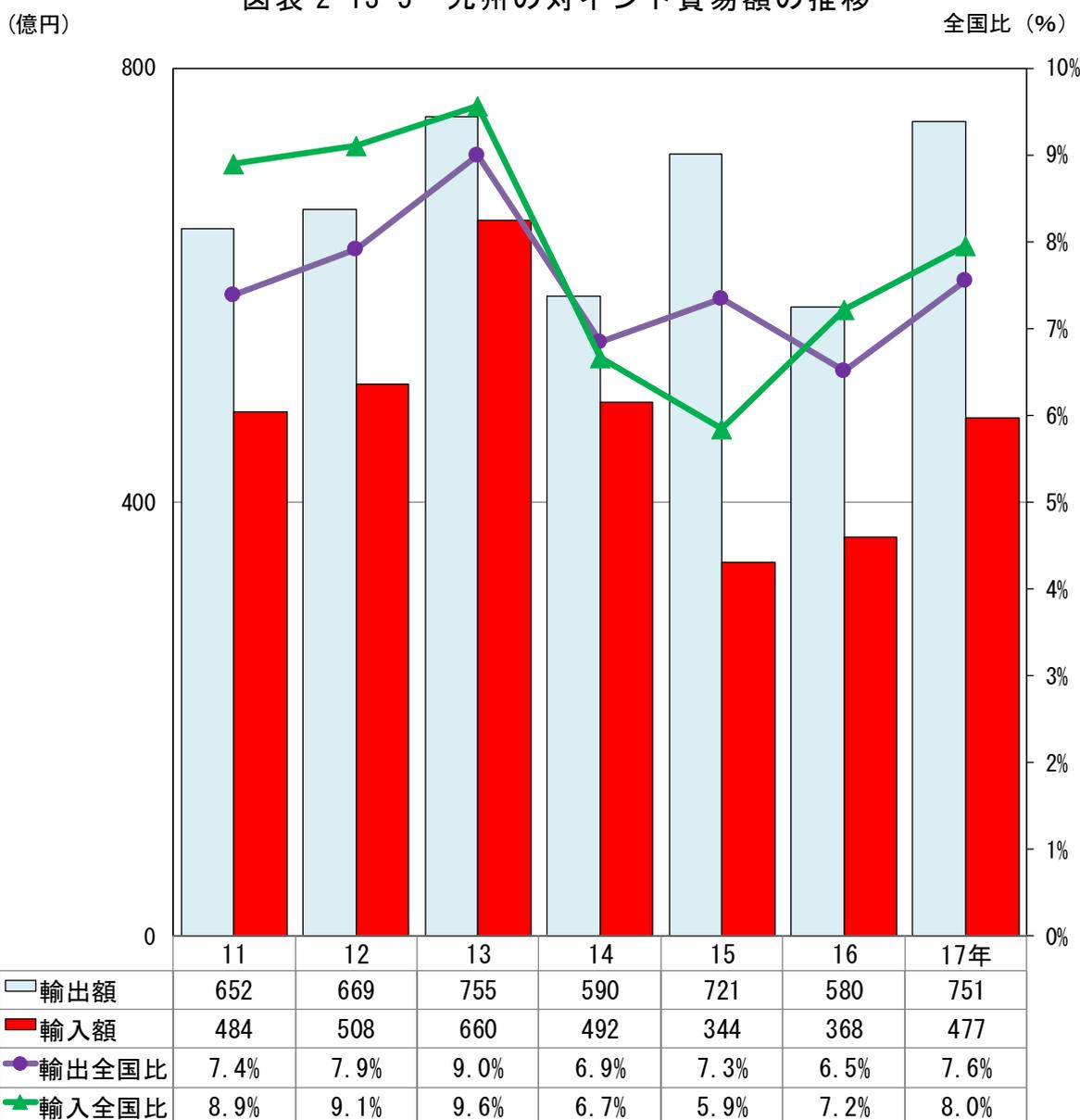


図表 2-13-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

13-2. 九州とインドの貿易動向

- 2017年の九州の対インド貿易額は、輸出が751億円（前年比29.5%増）で前年より増加した。一方、輸入も477億円（前年比29.9%増）で前年より増加し、2年連続の増加となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、コークス、織物用糸であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、鉄鋼のフラットロール製品（寄与度：+14.6%）、コークス（同+14.0%）等であった。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲5.1%）、軌条及びその他の鉄道線路建設材（同▲5.0%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品、植物性油かす、魚介類であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、植物性油かす（寄与度：+12.9%）、石油製品（同+11.2%）等であった。一方、減少では、自動車の部分品（同▲1.9%）、アルミニウム及び同合金（同▲0.5%）等であった。

図表 2-13-5 九州の対インド貿易額の推移

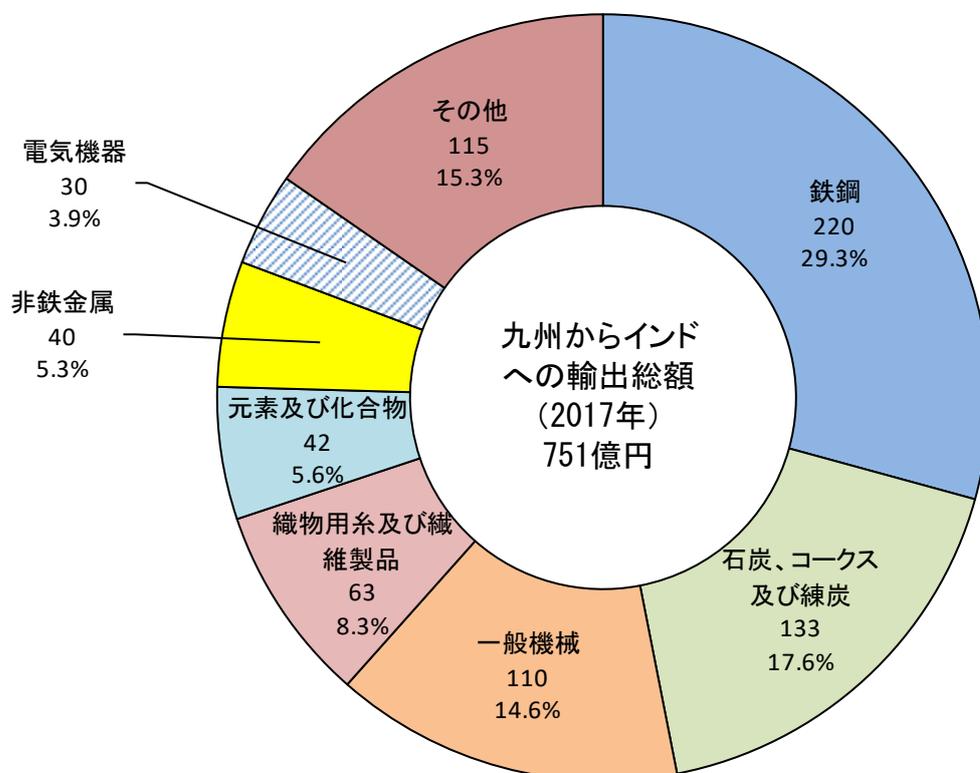


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-6 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	188	25.0%
コークス	石炭、コークス及び練炭	133	17.6%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	59	7.9%
原動機	一般機械	53	7.0%
銅及び同合金	非鉄金属	39	5.2%
有機化合物	元素及び化合物	36	4.8%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	23	3.0%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	20	2.7%
金属加工機械	一般機械	17	2.3%
重電機器	電気機器	13	1.8%
その他		170	22.7%
総 額		751	100.0%

寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+14.6%)、コークス (+14.0%) 等

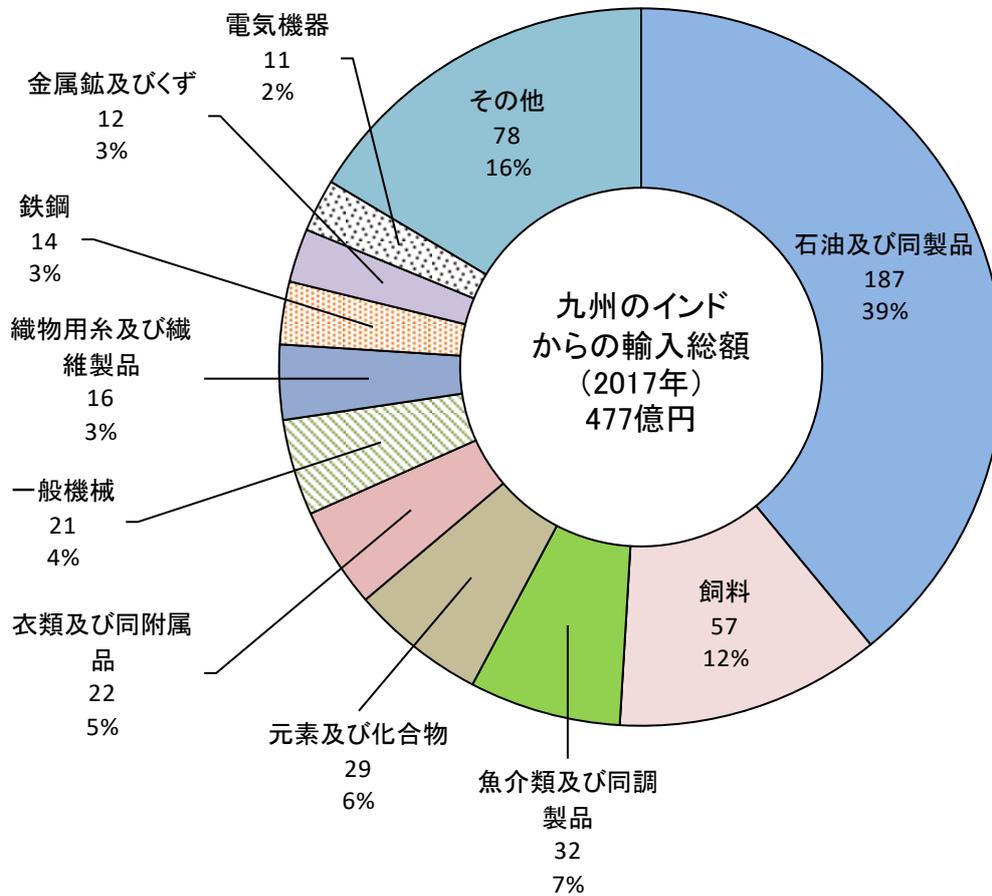
寄与度 (減少分)：半導体用電子部品 (▲5.1%)、軌条及びその他の鉄道線路建設材 (▲5.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-7 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油製品	石油及び同製品	187	39.1%
植物性油かす	飼料	54	11.3%
魚介類	魚介類及び同調製品	32	6.7%
有機化合物	元素及び化合物	24	5.0%
衣類	衣類及び同附属品	20	4.2%
原動機	一般機械	15	3.2%
合金鉄	鉄鋼	13	2.7%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	11	2.4%
果実	果実及び野菜	11	2.3%
綿花	織物用繊維及びびくず	9	1.9%
その他		102	21.3%
総額		477	100.0%

寄与度 (増加分)：植物性油かす (+12.9%)、石油製品 (+11.2%) 等

寄与度 (減少分)：自動車の部分品 (▲1.9%)、アルミニウム及び同合金 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14 九州とEUの貿易

14-1. EUの概況

名 称	欧州連合 (European Union)
設 立	1993年11月
体 制	欧州理事会: 常任議長 ドナルド・トゥスク(Donald Tusk) 前ポーランド首相 EU理事会: 半年交替の輪番制議長国閣僚(2018年前半ブルガリア、2018年後半オーストラリア)
加 盟 国	28ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

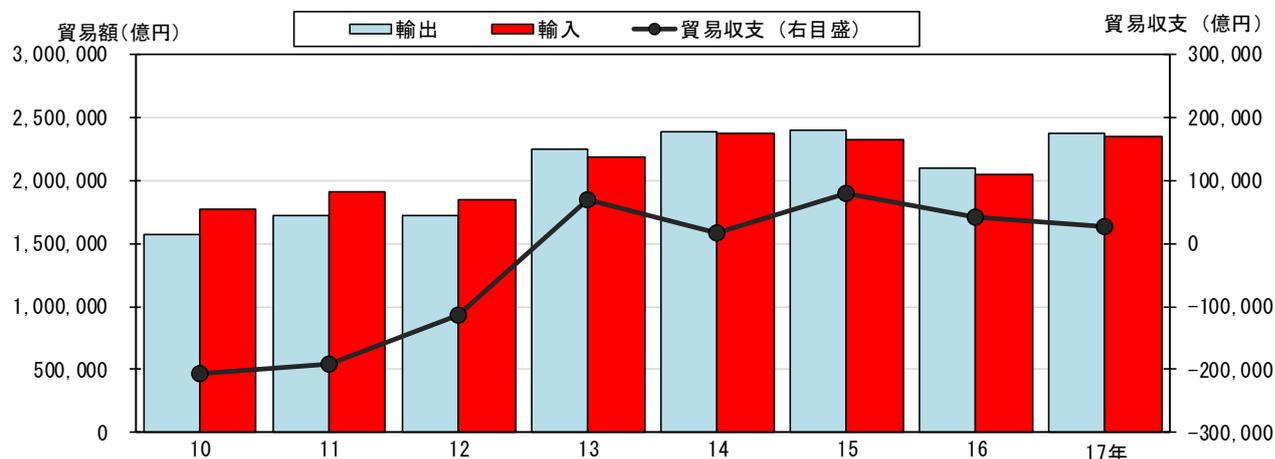
図表 2-14-1 世界の地域経済圏との比較（2016年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	64,051	25,559	3,990	22,425
欧州連合 (EU)	28か国	51,039	164,935	32,316	106,409
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	48,978	213,362	43,563	52,759
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,324	27,128	9,251	5,182

出所：UNCTADstatより九州経済産業局作成。

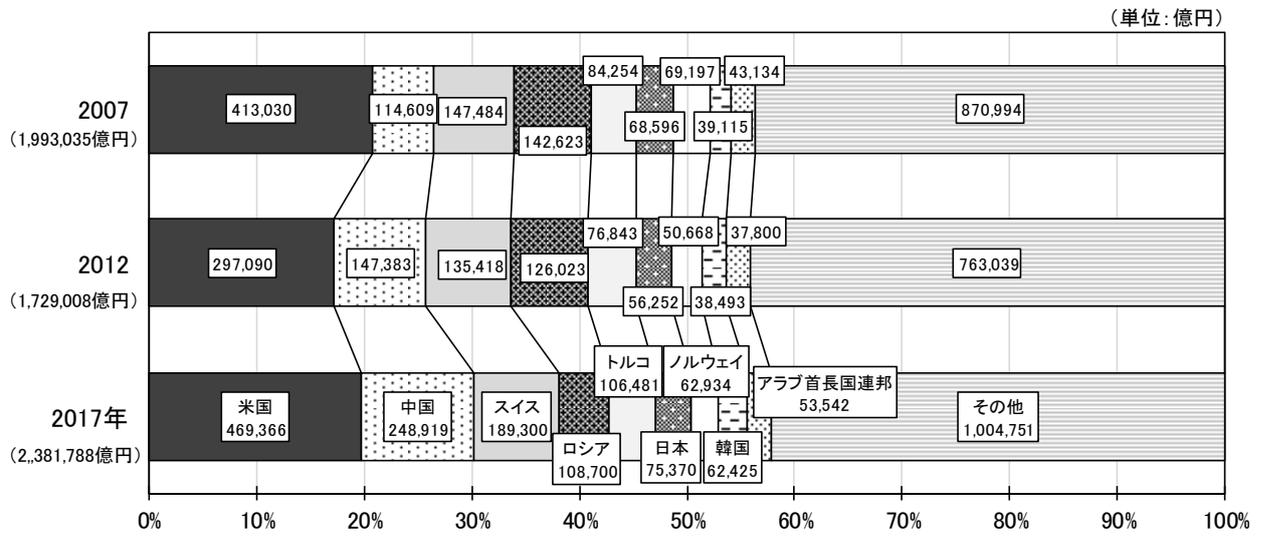
備考：NAFTA加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-14-2 EUの対外貿易額の推移

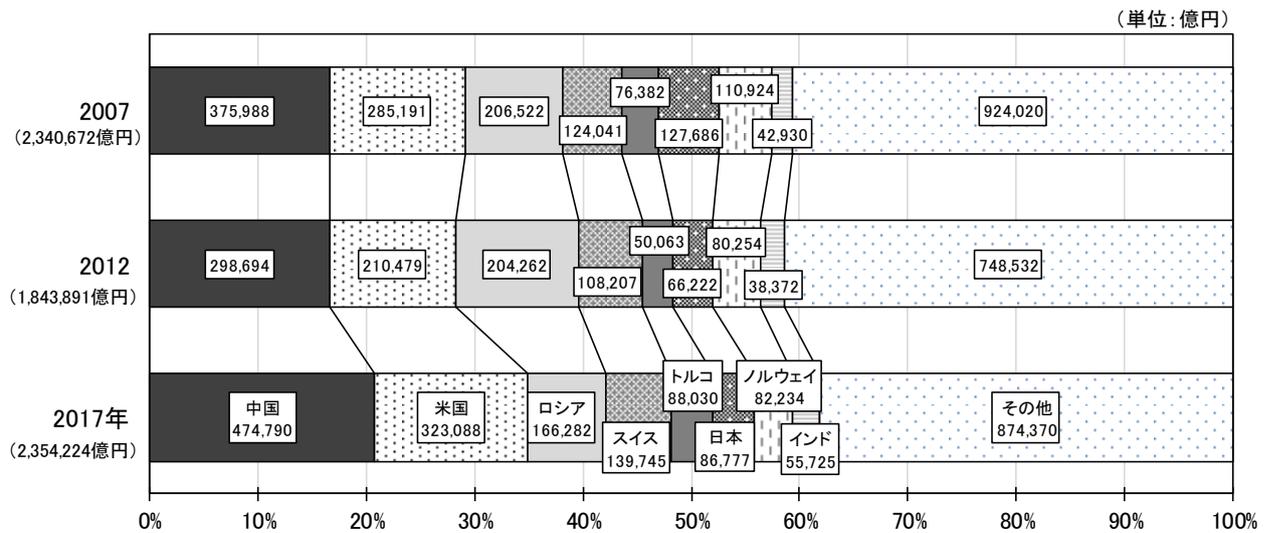


出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-3 EU の輸出相手国・地域の推移



図表 2-14-4 EU の輸入相手国・地域の推移

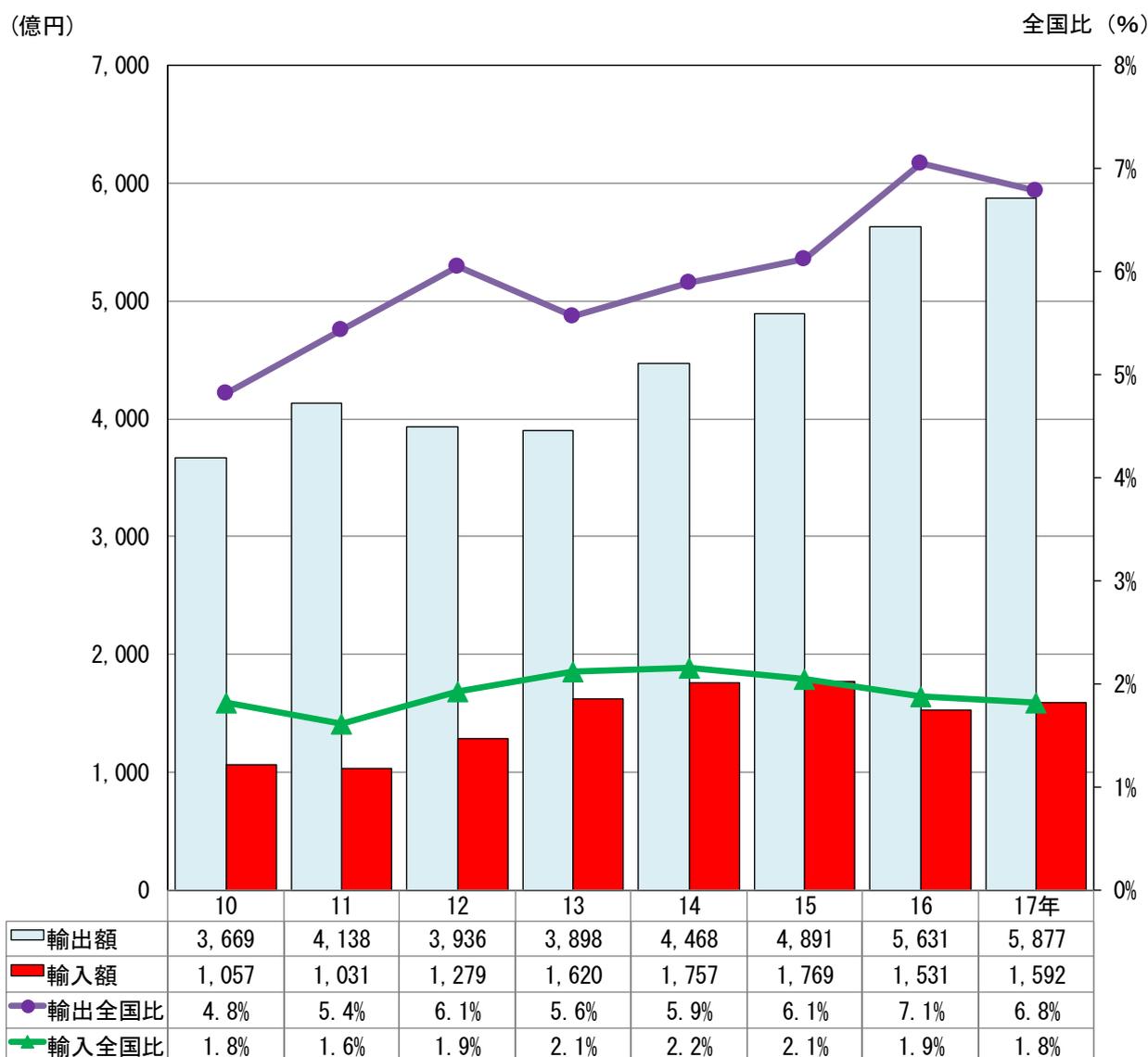


図表 2-14-3~4 出所: 「Global Trade Atlas」 より九州経済産業局作成。

14-2. 九州とEUの貿易動向

- 2017年の九州の対EU貿易額は、輸出が5,877億円（前年比4.4%増）で前年より増加し、4年連続の増加となった。一方、輸入も1,592億円（前年比4.0%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、事務用機器であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、二輪自動車（寄与度：+1.7%）、自動車（同+1.1%）等であった。一方、減少では、船舶類（同▲2.0%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲0.9%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、原動機、電気計測機器、自動車の部分品であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、原動機（寄与度：+3.4%）、電気計測機器（同+2.3%）等であった。一方、減少では、音響・映像機器（含部品）（同▲1.3%）、小麦及びメスリン（同▲0.8%）等であった。

図表 2-14-5 九州の対EU貿易額の推移

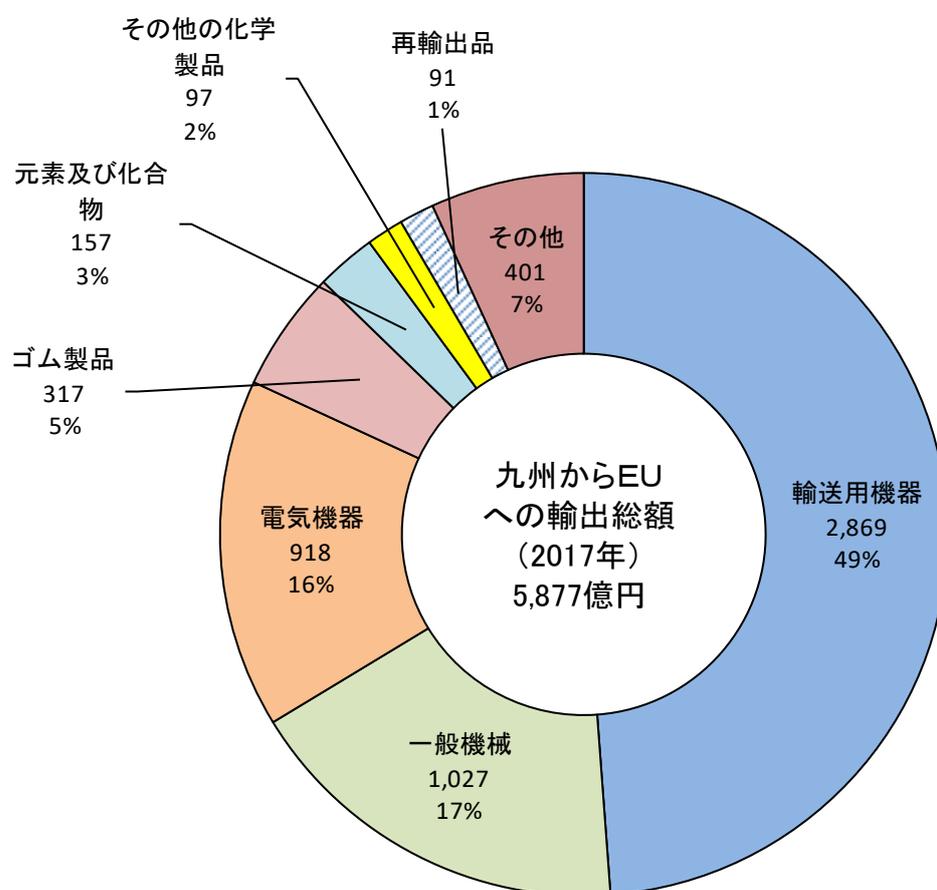


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-6 九州から EU への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



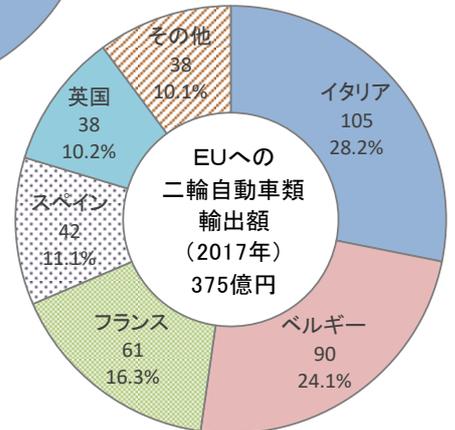
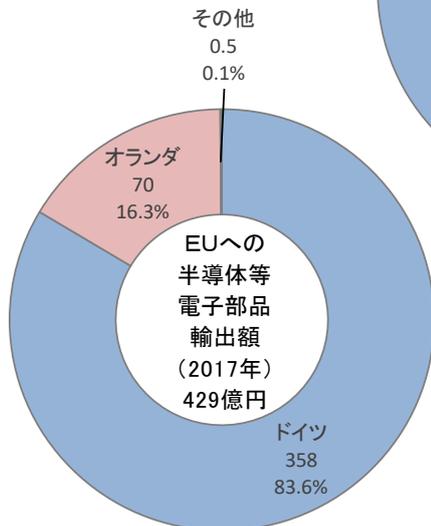
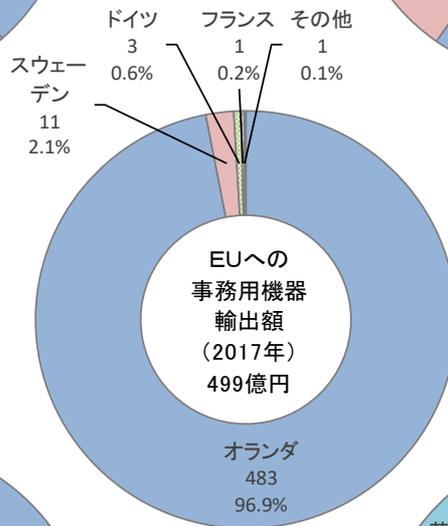
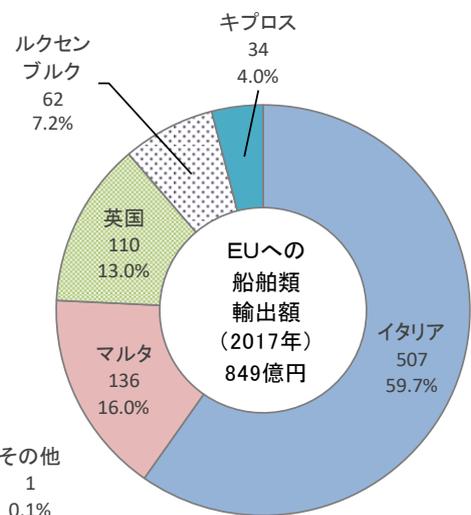
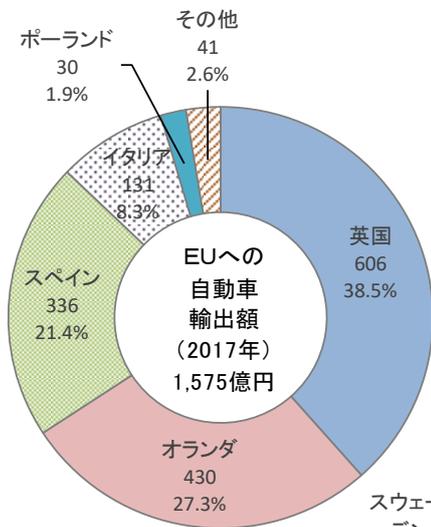
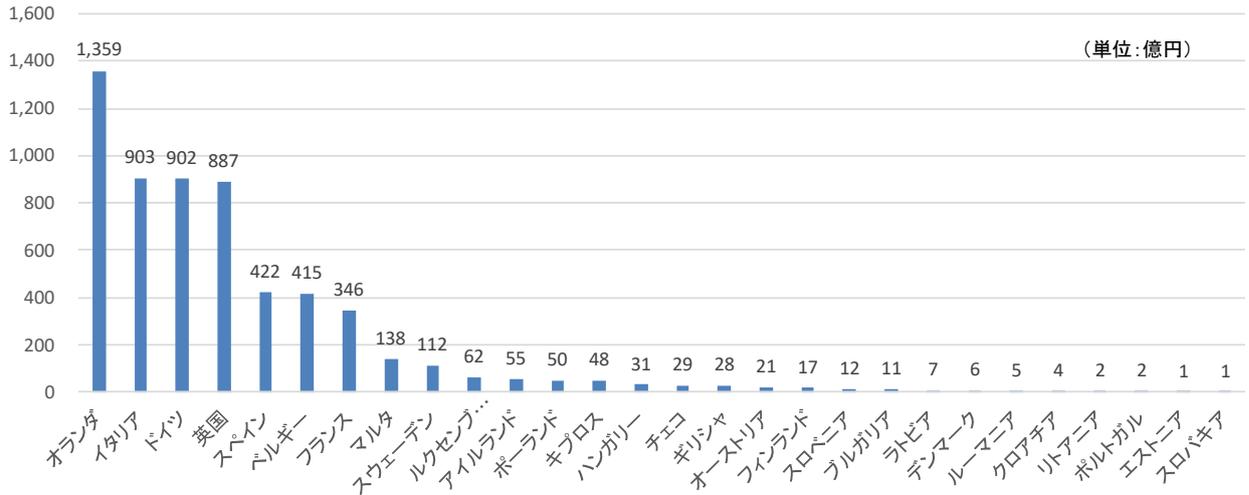
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	1,575	26.8%
船舶類	輸送用機器	849	14.4%
事務用機器	一般機械	499	8.5%
半導体等電子部品	電気機器	429	7.3%
二輪自動車類	輸送用機器	375	6.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	306	5.2%
映像機器	電気機器	190	3.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	145	2.5%
自動車用等の電気機器	電気機器	138	2.3%
有機化合物	元素及び化合物	120	2.1%
その他		1,252	21.3%
総計		5,877	100.0%

寄与度 (増加分) : 二輪自動車類 (+1.7%)、自動車 (+1.1%) 等

寄与度 (減少分) : 船舶類 (▲2.0%)、鉄鋼のフラットロール製品 (▲0.9%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

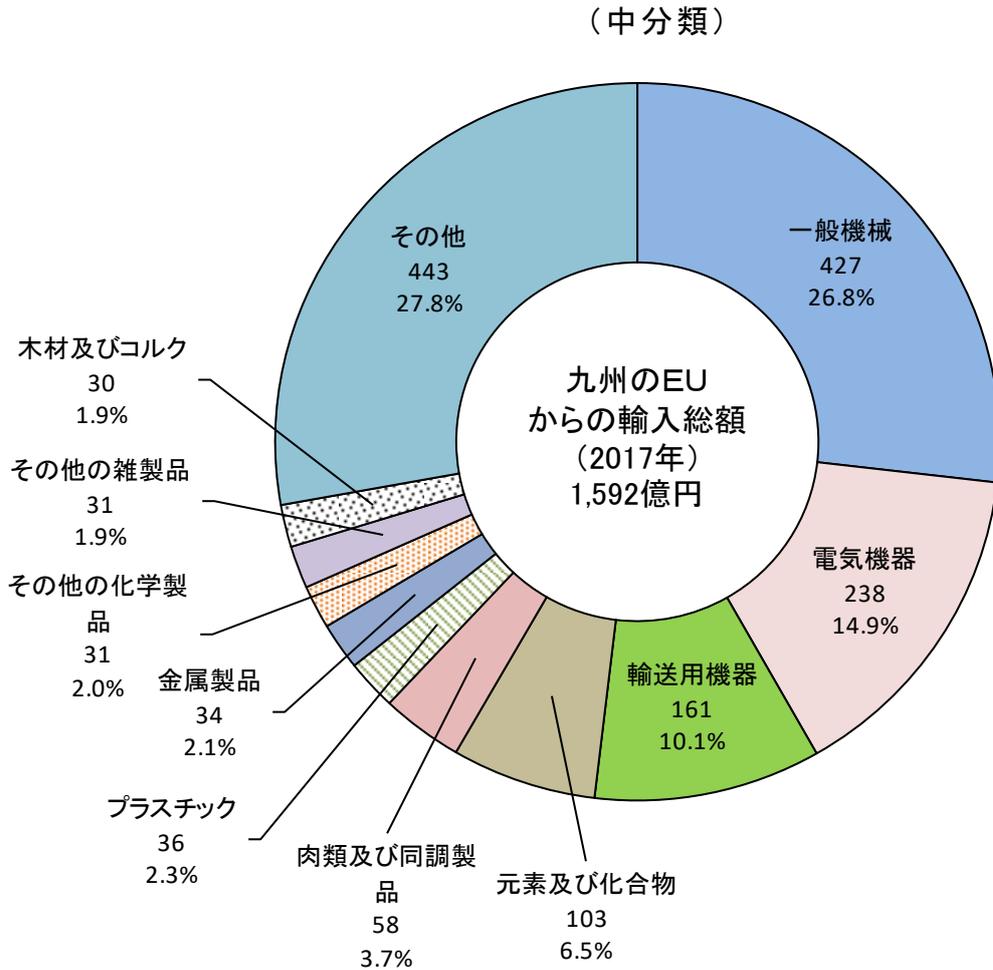
図表 2-14-7 九州から EU への国別輸出額



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-8 九州の EU からの輸入品目

(単位：億円、%)



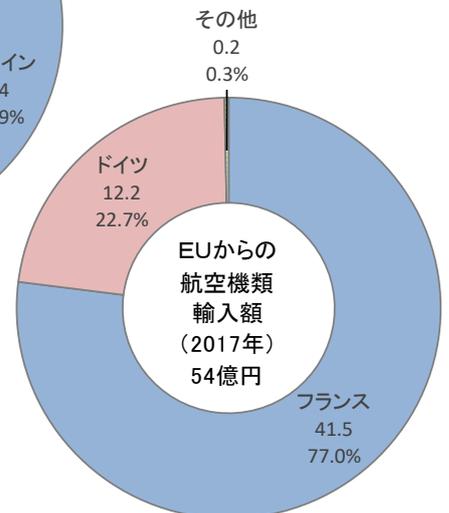
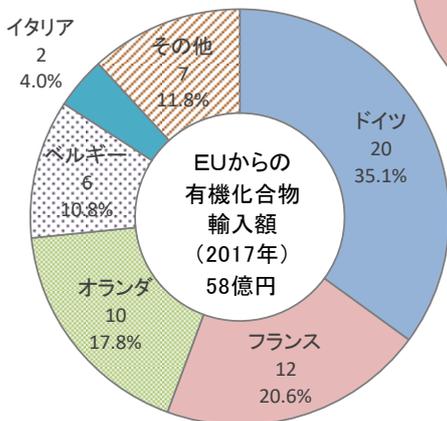
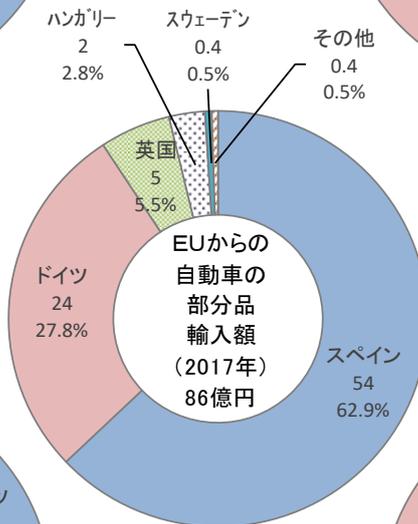
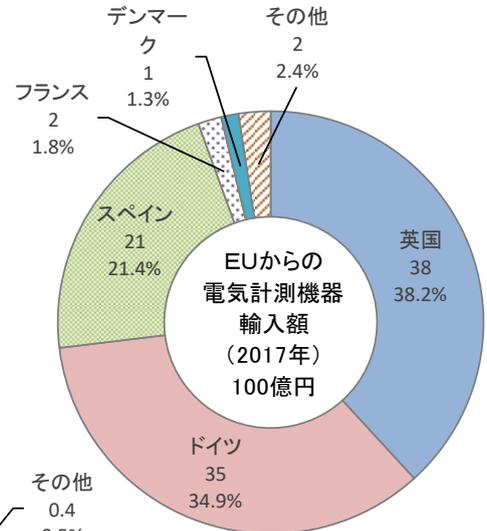
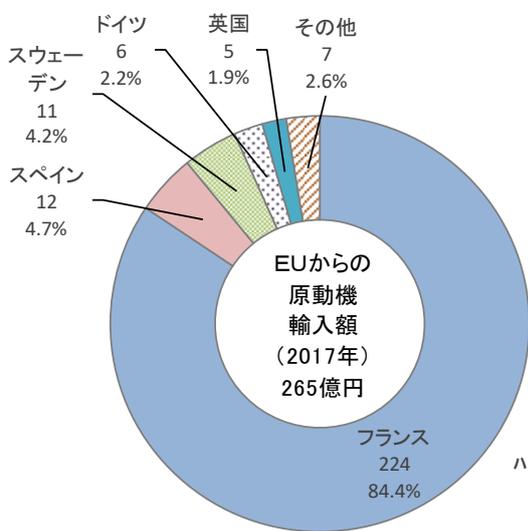
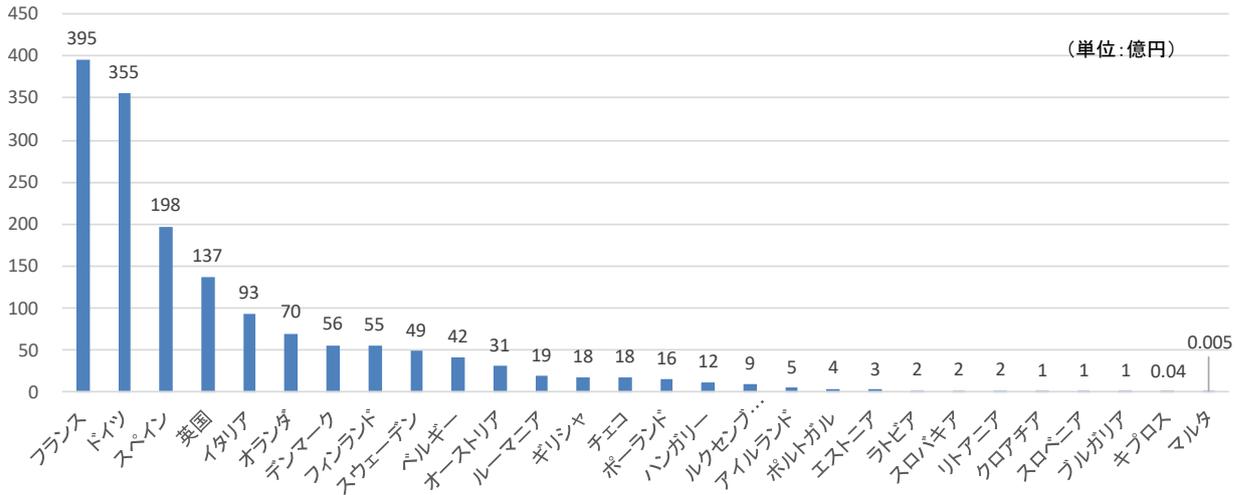
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
原動機	一般機械	265	16.6%
電気計測機器	電気機器	100	6.3%
自動車の部分品	輸送用機器	82	5.1%
有機化合物	元素及び化合物	58	3.6%
航空機類	輸送用機器	54	3.4%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	53	3.3%
無機化合物	元素及び化合物	45	2.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	43	2.7%
重電機器	電気機器	36	2.3%
木材	木材及びコルク	30	1.9%
その他		826	51.9%
総 額		1,592	100%

寄与度 (増加分) : 原動機 (+3.4%)、電気計測機器 (+2.3%) 等

寄与度 (減少分) : 音響・映像機器 (含部品) (▲1.3%)、小麦及びメリスン (▲0.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-9 九州の EU からの国別輸入額

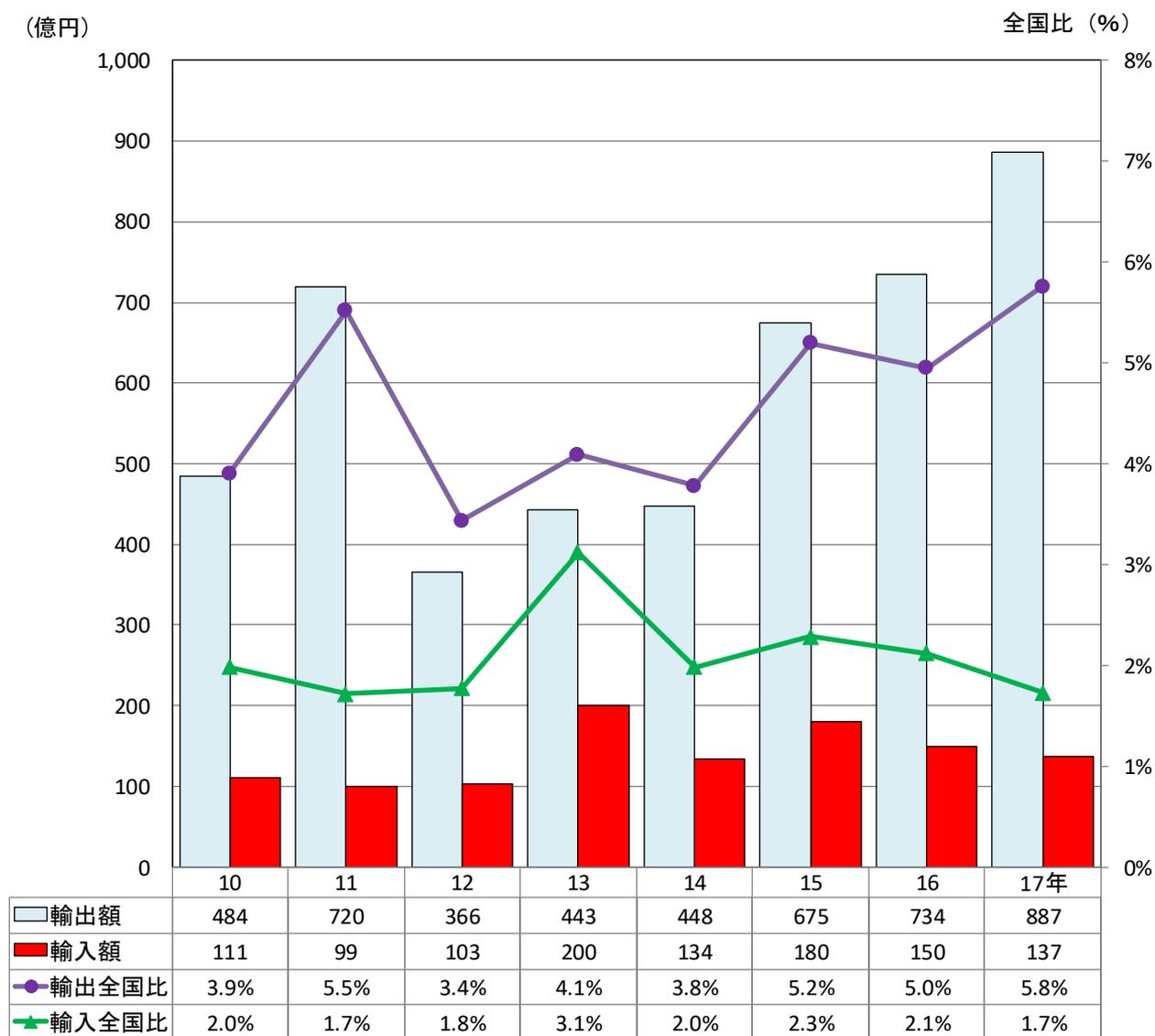


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14-3. 九州と英国の貿易動向

- 2017年の九州の対英国貿易額は、輸出が887億円（前年比20.8%増、EU内比率15.1%）で前年より増加し、5年連続の増加となった。一方、輸入は137億円（前年比8.4%減、EU内比率8.6%）で前年より減少し、2年連続の減少となった。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、二輪自動車類であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、電気計測機器、ニッケル及び同合金、自動車であった。

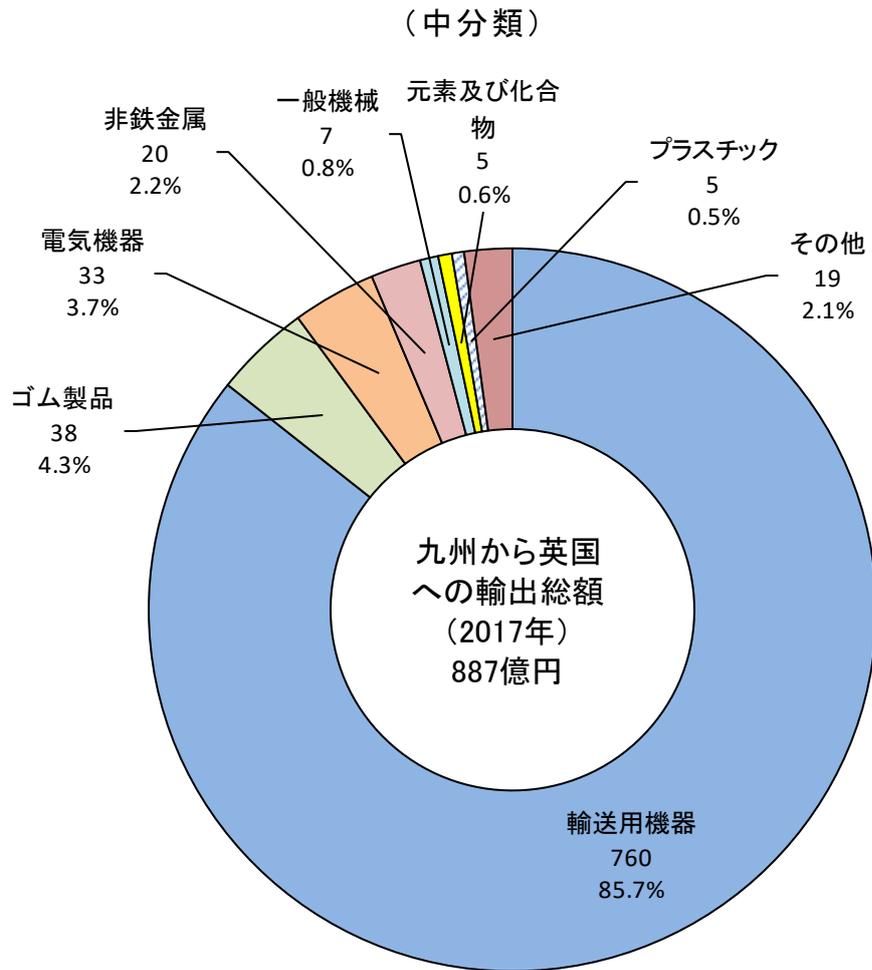
図表 2-14-10 九州の対英国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-11 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)



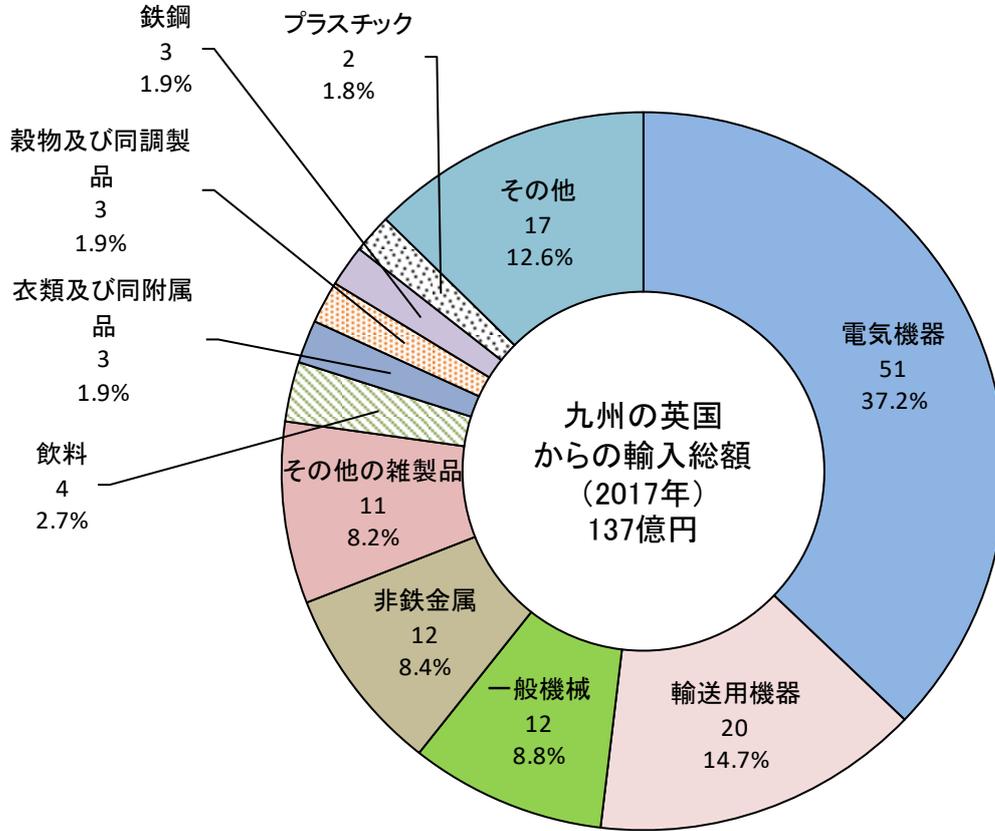
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	606	68.3%
船舶類	輸送用機器	110	12.4%
二輪自動車類	輸送用機器	38	4.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	37	4.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	19	2.1%
チタン及び同合金	非鉄金属	18	2.0%
鉄道用車両	輸送用機器	5	0.6%
重電機器	電気機器	4	0.5%
有機化合物	元素及び化合物	3	0.4%
加熱用・冷却用機器	一般機械	2	0.3%
その他		43	4.9%
総計		887	100%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-12 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
電気計測機器	電気機器	38	27.8%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	10	7.4%
自動車	輸送用機器	10	7.2%
自動車の部分品	輸送用機器	10	7.1%
原動機	一般機械	5	3.6%
重電機器	電気機器	4	3.2%
アルコール飲料	飲料	4	2.7%
合金鉄	鉄鋼	2	1.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	2	1.6%
麦芽	穀物及び同調製品	2	1.5%
その他		50	36.3%
総 額		137	100%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

15. 九州とロシアの貿易

15-1. ロシアの経済概況

国名	ロシア連邦
面積	約1,710万km ² (日本の45倍, 米国の2倍近く)
人口	1億4,680万人(2017年1月)
首都	モスクワ
言語	ロシア語
宗教	ロシア正教, イスラム教, 仏教, ユダヤ教等。
政体	共和制, 連邦制(共和国や州等83の構成主体からなる連邦国家)
主要産業	鉱業(石油, 天然ガス, 石炭, 金, ダイヤモンド等)、鉄鋼業、機械工業、化学工業、繊維工業

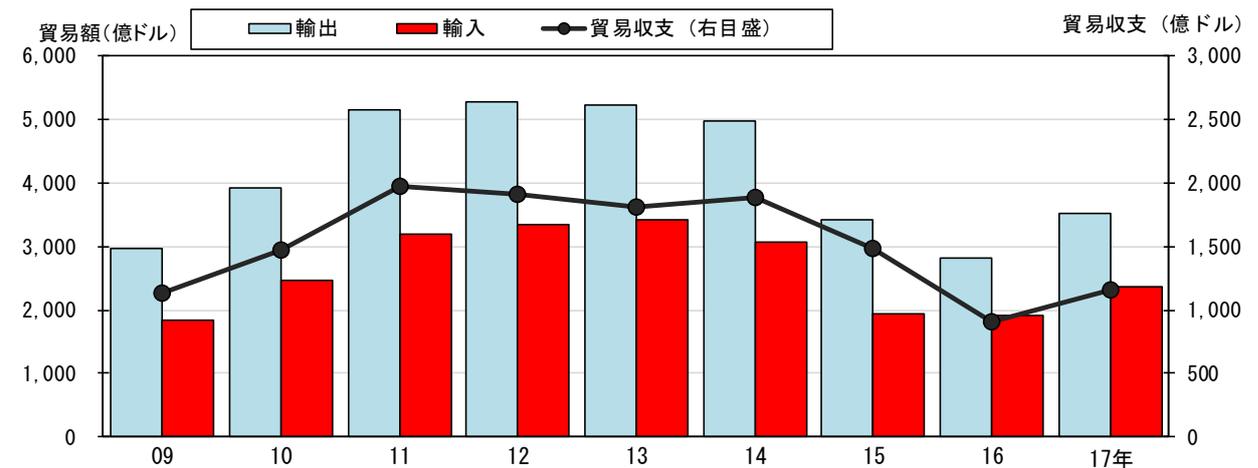
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-15-1 ロシアのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.8	0.7	▲ 2.5	▲ 0.2	1.5
名目GDP総額	十億ドル	2,297	2,064	1,366	1,283	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	16,023	14,388	9,521	8,946	-
輸出額	億ドル	5,218	4,968	3,414	2,819	3,531
	前年比(%)	▲ 1.1	▲ 4.8	▲ 31.3	▲ 17.4	25.3
輸入額	億ドル	3,413	3,079	1,930	1,916	2,378
	前年比(%)	1.6	▲ 9.8	▲ 37.3	▲ 0.7	24.1
貿易収支	億ドル	1,806	1,889	1,484	903	1,153
対日貿易収支	億ドル	61	89	77	27	27*
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.4	1.6	▲ 0.8	1.3	0.9
失業率	(%)	5.5	5.2	5.6	5.5	6.5
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	6.8	7.8	15.5	7.1	3.7
直接投資受入額	億ドル	692	220	48	325	279*
為替レート(1ドル)	ルーブル	31.87	38.64	61.24	66.95	58.33

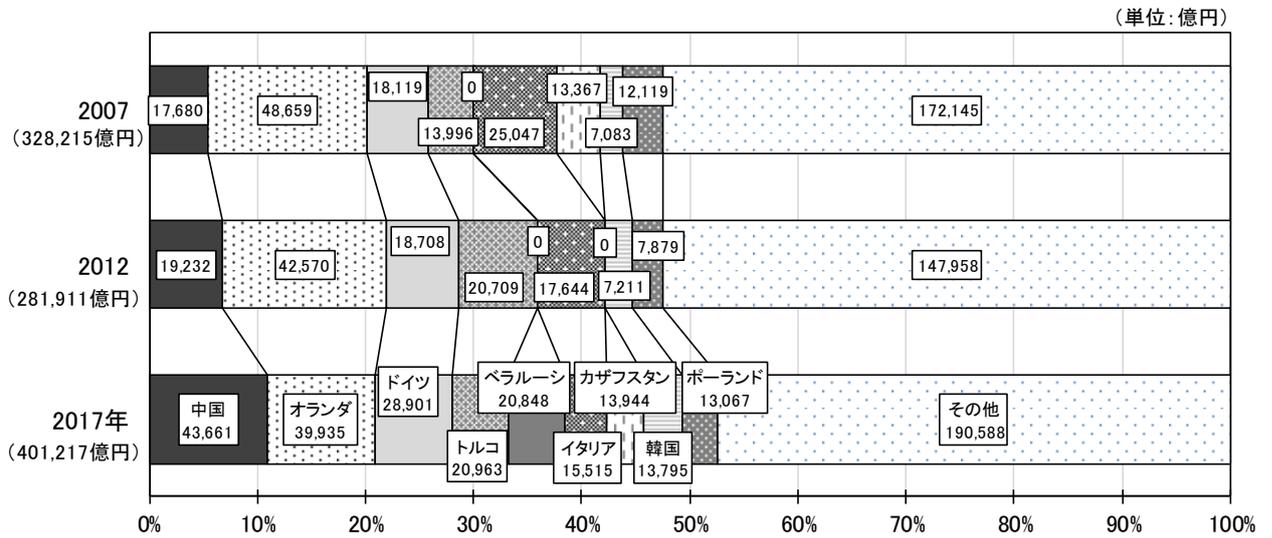
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-15-2 ロシアの対外貿易額の推移

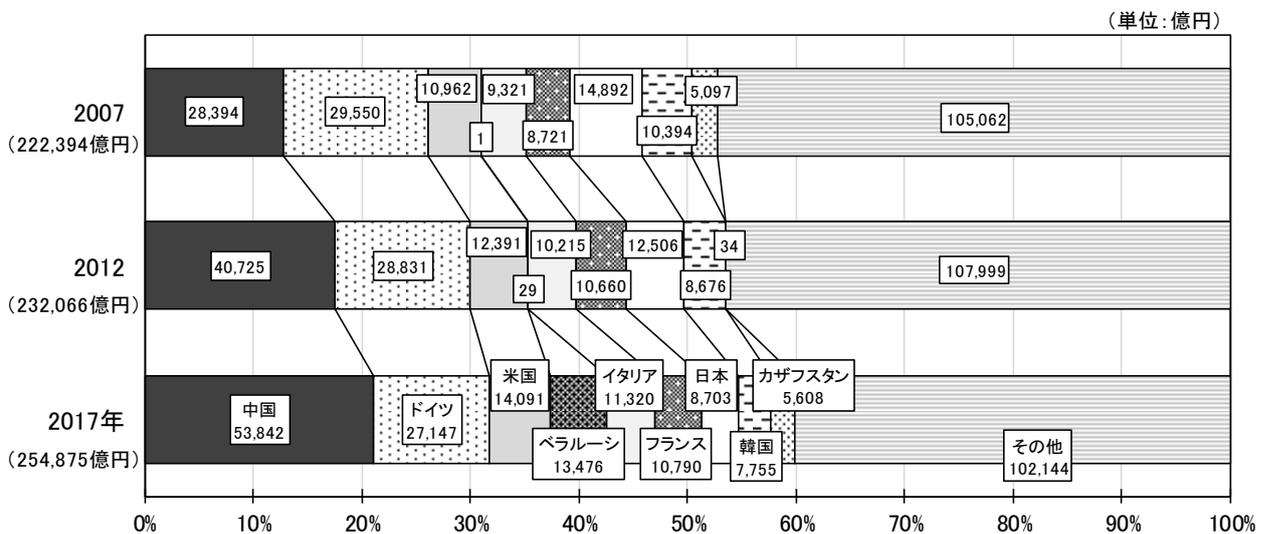


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成 30 年 3 月）より九州経済産業局作成。

図表 2-15-3 ロシアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-15-4 ロシアの輸入相手国・地域の推移

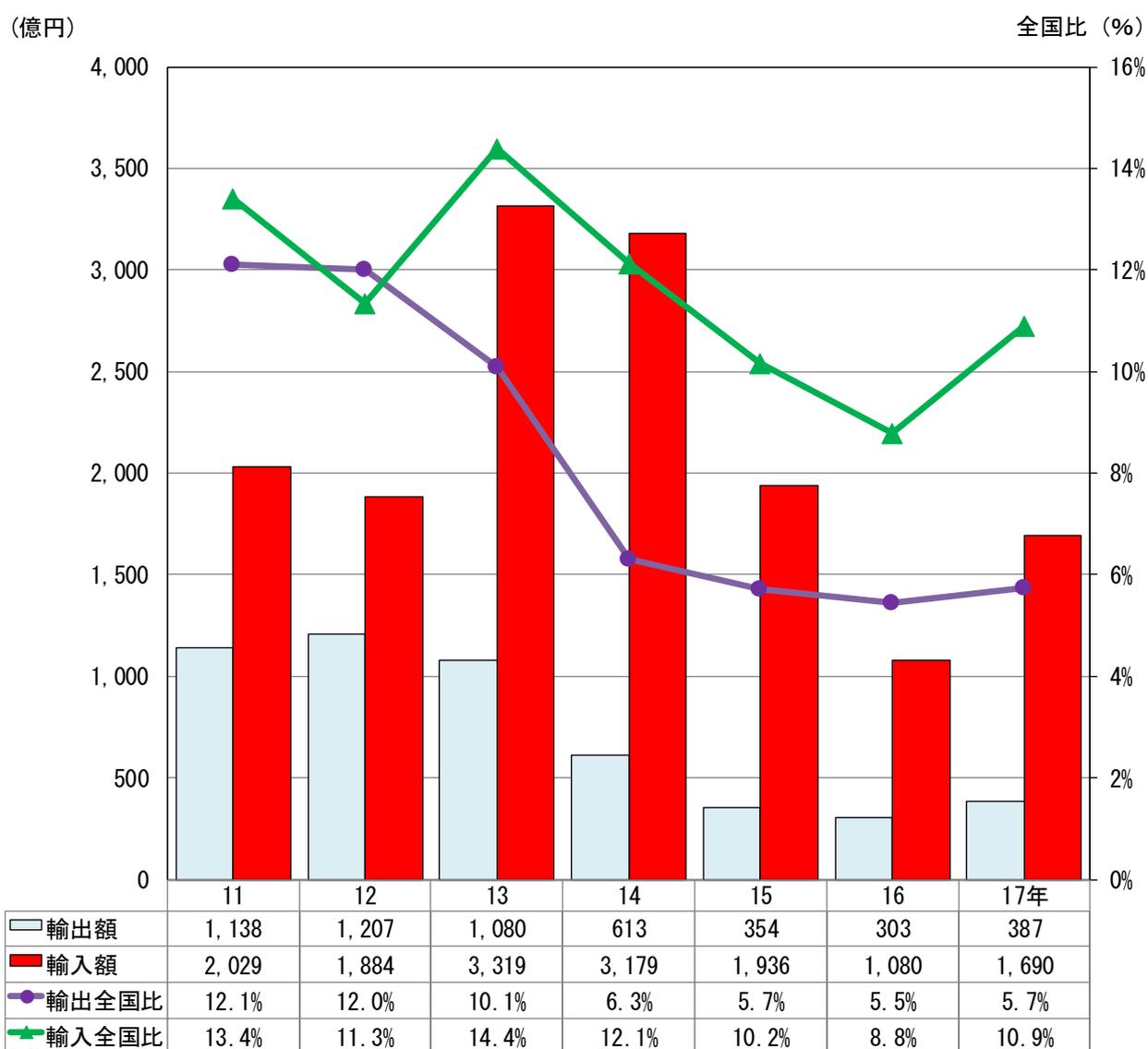


図表 2-15-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

15-2. 九州とロシアの貿易動向

- 2017年の九州の対ロシア貿易額は、輸出が387億円（前年比27.7%増）で前年より増加した。一方、輸入も1,690億円（前年比56.5%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、ゴムタイヤ及びチューブ、自動車の部分品、原動機であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、ゴムタイヤ及びチューブ（寄与度：+13.5%）、自動車の部分品（同+6.2%）等であった。一方、減少では、電気回路等の機器（同▲1.8%）、石油製品（▲0.7%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、原油及び粗油、石油ガス類、石炭であった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、原油及び粗油（寄与度：+29.1%）、石油ガス類（同+11.7%）等であった。一方、減少では、合成ゴム（寄与度：▲0.2%）、カリ肥料（同▲0.2%）等であった。

図表 2-15-5 九州の対ロシア貿易額の推移

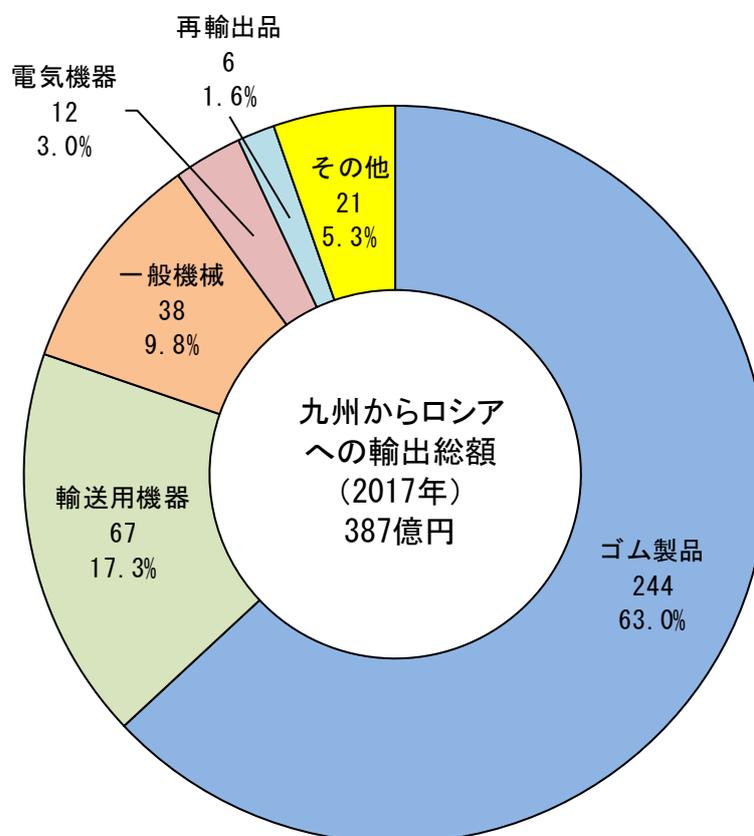


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-6 九州からロシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



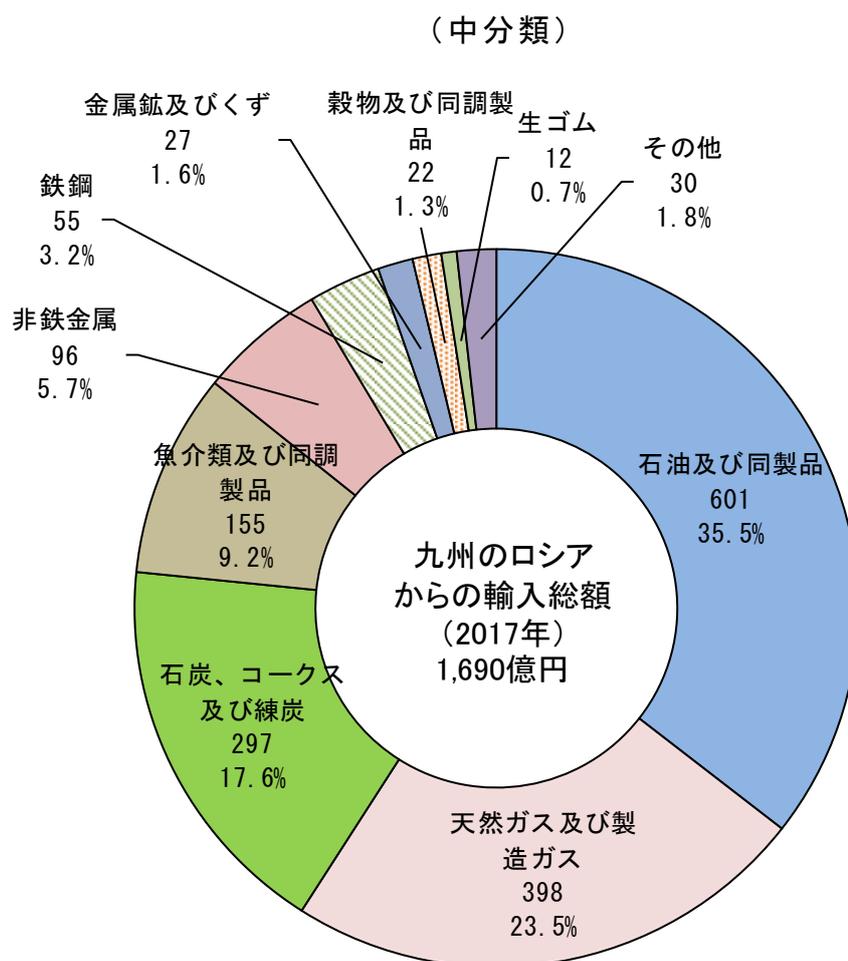
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	243	62.9%
自動車の部分品	輸送用機器	44	11.5%
原動機	一般機械	20	5.3%
自動車	輸送用機器	14	3.6%
加熱用・冷却用機器	一般機械	9	2.3%
二輪自動車類	輸送用機器	8	2.1%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	4	1.0%
石油製品	石油及び同製品	3	0.7%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	2	0.5%
有機化合物	元素及び化合物	2	0.5%
自動車用等の電気機器	電気機器	2	0.5%
その他		35	9.2%
総額		387	100.0%

寄与度（増加分）：ゴムタイヤ及びチューブ（+13.5%）、自動車の部分品（+6.2%）等
 寄与度（減少分）：電気回路等の機器（▲1.8%）、石油製品（▲0.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-7 九州のロシアからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
原油及び粗油	石油及び同製品	570	33.7%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	398	23.5%
石炭	石炭・コークス及びれん炭	297	17.5%
魚介類	魚介類及び同調製品	155	9.2%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	92	5.5%
合金鉄	鉄鋼	54	3.2%
石油製品	石油及び同製品	31	1.8%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	23	1.4%
とうもろこし	穀物及び同調製品	21	1.2%
合成ゴム	生ゴム	12	0.7%
その他		38	2.2%
総額		1,690	100.0%

寄与度 (増加分)：原油及び粗油 (+29.1%)、石油ガス類 (+11.7%) 等

寄与度 (減少分)：合成ゴム (▲0.2%)、カリ肥料 (▲0.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

16. 九州と米国の貿易

16-1. 米国の経済概況

国名	アメリカ合衆国
面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万24平方マイル)
人口	3億875万人(2010年4月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

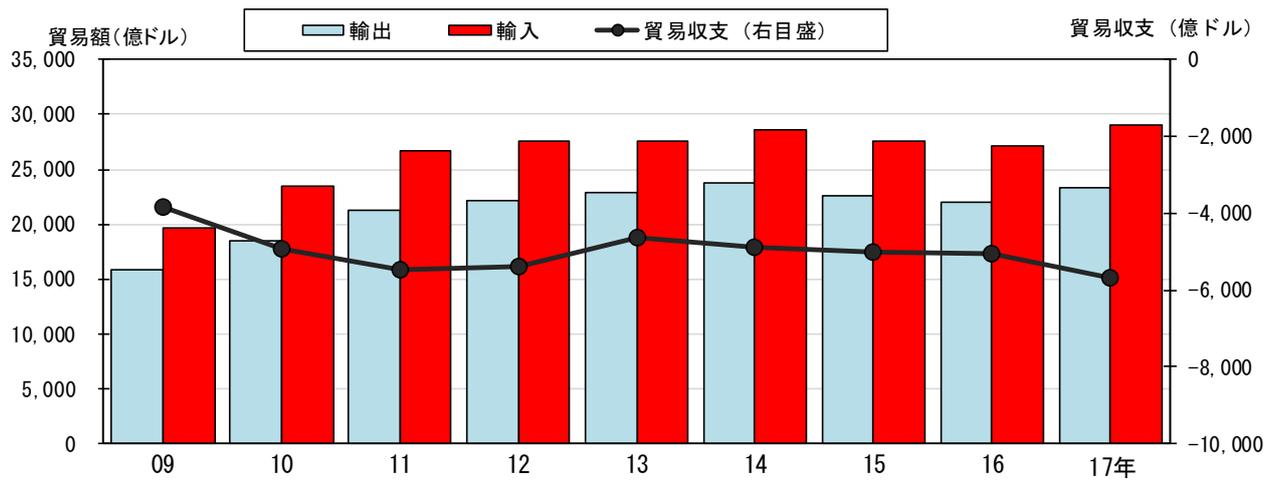
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-16-1 米国のマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.7	2.6	2.9	1.5	2.3
名目GDP総額	十億ドル	16,692	17,428	18,121	18,624	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	52,742	54,668	56,437	57,608	—
輸出額	億ドル	22,935	23,759	22,639	22,081	23,316
	前年比(%)	3.4	3.6	▲ 4.7	▲ 2.5	5.6
輸入額	億ドル	27,553	28,662	27,644	27,129	29,000
	前年比(%)	▲ 0.0	4.0	▲ 3.6	▲ 1.9	6.9
貿易収支	億ドル	▲ 4,619	▲ 4,903	▲ 5,004	▲ 5,048	▲ 5,684
対日貿易収支	億ドル	▲ 733	▲ 676	▲ 690	▲ 688	▲ 688*
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	2.0	3.1	▲ 0.7	▲ 1.2	2.0
失業率	(%)	7.4	6.2	5.3	4.9	4.4
消費者物価上昇率	前年比(%)	1.5	1.6	0.1	1.3	2.1
直接投資受入額	億ドル	2,014	2,017	4,658	4,571	2,754*
為替レート(1ドル)	円	97.60	105.94	121.04	108.79	112.17

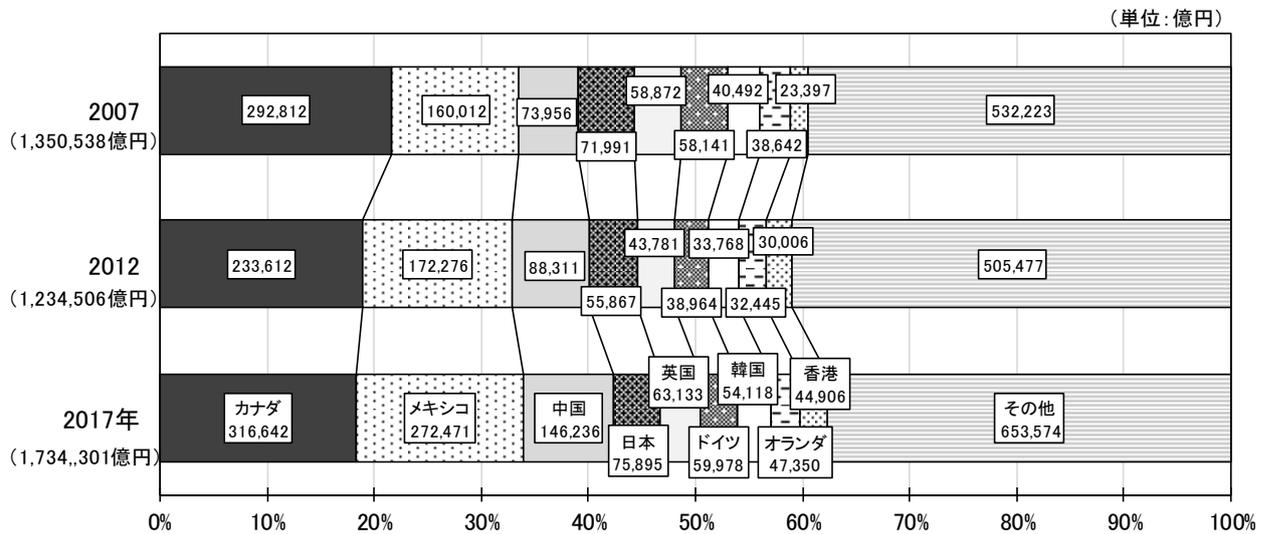
出所：内閣府「海外経済データ 一月次アップデートー」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)から九州経済産業局作成。

図表 2-16-2 米国の対外貿易額の推移

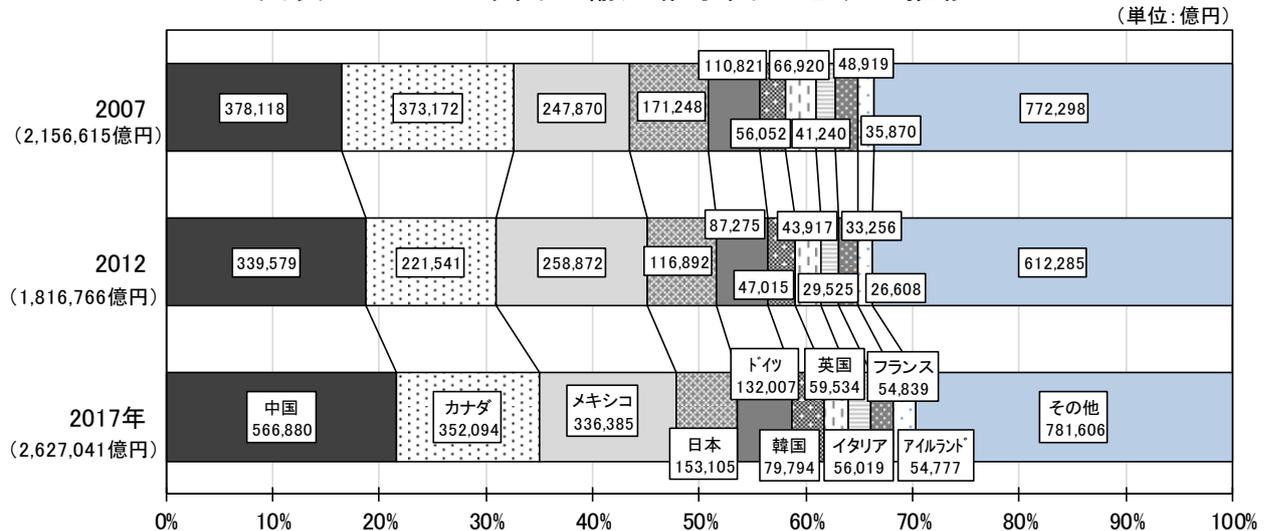


出所：内閣府「海外経済データ－月次アップデート－」（平成 30 年 3 月）から九州経済産業局作成。

図表 2-16-3 米国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-16-4 米国の輸入相手国・地域の推移

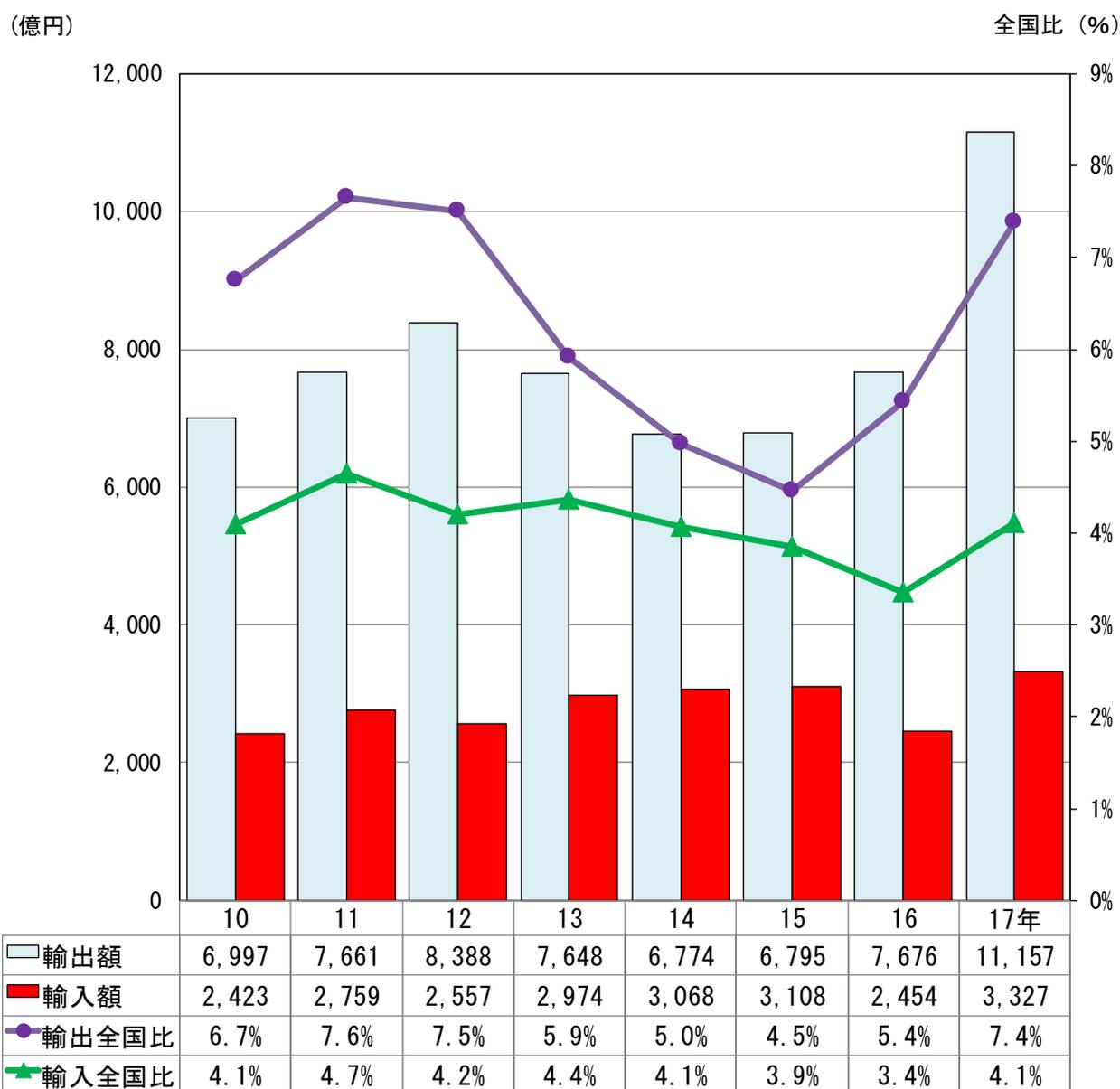


図表 2-16-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

16-2. 九州と米国の貿易動向

- 2017年の九州の対米貿易額は、輸出が1兆1,157億円（前年比45.4%増）で前年より増加し、3年連続の増加となった。一方、輸入も3,327億円（前年比35.6%増）で前年より増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブであった。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+36.7%）、二輪自動車類（同+1.2%）等であった。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲0.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲0.5%）等であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、とうもろこし、石油ガス類、石炭であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油ガス類（寄与度：+9.1%）、石油製品（同+3.7%）等であった。一方、減少では、音響・映像機器（含部品）（同▲1.3%）、米（同▲0.2%）等であった。

図表 2-16-5 九州の対米貿易額の推移

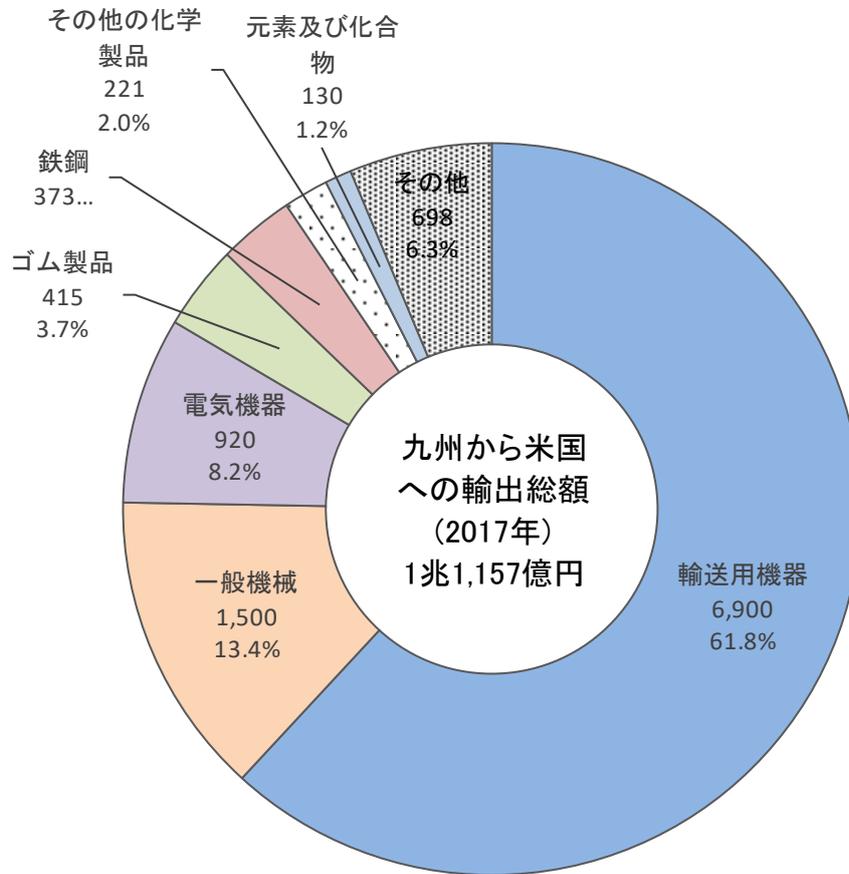


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-6 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	6,369	57.1%
事務用機器	一般機械	530	4.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	369	3.3%
原動機	一般機械	356	3.2%
半導体等電子部品	電気機器	291	2.6%
二輪自動車類	輸送用機器	265	2.4%
自動車の部分品	輸送用機器	265	2.4%
映像機器	電気機器	240	2.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	212	1.9%
自動車用等の電気機器	電気機器	178	1.6%
その他		2,081	18.7%
総 額		11,157	100%

寄与度（増加分）：自動車（+36.7%）、二輪自動車類（+1.2%）等

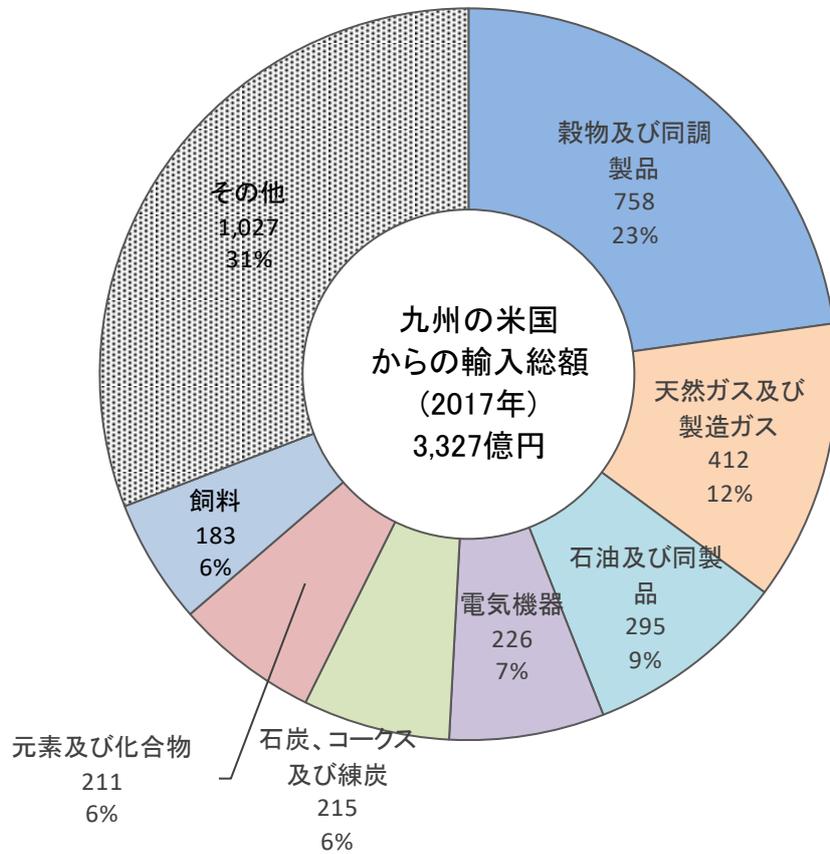
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲0.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲0.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-7 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	578	17.4%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	412	12.4%
石炭	石炭、コークス及び練炭	215	6.4%
石油製品	石油及び同製品	166	5.0%
原油及び粗油	石油及び同製品	129	3.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	125	3.8%
有機化合物	元素及び化合物	120	3.6%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	97	2.9%
原動機	一般機械	95	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	90	2.7%
その他		1,299	39.1%
総 額		3,327	100%

寄与度 (増加分)：石油ガス類 (+9.1%)、石油製品 (+3.7%) 等

寄与度 (減少分)：音響・映像機器 (含部品) (▲1.3%)、米 (▲0.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

17. 九州とオーストラリアの貿易

17-1. オーストラリアの経済概況

国名	オーストラリア連邦
面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,460万人(2017年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
人種	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.2%、第二次産業26.9%、第三次産業70.9% 農林水産業(2.2%)、鉱業(9.5%)、製造業(6.3%)、建設業(8.3%)、卸売・小売業(9.1%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(6.2%)など(2015-16年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

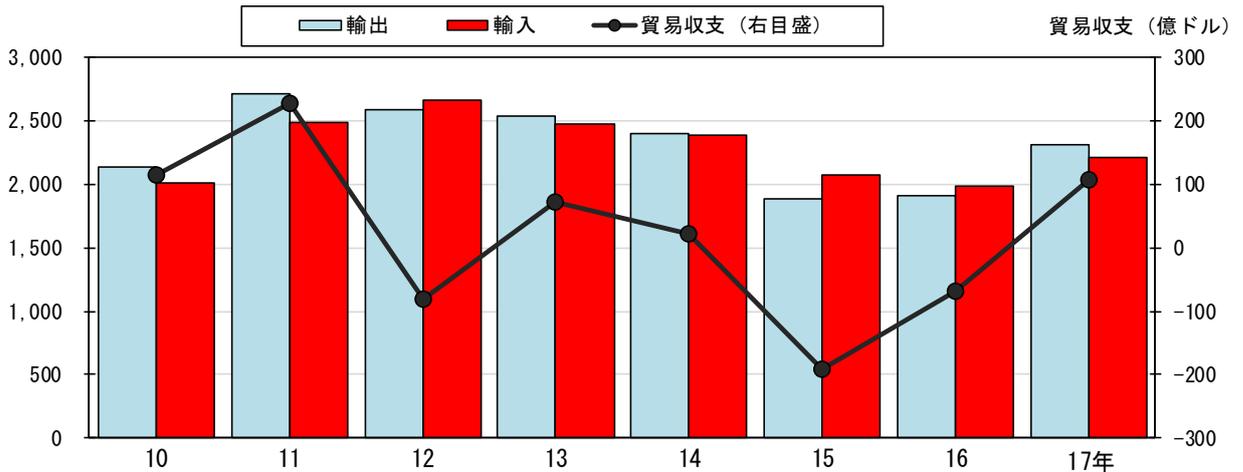
図表 2-17-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.2	2.6	2.5	2.6	2.3
名目GDP総額	十億ドル	1,510	1,450	1,230	1,262	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	64,734	61,232	51,220	51,737	-
輸出額	億ドル	2,544	2,404	1,881	1,926	2,316
	前年比(%)	5.5	1.2	▲ 6.2	3.5	16.6
輸入額	億ドル	2,471	2,383	2,072	1,985	2,209
	前年比(%)	▲ 0.6	3.3	4.3	▲ 3.2	7.9
貿易収支	億ドル	73	21	▲ 192	▲ 59	107
対日貿易収支	億ドル	262	268	143	79	-*
鉱工業生産指数	前年比(%)	1.1	4.0	1.2	1.3	0.6
失業率	(%)	5.7	6.1	6.1	5.7	5.6
消費者物価上昇率	前年比(%)	2.4	2.5	1.5	1.3	1.9
直接投資受入額	億ドル	6,019	5,976	5,817	6,163	-*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.04	1.11	1.33	1.35	1.30
為替レート(1豪ドル)	円	94.37	95.47	91.07	80.85	86.00

備考：貿易額については、表記載の為替レートで米ドルに換算

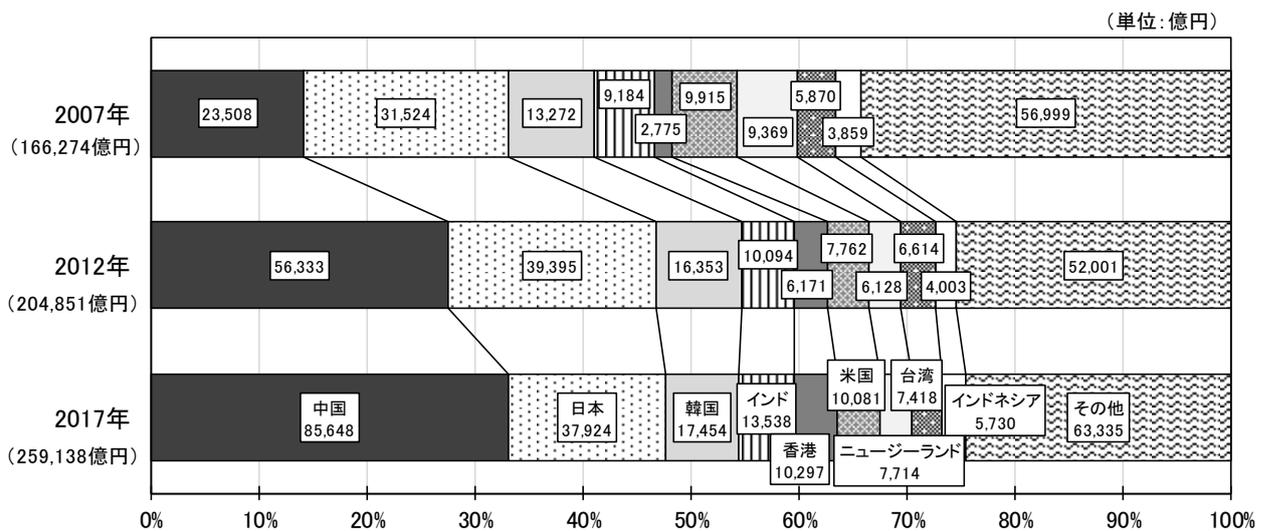
出所：内閣府「海外経済データ月次アップデート」(平成30年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-17-2 オーストラリアの対外貿易額の推移

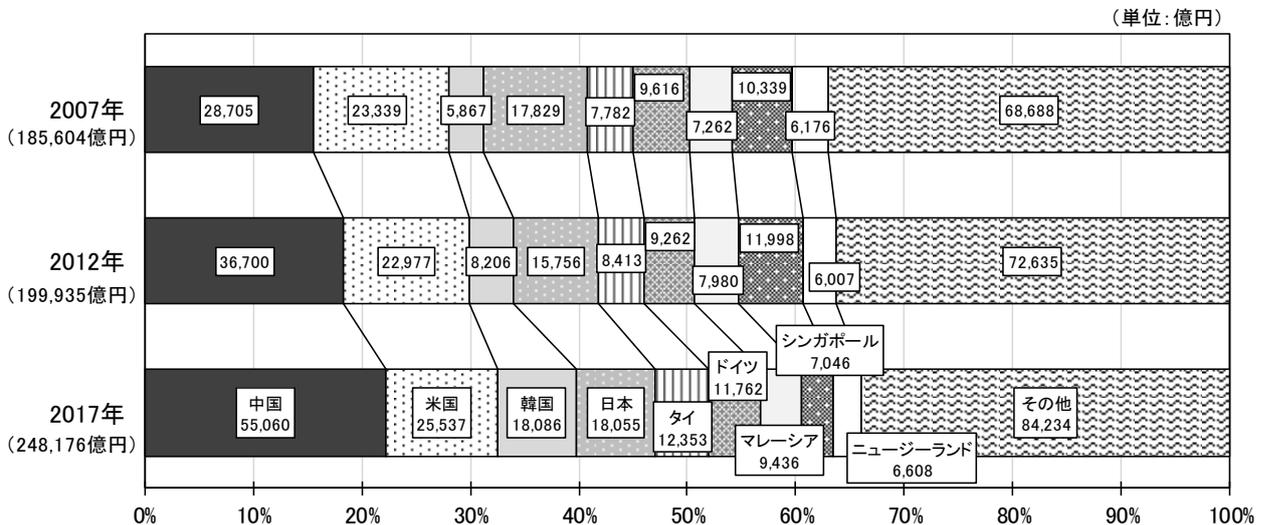


出所：2017年の輸出入額は内閣府「海外経済データ 一月次アップデート」（平成30年3月）（1米ドル=1.3048豪ドルで換算）、他はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より作成

図表 2-17-3 オーストラリアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-17-4 オーストラリアの輸入相手国・地域の推移

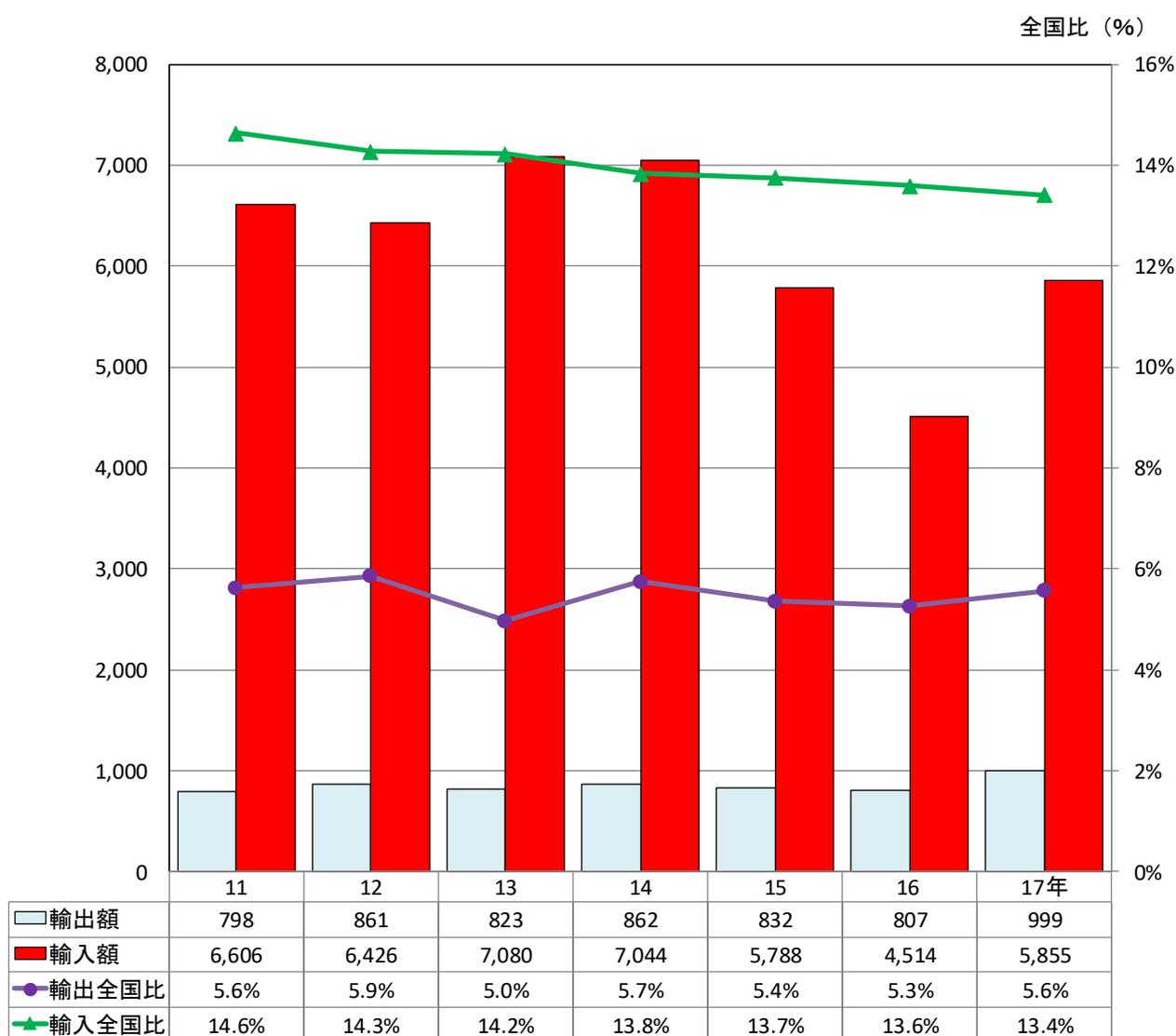


図表 2-17-3~4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

17-2. 九州とオーストラリアの貿易動向

- 2017年の九州の対オーストラリア貿易額は、輸出が999億円（前年比23.8%増）で前年より増加し、3年ぶりに増加へ転じた。一方、輸入も5,855億円（前年比29.7%増）で前年より増加し、4年ぶりに増加へ転じた。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、映像機器であった。なお、上位二品目で全体の6割以上を占めた。輸出額の増加に大きく寄与したものは、ゴムタイヤ及びチューブ（寄与度：+11.5%）、石油製品（同+4.8%）等であった。一方、減少では、軌条及びその他の鉄道線路建設材（同▲2.7%）、メラミン樹脂（同▲0.04%）であった。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石炭、石油ガス類、鉄鉱石であった。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石炭（寄与度：+19.5%）、石油ガス類（同+8.5%）等であった。一方、減少では、非鉄金属鉱（同▲3.1%）、パルプウッド等（同▲0.2%）であった。

図表 2-17-5 九州の対オーストラリア貿易額の推移

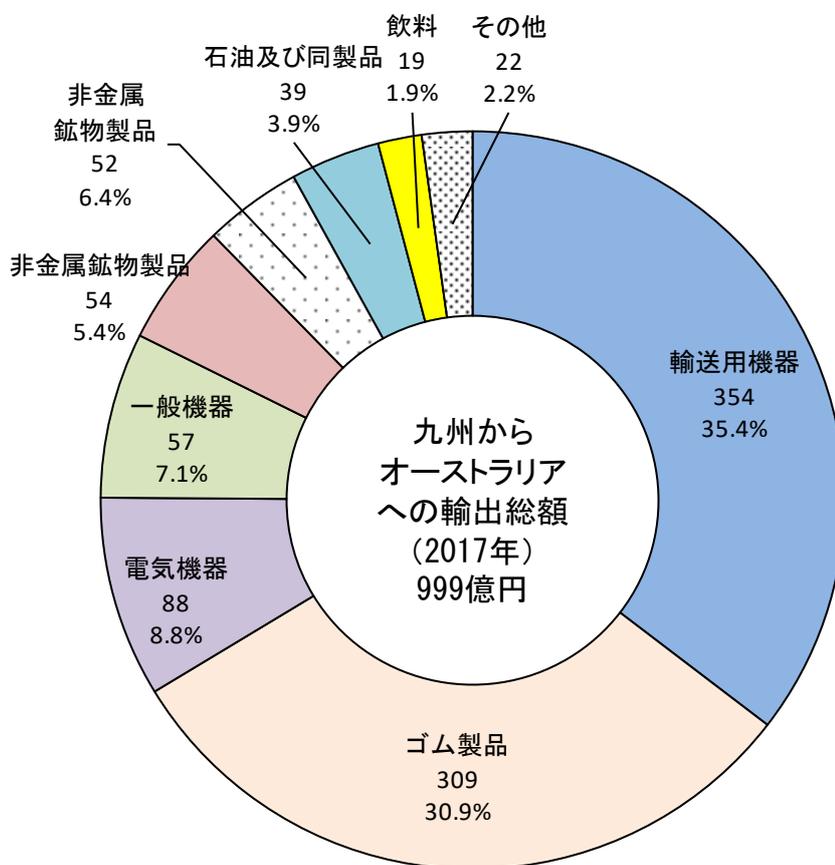


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-6 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	332	33.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	309	30.9%
映像機器	電気機器	63	6.3%
セメント	非金属鉱物製品	51	5.1%
石油製品	石油及び同製品	39	3.9%
建設用・鉱山用機械	一般機械	35	3.5%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	28	2.8%
加熱用・冷却用機器	一般機械	24	2.4%
二輪自動車類	輸送用機器	22	2.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	21	2.1%
その他		77	7.7%
総 額		999	100%

寄与度 (増加分)：ゴムタイヤ及びチューブ (+11.5%)、石油製品 (+4.8%) 等

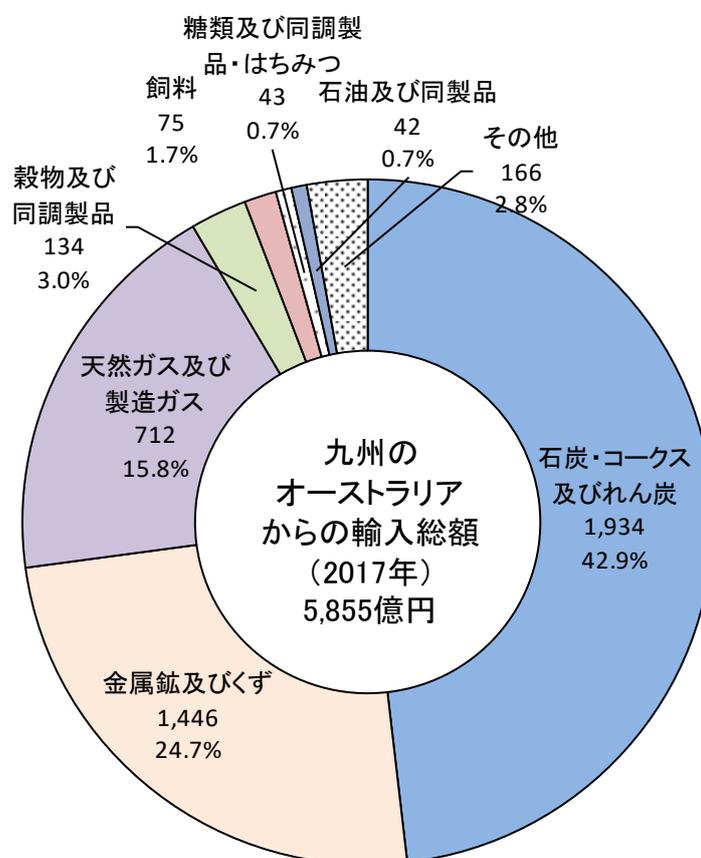
寄与度 (減少分)：軌条及びその他の鉄道線路建設材 (▲2.7%)、メラミン樹脂 (▲0.04) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-7 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,821	48.2%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	1,094	18.7%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	935	16.0%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	504	8.6%
大麦及びはだか麦	穀物及び同調製品	110	1.9%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	43	0.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	42	0.7%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	38	0.6%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	34	0.6%
その他の採油用種子	採油用の種・ナット及び核	8	0.1%
その他		234	4.0%
総 額		5,855	100.0%

寄与度 (増加分)：石炭 (+19.5%)、石油ガス類 (+8.5%) 等

寄与度 (減少分)：非鉄金属鉱 (▲3.1%)、パルプウッド等 (▲0.2%) 等

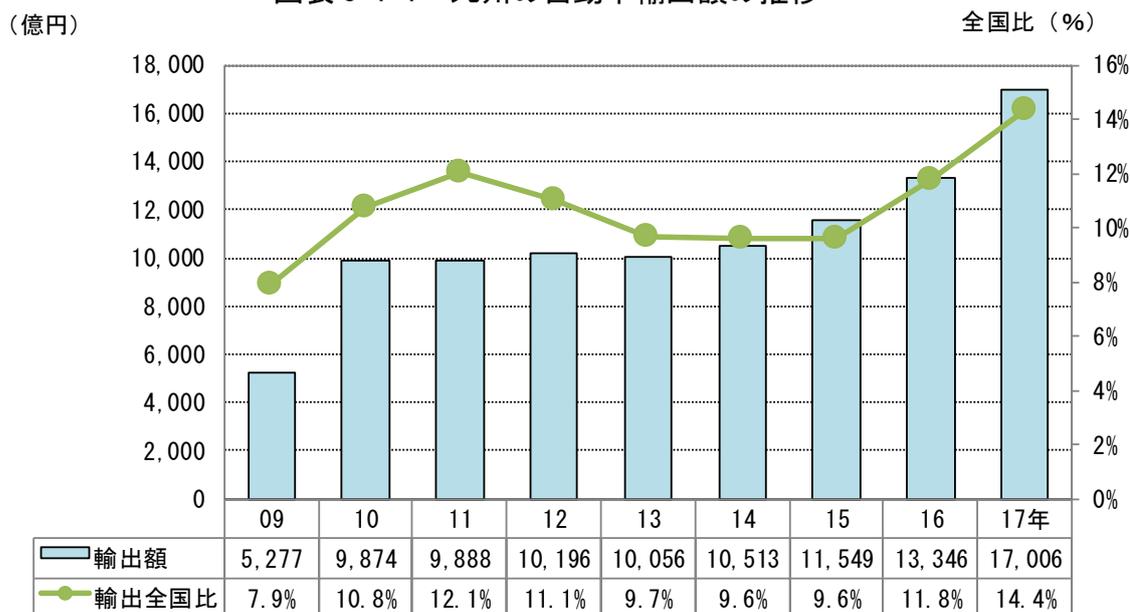
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第3章 九州の産業別貿易動向

1. 自動車・自動車の部分品

- 2017年の九州の自動車輸出額は1兆7,006億円（前年比27.4%増）で前年より増加し、4年連続の増加となった。輸出先は、米国が最も多く、次いで中国、アラブ首長国連邦等であった。
- 2017年の九州の自動車生産台数は、139万台（前年比3.1%増）で、日本全体の生産台数（969万台）の約14%を占めた。

図表 3-1-1 九州の自動車輸出額の推移



図表 3-1-2 自動車の主な輸出相手国・地域の推移（2011年・2016年）

（単位：億円、%）

2012年			2017年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	30,330	32.9%	米国	45,684	38.6%
オーストラリア	7,525	8.2%	オーストラリア	8,021	6.8%
ロシア	6,242	6.8%	中国	5,592	4.7%
中国	4,794	5.2%	アラブ首長国連邦	4,493	3.8%
アラブ首長国連邦	3,236	3.5%	カナダ	3,708	3.1%
その他	40,122	43.5%	その他	50,755	42.9%
計	92,250	100.0%	計	118,254	100.0%
九州			九州		
米国	4,532	44.4%	米国	6,369	37.5%
中国	2,206	21.6%	中国	4,009	23.6%
ロシア	502	4.9%	アラブ首長国連邦	1,243	7.3%
アラブ首長国連邦	500	4.9%	メキシコ	640	3.8%
カナダ	455	4.5%	英国	606	3.6%
その他	2,001	19.6%	その他	4,139	24.3%
計	10,196	100.0%	計	17,006	100.0%

図表 3-1-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

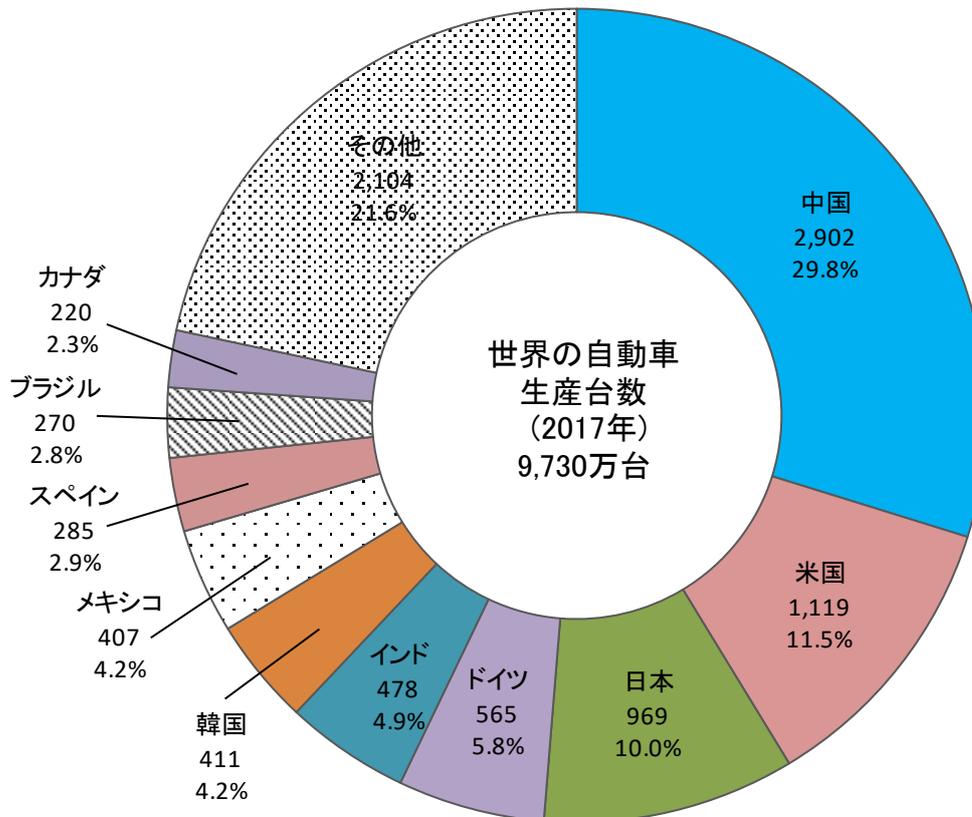
図表 3-1-3 世界の自動車生産台数

(単位：万台、%)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017年		
							構成比	伸び率	11年比
ヨーロッパ	1,986	1,992	2,043	2,117	2,149	2,216	22.8%	3.1%	11.6%
米州	2,009	2,113	2,122	2,096	2,082	2,067	21.2%	-0.7%	2.9%
アジア大洋州	4,370	4,582	4,740	4,788	5,185	5,354	55.0%	3.3%	22.5%
日本	994	963	977	928	920	969	10.0%	5.3%	-2.5%
九州	146	134	130	135	135	139	1.4%	3.1%	-4.8%
中国	1,927	2,212	2,373	2,457	2,812	2,902	29.8%	3.2%	50.6%
韓国	456	452	452	456	423	411	4.2%	-2.7%	-9.8%
インド	417	390	384	416	452	478	4.9%	5.8%	14.6%
タイ	243	246	188	191	194	199	2.0%	2.3%	-18.1%
その他	332	319	365	341	383	394	4.1%	3.0%	19.0%
アフリカ	59	64	72	84	90	93	1.0%	3.1%	58.8%
世界計	8,424	8,751	8,978	9,084	9,506	9,730	100.0%	2.4%	15.5%

図表 3-1-4 世界の自動車生産台数の国・地域別構成比

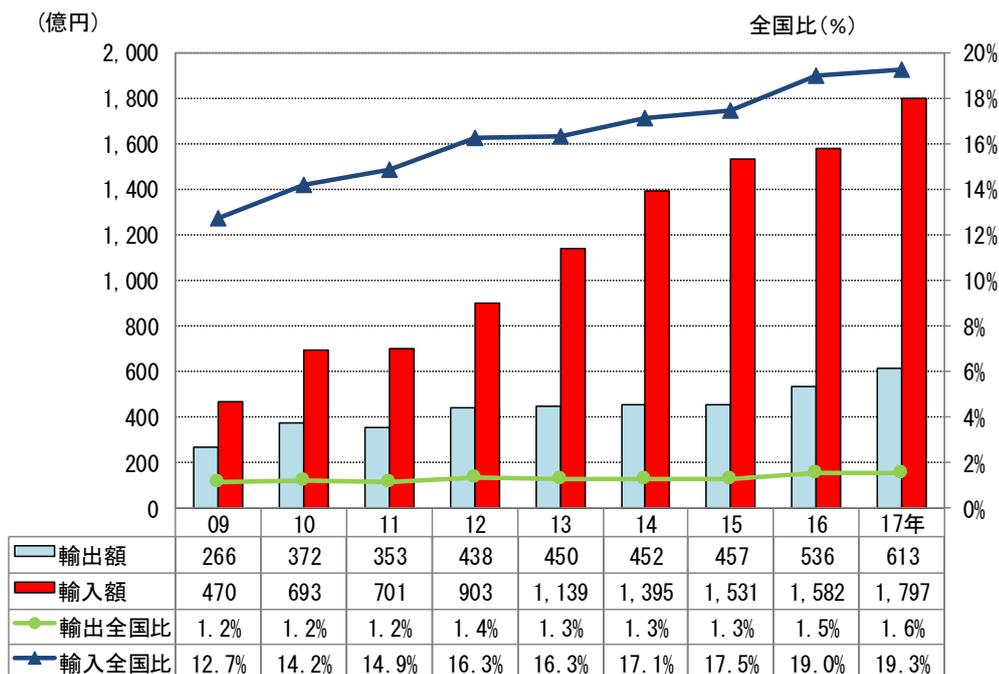
(単位：万台、%)



図表 3-1-3~4 出所：国際自動車工業連合会HP、九州経済産業局資料より九州経済産業局作成。

- 2017年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が613億円（前年比14.4%増）で前年より増加し、6年連続の増加となった。一方、輸入も1,797億円（前年比13.6%増）で前年より増加し、調査開始以来、毎年の増加となった。
- 九州の輸出相手国・地域では、米国が最も多く、次いでマレーシア、ロシアであった。前年と比較すると、米国向けの割合が大きく増加した一方、ASEAN向けの割合は大きく減少した。
- 九州の輸入相手国・地域では、中国が最も多く、次いでメキシコ、韓国であった。前年と比較すると、メキシコからの割合が増加した一方、中国、ASEAN、韓国からの割合は減少した。

図表 3-1-5 九州の自動車の部分品貿易額の推移



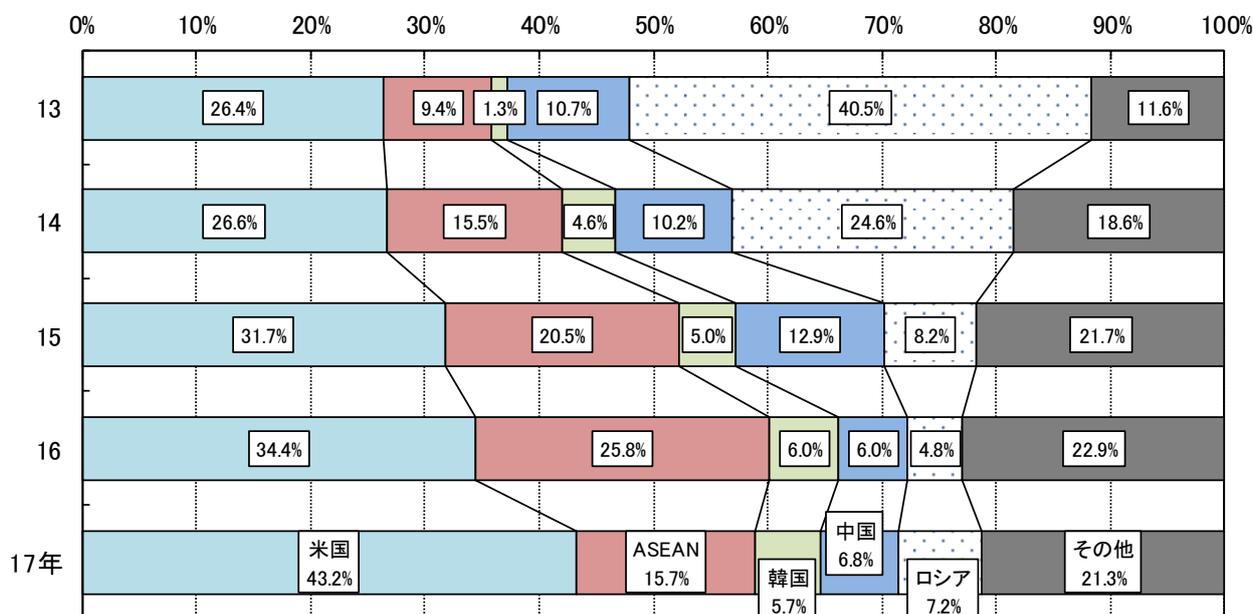
図表 3-1-6 自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域（2016年）

（単位：億円、%）

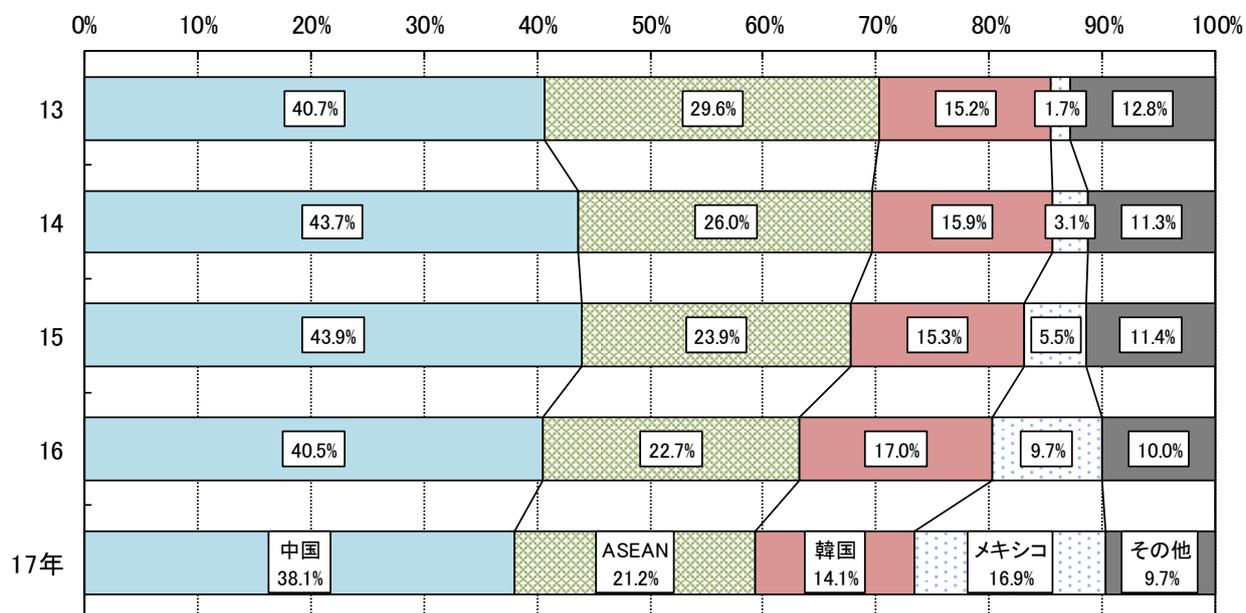
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	9,614	24.7%	中国	3,372	36.2%
中国	8,113	20.8%	タイ	887	9.5%
タイ	2,890	7.4%	韓国	836	9.0%
メキシコ	2,030	5.2%	ドイツ	737	7.9%
インドネシア	1,824	4.7%	メキシコ	580	6.2%
その他	14,496	37.2%	その他	2,916	31.3%
計	38,966	100.0%	計	9,328	100.0%
九州			九州		
米国	265	43.2%	中国	684	38.1%
マレーシア	53	8.6%	メキシコ	304	16.9%
ロシア	44	7.2%	韓国	254	14.1%
中国	42	6.8%	タイ	198	11.0%
カナダ	35	5.8%	米国	76	4.2%
その他	174	28.3%	その他	282	15.7%
計	613	100.0%	計	1,797	100.0%

図表 3-1-5～6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-1-7 九州の自動車の部分品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-1-8 九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移

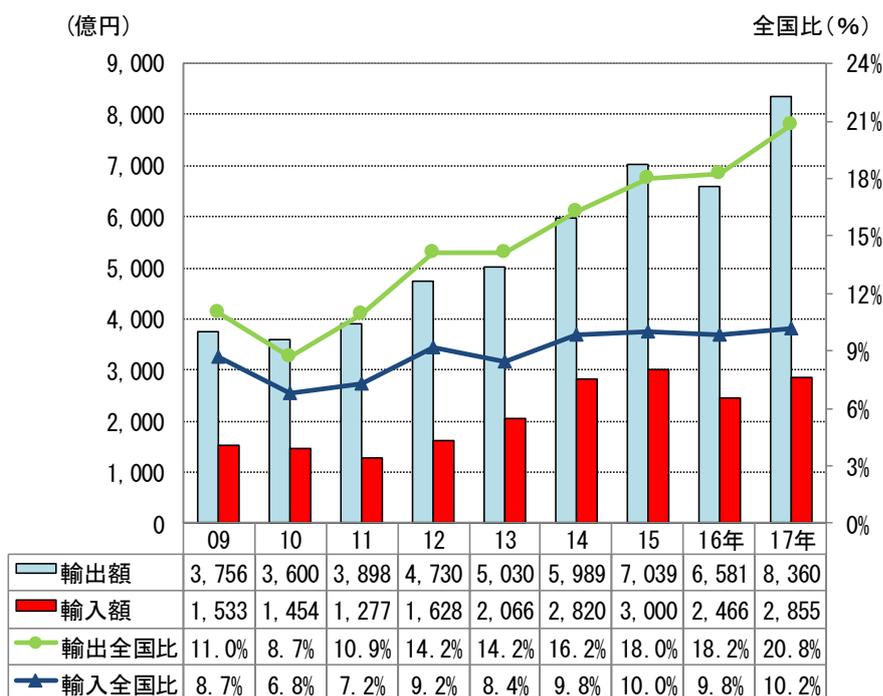


図表 3-1-7~8 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 半導体等電子部品

- 2017年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が8,360億円（前年比27.0%増）で前年より増加した。一方、輸入も2,855億円（前年比15.8%増）で前年より増加した。
- 九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、中国であった。直近の5年間で、香港向けの割合が2倍以上増加し、中国向けの割合は半分以下と大きく減少した。
- 九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国であった。直近の5年間で、台湾からの割合が2割から7割へと大きく増加し、中国、韓国、ASEANからの割合が大きく減少した。

図表 3-2-1 九州の半導体等電子部品貿易額の推移



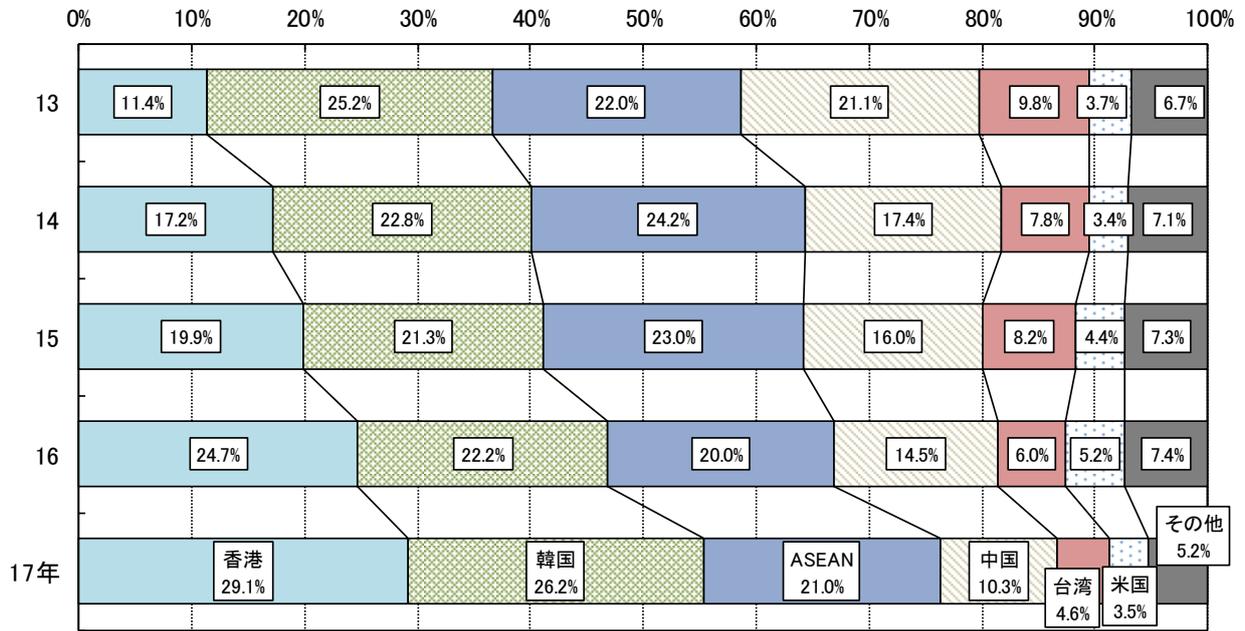
図表 3-2-2 半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域（2016年）

（単位：億円、%）

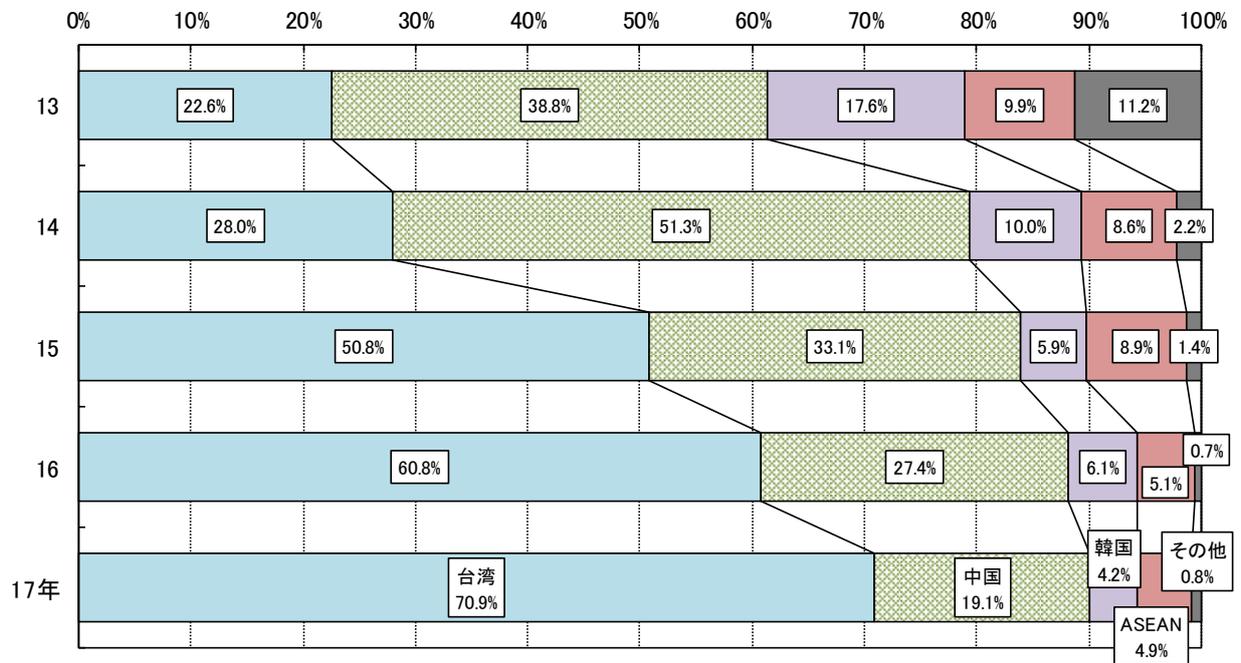
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	10,456	26.0%	台湾	11,490	41.1%
台湾	6,658	16.6%	中国	4,992	17.9%
香港	6,586	16.4%	米国	2,945	10.5%
韓国	3,274	8.1%	韓国	2,391	8.6%
米国	2,486	6.2%	マレーシア	1,525	5.5%
その他	10,764	26.8%	その他	4,622	16.5%
計	40,225	100.0%	計	27,966	100.0%
九州			九州		
香港	2,435	29.1%	台湾	2,025	70.9%
韓国	2,191	26.2%	中国	546	19.1%
中国	865	10.3%	韓国	121	4.2%
ベトナム	839	10.0%	フィリピン	46	1.6%
タイ	429	5.1%	マレーシア	38	1.3%
その他	1,601	19.2%	その他	79	2.8%
計	8,360	100.0%	計	2,855	100.0%

図表 3-2-1~2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-2-3 九州の半導体等電子部品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-2-4 九州の半導体等電子部品の輸入相手国・地域の推移

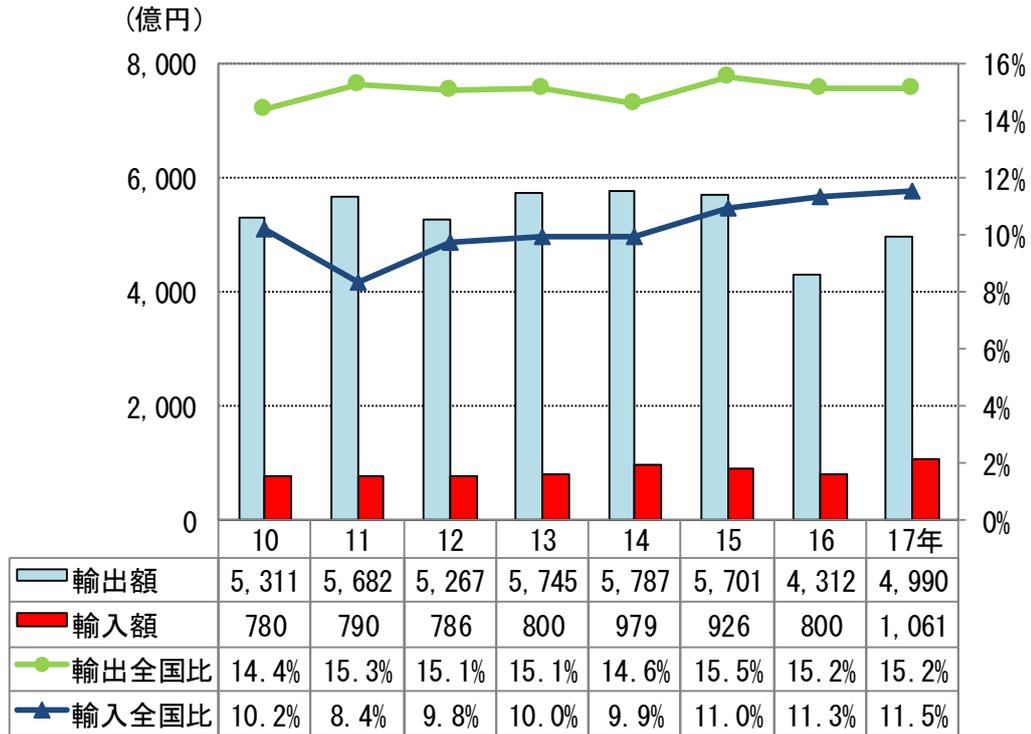


図表 3-2-3~4 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

3. 鉄鋼

- 2017年の九州の鉄鋼貿易額は、輸出が4,990億円（前年比15.7%増）で前年より増加した。一方、輸入も1,061億円（前年比32.6%増）で前年より増加した。
- 輸出先はタイが最も多く、次いで韓国、中国となり、輸入元は韓国が最も多く、次いで南アフリカ共和国、中国であった。
- 2017年の九州の粗鋼生産量は15百万トンで、日本全体の生産量（105百万トン）の約14%を占めた。

図表 3-3-1 九州の鉄鋼貿易額の推移



図表 3-3-2 鉄鋼の主な輸出入相手国・地域（2016年）

（単位：億円、%）

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	5,514	16.8%	韓国	3,283	35.7%
韓国	4,485	13.7%	中国	1,637	17.8%
タイ	4,410	13.4%	台湾	848	9.2%
米国	2,134	6.5%	カザフスタン	721	7.8%
台湾	2,123	6.5%	南アフリカ共和国	405	4.4%
その他	14,177	43.2%	その他	2,305	25.1%
計	32,844	100.0%	計	9,199	100.0%
九州			九州		
タイ	832	16.7%	韓国	449	42.3%
韓国	696	14.0%	南アフリカ共和国	114	10.7%
中国	655	13.1%	中国	112	10.6%
米国	373	7.5%	カザフスタン	109	10.3%
メキシコ	268	5.4%	ブラジル	79	7.5%
その他	2,165	43.4%	その他	198	18.6%
計	4,990	100.0%	計	1,061	100.0%

図表 3-3-1～2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-3-3 主要国の粗鋼生産量

(単位：百万トン、%)

	2014年	2015年	2016年	2017年	構成比
中国	822	804	808	832	49.7%
EU	169	166	162	169	10.1%
日 本	111	105	105	105	6.2%
うち九州	16	16	16	15	0.9%
インド	87	89	95	101	6.1%
米国	88	79	78	82	4.9%
ロシア	71	91	71	71	4.3%
韓国	72	70	69	71	4.2%
トルコ	34	32	33	38	2.2%
ブラジル	34	33	31	34	2.1%
その他	181	152	176	172	10.3%
世界計	1,669	1,620	1,628	1,675	100.0%

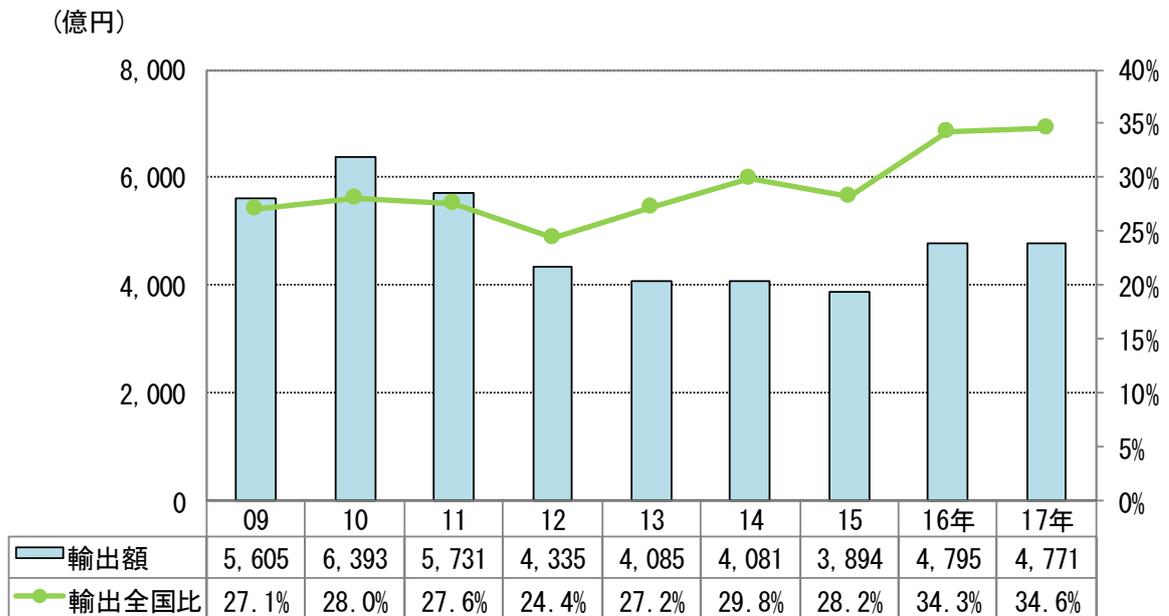
備考：EUはクロアチアを除く 27 カ国の計

出所：（一社）日本鉄鋼連盟資料より九州経済産業局作成。

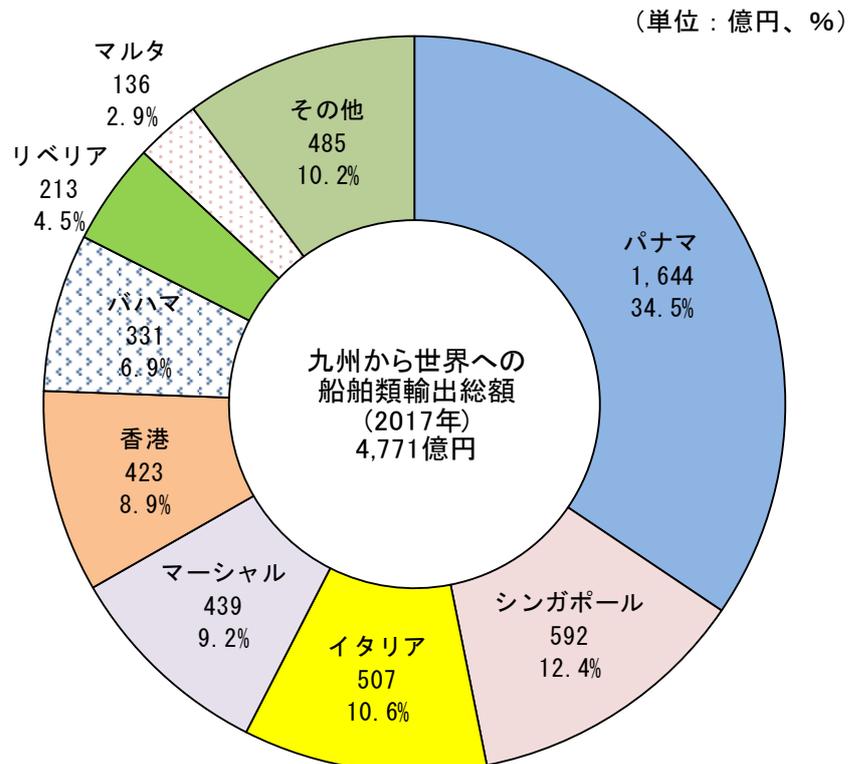
4. 船舶類

- 2017年の九州の船舶類輸出額は4,771億円（前年比0.5%減）で前年より減少した。輸出先はパナマが最も多く、次いでシンガポール、イタリアであった。
- 船舶類については、九州の輸出額が全国（13,768億円）の34.6%を占めており、九州の主力輸出品目の一つである。

図表 3-4-1 九州の船舶類の輸出額推移



図表 3-4-2 九州の船舶類の輸出相手国・地域

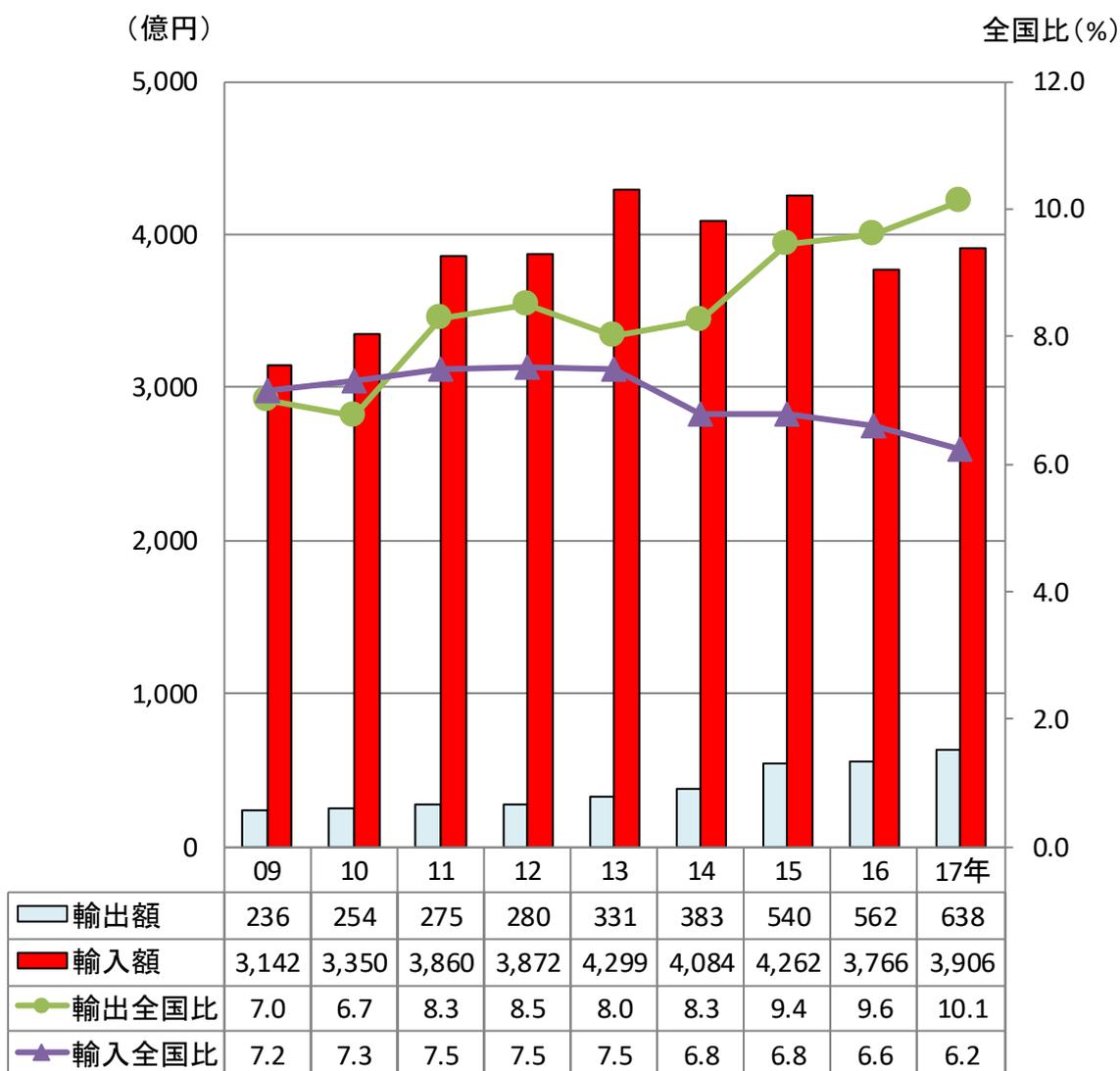


図表 3-4-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

5. 食料品

- 2017年の九州の食料品貿易額は、輸出が638億円（前年比13.5%増）で前年より増加し、2009年から毎年の増加となった。一方、輸入も3,906億円（前年比3.7%増）で前年より増加した。なお、輸出額から輸入額を引いた貿易収支は、大幅な輸入超過が続いている。
- 輸出はアジアや北米向けが多く、品目としては魚介類及び同調製品が5割近くを占めた。一方、輸入は北米やアジアのほか、中南米や大洋州など、より多様な国々との取引となっており、品目としては穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品が多い。

図表 3-5-1 九州の食料品貿易額の推移

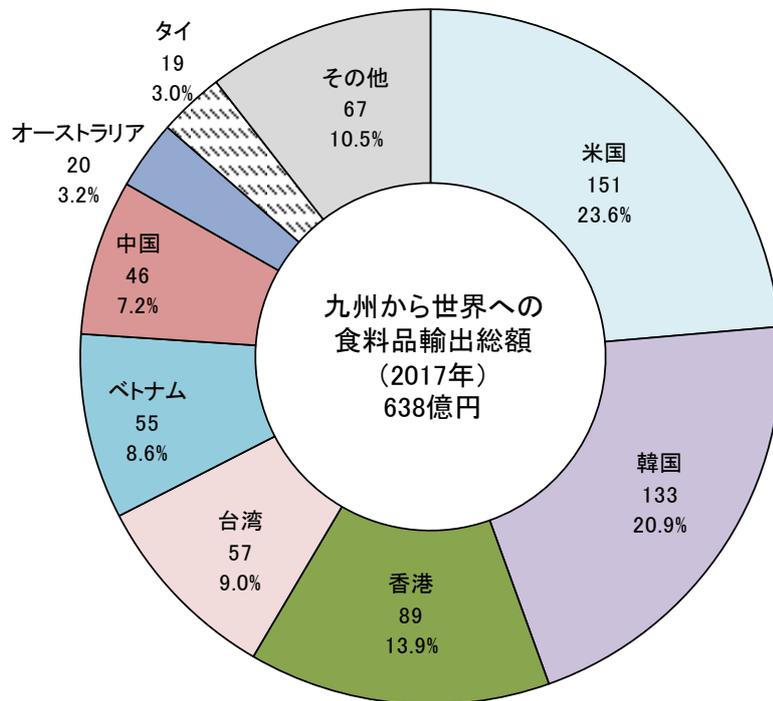


備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したもののから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

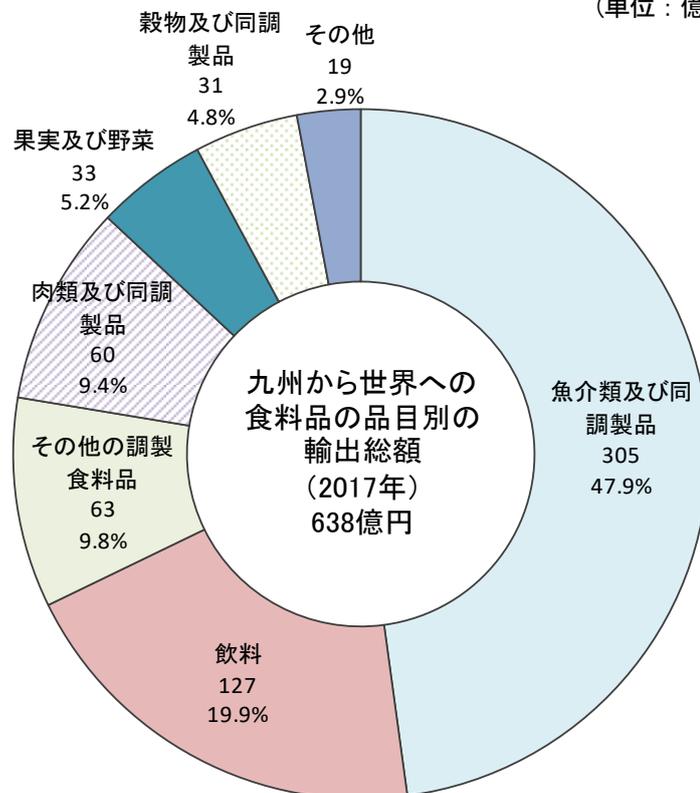
図表 3-5-2 九州の食料品の国・地域別輸出額

(単位：億円、%)



図表 3-5-3 九州の食料品の品目別輸出額

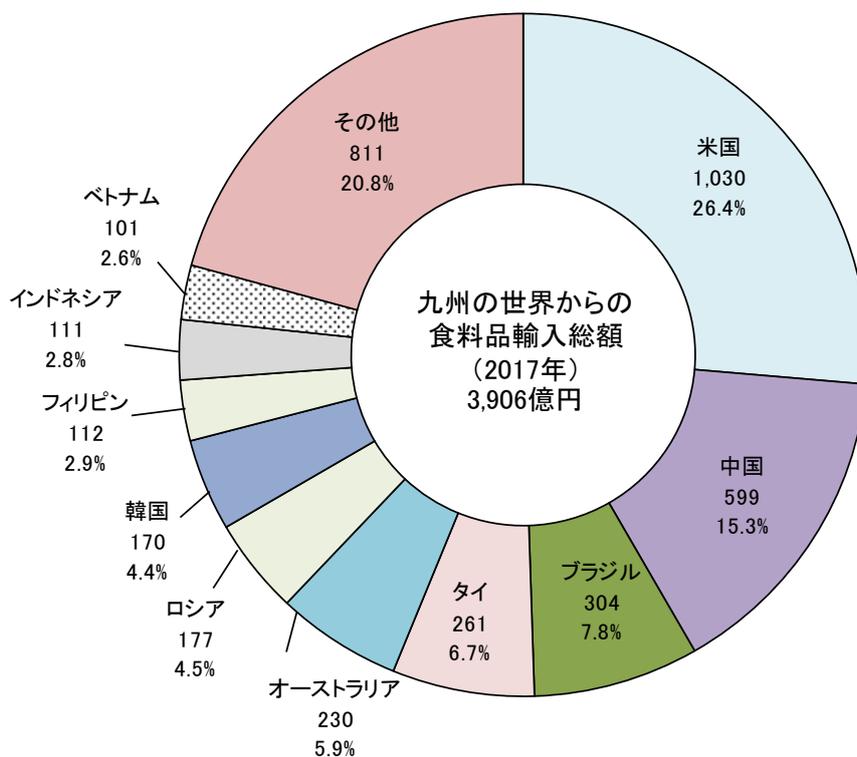
(単位：億円、%)



図表 3-5-2~3 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

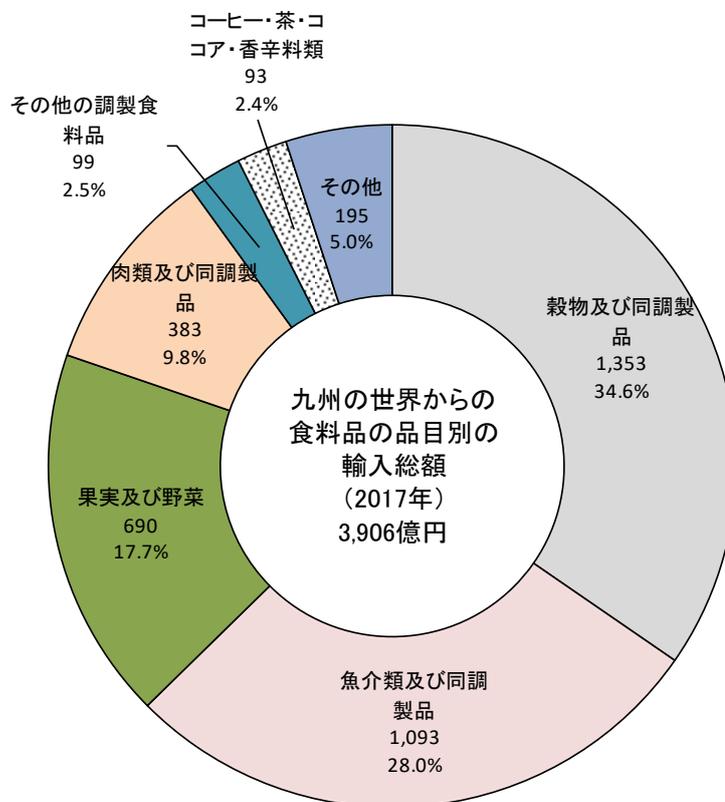
図表 3-5-4 九州の食料品の国・地域別輸入額

(単位：億円、%)



図表 3-5-5 九州の食料品の品目別輸入額

(単位：億円、%)



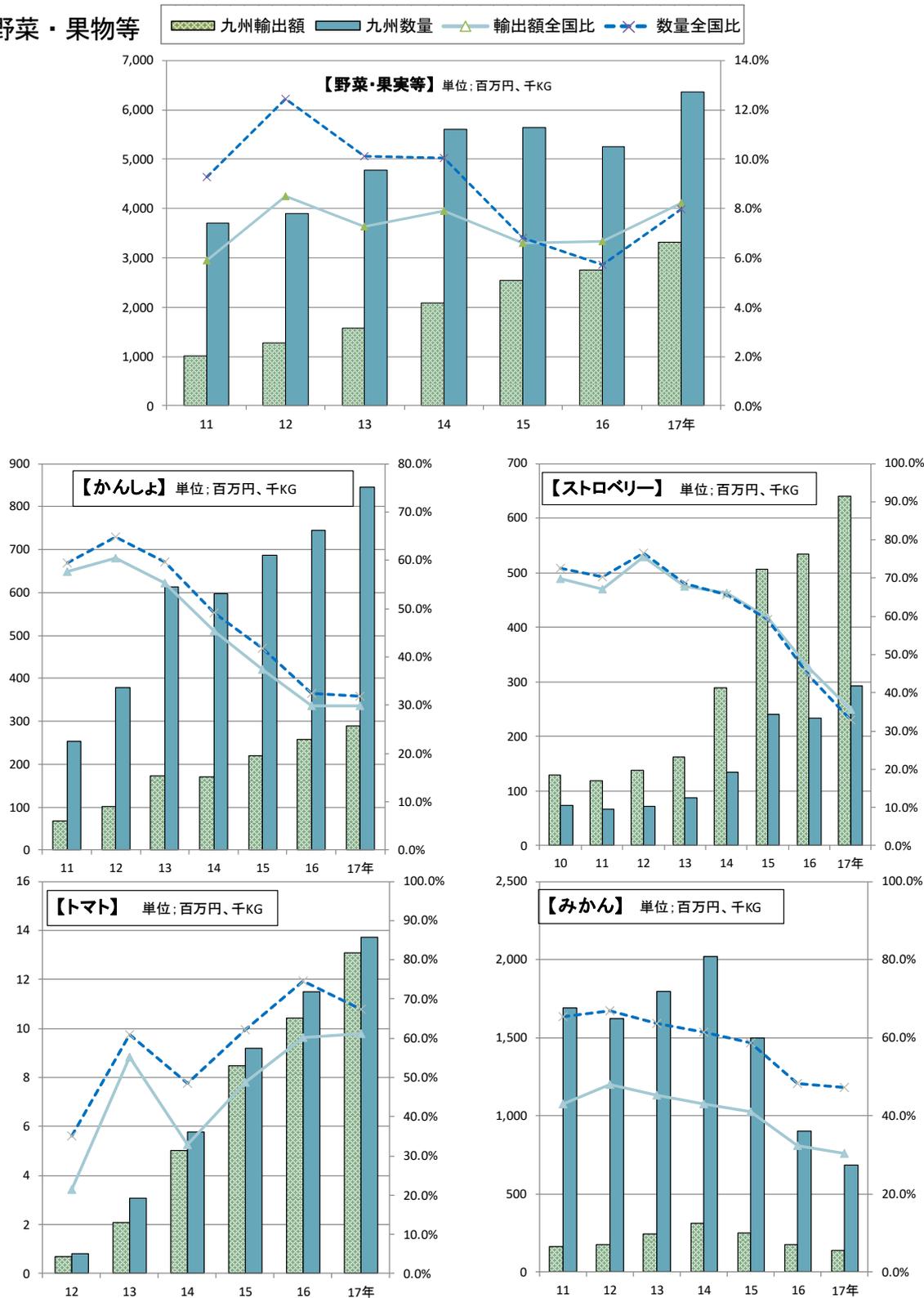
図表 3-5-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

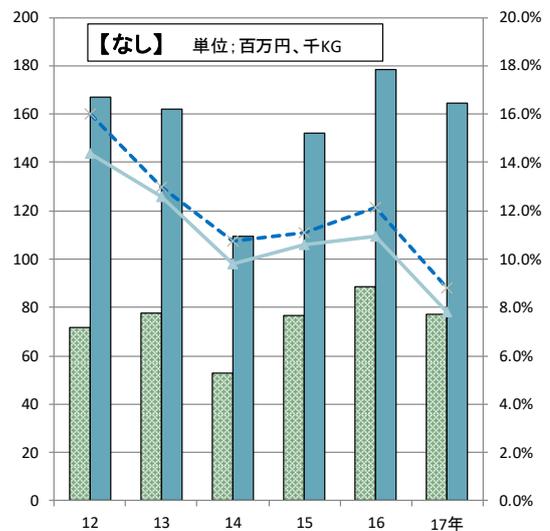
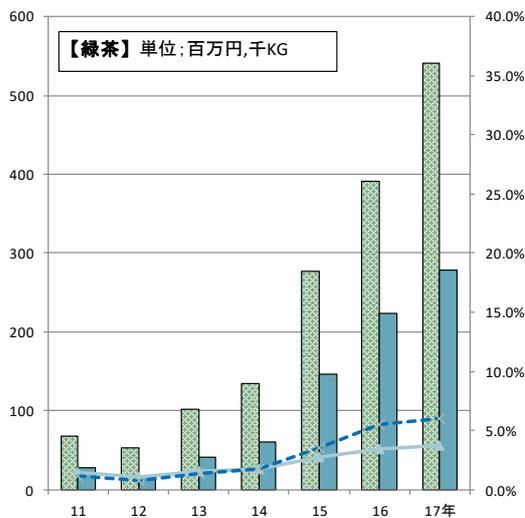
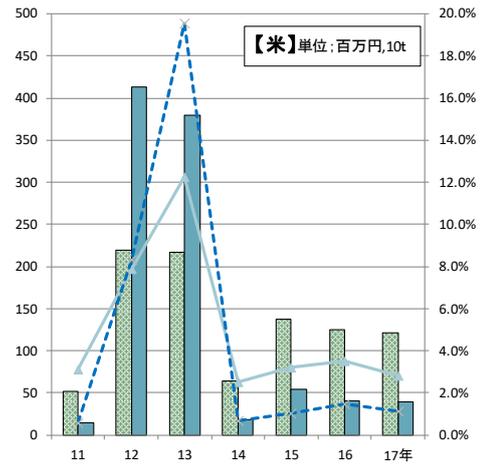
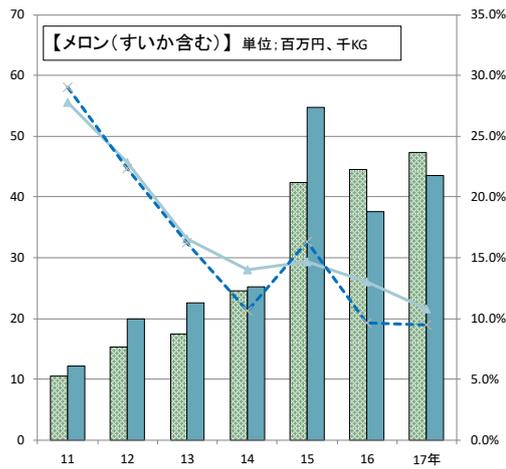
6. 農林水産物及び加工品

●近年、各種農林水産物の輸出額及び輸出数量が伸びており、さまざまな国に輸出されている。主要な農林水産物について、輸出動向は以下のとおり。

図表 3-6-1 九州の主要な農林水産物の輸出額・数量推移

① 野菜・果物等





参考

野菜等の輸出に際し、最も重要な貯蔵条件は、品目によりそれぞれ異なっており、水分の多い野菜は貯蔵日数が短く、根菜類は長い傾向にある。

品目	貯蔵最適温度(°C)	貯蔵限界(目安)
サツマイモ	13~15	4~7月
イチゴ	0	7~10日
トマト(完熟)	8~10	1~3週間
トマト(緑熟)	10~13	2~5週間
メロン(ネットメロン)	2~5	2~3週間
メロン(その他)	7~10	3~4週間

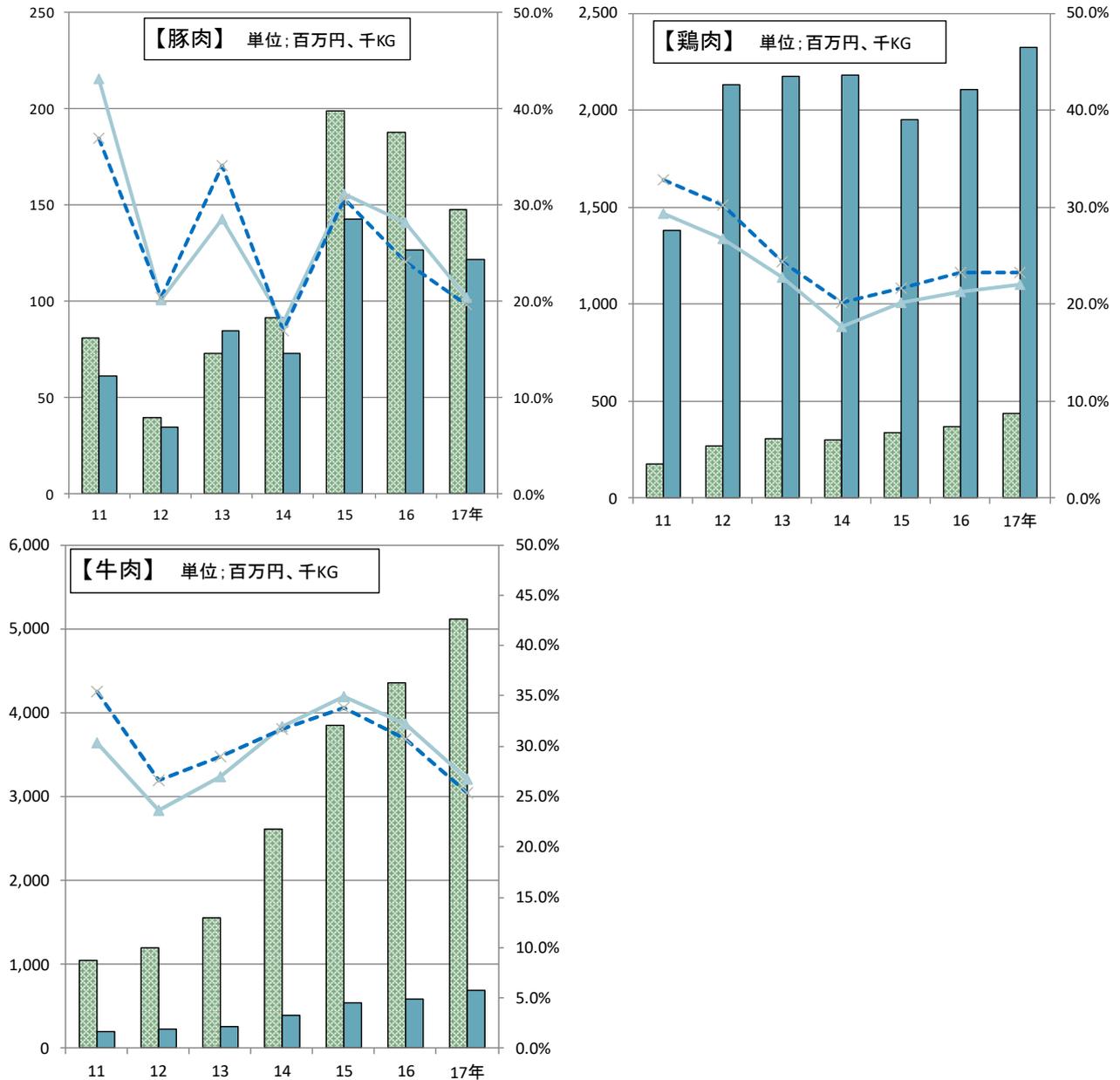
出所: (独)農研機構・野菜茶業研究所「野菜の最適貯蔵条件」を参考に作成。

海外への生鮮食料品等の流通においては、生産段階から消費段階まで低温に保ちながら流通されるしくみ「コールドチェーン」の整備が進められている。

- 野菜・果実等は輸出額が毎年少しずつ増加している。特に、かんしょ、ストロベリー、トマト、メロン(すいか含む)、緑茶は輸出額が増加傾向にある。
- 輸出額が大きい野菜・果物等はストロベリー、緑茶等で、輸出額の全国比が高いものは、トマト、ストロベリー、みかん等となっている。

備考: HSコードは次のとおり。【かんしょ】071420、【ストロベリー】081010、【トマト】070200、【みかん】080521、【メロン】0807、【米】100610、100620、100630、100640、【緑茶】090210、090220、【なし】080830

② 肉類

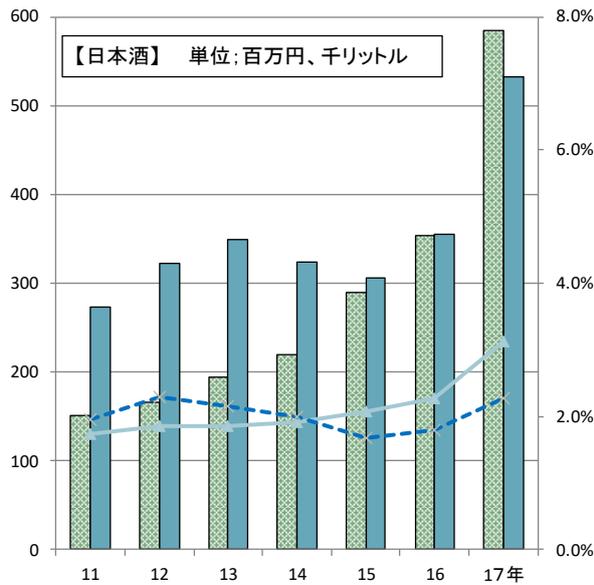
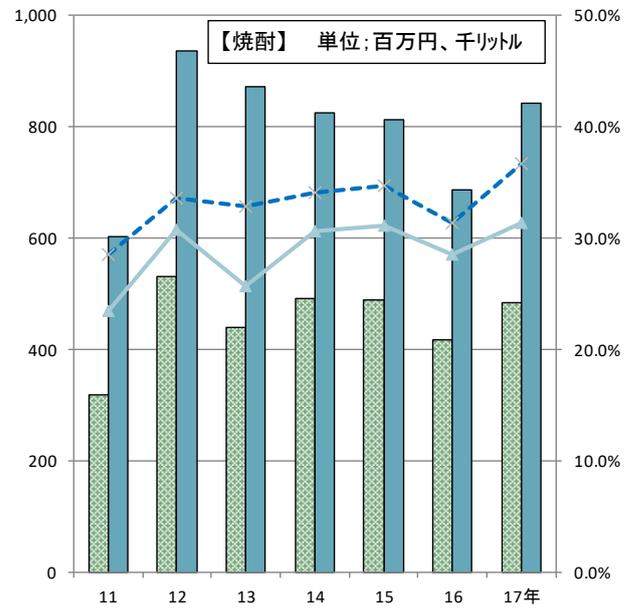
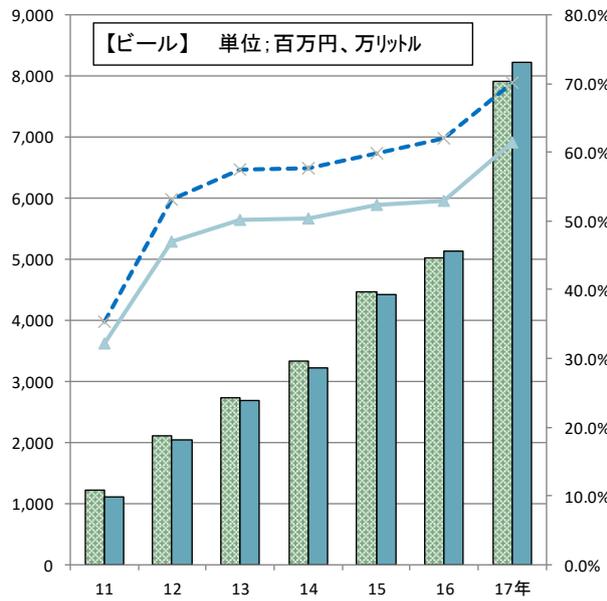


○牛肉の輸出額は年々増加しており、2011年と比べて約5倍に増加した。

備考：HSコードは次のとおり。【豚肉】0203、【鶏肉】020711、020712、020713、020714、
【牛肉】0201、0202、020610、020629

③ 酒類

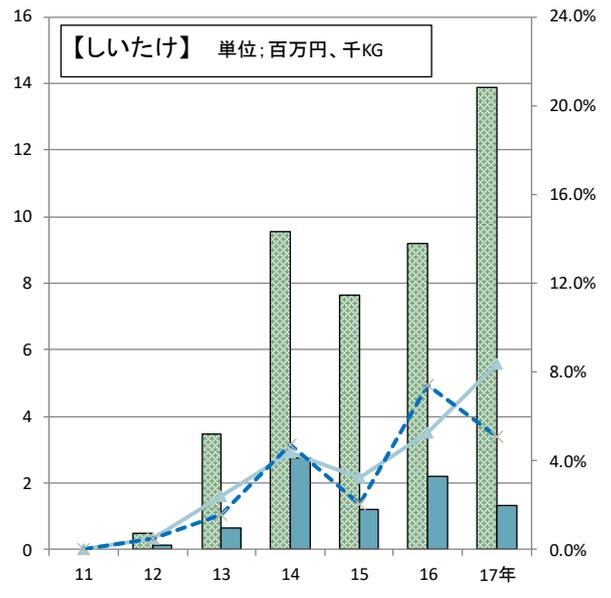
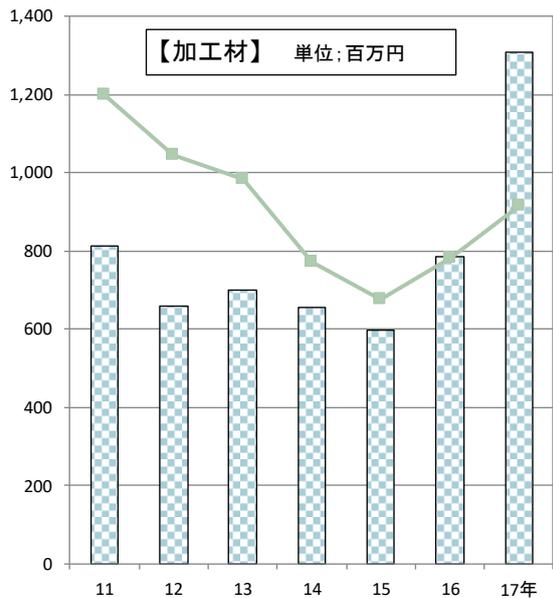
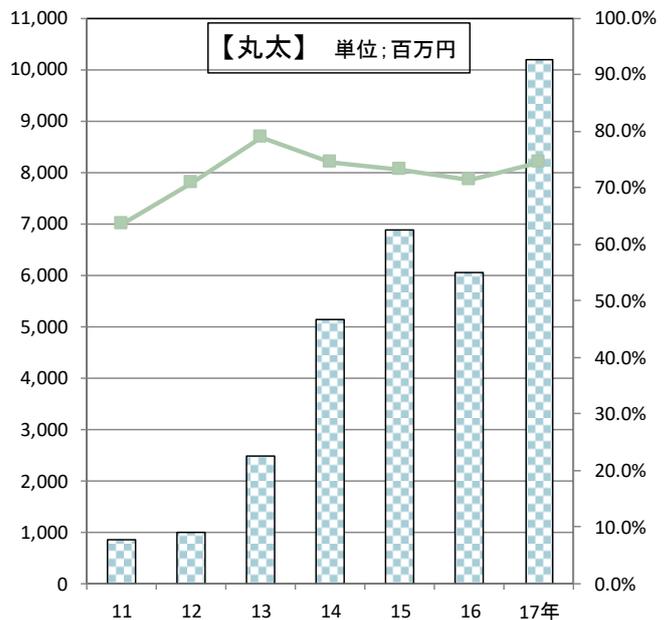
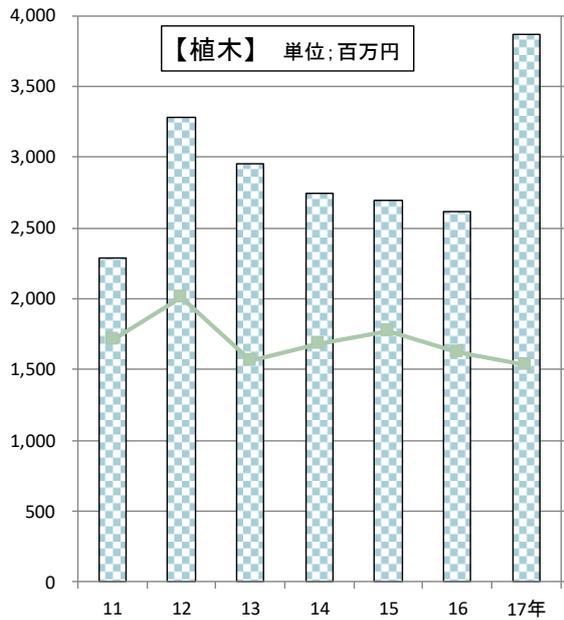
九州輸出額 九州数量 輸出額全国比 数量全国比



○ビールと日本酒の輸出額は年々増加しており、ビールについては輸出額の全国比が約6割となっている。

備考：HSコードは次のとおり。【ビール】2203、【焼酎】220890100、【日本酒】220600200

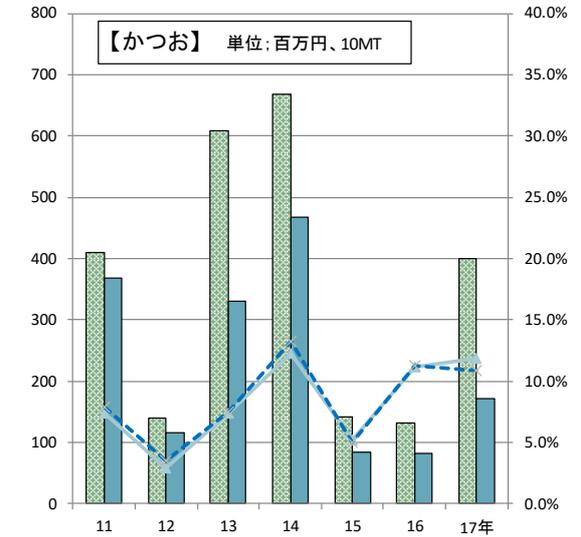
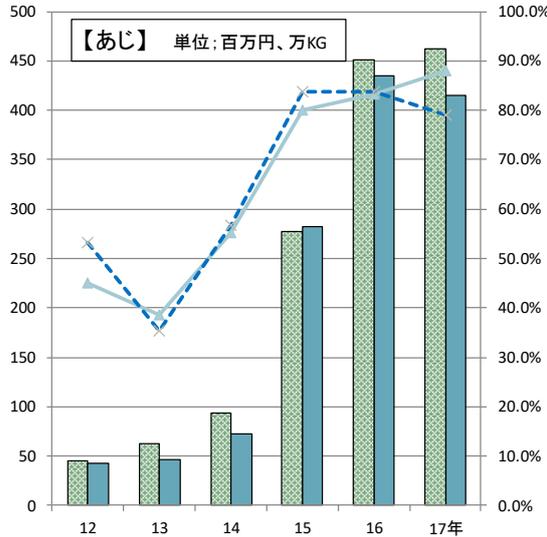
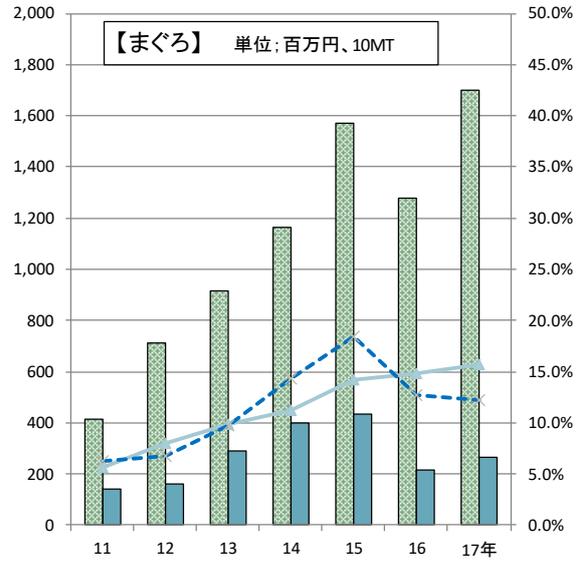
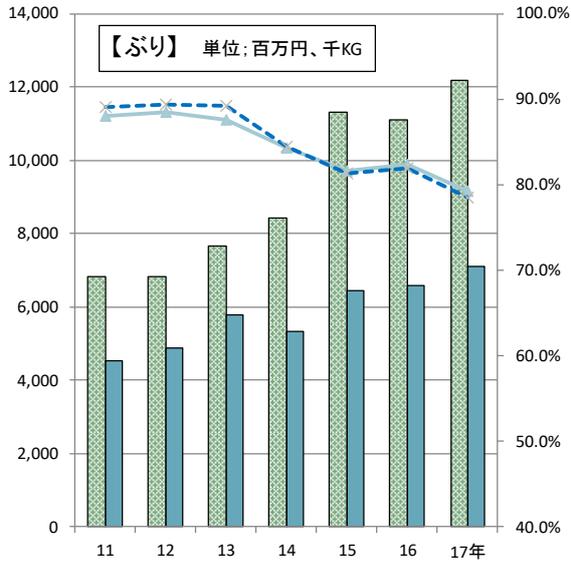
④ 林産物



○輸出額が大きい林産物は、丸太や植木である。輸出額の全国比が高いのは丸太である。
○丸太の輸出額について、2017年は前年より増加し、2011年と比べると、10倍以上に増加した。

備考：HSコードは次のとおり。【植木】060230、060240、060290100、060290900、【丸太】4403、
【加工材】4407、4409、【しいたけ】071239100

⑤ 魚介類



○ぶりの輸出額がもっとも大きく、全国に占める割合も高い。

備考：HSコードは次のとおり

【ぶり】 030449200、030459200、030489200

【まぐろ】 概況品 00701012

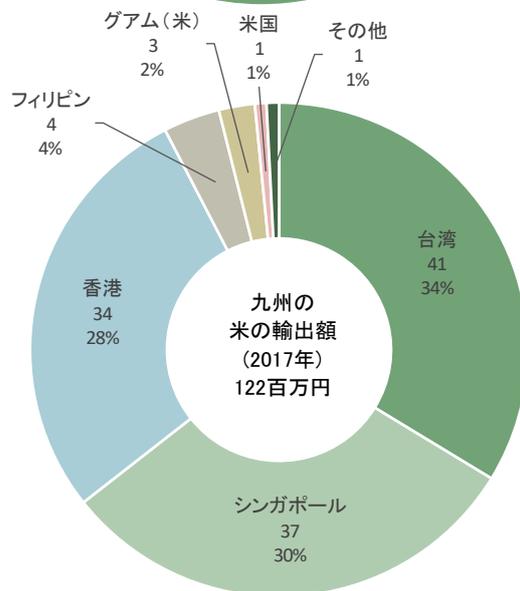
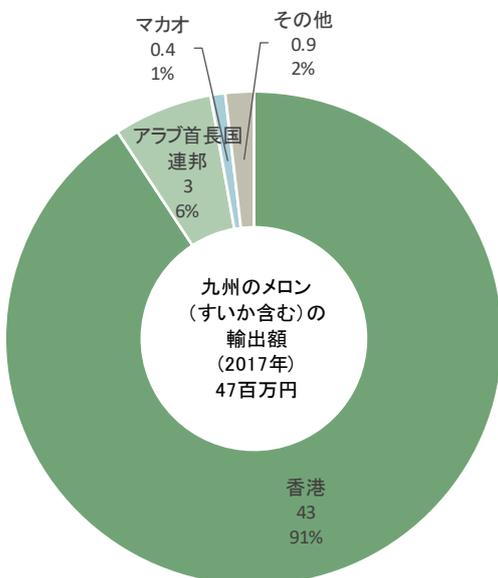
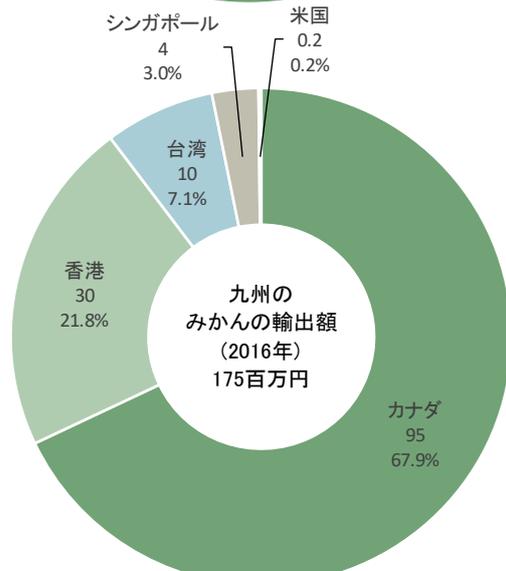
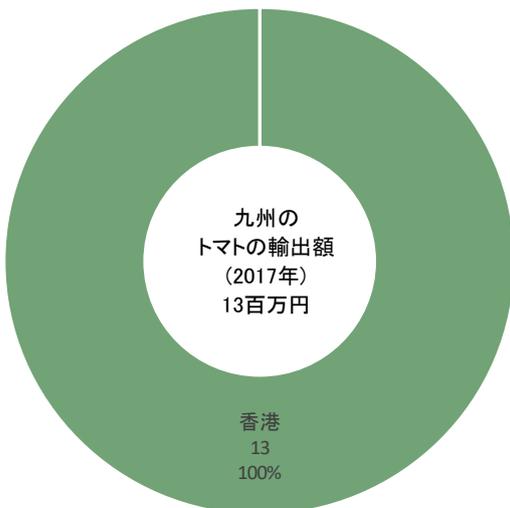
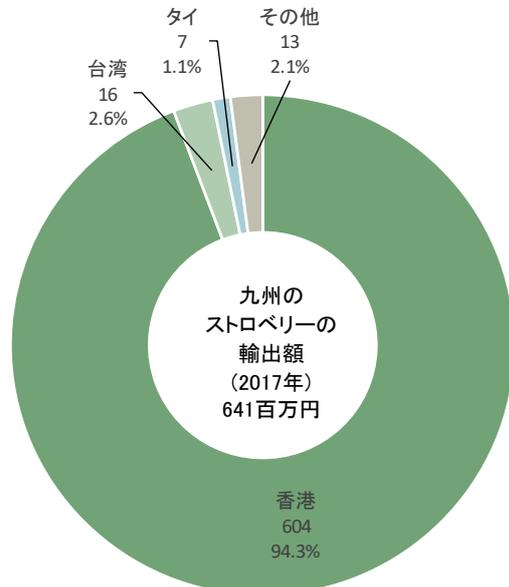
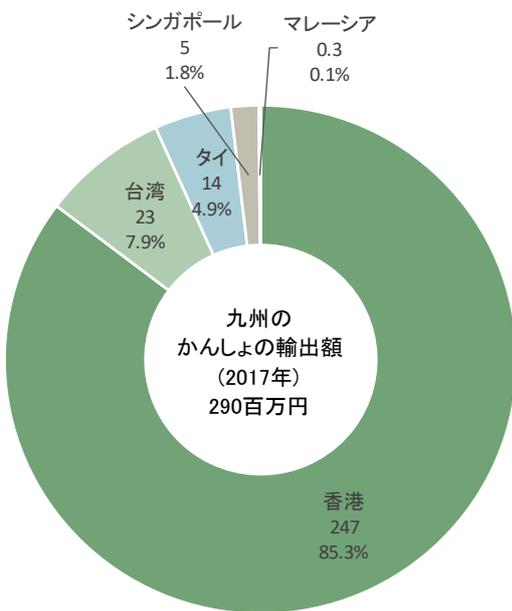
【かつお】 概況品 00701011

【あじ】 030245、030355

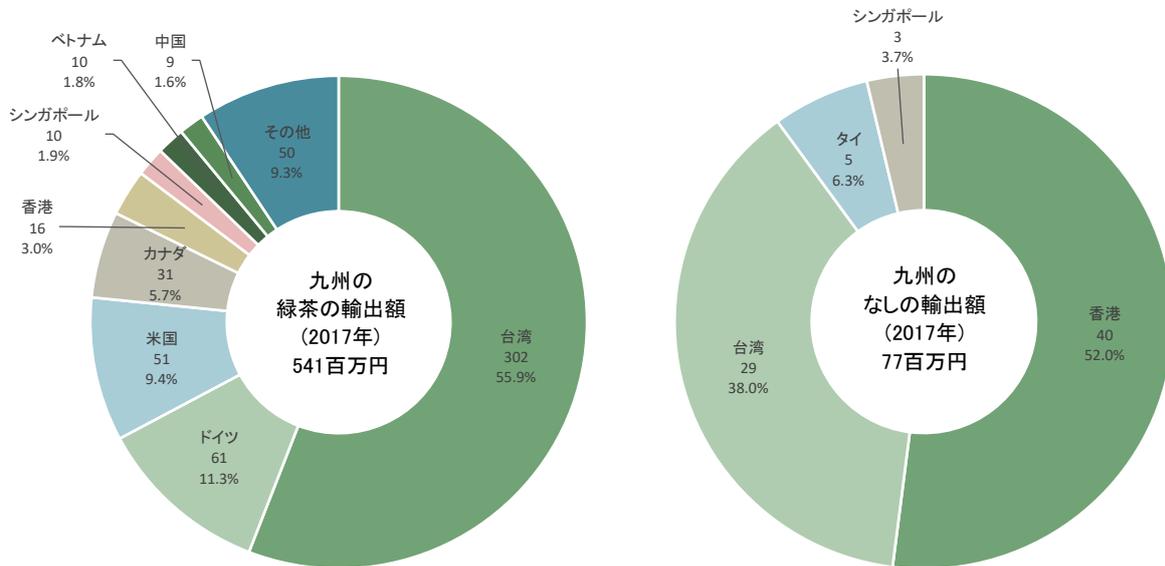
図表 3-6-2 九州の主要な農林水産物の輸出先

① 野菜・果物等

(単位：百万円、%)



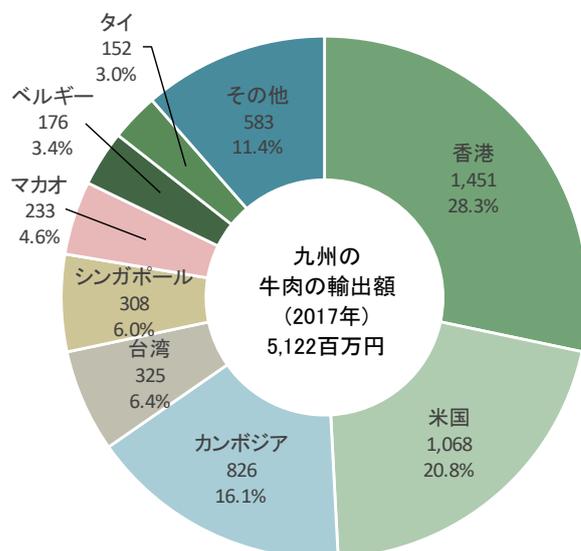
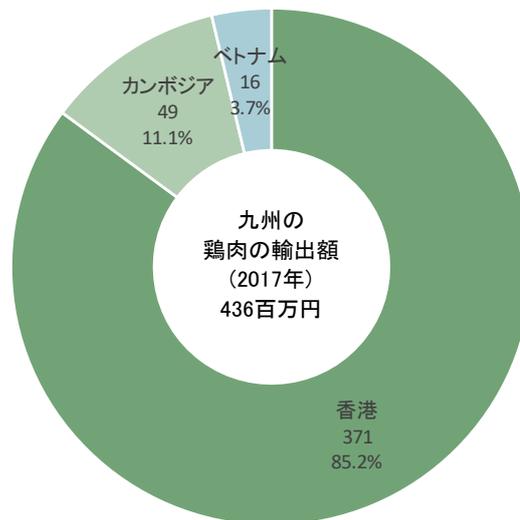
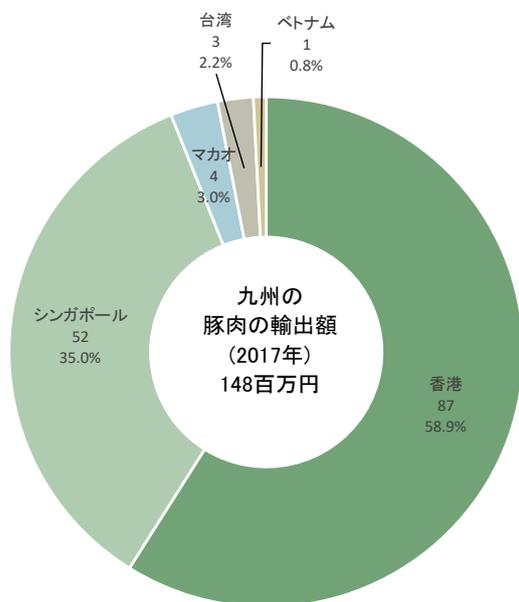
(単位：百万円、%)



○かんしょ、ストロベリー、トマト、メロン等多くの野菜・果物が香港向けに輸出されている。
○みかんの輸出先はカナダが最も多く、緑茶の輸出先は台湾が最も多い。

② 肉類

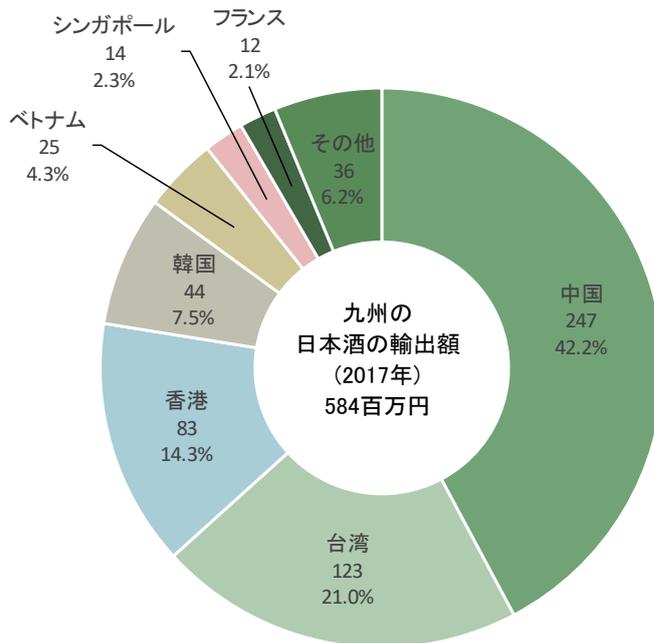
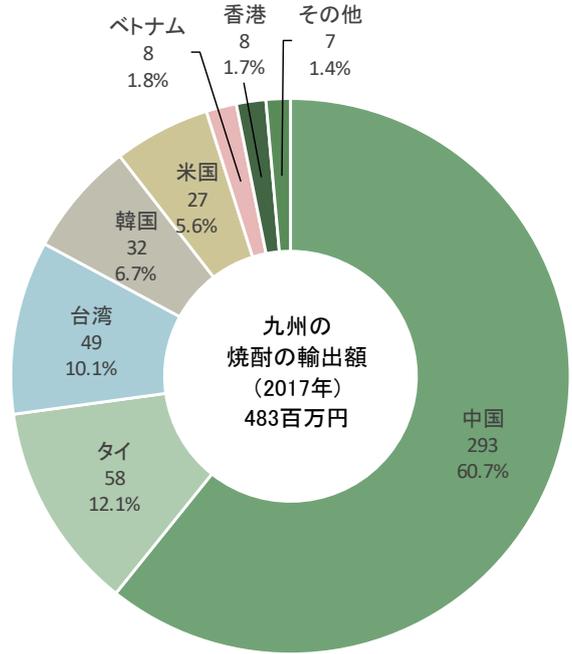
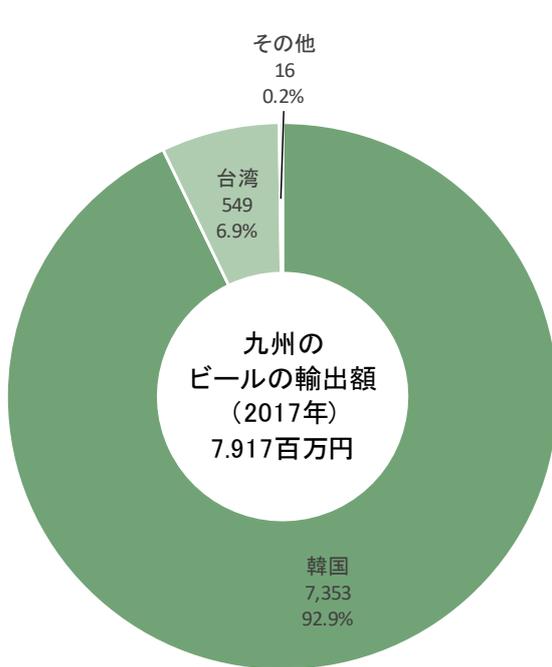
(単位：百万円、%)



○豚肉、鶏肉、牛肉ともに輸出先は香港が第1位である。
○牛肉については、米国が第2位となっている。

③ 酒類

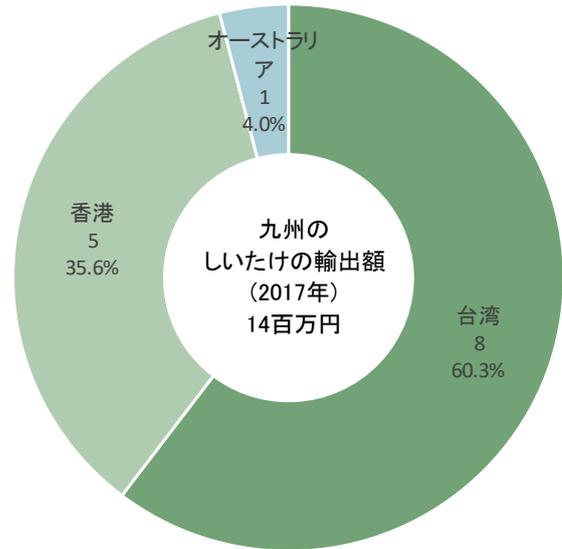
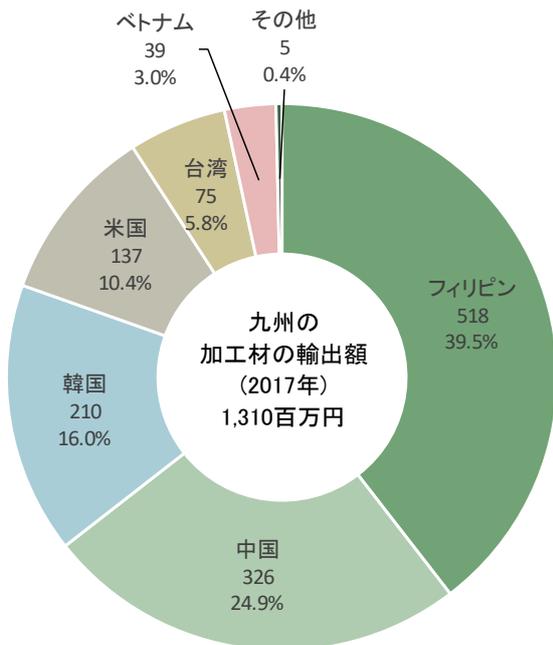
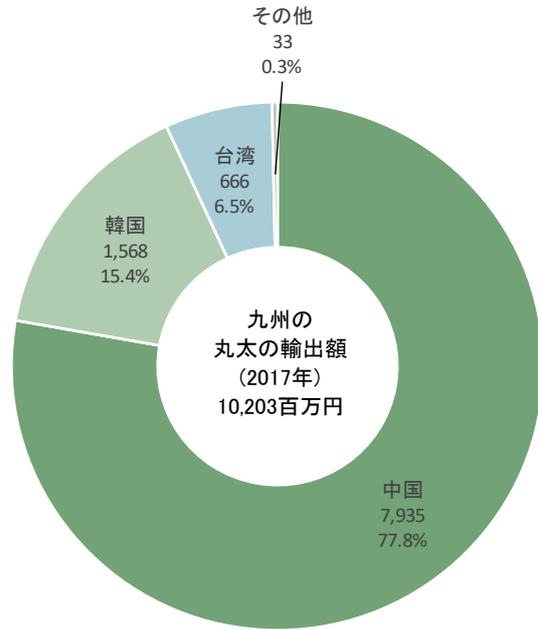
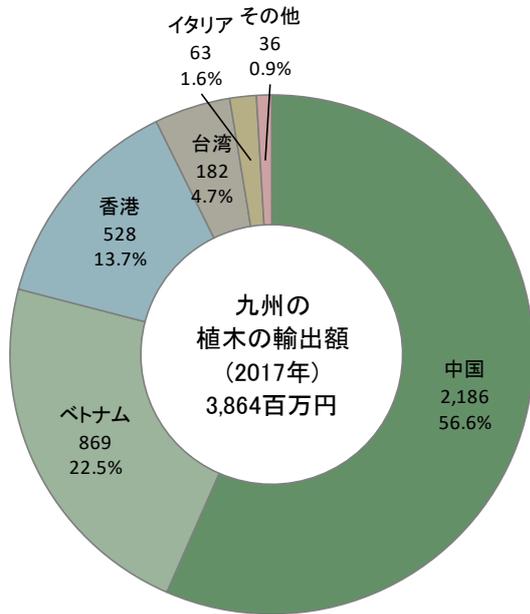
(単位：百万円、%)



○ビールは韓国、日本酒と焼酎は中国が最大の輸出先で、アジア向けの輸出が多い。

④ 林産物

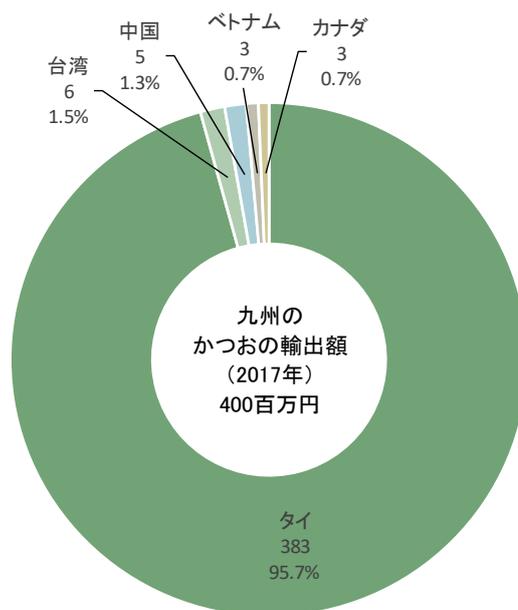
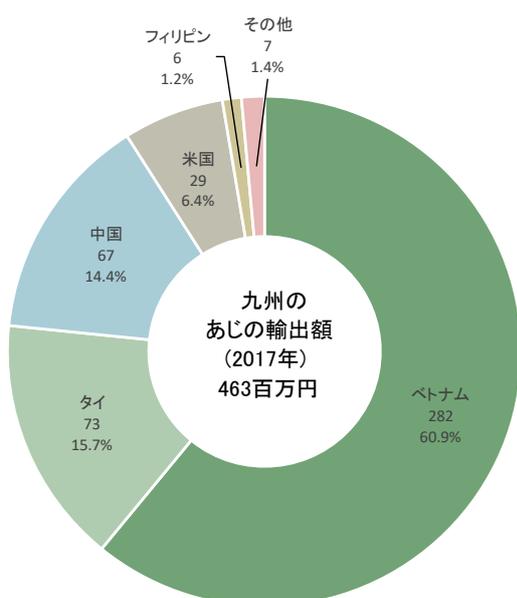
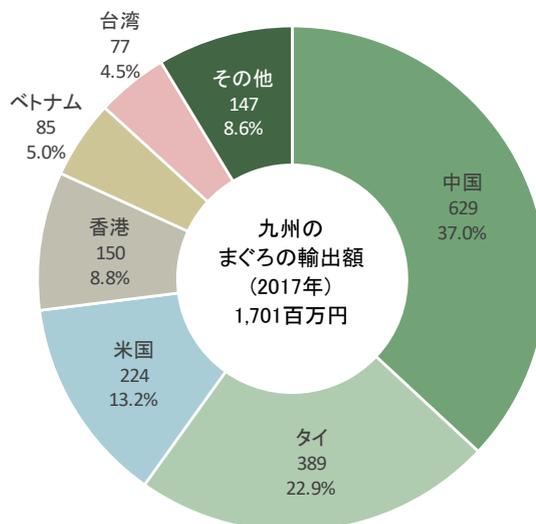
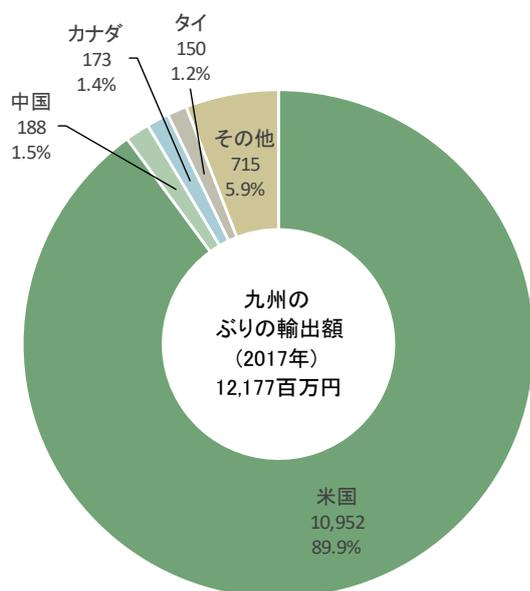
(単位：百万円、%)



○林産物の輸出はアジア向けが大半を占めており、丸太及び植木は中国、加工材はフィリピンが最大の輸出先となっている。

⑤ 魚介類

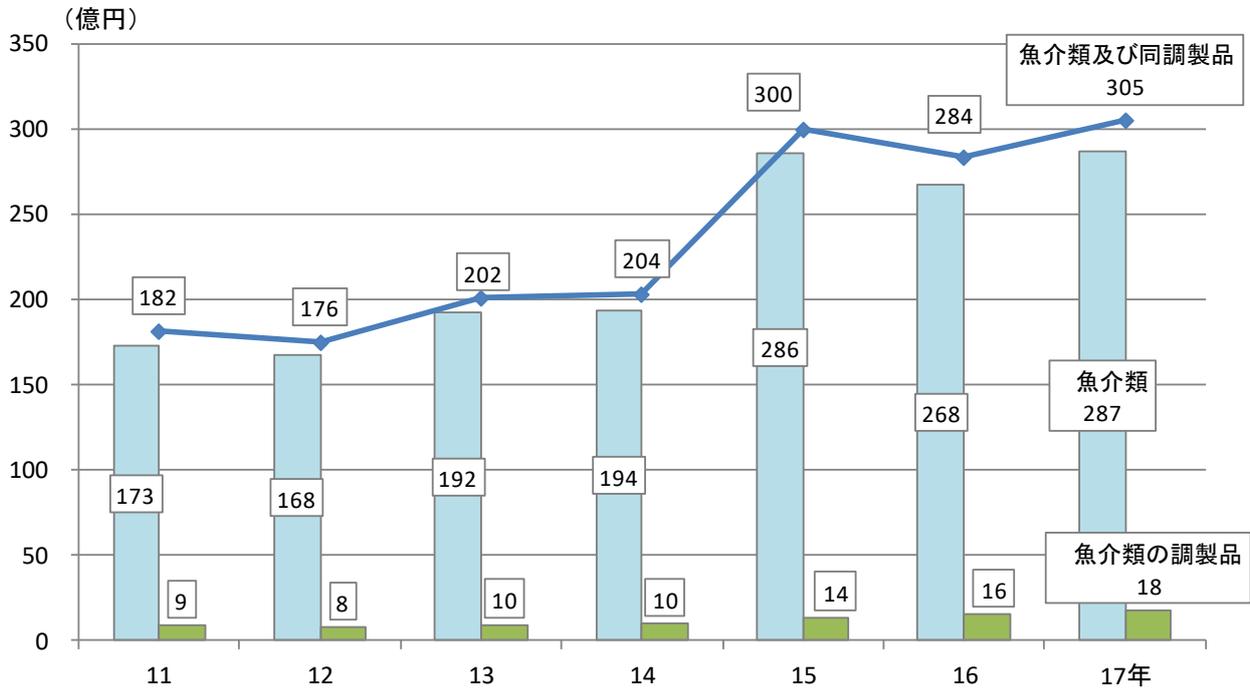
(単位：百万円、%)



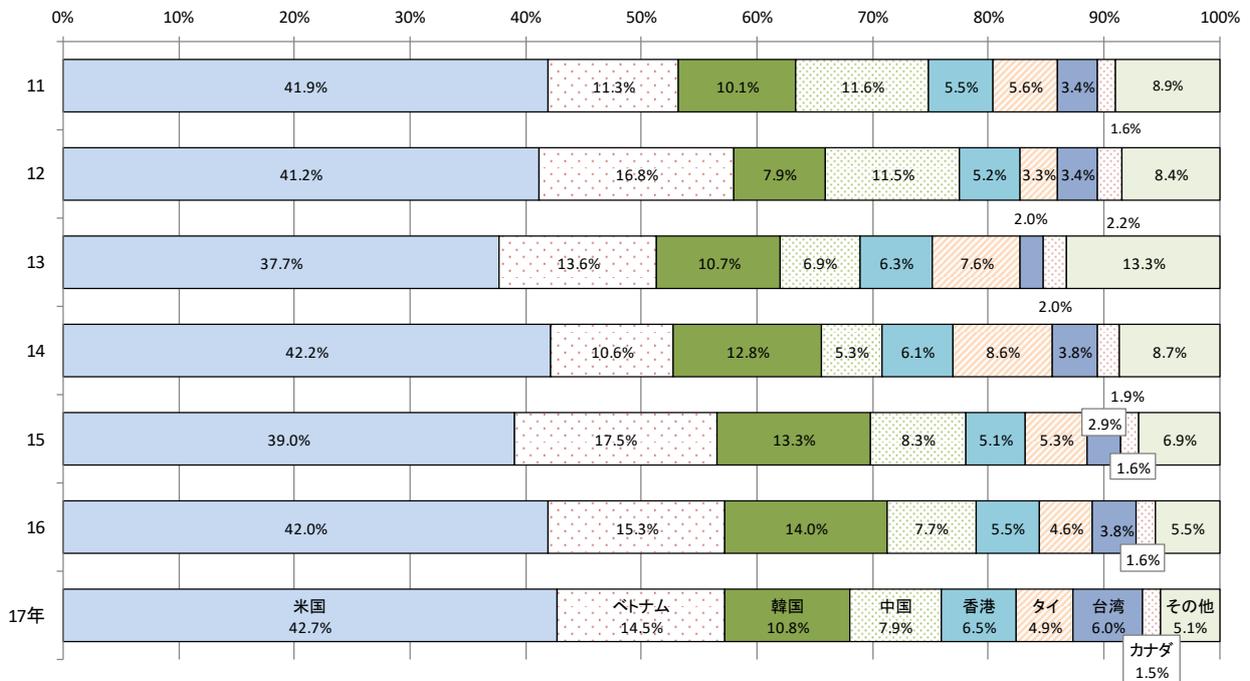
○魚介類の輸出先については、米国向けが多く、特に、ぶりについては大半を占めている。その他、中国や香港、ASEAN 諸国などアジアが多い。

図表 3-6-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-3 九州の魚介類及び同調製品輸出額の推移



図表 3-6-4 九州の魚介類及び同調製品の輸出相手国・地域の推移

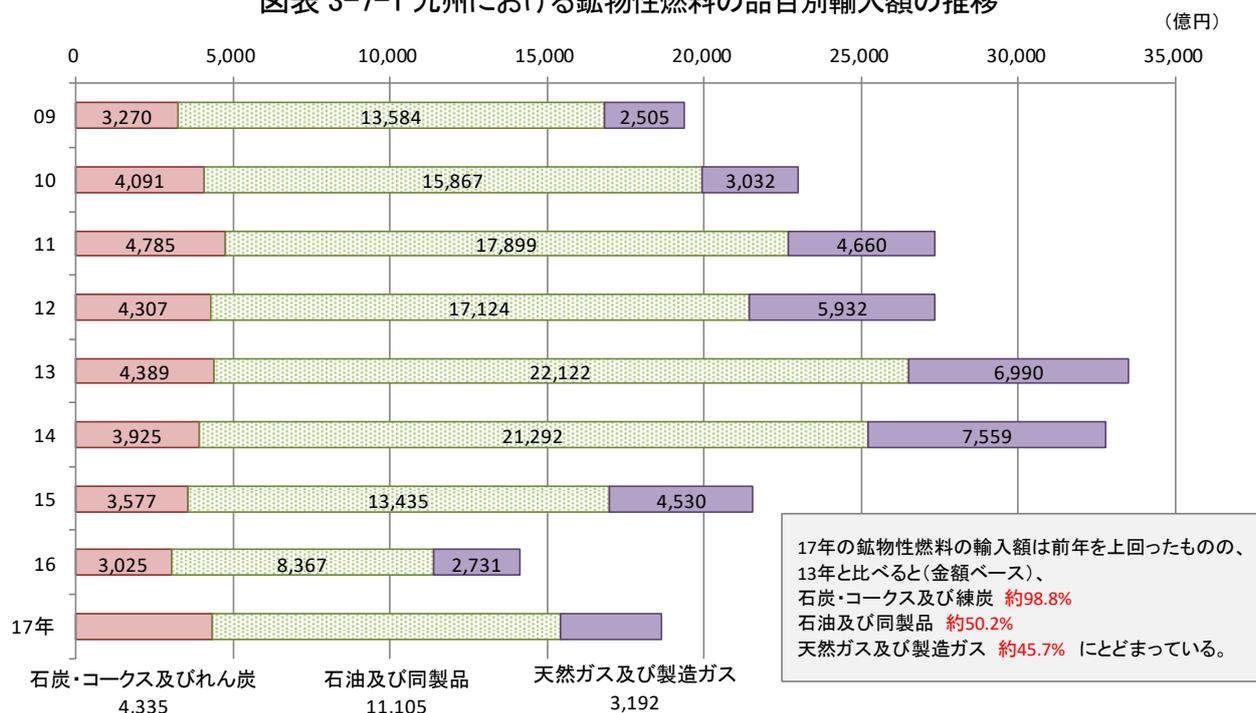


図表 3-6-3~4 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

7. 鉱物性燃料

- 2017年の九州の鉱物性燃料の輸入額は1兆8,632億円（前年比31.9%増）で前年より増加し、4年ぶりに増加に転じた。品目別では、石炭・コークス及び練炭、石油及び同製品、天然ガス及び製造ガスのいずれも輸入額が前年より増加した。
- 2011年の東日本大震災以降、鉱物性燃料の需要増により、九州においても鉱物性燃料の輸入額が増加し、貿易収支が赤字となった。その後、2015年になると鉱物性燃料の輸入額が大幅に減少し、貿易収支も5年ぶりに黒字に転じた。2016年も鉱物性燃料の輸入額が大幅に減少し、貿易収支は2年連続の黒字となった。2017年は前年より大幅に増加したものの、それ以上に輸出額が増加し、貿易収支は3年連続の黒字となった。

図表 3-7-1 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移

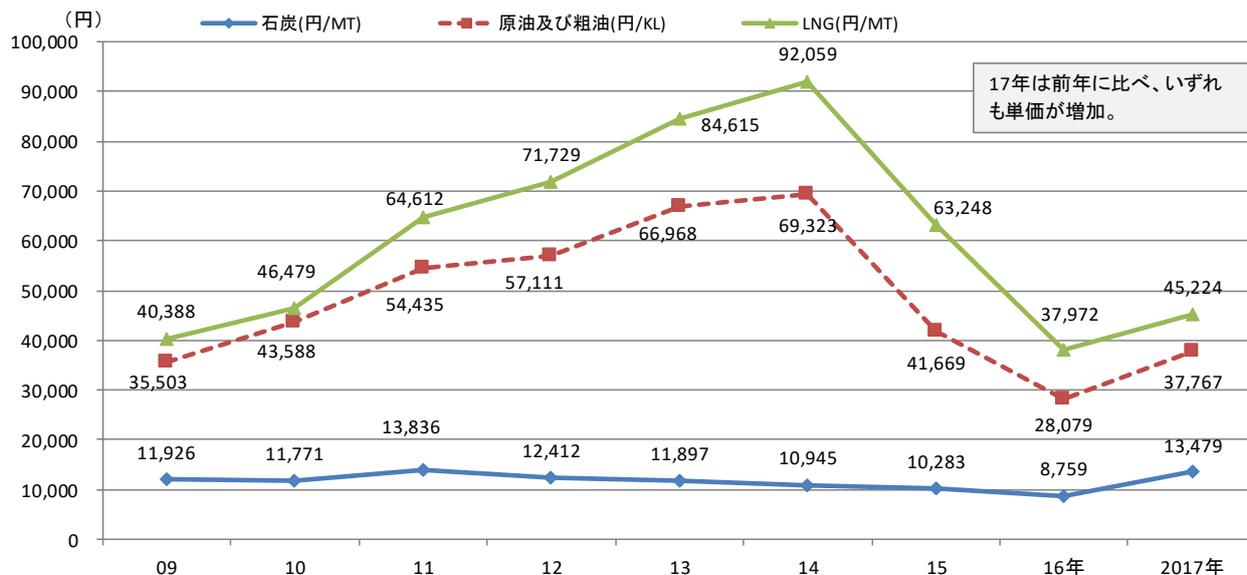


図表 3-7-2 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



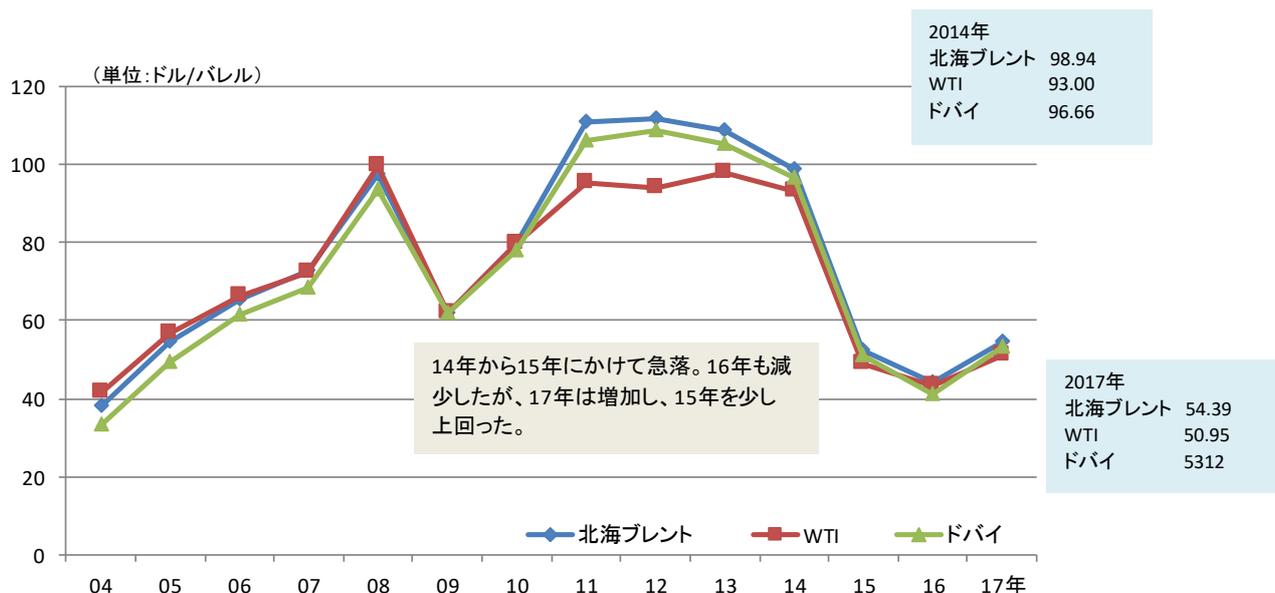
- 主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、LNG）の輸入単価をみると、石炭は2011年以降、緩やかに減少した。原油及び粗油とLNGについては2014年までは上昇を続けていたが、2015年に大きく下落した。2016年もさらに下落した。しかし、2017年はすべて上昇に転じた。
- ここで、原油相場における原油価格をみると、2015年に大幅に下落し、2016年は前年よりさらに下落したものの、2017年は前年を上回り、上昇に転じた。
- なお、2017年の主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、LNG）の輸入数量をみると、いずれも前年に比べて減少した。

図表 3-7-3 九州の主な鉱物性燃料の輸入単価



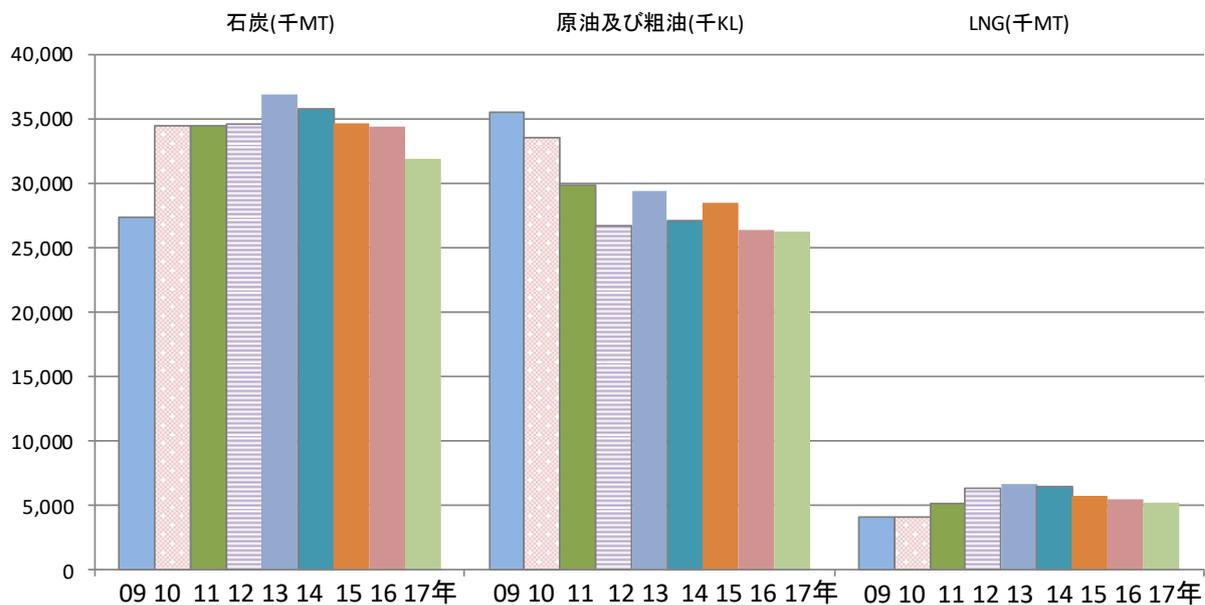
備考:それぞれの輸入単価は各年の輸入金額を輸入数量で割った値。

図表 3-7-4 原油相場における原油価格の推移

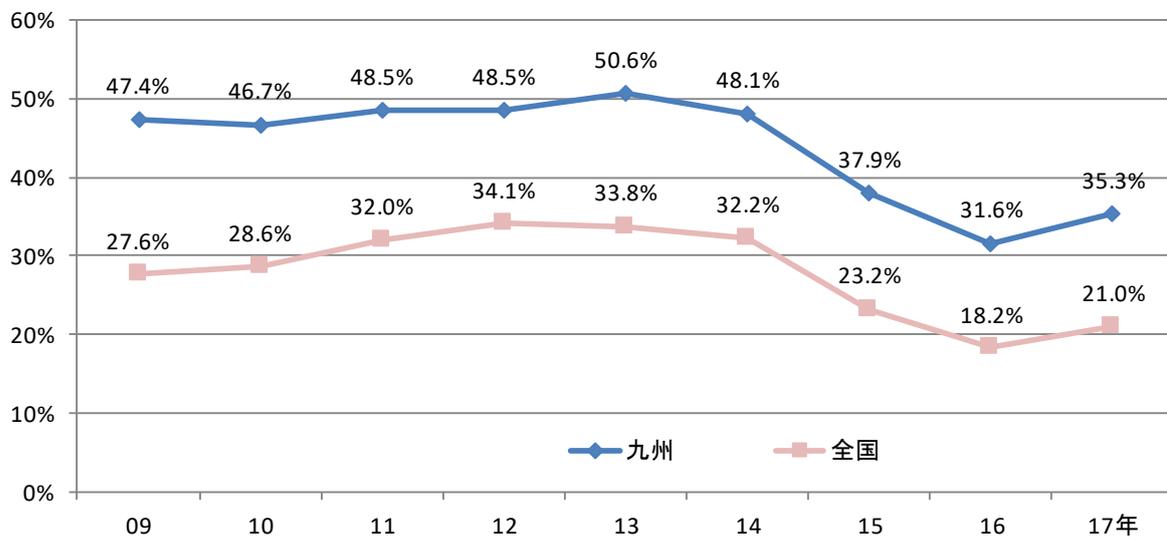


出所:内閣府「月刊海外経済データ」より九州経済産業局作成。

図表 3-7-5 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



図表 3-7-6 九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合



図表 3-7-1~5 出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

巻末資料

1. 九州及び日本の貿易の変遷 _____ 巻末 1
2. 地理圏・経済圏の分類表 _____ 巻末 2
3. 品目分類表 _____ 巻末 3

巻末資料1 九州及び日本の貿易の変遷

	九州						全国				対米ドル 為替レート (円)
	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	
1979 (昭和54)	11,983	7.5	5.3	23,484	55.1	9.7	225,315	9.6	242,454	44.9	219.14
1980 (昭和55)	15,387	28.4	5.2	34,234	45.8	10.7	293,825	30.4	319,953	32.0	226.74
1981 (昭和56)	17,511	13.8	5.2	34,457	0.7	11.0	334,690	13.9	314,641	-1.7	220.54
1982 (昭和57)	18,539	5.9	5.4	34,233	-0.7	10.5	344,325	2.9	326,563	3.8	249.08
1983 (昭和58)	17,642	-4.8	5.1	30,689	-10.4	10.2	349,093	1.4	300,148	-8.1	237.51
1984 (昭和59)	22,150	25.6	5.5	30,978	0.9	9.6	403,253	15.5	323,211	7.7	237.52
1985 (昭和60)	21,362	-3.6	5.1	30,176	-2.6	9.7	419,557	4.0	310,849	-3.8	238.54
1986 (昭和61)	16,002	-25.1	4.5	16,769	-44.4	7.8	352,897	-15.9	215,507	-30.7	168.52
1987 (昭和62)	14,003	-12.5	4.2	16,503	-1.6	7.6	333,152	-5.6	217,369	0.9	144.64
1988 (昭和63)	13,171	-5.9	3.9	13,422	-18.7	5.6	339,392	1.9	240,063	10.4	128.15
1989 (平成元)	15,595	18.4	4.1	15,891	18.4	5.5	378,225	11.4	289,786	20.7	137.96
1990 (平成2)	16,742	7.4	4.0	19,917	25.3	5.9	414,569	9.6	338,552	16.8	144.79
1991 (平成3)	18,069	7.9	4.3	19,593	-1.6	6.1	423,599	2.2	319,002	-5.8	134.71
1992 (平成4)	19,425	7.5	4.5	18,539	-5.4	6.3	430,123	1.5	295,274	-7.4	126.65
1993 (平成5)	19,190	-1.2	4.8	17,127	-7.6	6.4	402,024	-6.5	268,264	-9.1	111.20
1994 (平成6)	21,115	10.0	5.2	17,992	5.0	6.4	404,976	0.7	281,043	4.8	102.21
1995 (平成7)	23,526	11.4	5.7	19,860	10.4	6.3	415,309	2.6	315,488	12.3	94.06
1996 (平成8)	25,409	8.0	5.7	22,513	13.4	5.9	447,313	7.7	379,934	20.4	108.78
1997 (平成9)	29,217	15.0	5.7	25,524	13.4	6.2	509,380	13.9	409,562	7.8	120.99
1998 (平成10)	29,388	0.6	5.8	21,805	-14.6	5.9	506,450	-0.6	366,536	-10.5	130.91
1999 (平成11)	27,621	-6.0	5.8	21,678	-0.6	6.1	475,476	-6.1	352,680	-3.8	113.91
2000 (平成12)	30,164	9.2	5.8	25,463	17.5	6.2	516,542	8.6	409,384	16.1	107.77
2001 (平成13)	28,374	-5.9	5.8	26,803	5.3	6.3	489,792	-5.2	424,155	3.6	121.53
2002 (平成14)	32,543	14.7	6.2	27,289	1.8	6.5	521,090	6.4	422,275	-0.4	125.39
2003 (平成15)	33,914	4.2	6.2	28,382	4.0	6.4	545,484	4.7	443,620	5.1	115.93
2004 (平成16)	40,008	18.0	6.5	33,786	19.0	6.9	611,700	12.1	492,166	10.9	108.19
2005 (平成17)	43,629	9.1	6.6	42,756	26.5	7.5	656,565	7.3	569,494	15.7	110.22
2006 (平成18)	50,595	16.0	6.7	54,294	27.0	8.1	752,462	14.6	673,443	18.3	116.30
2007 (平成19)	59,095	16.8	7.7	61,089	12.5	8.4	839,314	11.5	731,359	8.6	117.75
2008 (平成20)	59,260	0.3	7.3	71,647	17.3	9.1	810,181	-3.5	789,547	8.0	103.36
2009 (平成21)	40,984	-30.8	7.6	40,850	-43.0	7.9	541,706	-33.1	514,994	-34.8	93.57
2010 (平成22)	51,941	26.7	7.7	49,243	20.5	8.1	673,996	24.4	607,650	18.0	87.78
2011 (平成23)	52,281	0.7	8.0	56,415	14.6	8.3	655,465	-2.7	681,112	12.1	79.81
2012 (平成24)	51,726	-1.1	8.1	56,460	0.1	8.0	637,476	-2.7	706,886	3.8	79.79
2013 (平成25)	56,203	8.7	8.1	66,154	17.2	8.1	697,742	9.5	812,425	14.9	97.60
2014 (平成26)	57,719	2.7	7.9	68,131	3.0	7.9	730,930	4.8	859,091	5.7	105.94
2015 (平成27)	59,566	3.2	7.9	56,788	-16.6	7.2	756,139	3.4	784,055	-8.7	121.04
2016 (平成28)	56,548	-5.1	8.1	44,643	-21.4	6.8	700,358	-7.4	660,420	-15.8	108.79
2017 (平成29)	68,410	14.8	8.7	52,788	-7.0	7.0	782,865	3.5	753,792	-3.9	112.17

備考：九州の1970～1987年は下関港を含んだ金額。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供資料、内閣府「海外経済データ」から局作成。

巻末資料2 地理圏・経済圏の分類表

地理圏 (国・地域数)	該 当 国 ・ 地 域
アジア (26)	韓国、北朝鮮、中国、台湾、モンゴル、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、モルディブ、バングラデシュ、東ティモール、マカオ、アフガニスタン、ネパール、ブータン
中東 (14)	イラン、イラク、バーレーン、サウジアラビア、クウェート、カタール、オマーン、イスラエル、ヨルダン、シリア、レバノン、アラブ首長国連邦、イエメン、ヨルダン川西岸及びガザ
西欧 (32)	アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、モナコ、アンドラ、ドイツ、スイス、アゾレス(葡)、ポルトガル、スペイン、ジブラルタル(英)、イタリア、マルタ、フィンランド、オーストリア、セルビア、ギリシャ、キプロス、トルコ、クロアチア、スロベニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モンテネグロ、コソボ
北米 (4)	グリーンランド(デンマーク)、カナダ、サンピエール及びミクロン(仏)、米国
中南米 (46)	メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ベリーズ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、バーミューダ(英)、バハマ、ジャマイカ、タークス及びカイコス諸島(英)、バルバドス、トリニダード・トバゴ、キューバ、ハイチ、ドミニカ共和国、プエルトリコ(米)、米領ヴァージン諸島、蘭領アンティール、仏領西インド諸島、ケイマン諸島(英)、グレナダ、セントルシア、アンティグア・バーブーダ、英領ヴァージン諸島、ドミニカ、モントセラト(英)、セントクリストファー・ネイヴィス、セントビンセント、英領アンギラ、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、仏領ギアナ、エクアドル、ペルー、ボリビア、チリ、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、フォークランド諸島及びその附属諸島(英)、英領南極地域
大洋州 (25)	オーストラリア、パプアニューギニア、その他のオーストラリア領、ニュージーランド、クック、トケラウ諸島(ニュージーランド)、ニウエ、サモア、バヌアツ、フィジー、ソロモン、トンガ、キリバス、ピットケルン(英)、ナウル、ニューカレドニア(仏)、仏領ポリネシア、グアム(米)、米領サモア、米領オセアニア、ツバル、マーシャル、ミクロネシア、北マリアナ諸島(米)、パラオ

経済圏 (国数)	該 当 国
A S E A N (10)	ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー
E U (28)	スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、フランス、ドイツ、ポルトガル、スペイン、イタリア、マルタ、フィンランド、ポーランド、オーストリア、ハンガリー、ギリシャ、ルーマニア、ブルガリア、キプロス、エストニア、ラトビア、リトアニア、クロアチア、スロベニア、チェコ、スロバキア

巻末資料3 品目分類表(2017年輸出)

大	中	小	大	中	小	大	中	小
食料品及び動物			肥料			建設用・鉱山用機械		
生きた動物			窒素肥料			加熱用・冷却用機器		
肉類及び同調製品			火薬類			ポンプ及び遠心分離機		
酪農品及び鳥卵			プラスチック			荷役機械		
ミルク、クリーム及びバター			メラミン樹脂			ベアリング及び同部分品		
魚介類及び同調製品			塩化ビニール樹脂			半導体等製造装置		
魚介類			ポリエチレン			電気機器		
魚介類の調製品			ポリスチレン			重電機器		
穀物及び同調製品			その他の化学製品			電気回路等の機器		
小麦粉			原料別製品			絶縁電線及び絶縁ケーブル		
米			革及び同製品・毛皮			がい子		
果実及び野菜			ゴム製品			映像機器		
果実			ゴム加工材料			音響機器		
野菜			ゴムタイヤ及びチューブ			音響・映像機器の部分品		
糖類及び同調製品・はちみつ			ベルト及びベルチング			通信機		
コーヒー・茶・ココア・香辛料類			木製品及びコルク製品(除家具)			家庭用電気機器		
茶			合板			電池		
飼料			木製品(合板を除く)			電球類		
魚介類の粉、ミール及びペレット			紙類及び同製品			半導体等電子部品		
配合飼料(ペットフードを含む)			紙及び板紙			自動車用等の電気機器		
その他の調製食料品			封筒及び雑記帳等の紙製品			電気計測機器		
飲料及びたばこ			紙袋・紙テープ及び紙タオル			コンデンサー		
飲料			織物用糸及び繊維製品			電気用炭素及び黒鉛製品		
たばこ			織物用糸			輸送用機器		
葉たばこ			織物			鉄道用車両		
原材料			繊維二次製品(除衣類)			自動車		
原皮及び毛皮(未仕上)			非金属鉱物製品			自動車の部分品		
採油用の種・ナット及び核			セメント			二輪自動車類		
生ゴム			タイル			自転車及び同部分品		
合成ゴム			ガラス及び同製品			航空機類		
木材及びコルク			陶磁器			船舶類		
木材			真珠			雑製品		
パルプ及び古紙			鉄鋼			照明器具		
織物用繊維及びびくず			銑鉄			家具		
人造繊維			ビレット及びシートバー等			家具(除医療用)		
粗鉱物			鉄鋼の棒・形鋼及び線			バッグ類		
耐火性材料			鉄鋼のフラットロール製品			衣類及び同附属品		
金属鉱及びびくず			軌条及びその他の鉄道線路建設材			外衣類		
(鉄鋼のくず)			管及び管用継手			下着類		
その他の動植物性原材料			非鉄金属			ハンカチ		
寒天			銅及び同合金			ショール及びマフラー類		
鉱物性燃料			アルミニウム及び同合金			メリヤス編み及びクロセ編み衣類		
石炭・コークス及び練炭			亜鉛及び同合金			帽子及び同部分品		
(コークス)			チタン及び同合金			はき物		
石油及び同製品			白金族の金属			精密機器類		
石油製品			金属製品			科学光学機器		
天然ガス及び製造ガス			構造物及び同建設材			時計及び部分品		
動植物性油脂			貯蔵用及び輸送用の金属製容器			その他の雑製品		
動物性油脂			より線・綱及び網類			写真用・映画用材料		
植物性油脂			くぎ・ねじ・ボルト及びナット類			記録媒体(含記録済)		
加工油脂及びろう			手道具類及び機械用工具			楽器		
化学製品			刃物			書籍・新聞・雑誌		
元素及び化合物			卑金属製の家庭用品			クリスマス用品類		
有機化合物			錠・かぎ及び取付具			プラスチック製品		
無機化合物			鉄鋼製くさり及び同部分品			がん具		
鉱物性タール及び粗製薬品			手針・ピン及び留金類			遊戯用具		
染料・なめし剤及び着色剤			機械類及び輸送用機器			運動用具		
有機合成染料及びレーキ顔料			一般機械			事務用品		
塗料類			原動機			貴石等の製品類		
医薬品			農業用機械			喫煙用具		
プロビタミン及びビタミン			事務用機器			かさ及びつえ類		
ビタミン製剤			金属加工機械			ボタン及びスライドファスナー類		
抗生物質			繊維機械			くし・かんざし及び化粧用具		
抗生物質製剤			ミシン			特殊取扱品		
精油・香料及び化粧品類			パルプ製造・製紙及び紙加工機械			再輸出品		
化粧品			印刷機械及び製本機械			金(マナタリーゴールドを除く)		
くつずみ及びクレンザー類			食料品加工機械					

出所：財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成
備考：概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている

品目分類表(2017年輸入)

大	中	小	大	中	小	大	中	小
食料品及び動物			その他の動植物性原材料			鉄鋼		
生きた動物			動物性原材料			銑鉄		
鶏			植物性原材料			合金鉄		
馬			鉱物性燃料			鉄鋼の棒・形鋼及び線		
肉類及び同調製品			石炭・コークス及び練炭			鉄鋼のフラットロール製品		
牛肉			石炭			管及び管用継手		
羊・やぎ肉			石油及び同製品			非鉄金属		
豚・いのししの肉			原油及び粗油			銀及び白金族		
鶏肉			石油製品			銅及び同合金		
馬肉			天然ガス及び製造ガス			ニッケル及び同合金		
酪農品及び鳥卵			石油ガス類			アルミニウム及び同合金		
ミルク及びクリーム			動植物性油脂			鉛及び同合金		
バター			動物性油脂			亜鉛及び同合金		
チーズ及びカード			牛脂			すず及び同合金		
魚介類及び同調製品			植物性油脂			コバルト及び同合金		
魚介類			綿実油			金属製品		
魚介類の調製品			パーム油			鉄鋼製構造物及び同建設機材		
穀物及び同調製品			桐油			くぎ・ねじ・ナット・ボルト類		
小麦及びメスリン			加工油脂及びろう			手道具類及び機械用工具		
米			ろう			刃物		
大麦及びはだか麦			化学製品			卑金属製の家庭用品		
とうもろこし			元素及び化合物			機械類及び輸送用機器		
あわ・きび及びびえ			有機化合物			一般機械		
こうりゃん(飼料用)			無機化合物			原動機		
麦芽			鉱物性タール及び粗製薬品			農業用機械		
果実及び野菜			ベンゼン(粗製のもの)			事務用機器		
果実			キシレン(粗製のもの)			金属加工機械		
野菜			染料・なめし剤及び着色剤			繊維機械		
糖類及び同調製品・はちみつ			有機合成染料及びレーキ顔料			バルブ製造・製紙及び紙加工機械		
砂糖			植物性のなめしエキス			印刷機械及び製本機械		
糖みつ			塗料類			食料品加工機械		
乳糖			医薬品			建設用・鉱山用機械		
コーヒー・茶・ココア・香辛料類			プロビタミン及びビタミン			加熱用・冷却用機器		
コーヒー			抗生物質			ポンプ及び遠心分離機		
ココア			ホルモン			荷役機械		
お茶			抗生物質製剤			鉱物・木材等の材料加工機械		
飼料			精油・香料及び化粧品類			コック・弁類		
ふすま			精油及びレジノイド			半導体等製造装置		
植物性油かす			人造香料類			電気機器		
魚介類の粉、ミール及びペレット			肥料			重電機器		
その他の調製食料品			カリ肥料			電気回路等の機器		
飲料及びたばこ			火薬類			絶縁電線及び絶縁ケーブル		
飲料			プラスチック			音響・映像機器(含部品)		
アルコール飲料			シリコーン			通信機		
たばこ			塩化ビニール樹脂			家庭用電気機器		
葉たばこ			ポリエチレン			半導体等電子部品		
製造たばこ			ポリスチレン			電気計測機器		
原材料			合成樹脂			電気溶接器		
原皮及び毛皮(未仕上)			その他の化学製品			輸送用機器		
原皮			消毒剤・殺虫剤及び殺菌剤類			自動車		
毛皮			でん粉			自動車の部分品		
採油用の種・ナット及び核			カゼイン			二輪自動車類		
落花生			ロジン			航空機類		
コブラ			調製石油添加剤			船舶類		
大豆			触媒			自転車		
その他の採油用種子			原料別製品			雑製品		
生ゴム			革及び同製品・毛皮			照明器具		
天然ゴム			羊革			家具		
天然ゴムラテックス			ゴム製品			バッグ類		
合成ゴム			ゴム加工材料			衣類及び同附属品		
木材及びコルク			木製品及びコルク製品(除家具)			衣類		
木材			合板・ウッドパネル			衣類附属品		
パルプ及び古紙			パルプウッド等			メリヤス編み及びクロセ編み衣類		
パルプ			木製建具及び建築用木工品			はき物		
織物用繊維及びくず			紙類及び同製品			精密機器類		
絹			紙及び板紙			科学光学機器		
羊毛			織物用糸及び繊維製品			時計及び部分品		
織獣毛			織物用繊維糸			その他の雑製品		
獣毛(カード、コムしたもの)			綿織物			写真用・映画用材料		
綿花			毛織物			記録媒体(含記録済)		
麻類(含くず)			絹織物			書籍・新聞・雑誌		
粗鉱物			合成繊維織物			プラスチック製品		
りん鉱石			チュール及びびしゅう布類			がん具及び遊戯用具		
粗鉱物(除りん鉱石)			敷物類			運動用具		
金属鉱及びくず			メリヤス編物及びクロセ編物			事務用品		
鉄鉱石			非金属鉱物製品			美術品・収集品及びこっとう		
鉄鋼くず			ガラス及び同製品			成形品及び彫刻品		
非鉄金属鉱			ダイヤモンド			特殊取扱品		
非鉄卑金属くず			貴石及び半貴石			再輸入品		
						金(マネタリーゴールドを除く)		

出所:財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成

備考:概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている

九州経済国際化データ 2018（貿易編）

2018年8月発行

編集・発行：九州経済産業局 国際部 国際企画調査課

〒812-8546 福岡市博多区博多駅東 2-11-1

T E L 092-482-5428

H P <http://www.kyushu.meti.go.jp>